代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まする）	ま	273	09	申しまするのは矯正院に当るものであり	まする	けれども未だ立派なものと申す訳には参りま
	ま	274	17	で最も重もなる者は一房一囚の制であり	まする	けれどもナカナカ費用がかゝるので右から左
	ま	077	09	所を以て社会の為めに利を興し害を除き	まする	ことが恰も電気の積極消極の様なもので積極
	ま	226	05	ましては行政上で二大原則の区別を致し	まする	ことを申し上げました．今日よりは純粋の行
	ま	241	12	する．其れで先づ私が諸君にお話し致し	まする	ことは前に申しました区別の趣意で致します
	ま	245	06	する．此の他，行政権に於て関係いたし	まする	ことは土木，衛生，勧業，教育，等沢山に有
	ま	251	09	良民と同様に其の身を立つることが出来	まする	ことになつて居りまする．然れば右のお疑ひ
	ま	252	11	る．此の未丁年の不良少年は監獄に入れ	まする	ことは宜しくありませぬ．と云ふものは監獄
	ま	244	04	まする．さて，行政権に於て執行いたし	まする	事柄は第一は法律の執行で第二は規則の制定
	ま	244	01	することになつて居りまする．前に申し	まする	如く立法権事務は元老院，又は国会を設けて
	ま	079	10	き渡つたもので，たゞ一個人にも御坐り	まする	し又多くの人より成り立つ社会の中にも御坐
	ま	084	02	せぬ．或る時は進歩の盛んな時も御坐り	まする	し或る時は殆んど無い位なことも御坐ります
	ま	134	03	ので有ります」と答へました．只今説き	まする	仕方に就て聖書の明文が御坐ります．例へば
	ま	068	14	吏登用大試験及第の後試補官に任ぜられ	まする	順序で御座います．（この試補官と申したの
	ま	035	15	で有ります．今日世界の大変動と思はれ	まする	殖民政略などのことも大慾で有りますが独逸
	ま	269	05	せて四十五箇所ありまして，そこに居り	まする	生徒の数は六千七百七十七人ありました．女
	ま	074	07	と申すことなど，これ等は皆な金を出し	まする	と丁度快楽なるものか，便利なるものがはい
	ま	075	16	経済学と其の学科の性質上より論じて見	まする	と法律は消極的の価値を得るといふもので御
	ま	138	09	ん．ウ／ヲタースコットの本などを読み	まする	と其の面白い話しに連れ後はドウなるかと先
	ま	230	17	有りますが其れから行政上の仕方になり	まする	と沿革はさておきまして先づ第一に二つの原
	ま	235	08	ヌから益々進歩を謀られむことを希望し	まする	と云ふことを一言いたします．其れに付て序
	ま	239	14	りました．此の旅行を畢りまして帰京し	まする	と，スタチスチック社社員，明治法律学校校
	ま	241	10	るものと存ぜられます．故に実際に至り	まする	とコレコレは述べてもよい，また述べるがよ
	ま	242	10	申しまして其の字義はラテン語に基づき	まする	とツカマヘルと云ふ意味で罪人又は刑事上の
	ま	245	17	で有りまする．就ては刑とは何かと申し	まする	と昔は悪い事をした者が有れば之を罰するに
	ま	246	13	を来します．例へば監獄に罪人が這入り	まする	と之に対して其の所行の悪かつたことを嚇ん
	ま	248	04	を改め，遂に刑期が終つて社会に再び出	まする	と，モトの善良なる人間になるので有ります
	ま	257	01	りまする．さて貧民の種類は何かと申し	まする	と，これ亦，二種類しか有りませぬ．其の第
	ま	261	05	論じて参りました所をひつくるめて申し	まする	と学校と慈恵と監獄とは皆な相共に連絡しま
	ま	267	05	ホドで無い者とを一所に置くことになり	まする	と，サホド性質の悪く無い者が非常に性質の
	ま	268	08	べき筈で有りまする．普通の監獄を別ち	まする	と其の第一は留置場と申しまして，これは各
	ま	269	09	四百十四人の幼年者の罪質を区別して見	まする	と謀殺，故殺，放火，強姦，窃盗，強盗，無
	ま	269	12	有りまする．また年令を以て割合を申し	まする	と十歳以下は百八十七人即ち二分二厘で，十
	ま	269	15	即ち一割一分八厘で有りまする．して見	まする	と十二歳より十六歳までの間が一番，間違の
	ま	270	05	合ひを其の入院の時に調べましたのを見	まする	と一丁字をも知らざる者が四千四百七十二人
	ま	270	11	受けたる者は一人もありませぬ．して見	まする	と教育の一番少ない者に不良の者が多いと云
	ま	271	06	まする．以上の諸監獄の在監人を合計し	まする	と四万八千八百五十六人となりまする．さて
	ま	271	12	だけ申し述べませう．普通の監獄を別ち	まする	と第一，留置場．これは裁判所，及び警察署
	ま	271	14	め置く所でありまする．但し時宜により	まする	と拘留の刑に処せられたる者を留め置くこと
	ま	273	06	所でありまする．また，其の中を区別し	まする	と未決監は百七十五，已決監は百六十一，懲
	ま	273	13	と云ふ趣意でありまする．これ等を合し	まする	と監獄の数は総体にて二百〇一箇所となりま
	ま	273	14	なりまする．而して其の在監人の数を見	まする	と，未決者は一万四千二百二十二人，已決囚
	ま	274	01	いてある者で御坐います．これ等を合し	まする	と在監人の総数は七万二千二百五十二人とな
	ま	274	02	十二人となりまする．今，其の費用を見	まする	と国庫支出，及び地方税支弁にて明治十七年
	ま	274	03	．而して其れを監獄現在人員に割り当て	まする	と一人に付き四十八円ほどになりまする．実
	ま	274	05	ぬ．此の費用を以て兵卒を養ふ者と致し	まする	と三万八千人を殖すことはイト易いでありま
	ま	275	05	は実に論ずるに足りませぬ．牢屋に入れ	まする	と牛馬同様に取り扱ひ未決中の者でも少し面
	ま	275	07	拷問などを致しまするので，今から考へ	まする	と野蛮の方法であつたには相違ありませぬ．
	ま	275	17	一つでありまする．此の一つを取り違へ	まする	と，あとは皆な狂つて参りまする．さて此の
	ま	276	09	と信じまする．若し此の大原則を誤まり	まする	と，例へば囚徒にして獄吏の命に従はない者
	ま	276	10	して獄吏の命に従はない者があつたとし	まする	と，獄吏は其の囚徒をなぐつて懲すと云ふや
	ま	276	17	以上に縷陳いたしましたることを約説し	まする	と監獄の行政上の位置監獄の目的及び方法監
	ま	263	17	化し，また幼年犯罪者を教育感化いたし	まする	ところで有ります．此の部に於ては重もに家
	ま	077	08	宜しう御坐んす．故に我輩が諸君に望み	まする	所は法律と経済との学科の性質に相違あるに
	ま	125	02	からず．そこで私今専ら弁じたいと思ひ	まする	所は則ち若い伝道師の妨げまた其の務めの邪
	ま	134	16	方が御坐りませうけれども先づ今日説き	まする	所のおもなるものは，これで御坐ります．併
	ま	259	06	めて貰はなければなりませぬ．私の考へ	まする	所では貧民救助の方法は次の如く定めたら宜
	ま	266	10	の懲必＊感化部の事業は俗に監獄と申し	まする	所，即ち地方監獄，及び中央獄に於て執行い
	ま	266	17	場，及び各地方の未決監則ち監倉と申し	まする	所に於て之を執行いたしまする．さうして，
	ま	136	07	感心の訳で御坐ります．之に擬へて申し	まする	ならば人が下い所からして世の中の有様を見
	ま	057	11	実に有り難いことで此の近県の様子を見	まする	に此の埼玉県下は最も衛生が盛んにして浦和
	ま	074	15	坐んす．其れを務めて除かむことを欲し	まする	には人を屋はんければならぬ．而じて其の労
	ま	098	17	瞑するに違ひなし．併しながら私の考へ	まする	には今このノルマントン号のことに付て我々

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まする）	ま	101	12	く分つて居ります．西洋各国の歴史を見	まする	に何れの国にても一事の改革をはかるときに
	ま	133	14	か」と問ひましたれば，かの役人が答へ	まする	に「私は内に随分，奉公人を多勢使ひますが
	ま	134	03	ります．例へばＰｅｔｅｒｏが仰せられ	まする	に「爾等，世に在りて善き行ひを為すべし，
	ま	226	10	で御坐います．よつて此のことを講究し	まする	には先づ二部に分ちまして第一部は行政，第
	ま	233	13	前で有りましたらうが或る人が私に申し	まする	には今，西洋語を以て教ふる大学と云ふやう
	ま	262	10	りまする．今欧米の監獄の方法を略述し	まする	に其の方法が四通り有りまする．其の第一は
	ま	278	07	たしまするから此の講談の範囲外であり	まする	によつて，こゝには申し述ることは出来ませ
	ま	242	15	獄学を知らずして監獄のことを取り扱ひ	まする	のは政治学を知らずして天下の大政を掌ると
	ま	248	06	に悪い者になると云ふことが実際に有り	まする	のは，ツマリ懲戒にのみ偏して教誨其の宜し
	ま	250	17	或は十年でよからうと云ふやうに，きめ	まする	のは裁判官で御坐います．さうして今，申し
	ま	252	13	とマゼコゼにするのは至つて危険であり	まする	のが一つの理由であるのと，また監獄に這入
	ま	270	17	足らない説と存じられます．今度，述べ	まする	のは留置場で其の数は三千〇五十箇所，其の
	ま	271	03	するからのことで有りまする．今度述べ	まする	のは地方監獄で其の数は三百八十二箇所，其
	ま	273	08	なりまする．此の所に於て懲治監と申し	まする	のは矯正院に当るものでありまするけれども
	ま	275	14	有志者，有力者に於て非常に尽力せられ	まする	の時機にまで到りましたから，これも遠から
	ま	267	09	の放免者保護会社に於て之を執行いたし	まする	ので此の会社に於ては或ひは授業の方法を与
	ま	275	07	こと も流行つたり，また拷問などを致し	まする	ので，今から考へまするど野蛮の方法であつ
	ま	264	02	とになつて居ります．この家族法と申し	まする	は例へば百人の囚人あれば之を二十人づゝに
	ま	272	08	でありまする．さて，島地集治監と申し	まする	は俗に島地監獄と申しまして北海道に設けて
	ま	261	12	の動作も充分ならざる子供の部分に属し	まする	貧民，例へば棄児或ひは孤児の如きは棄児院
	ま	262	15	に就かしめ，夜分は一房に一囚づゝ置き	まする	方法で有ります．然れども此の方法はヨホド
	ま	068	16	判官検察官の本官となり一定の俸給を得	まする	までには平均三箇年を待たなければなりませ
	ま	267	02	人では有りませぬ故に監獄に入れて置き	まする	目的は逃走の虞れが有るのと証拠の湮滅する
	ま	189	11	ながらドチラも一国の政治に関係のあり	まする	ものですから立法権にも執行権が関係するこ
	ま	244	06	の制定及び執行で有ります．規則と申し	まする	ものは法律の細目を定め，また時としては法
	ま	247	10	ては二つの方法を以て人心の改良を図り	まする	もので有ります．其の第一は懲戒法と申しま
	ま	250	03	る．而して智慧の教育，即ち智育と申し	まする	ものは学校に於て之を行ひ，心の教育，即ち
	ま	250	05	掌り，また身体の教育，即ち体育と申し	まする	ものは或ひは家庭に於て或ひは学校に於て之
	ま	256	04	を簡略に述べませう．貧民の救助と申し	まする	ものは慈恵に係るもので有ります．而して此
	ま	268	04	ます．軍事の監獄は陸軍及び海軍にあり	まする	ものですから自ら別の物になつて居りまする
	ま	273	10	庫，宮城，三池の四箇所に仮留監と申し	まする	ものが一箇所づゝ都合四箇所ありまする．此
	ま	273	11	合四箇所ありまする．此の仮留監と申し	まする	ものは徒刑，流刑の者を一時，仮りに留め置
	ま	248	14	刑事上の被告人，即ち俗に未決者と申し	まする	者は裁判の済むまでは監獄に預つて居ります
	ま	250	10	とが有りまする．此の悪い道に飛び込み	まする	者を年齢を以て二つに区分いたして申し上げ
	ま	252	13	由であるのと，また監獄に這入つて居り	まする	者は丁年以上の者，即ち出生より丁年になる
	ま	258	06	りませぬ．此の二かどを以て救助いたし	まする	者に二つの種類が有りまして，第一種は壮健
	ま	270	06	まする．また読むことだけを知つて居り	まする	者が千三百四十三人ありまして丁度一割六分
	ま	270	07	．また読むことと書くことを知つて居り	まする	者が千七百七十八人ありまして丁度二割一分
	ま	270	09	とと書くことと算へることを知つて居り	まする	者が七百八十七人ありまして丁度九分六厘ば
	ま	080	03	柄また肝要な道理が含まつて居ると存じ	まする	ゆゑ先づ其の重もなるものを述べ而して後に
	ま	240	06	内務大臣の目の中に這入つたもので有り	まする	ゆゑ，該景況は私の所有権で無くして内務大
	ま	261	06	学校と慈恵と監獄とは皆な相共に連絡し	まする	ゆゑ各々其の釣合を宜しくし其の範囲をきめ
	ま	253	13	に東京大坂の如き大都府に沢山製造され	まする	訳で有りまする．其れから放免囚即ち監獄を
	ま	002	16	は真の智識の方便に過ぎざる智識が有り	まする	．例へば家を建るとか織物を織るとか大砲を
	ま	009	06	有る故ムダのことを一言演るまでで有り	まする	．地球の位置明治十八年三月二十一日理医学
	ま	013	12	リして居るもので実に心細いもので有り	まする	．で有りまするからして学者が天のことを調
	ま	018	14	地球の同士は学者は其れを惑星と名づけ	まする	．いくらも有りますが最も名高くて諸君の御
	ま	071	06	べき機関を製造陶冶せられむことを望み	まする	．又我が国に於て新聞記者が「最早法律学士
	ま	083	11	から仏国当時の有様実に気の毒で御坐り	まする	．この道徳の進歩の必要と云ふものは一個人
	ま	087	09	之に合はざるものなりと云ふ返答が出来	まする	．また人の善き性質，人の益になる原素，人
	ま	087	12	ロに合ひたるものなりと云ふ返答が出来	まする	．また所謂，道徳法の原因と其の基本は何処
	ま	095	05	は実に道徳上に於て罪すべき人で御坐り	まする	．併し道徳と法律とは自から混同すべからざ
	ま	098	08	言ふに忍びずといふことであらうと考へ	まする	．苟くも人情あるものは人の死を聞いて悲し
	ま	099	07	ぬ無形の原因が無ければなるまいと考へ	まする	．私のおもへらく，此の度の事件の大原因は
	ま	100	04	しても出来あたはざる所であらうと考へ	まする	．つらつら歴史を案ずるに昔し羅馬の盛んな
	ま	102	05	原因である，賤しみを受くる所以であり	まする	．日本の国情が西洋に知れて居ないのがこれ
	ま	103	03	教の力に依るの外に方便あるまじと思ひ	まする	．日本人が保守の心尠なく物事に耐へられな
	ま	104	12	して真正の改良に従事するが肝要と考へ	まする	．ノルマントン号沈没事件を論す明治十九年
	ま	124	08	御坐るならば，なほ有り難きことと存じ	まする	．凡そ卒業生といふものは今漸く世に出まし
	ま	126	05	評し且非難せむとするが如きもので有り	まする	．けれども基督教に就て己れの色々の不承知
	ま	128	01	居らぬと頻りに務めて論ずるもので有り	まする	．これ亦随分ケンノンな仕方で御坐ります．
	ま	128	10	一人か二人が起した所の論が多う御坐り	まする	．箇様な論は遂に本当のものになるか或は誤
	ま	128	15	仕方も亦よい仕方で御坐りませぬと存じ	まする	．併しながらこゝに一つの珍らしいことが御

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まする）	ま	134	11	しければ其の原因は必ず善いもので有り	まする	．末が貴いものならば其の本は勿論貴いもの
	ま	134	12	坐ります．先づ基督教は善の教で御坐り	まする	．即ち世の中に於て善の勢ひを以て総ての悪
	ま	138	03	とも有り飯を喰ふのが面倒な思ひも有り	まする	．私が或るとき病気にて眠ることが出来ませ
	ま	138	16	随つて社会の道徳を改良することも出来	まする	．政治小説には其れに連れて政治を改良する
	ま	139	09	問はばナポレオンかセクスピヤだと申し	まする	．御承知の通りセクスピヤは彼の芝居を書き
	ま	141	13	言ふものが大切ゆゑ非常の智能力が入り	まする	．たとへば経書を読みましても其の意味通り
	ま	144	11	ひます．其れには西洋の学問が第一入り	まする	．また西洋の小説を多く読んで貰ひたい．少
	ま	226	08	とと行政裁判のこととは事柄が全く分れ	まする	．然れども行政と云ひ行政裁判と云ひ何れに
	ま	231	17	議会へ出て討論をすると云ふことも出来	まする	．此の如く干渉することは有りますが議会で
	ま	240	07	有権で無くして内務大臣の所有権で有り	まする	．然れば内務大臣の許可なくしては之を他人
	ま	241	11	た述べるがよいと云ふことは沢山に有り	まする	．其れで先づ私が諸君にお話し致しまするこ
	ま	242	11	りて払はない者などを拘禁する所であり	まする	．只今では監獄のことも警察学と同様にエウ
	ま	242	12	ロッパに於ては一つの学問となつて居り	まする	．此の学をペノロジーと申します．其の意味
	ま	242	13	ち刑を執行するの学問と云ふことで有り	まする	．故に監獄のことはナカナカ軽々しきもので
	ま	243	05	右の望みを執行するものを執行権と申し	まする	．この立法権及び執行権を相合したるものは
	ま	243	06	執行権を相合したるものは主権と名づけ	まする	．我が国では主権者は天皇陛下でありまする
	ま	243	07	ら立法権も執行権も皆な天皇陛下に在り	まする	．けれども一方に於ては元老院等の議会を設
	ま	243	17	総て行政権で執行することになつて居り	まする	．前に申しまする如く立法権事務は元老院，
	ま	244	03	けにて天下のことは，まとまる姿になり	まする	．さて，行政権に於て執行いたしまする事柄
	ま	244	08	これは執行権に於て制定するもので有り	まする	．法律に至つては必ず立法権の制定に係るも
	ま	244	10	閣で定めた政治を実際に行ふことで有り	まする	．第四は憲法の執行で，これは憲法に於て定
	ま	244	11	於て定めたことを実際に行ふことで有り	まする	．第五は裁判の執行で，司法権に於て罪人あ
	ま	244	13	の刑の執行は執行権の中の行政権に属し	まする	．其れから第六は全国の利益に関することを
	ま	244	14	国の利益に関することを総て執行いたし	まする	．其の中にても殊に秩序安寧のことが著しき
	ま	245	01	人取締の為めに監獄を用ふることとなり	まする	．尤も監獄には国事犯等の者を入れることも
	ま	245	05	罪人，即ち常事犯のことを申すので有り	まする	．此の他，行政権に於て関係いたしまするこ
	ま	245	06	土木，衛生，勧業，教育，等沢山に有り	まする	．然れども，これ等は行政権と申す立派な道
	ま	245	11	が第二段のもので有ると申すだけで有り	まする	．これにて監獄は行政上，如何なる部分に属
	ま	245	16	し上げたる通り刑の執行を掌る所で有り	まする	．就ては刑とは何かと申しまする昔は悪い
	ま	246	07	た．是れ実に万世不変の一大原則で有り	まする	．因つて刑を適用すると云ふことは野蛮時代
	ま	246	09	即ち人心の改良を図ると云ふもので有り	まする	．故に刑と云ふ字は人心を改良すると云ふ意
	ま	246	11	即ち人心の改良を掌ると云ふもので有り	まする	．只今申したる点は非常に大切なるところで
	ま	247	14	を受けると云ふことを分らせるので有り	まする	．たゞ道理を講釈するだけでは分らない位な
	ま	247	17	と云ふやうなことをよく教ゆる法で有り	まする	．此の教誨法が有るので始めて己れの所業の
	ま	248	05	と，モトの善良なる人間になるので有り	まする	．然るを監獄に這入りましてからは益々悪い
	ま	248	08	した所が則ち監獄の目的及び方法で有り	まする	．さて，こゝで監獄と警察と裁判との関係を
	ま	248	13	，さて其の刑を執行するのは監獄で有り	まする	．また，刑事上の被告人，即ち俗に未決者と
	ま	248	15	者は裁判の済むまでは監獄に預つて居り	まする	．然れども此の未決者は未だ法律上，罪人と
	ま	249	01	未決監と申すところに留め置くので有り	まする	．よつて未決者は至つて丁寧に取り扱はなけ
	ま	249	04	得ませぬければ警察も裁判も無効になり	まする	．また，警察と監獄が何ほど宜しくとも裁判
	ま	249	05	も裁判が悪いと警察と監獄が無効になり	まする	．また，裁判と監獄が何ほどよく整頓しまし
	ま	249	08	ると云ふことは非常なることに立ち至り	まする	．よつて警察と裁判と監獄とは相鼎立して三
	ま	249	09	よく整頓しなければならないもので有り	まする	．これよりは監獄と教育との関係を述べませ
	ま	250	03	育，心の教育，身体の教育の三つで有り	まする	．而して智慧の教育，即ち智育と申しまする
	ま	250	05	は家庭に於て或ひは学校に於て之を行ひ	まする	．付ては此の三つの教育を終りまして並の人
	ま	250	06	並の人間になりましたのを丁年者と申し	まする	．丁年者は則ち良民と唱へまして，終りを善
	ま	250	08	する者は死亡するまで良民を以て終わり	まする	．只今，申したのは本街道で有りまするけれ
	ま	250	10	外れて他の悪い道に飛び込むことが有り	まする	．此の悪い道に飛び込みまする者を年齢を以
	ま	250	12	い事をすると不良民，所謂る罪人となり	まする	．此の不良民は其の儘にして置く訳には参り
	ま	250	16	誨とを施して此の罪人の心の教育を致し	まする	．其れに此の罪人は二年でよからう，また三
	ま	251	10	つることが出来まることになつて居り	まする	．然れば右のお疑ひは晴れませう．今度は未
	ま	251	11	でありまして此の者を不良少年と名づけ	まする	．此の不良少年の中には種類が三通り有りま
	ま	252	10	犯罪人を予防すると云ふのが趣意で有り	まする	．此の未丁年の不良少年は監獄に入れまする
	ま	252	17	戒を与へると云ふ此の三つの方法を要し	まする	．則ち監獄よりも教育だけ余計の用が有りま
	ま	253	01	則ち監獄よりも教育だけ余計の用が有り	まする	．付てはこれ等の者の為めに矯正院を設くる
	ま	253	08	じて右各科目の多少をきめることで有り	まする	．また，只今申した如き者の為めには農業を
	ま	253	14	き大都府に沢山製造されまする訳で有り	まする	．其れから放免囚即ち監獄を出ました者の中
	ま	253	17	監獄を出ました者の中で種類が三つ有り	まする	．其の第一は資金を多少有する者，第二は資
	ま	254	13	と云ふやうな者が随分あるやうにも聞き	まする	．前に申しました如き次第で有りまするから
	ま	256	12	日本では備荒儲蓄法を以て行なつて居り	まする	．さて貧民の救助の結果は何かと云へば，た
	ま	256	17	れば犯罪人を減少すると云ふことになり	まする	．さて貧民の種類は何かと申しまするとと，こ
	ま	257	13	人の予防との両性質を有するものであり	まする	．斯くの如く貧民救助の中にも単に救助に止
	ま	257	15	罪人予防との両性質を有するものも有り	まする	．よつて貧民救助の目的は次に述ぶる如くに

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まする）	ま	258	03	は救助せざる者，又は親族なき者で有り	まする	．第二，貧民の救助，兼犯罪人の予防．此の
	ま	258	13	於て掌るもの即ち救助すべきもので有り	まする	．前の二つの外に放免者即ち出獄人にして必
	ま	259	01	には，そこで救つてやるべきもので有り	まする	．斯くの如く貧民の救助は慈恵と云ふのが一
	ま	259	04	助するの仕方を以てやるべきもので有り	まする	．斯くの如く貧民の救助は犯罪人の予防減少
	ま	260	13	すまいかは宜しく注意すべきもので有り	まする	．第六，監督者を設くること．これは相当の
	ま	260	15	けると云ふことは最も必要で有ると思ひ	まする	．其れは右の行政官に於てはコレコレまでは
	ま	261	04	又は番号を以て行つても宜からうと存じ	まする	．前に段々と論じて参りました所をひつくる
	ま	261	07	囲をきめなければなりませぬ次第で有り	まする	．よつて善良なる少年は学校の管轄と致し，
	ま	261	14	と云ふのが私の論の目的とする所で有り	まする	．これより欧米の監獄の事を一言いたしませ
	ま	262	01	はツカマへておく場所と云ふことで有り	まする	．イギリスの如きはペニテンシヤリーと申し
	ま	262	08	罪人を懲治，感化すると云ふ場所で有り	まする	．今欧米の監獄の方法を略述しまするに其の
	ま	262	10	を略述しまするに其の方法が四通り有り	まする	．其の第一は分房法と云ひまして，これは一
	ま	262	13	おきますとキチガヒになる者が多く有り	まする	．第二は緘黙法と云ひまして，これは昼間は
	ま	263	02	此の方法はアマリ面白くないもので有り	まする	．第三は雑居法と云ひまして，これは多くの
	ま	263	05	て其の雑居の分ちを為す位なもので有り	まする	．此の方法は最も不完全なるもので有ります
	ま	263	06	．此の方法は最も不完全なるもので有り	まする	．第四は階級法と申しまして，これは分房法
	ま	263	10	を改良したるや否やを試みるもので有り	まする	．此の方法が一番宜しいかと考へられます．
	ま	264	05	業の教育をも施しますことになつて居り	まする	．第二は懲必＊感化部と申しまして，此の部
	ま	264	07	りまして則ち俗に称する所の監獄で有り	まする	．第三は未決者監禁部と申しまして，此の部
	ま	264	09	ては未決者を一時監禁しておくので有り	まする	．第四は出獄人授業部と申しまして，此の部
	ま	264	11	正業に就かしめ其の再犯を防ぐ所で有り	まする	．今，欧米の監獄専門家の意見と其の各国に
	ま	266	02	の事業は二つの場所にて之を執行いたし	まする	．其の甲の場所は矯正院（則ち俗は感化院と
	ま	266	06	まして此の所に於ては幼年犯罪者を入れ	まする	．其の方法は最初は分房法を用ひ沈黙させて
	ま	266	09	に至れば通常の人民に入れることで有り	まする	．」第二の懲必＊感化部の事業は俗に監獄と
	ま	266	11	地方監獄，及び中央獄に於て執行いたし	まする	．此の所に於ては階級法を用ひまして最初は
	ま	266	14	れます．此の場合には専ら感化をつとめ	まする	．而して感化も其の効があらはれましたと看
	ま	267	01	倉と申しまする所に於て之を執行いたし	まする	．さうして，これには必ず分房法を適用いた
	ま	267	01	して，これには必ず分房法を適用いたし	まする	．其の趣意は未決者はまだ罪人では有りませ
	ま	267	03	湮滅する虞れがあるので起るもので有り	まする	．故に分房法に致しませぬと，他の未決者か
	ま	267	07	したことを学ぶといふやうなことになり	まする	．故に此の部の事業は必ず分房法を用ひなけ
	ま	267	10	常の雇人と致すことに尽力するので有り	まする	．此の部の事業は最も大切なることで有りま
	ま	267	12	人を絶えず世間に出すと云ふ結果になり	まする	．前の表と只今の説明とに就いてお考へにな
	ま	268	05	るものですから自ら別の物になつて居り	まする	．因つて軍事の監獄に関係しましたことは申
	ま	268	07	，一切変つたことは無かるべき筈で有り	まする	．普通の監獄を別ちますると其の第一は留置
	ま	268	10	憲兵署などの在る所に設けるもので有り	まする	．此の所に於ては拘引したる者を僅かに数日
	ま	268	11	他の監獄に送り付けることになつて居り	まする	．また時としては数日の拘留の刑はこゝに於
	ま	268	12	留の刑はこゝに於て執行することも有り	まする	．第二は地方監獄で有りまして，こゝには通
	ま	268	15	て置き，第四は矯正院即ち感化院で有り	まする	．ところで，今仏国に於ける千八百八十一年
	ま	269	03	子部で，アトの十八箇所が男子部で有り	まする	．此の所には一万五千七百〇六人の囚徒があ
	ま	269	08	，其の生徒の数が八千四百十四人となり	まする	．さて，只今申した八千四百十四人の幼年者
	ま	269	11	五千三百七十四人，即ち六割四分で有り	まする	．また年令を以て割合を申しまする と十歳以
	ま	269	15	千〇三十四人，即ち一割一分八厘で有り	まする	．して見まする と十二歳より十六歳までの間
	ま	270	01	終身のカタハモノを造り出すことになり	まする	．実に恐るべきことでは有りませぬか．また
	ま	270	06	二人ありまして丁度五割三分ほどに当り	まする	．また読むことだけを知つて居りまする者が
	ま	270	07	三人ありまして丁度一割六分ほどに当り	まする	．また読むことと書くことを知つて居ります
	ま	270	08	八人ありまして丁度二割一分ほどに当り	まする	．また読むことと書くことと算へることを知
	ま	270	10	人ありまして丁度九分六厘ばかりに当り	まする	．また小学の教育を受けたる者が三十四人あ
	ま	270	11	十四人ありまして丁度たゞの四厘に当り	まする	．また，小学教育より以上を受けたる者は一
	ま	270	14	育の普及を図ることが第一の仕事であり	まする	．俗に智識がひろまるほど不良の奸智も殖る
	ま	271	01	箇所，其の人員は僅かに三十七人であり	まする	．斯くの如く人員の少ないのは二十四時間を
	ま	271	02	無罪放免になりまするからのことで有り	まする	．今度述べまするのは地方監獄で其の数は三
	ま	271	04	の在監人は二万四千六百九十九人であり	まする	．尤も此の在監人の中，六千七百五十三人は
	ま	271	05	三人は未決者と控訴上告中の者とで有り	まする	．以上の諸監獄の在監人を合計しまする と四
	ま	271	06	しまする と四万八千八百五十六人となり	まする	．さて，これよりは日本の監獄のことを申し
	ま	271	14	もので，未決者を一時留め置く所であり	まする	．但し時宜によりまする と拘留の刑に処せら
	ま	271	15	に処せられたる者を留め置くこともあり	まする	．第二，監倉．これは未決者を拘禁して置く
	ま	271	16	所であります．故に之を未決監とも申し	まする	．第三，懲治場．こゝには刑法に於て不論罪
	ま	272	02	願懲治者（未丁年）を懲治する所であり	まする	．第四，已決監．こゝには懲役の刑，及び禁
	ま	272	03	錮の刑に処せられたる者を拘禁して置き	まする	．第五，集治監．これは徒刑，流刑，及び禁
	ま	272	04	刑に処せられたる者を集治する所で有り	まする	．尤も集治監には二種類，即ち本地の集治監
	ま	272	05	即ち本地の集治監と島地の集治監とあり	まする	．本地の集治監は徒刑，流刑，禁獄，及び旧
	ま	272	07	られた者だけを集治いたします所であり	まする	．さて，島地集治監と申しまするは俗に島地
	ま	272	08	地監獄と申しまして北海道に設けてあり	まする	．然るところ昨年．官制の改革のときに北海

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まする）	ま	272	11	獄と云ふものは消えた有様になつて居り	まする	．しかし実際は其の性質の区別はあると云ふ
	ま	272	15	単に之を監督することに止まるのであり	まする	．さて，これよりは明治十七年十二月三十一
	ま	273	05	宮城，三池，樺戸，空知の五箇所であり	まする	．また，其の中を区別しますると未決監は百
	ま	273	07	百〇三，合せて四百三十九の監舎となり	まする	．五箇所の集治監は皆な巳決監でありまする
	ま	273	08	するから巳決監の総数は百六十六となり	まする	．此の所に於て懲治監と申しまするのは矯正
	ま	273	11	まするものが一箇所づゝ都合四箇所あり	まする	．此の仮留監と申しまするものは徒刑，流刑
	ま	273	12	地の集治監に差し回すと云ふ趣意であり	まする	．これ等を合しますると監獄の数は総体にて
	ま	273	13	監獄の数は総体にて二百〇一箇所となり	まする	．而して其の在監人の数を見まするとと，未決
	ま	274	01	人の総数は七万二千二百五十二人となり	まする	．今，其の費用を見まするとと国庫支出，及び
	ま	274	03	は三百四十六万九千四百五十五円となり	まする	．而して其れを監獄現在人員に割り当てます
	ま	274	04	まするとと一人に付き四十八円ほどになり	まする	．実に莫大の費用と云はざるを得ませぬ．此
	ま	274	12	，及び学者の務むるところとなつて居り	まする	．フランスに於ては千八百五十五年五月五日
	ま	275	12	ことを打ち合せ致されたとのことで有り	まする	．これ，また非常に監獄の整頓を助けたるも
	ま	275	15	其の効を奏することになりませうと考へ	まする	．之を要するに我が国の現在の監獄改良は維
	ま	275	17	前の監獄と異なる点はタッター一つであり	まする	．此の一つを取り違へまするとと，あとは皆な
	ま	275	17	り違へまするとと，あとは皆な狂つて参り	まする	．さて此の一つと云ふのは何であるかと申せ
	ま	276	05	自由を剝ぐと云ふことにきめたので有り	まする	．故に維新前は棒罰と云ふ主義であり，維新
	ま	276	06	新後は自由剝奪と云ふだけの主義であり	まする	．また維新前は復讐と云ふ意味がありました
	ま	276	08	て良民にしてやりたいと云ふ原則であり	まする	．これ則ち文明国に於て将さに為すべきの事
	ま	276	09	て将さに為すべきの事業であらうと信じ	まする	．若し此の大原則を誤まりまするとと，例へば
	ま	276	12	るだけの罰に止めて然るべきことと考へ	まする	．其の他，何事につけても此の大原則を了解
	ま	276	13	解しませぬと色々な害が起ることになり	まする	．何事にても由つて起るところの原則が最も
	ま	276	14	ところの原則が最も大事なるものであり	まする	．以上に縷陳いたしましたることを約説しま
	ま	273	03	帝国第五統計年鑑」に拠つたものであり	まする	）府県監獄は百九十二箇所ありまして，集治
	ま	133	12	坐りませぬ，けれども見たことは御坐り	まする	」と答へました．大きに宣教師が驚いて「ド
ますれ	ま	132	08	しき以前に世を去りましたもので御坐り	ますれ	ども聖書はキズも無くカケメも無く盛んに世
	ま	034	04	シビリザションといふものの意味を尋ね	ますれ	ば月の中には兎が餅を搗いて居るとか雷は大
	ま	065	04	．諸君如何です．さて斯の如き類を挙げ	ますれ	ば沢山ありて一朝一夕に論じ尽すことは容易
	ま	069	16	ことで御坐いますが一国政府の上から観	ますれ	ば供給者益々増しました時には政府に取つて
	ま	070	03	転して我が国の裁判官代言人の有様を観	ますれ	ば従前判事と唱へる奏任以上の者は僅に三百
	ま	089	12	ひるならば進歩するの志が必ず厚くなり	ますれ	ば進歩せぬことが決して御坐りませぬ．第三
	ま	095	01	で御坐ります．今道徳上の原理より言ひ	ますれ	ば身を殺しても仁を為すといふことがありま
	ま	126	06	承知を言ふものが随分世間に多う御坐り	ますれ	ば卒業生はドウしてよく之に答へることが出
	ま	136	01	表の口にはいり裏へ出まして其の庭を見	ますれ	ば誠に面白くも無く，また分らぬやうに見え
	ま	146	07	ぎ社会を改良することも出来やうと思ひ	ますれ	ば此のことは是非やつて貰ひたいと思ひまし
	ま	171	14	ります．其れはナゼかといふことを申し	ますれ	ば北亜米利加合衆国人が我が国人に対して我
	ま	198	01	した所によれば，太陽から引かれて居り	ますれ	ばいづれ抛物線か楕円の形ちに運動してある
	ま	225	06	どが漫りに喙を容れる所では無いと思ひ	ますれ	ば其の辺のことには一向関はりませぬで，た
	ま	244	02	と行政権と司法権とを設けて之を執行し	ますれ	ば，これだけにて天下のことは，まとまる姿
ませ	ま	002	15	，いづれも方にも定めし御存じで御坐り	ませ	うが抑々智識には真の智識と智識の様に見ゆる
	ま	007	06	字の教育を受けた者が十人に八九は有り	ませ	う．だが実際裸にしてふるつて見たら字を書く
	ま	007	07	書くことの外は知らざる者が多いで有り	ませ	う．字が書けると地方でも賞められ書けぬと百
	ま	011	05	でも答へが出来る」と言はるゝで御坐い	ませ	う．成るほど一応は御尤で有ります．併し神保
	ま	011	06	と聞いたら「神保町だ」と言ふで御坐い	ませ	う．「神保町はどこの中だ」と聞いたら「神田
	ま	011	10	は地球の表面の一部分だ」と言ふで有り	ませ	う．そこで其れから先き「地球は何の一部分だ
	ま	012	07	お話しします中に問題の趣意もよく分り	ませ	う．話しをあとに戻しまして日本は亜細亜の中
	ま	012	13	ことは諸君が既に御存じのことと看做し	ませ	う．私は唯其れから先きのことをお話しします
	ま	013	04	しやつた人は直に周囲を知ることが出来	ませ	う．地球の周囲を測つて見ますと長い所が僅か
	ま	013	16	ドンナものが有るか一向分らないで有り	ませ	うが幸に我々は眼が随分遠くきゝます．殊に物
	ま	014	02	なりましたから先づ其れからお話し致し	ませ	う．天の中にありて一番我々の眼に着くものは
	ま	016	15	ら諸君は定めて記臆して居らるゝで有り	ませ	うが空気と水が無くては人間の生活は出来ませ
	ま	019	17	りますが此の位でおいて外のことに移り	ませ	う．今までお話ししました星の中で一番我々の
	ま	022	07	が分り兼ねますから鍵形を以て解き明し	ませ	う．先づさつき申しました直径一寸の玉を地球
	ま	023	16	場合が出て来ます．其れは跡でお話しし	ませ	う．今まで申したことをつゞめて申しますと太
	ま	024	11	に天王星海王星これにも眷属が沢山あり	ませ	うが天王星に四つ海王星に一つしか見えませぬ
	ま	025	17	軌道の半径即ち地球と太陽の距離を取り	ませ	う．此の物さしの両端から測量して見ても大か
	ま	026	11	る星は中には太陽よりは小さいのも有り	ませ	うが太陽より大きいのも有りますか知れませぬ
	ま	028	14	て見ると一つが親分で，あとが子で有り	ませ	う．併し太陽系では明りを持つたものは太陽一
	ま	029	11	粗分る様で有ります．諸君御存じで有り	ませ	うが秋の頃に天を見てお出でなさると真つ白な
	ま	029	12	見てお出でなさると真つ白なものが有り	ませ	う，雲かと思へば雲で無い晴天の時にも見ゆる
	ま	030	11	ほか見えず或る別の所には星が沢山見え	ませ	う．而して星の沢山見ゆる部分は帯の形して天
	ま	033	06	は諸君の高論卓説もさぞかし多く御坐り	ませ	うが発起人諸君から亨二にも是非演説をしてく
	ま	034	14	つて種々様々に人に弊害を及ぼして参り	ませ	うと思ひます．併し大悠の人はさうで無い，大

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（ませ）	ま	035	07	はいるのと，よく事実に合ふことで有り	ませ
	ま	035	08	を飲む者は無欲だといふことがよく分り	ませ
	ま	035	16	を丈夫にして智慧を研いたからで御坐り	ませ
	ま	036	04	きは大いなる社会」では実に可笑くなり	ませ
	ま	036	06	き」と言つたら調子に外れたものと思ひ	ませ
	ま	037	05	先づ初めに社会と云ふことから講釈をし	ませ
	ま	052	09	から英書か仏書の読める人は宜う御坐い	ませ
	ま	055	06	い様な訳で私どもも孫の頃は楽にもなり	ませ
	ま	058	11	なさることも出来ると云ふのは何であり	ませ
	ま	058	12	が邦が開化して鉄道が出来た為めであり	ませ
	ま	059	02	衛生の有り難い証拠で又開化の徳であり	ませ
	ま	059	13	其の他の贅沢品も亦輸入いたしたであり	ませ
	ま	060	14	くあります．是れ則ち半開化の害であり	ませ
	ま	060	17	ずダイヤモンドを捨て張り子の虎を取り	ませ
	ま	061	02	ず古代未開時の風たるを覚らるゝであり	ませ
	ま	061	03	は又未開化人の用ゆるものたるを知られ	ませ
	ま	061	09	個となり現今では二十万余となつて居り	ませ
	ま	061	11	ては随分大いなる利益の有ることもあり	ませ
	ま	063	12	数にしてツマリ濫用の多きシルシであり	ませ
	ま	064	05	人ですら斯の如く心臓病を発するであり	ませ
	ま	064	06	層の劇症を発す可きは当然のことであり	ませ
	ま	064	11	ジニするとは真にハヤ憫然の至りであり	ませ
	ま	064	14	出来たものにして則ち半開化の害であり	ませ
	ま	064	16	なるべき立派な他の業を営むことも出来	ませ
	ま	064	17	万の人の健康を害することも大いに減じ	ませ
	ま	065	02	同様の業を営むものは自から減少して来	ませ
	ま	065	13	必ず測るべからざるの惨状を醸すに至り	ませ
	ま	065	14	ら改良の必要蓋し今日に在ることであり	ませ
	ま	067	13	御目出たう御坐います，御愉快で御坐い	ませ
	ま	068	04	ひます．諸君の中に御承知の方も御坐い	ませ
	ま	069	17	なる裁判官其の他の人を得ることが出来	ませ
	ま	070	05	は調べ落しましたが二十人たらずで有り	ませ
	ま	070	17	が又何人か卒業生が出来ることで御坐い	ませ
	ま	076	09	きは直接に物を生ずるもので無いと言ひ	ませ
	ま	079	13	ども人間の進歩と云ふものは何で御坐り	ませ
	ま	079	14	うか．其のワケはドウいふもので御坐り	ませ
	ま	079	14	か．先づ進歩と云ふ漢字の和訓でも分り	ませ
	ま	080	04	ものを述べ而して後に本論に取りかゝり	ませ
	ま	080	09	必ず進歩せいで止まつて居る訳で御坐り	ませ
	ま	081	17	の進歩学術の進歩等とよく申すで御坐り	ませ
	ま	083	02	り果てたことは諸君皆な御存じで御坐り	ませ
	ま	084	05	亦川が流れる如くに進み行く筈で御坐り	ませ
	ま	084	14	の上で申すならば勿論御維新の頃に当り	ませ
	ま	085	04	坐りますゆゑに，これから段々之を弁じ	ませ
	ま	086	03	た人の位を下げる所のものは何で御坐り	ませ
	ま	086	11	れ等のものは如何にして知ることが出来	ませ
	ま	086	12	コを探したならば之を求めることが出来	ませ
	ま	087	05	に少しばかりこの趣意の委しい所を申し	ませ
	ま	087	17	の為め基督教の必要は必ず明らかになり	ませ
	ま	088	03	必要に付て疑ひが皆んな立派に晴れて来	ませ
	ま	088	05	く顕はす故に其の中の重もなる所を申し	ませ
	ま	091	01	．されども熱心を起さするは何で御坐り	ませ
	ま	091	07	も大いなる邪魔を為すものは何で御坐り	ませ
	ま	091	08	んど畜生にまで下げるものは何で御坐り	ませ
	ま	091	09	最も大いなる害になるものは何で御坐り	ませ
	ま	091	10	前以て棄てねばならぬものは何で御坐り	ませ
	ま	091	10	りませうか．先づ其の言葉が種々御坐り	ませ
	ま	092	05	話しが長くなりますから先づこゝに摑き	ませ
	ま	092	13	歩させるの有り難い好結果は必ず現はれ	ませ
	ま	092	14	して諸君御銘々の義務は明らかで御坐り	ませ
	ま	093	15	が国に於て之を裁判するのが順序であり	ませ
	ま	094	05	本の裁判権理に付するのが至当で御坐り	ませ
	ま	094	07	て研究するを要するは英吉利法で御坐り	ませ

出現文脈	
う．それで酒を飲む者は無欲だといふことがよ	
う．己れの大切なる智慧までも徳利の中へ質物	
う，報国をしようとか大事業を仕遂げようとか	
う．一方のヒロソヒーの方は調子が合ふから人	
う．諸君は「大いなる社会は大いなる欲」とい	
う．社会と云ふことは一つのきまりたる解は至	
うが今まで翻訳書をあてにした人はこの時に差	
うが今の所では漢字を読ませるのは惜い月日だ	
う．必竟我が邦が開化して鉄道が出来た為めで	
う．又先刻坪井医学士が言ふた通り英吉利は衛	
う．此の県下で六伝染病中チフスの居候が最も	
う．所で人間の性と云ふものは兎角便利な物を	
う．されば私は尚ほ一層進んで其の害を詳論し	
う．又諸君が田舎に於て真赤に塗りたる寺院を	
う．又緋縅の鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のと	
う．故に概して言ふときは半開化人の好むもの	
う．所で，この人力車がドウいふ利益があるか	
うが現今に至つては非常に濫用の弊を生じて斯	
う．されば人力車濫用の弊たるや国民衛生上頗	
う．況んや之を引き疾駆するものに於ては一層	
う．現に人力車夫に頓死者の多きは諸君も既に	
う．併し斯の如く有害なるにも拘はらず日に月	
う．所で，この人力車を廃して馬車なり何なり	
う．又従つて二十余万の人の健康を害すること	
う．されば人力車を廃して馬車に代るは頗る緊	
う．故に私は人力車や丸髷島田の増減は日本男	
う．古語に曰く「木静ならむと欲して風未だ止	
う．孛国の司法制度を説き併せて所感を述ぶ明	
う」と申すより外は御坐いませぬ．併しながら	
うが孛漏生国では裁判官たるの能力を有するに	
う．実に邦国の幸ひで御坐います．而して孛漏	
う．又判事補は九百〇六人，代言人は千〇六十	
う．斯の如く法律学者の鼈出いたしますのは我	
うが一個人の上に付て言つて見ましたら，さう	
うか．其のワケはドウいふもので御坐りませう	
うか．先づ進歩と云ふ漢字の和訓でも分りませ	
う．即ちスゝミユクと云ふことで御坐ります．	
う．第一．凡そ社会の進歩は一個人の進歩に由	
う．第二．人間の進歩の働き方，其の発達の仕	
う．併しながら商法の進歩と云ふものは実に商	
う．欧羅巴中古の例を申しますならばイスパニ	
う．たとへば横浜から亜米利加のサンフランシ	
う．欧羅巴各国において箇様な種々の進歩が御	
う．併しながら私が思ふに此の演題を証拠だて	
うか，また，これ等の善き性質，人の益になる	
うかイヅクに尋ねたならば分るであらうかドコ	
うか．アゝ基督教の大切なことの明らかになる	
う．たとへば彼の人の悪しき性質，人の害にな	
うと存じます．未だ基督教を委しく研究せずし	
うと心得ます．けれども既に演べましたものの	
う．第一．先づ種々の進歩を致さうと思ひます	
うか．厚き志を起すには基督教に競ぶべきもの	
うか．人間を衰へさせて殆んど畜生にまで下げ	
うか．人間の最も大いなる害になるものは何で	
うか．また進歩しやうと思ふ人が前以て棄てね	
うか．先づ其の言葉が種々御坐りませうけれど	
うけれども，たゞ一言で申すならば即ち罪で御	
うけれども，終りに一言を申したう存じます．	
うと存じます故にこの大日本帝国に対して諸君	
う．ノルマントン号船長の罪を鳴らさんとせば	
う．なぜなれば安寧に関する法律は其の土地に	
う．併し今日は治外法権が存して居るから英国	
う．併し私は英吉利法は職違ひで御坐りますゆ	

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ませ）	ま	094	09	利法のことは大谷木君が後程，陳べられ	ませ	うから私は英吉利法によらずして法理に付て考
	ま	094	11	ます（これは言はずとも御承知で御坐り	ませ	うが）我が同胞二十五人が水中に葬むられ魚の
	ま	094	14	のみならず諸君も定めて御同感で御坐り	ませ	う．害に諸君のみならず全国の人も同感で御坐
	ま	094	15	諸君のみならず全国の人も同感で御坐り	ませ	う．実に同感ならざるを得ぬことです．併し此
	ま	095	02	んでは之を救ふが道徳上の義務で御坐り	ませ	う．況んや其の身船長であれば斯の如き場合に
	ま	095	11	畢りたるは俗に言ふ片落ち裁判で御坐り	ませ	う．併し結局取り調べた上若し充分なる証拠の
	ま	095	15	号船長のことに付て証拠が明かで御坐り	ませ	うか．暗礁に乗りかゝつてから船長初め逃げた
	ま	095	16	いふも実は推測に過ぎないことで御坐り	ませ	う．これを以て謀殺に当る故殺に当るといふも
	ま	097	01	せぬ．而してこの証拠を如何にして集め	ませ	うか．死人に口なしであるから生かして言はせ
	ま	097	10	むことを願ひます．私の演説は此に止め	ませ	う．尚ほ委しきことは大谷木君が英国の法律に
	ま	097	11	大谷木君が英国の法律に照して論ぜられ	ませ	うから．真正の改良明治十九年十一月十八日「
	ま	101	07	り彼等より軽侮軽蔑を受くる原因であり	ませ	う．まづ第一に何を証拠として日本人は真面目
	ま	103	09	て疑はず百折不撓の精神が出るのであり	ませ	う．皆な宗教信仰の深き故であります．また弘
	ま	103	16	教を盛んにするにあることは明瞭であり	ませ	う．次ぎに日本の国情を外国に知らしむる方便
	ま	106	02	刑事裁判で無いといふことが明かであり	ませ	う．千八百五十四年に英国政府に於て制定され
	ま	108	12	ドウかは我々が粗々判定することが出来	ませ	う．船が今沈没するといふときに其の乗客は船
	ま	108	13	乗客は船長運転手等の指図を如何に思ひ	ませ	うか危険を避けやうといふにはドウいふことを
	ま	109	02	客にして大船に残つて居ることを甘んじ	ませ	うや．彼等乗客は水夫等は船の事を知つて居る
	ま	109	03	うといふことはドンナ愚鈍の者でも分り	ませ	う．千八百五十五年に英国政府にて頒布された
	ま	109	10	のなることは誰れも想像することであり	ませ	う．決して端艇は何の為めに附いてあるか知ら
	ま	113	11	いふことは誰にもよく分ることで，あり	ませ	う．併しながら飲食といふものは人の大慾であ
	ま	117	08	欲，即ち動物的の欲を節することが出来	ませ	う．其れでこそ此の会が必要になることぢゃ．
	ま	119	11	ことは誰もよく承知して居ることで有り	ませ	う．酒の害が世界に及んだことは段々と穿鑿が
	ま	121	04	ふことが分れば自然と節酒する人も殖え	ませ	うし随つて西洋人の言ふ人間の品位と云ふもの
	ま	121	05	云ふものを上げることも出来る様になり	ませ	う．「酒を飲む為めに人間の品位が余程下つた
	ま	122	03	す．これは外のことからも殖えるで有り	ませ	うが酒の為めに殖えることが有るのはチョイと
	ま	122	04	チョイと考へると其の関係が妙に思はれ	ませ	う．また其の為めに最も恐るべき徴毒が殖え，
	ま	122	12	かういふ様なことは外のことからも起り	ませ	うが多くは酒の上から来るもので有りませう．
	ま	122	12	せうが多くは酒の上から来るもので有り	ませ	う．就ては此の節酒会の会員も四百五十人ばか
	ま	123	07	たら酒に付ては沢山に色々なことがあり	ませ	う．節酒と云ふことは先刻湯本さんの演説にも
	ま	124	11	の益になるものに会ふことは多う御坐り	ませ	う．これは実に不思議なことでは御坐りませぬ
	ま	125	07	若い伝道師を困らせるものは何で御坐り	ませ	うか．伝道師が度々聞く所の反対論といふもの
	ま	125	08	ふものはドコから起つて来るもので有り	ませ	うか．所謂る書生が起す所の色々の論は多く何
	ま	125	09	色々の論は多く何に本づいたもので有り	ませ	うか．傍聴人の耳を塞ぎ，よく其の心を奪ふも
	ま	125	10	ぎ，よく其の心を奪ふものは何で御坐り	ませ	うか．今之に答ふるに，これは即ち近来盛んに
	ま	125	11	ち近来盛んに開けた学問学術なりと申し	ませ	うか．イゝエ決してさうでは御坐りませぬ．総
	ま	126	01	お方の中に，よく熟したる学者も御坐り	ませ	う．けれども，こゝに一つの不審なことが御坐
	ま	126	07	生はドウしてよく之に答へることが出き	ませ	うか．箇様なお方にあふときは如何なる処置を
	ま	126	08	如何なる処置を以て成功することが出来	ませ	うか．学術の色々の反対論に答へるには色々の
	ま	126	10	て申し上げ，また兼ねて其の得失を弁じ	ませ	う．第一．年若き卒業生の中に珍らしい勇者が
	ま	127	09	つと云ふことは迚も出来ぬことで御坐り	ませ	う．故に先づ用心する方が宜しう御坐ります．
	ま	128	08	に先づ暫時の間，待つ方が宜しう御坐り	ませ	う．即ち各国の学者皆よく互に同意して近来の
	ま	128	09	論を承知するまで待つ方が宜しう御坐り	ませ	う．其の外に学術の色々の論の中にたゞ一人か
	ま	128	13	で有るか無いかと問ふことも宜う御坐り	ませ	う．卒業生が各国の学者たちの判断を待ちます
	ま	129	12	はれた，これから我が道徳法がドウなり	ませ	うか」と．また或る人が「旧約聖書に就てＧｌ
	ま	129	13	りました故にかの旧約書は遂にドウなり	ませ	うか，斯の如き論によつて基督教が遂に滅びて
	ま	131	05	適当したる仕方は如何なるもので御坐り	ませ	うか．第四．其の一つの至極よい仕方はこれで
	ま	134	16	むには其の外にまだ色々の仕方が御坐り	ませ	うけれども先づ今日説きまする所のおもなるも
	ま	135	05	らば基督教の趣意も亦狭いもので御坐り	ませ	う．ナゼなれば基督教は則ち世界中の為めで御
	ま	135	08	所は多分諸君皆お聞きなされたで御坐り	ませ	う．即ち「万国を周りて万民に此の教をのべ伝
	ま	138	01	人に小言を頂戴いたす様な心持ちも有り	ませ	うがリットンやスコットのドラマやノベルを読
	ま	139	13	れば高尚の学者社会にては貴まれて居り	ませ	うが，さほど人望家で無いと申します．然るに
	ま	139	17	白いと言ふことをお看認めになるで有り	ませ	う．其の効力と言ふものは兎に角ナポレオン三
	ま	140	15	ひ文学がサホド進んで居らぬ故でも有り	ませ	うが多くは作者自ら為したことと思はれます．
	ま	141	07	らずして之を進歩せしめざりしとに因り	ませ	う．尤も馬琴，三馬，京伝などは少々学問も有
	ま	141	10	れば卑しめらるゝも当然なることで有り	ませ	う．之を改良するには小説家の資格からして改
	ま	143	15	なら米八になつて見たいと云ふ心が生じ	ませ	う．然らば斯様なものは是非排斥してしまはな
	ま	145	14	テが有つて私も一万円私も二万円を出し	ませ	うとてモハヤ十五六万円あるさうで二三年の中
	ま	147	08	始めて並べて見るのも一つの順序であり	ませ	う．さて，スタチスチックと行政法との関係に
	ま	148	11	れから尾張の名古屋とかいふことが有り	ませ	う．日本で今，市街はドウかしなければならぬ
	ま	149	15	，政治上のことに付ては最も必要であり	ませ	う．これが行政法とか憲法とかいふものを一回
	ま	150	01	るといふことを一言申し上げるやうにし	ませ	う．凡そ法律は公法と私法とに別れ私法といふ
	ま	151	05	ましたのは漢学者などは色々お説があり	ませ	うが行政上できめては官は行政府で其れは全国

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ませ）	ま	153	17	れは憲法学に長じた人が講究するであり	ませ	うから私は申しませぬ．憲法と行政法との関係
	ま	154	05	色々の奇談もありますが其れは先づやめ	ませ	う．学問と宗教との極点を論ず明治十八年十月
	ま	155	11	も知れないからオシが強いやうだが言ひ	ませ	うが文部省から出た達しに三十七から有つたネ
	ま	156	03	．先づ一つ，むつかしいことの話しをし	ませ	う．皆さま御存じのことだが昔は天が円くつて
	ま	158	07	云つて詰めると段々に知れるやうになり	ませ	う．モウ一つ話しませうが其れは雷であの人は
	ま	158	08	知れるやうになりませう．モウ一つ話し	ませ	うが其れは雷であの人は．あの人はと言ふと，
	ま	164	06	つの話しが載つて居た．今其の文を読み	ませ	う．余亜丁に在り聞く数年前，法君那波倫第三
	ま	166	16	碗は土瓶や茶碗だといふことは見て分り	ませ	うがドウして出来たものか，たゞ一見しては分
	ま	167	01	はしてケミストリーで見ると，よく分り	ませ	う．見たばかりでは事実も道理も分りませぬ．
	ま	167	06	はつて人世に大功徳を及ぼすやうになり	ませ	う．さつきの宇川さんの「離縁の話し」なども
	ま	167	07	付て来たから，おつつけ分るやうになり	ませ	う．宇川さんだつて日本に居つては迚もあれだ
	ま	167	14	によらなければ，ならぬのは勿論であり	ませ	う．我が日本には昔より東漸といふことがあり
	ま	168	01	取られて御覧なさい，日本はヤミになり	ませ	う．其の外，色々ありませうが先づそんなもの
	ま	168	01	はヤミになりませう．其の外，色々あり	ませ	うが先づそんなものです．世が開けるに従つて
	ま	169	08	うに見えます．これには色々な訳もあり	ませ	うが今日の題の外だから言ふのはよしませう．
	ま	169	09	せうが今日の題の外だから言ふのはよし	ませ	う．然るに此の両三年以来我が国の人心の東に
	ま	170	01	に行く者の中には随分下等の人物もあり	ませ	うが云はゞ先づ玉石混淆の雑種人でありませう
	ま	170	02	うが云はゞ先づ玉石混淆の雑種人であり	ませ	う．けれども国人の移住は大変な運動を起して
	ま	170	03	るもので，この位なことは当り前であり	ませ	う．これは日本ばかりで無く世界万国の免れな
	ま	170	06	方は金も千両なら千両揃へて持つてゆき	ませ	うが亜米利加へ行く者の方はさうでありますま
	ま	170	08	つたので無く全く自発して行くのであり	ませ	う，富貴の働きの方には限りがありませうが人
	ま	170	08	ませう，富貴の働きの方には限りがあり	ませ	うが人民の自発の方には限りはありますまい，
	ま	170	09	に関係することで後日に至つてよく分り	ませ	うと思はれます．さて日本人が一たび海外に移
	ま	170	11	始めるやうになつたらドコを好んで行き	ませ	うか．朝鮮か満州か又は支那を好んで行きませ
	ま	170	12	か．朝鮮か満州か又は支那を好んで行き	ませ	うか．さうでありますまい．朝鮮や満州や支那
	ま	171	09	開けたら渡航するにも大層な便利があり	ませ	う．また十日平均位に行くことも出来ませう．
	ま	171	09	せう．また十日平均位に行くことも出来	ませ	う．一昨日，亜米利加に行つて居る私の次男か
	ま	171	12	出稼の運動が始まつたら益々便利になり	ませ	う．また我が国の人民は北亜米利加に向つて行
	ま	172	01	人もヨッポド阿片を飲むことになつて居	ませ	う）外国の酒類の輸入を予防せしめたこと我が
	ま	173	07	るものは先づ無いやうになつたので知れ	ませ	う．若し我が日本の国人と北亜米利加の人と親
	ま	174	05	十万二千四百三十四人の日本国人となり	ませ	う．一体，数字はシャレ骨のやうで見ても面白
	ま	174	10	かりでも一箇年に十一億四千万円になり	ませ	う．ドウでありませう，其の「三八，〇〇〇，
	ま	174	10	一億四千万円になりませう．ドウであり	ませ	う，其の「三八，〇〇〇，〇〇〇」の数字なる
	ま	174	14	費用は二倍して二十二億八千万円となり	ませ	う．チョイと考へると百年は遠いやうで死んだ
	ま	175	06	申した通りであれば後々とても人が殖え	ませ	う．若し人が減つて来たらモウ望みは無い．減
	ま	175	14	が日本国の将来も望みの無いことになり	ませ	う．このことは吉事で無いから言ふことは本意
	ま	176	03	で移住出稼ぎの運動を始めるやうになり	ませ	う．これはチョイと考へると愛国心が無いやう
	ま	177	04	と其の地，其の地で定まつた有様もあり	ませ	うし，また変つた有様を見ることも出来ませう
	ま	177	04	うし，また変つた有様を見ることも出来	ませ	う．其の年々の大数を得るに従つて其の運動の
	ま	177	10	，益々日本帝国を繁昌させることが出来	ませ	う．先づ箇様な訳で先日も学士会院で演説しま
	ま	177	12	書いたものを読んで，この演説をしまひ	ませ	う．右は一席の演説にて一大事の方法を述べた
	ま	181	11	煙を禁ずるのもまた大事な改良で御坐り	ませ	う．酒の社会を害することは実に夥しいことで
	ま	181	12	を害することは実に夥しいことで御坐り	ませ	う．煙草の害もまた随分少なからざることで御
	ま	181	12	害もまた随分少なからざることで御坐り	ませ	う．然しながら私の考へには禁酒禁煙は抑も末
	ま	182	13	も多数であるかと尋ねたら如何で御坐り	ませ	うか．上等にも中等にも矢張万人に一人の割合
	ま	182	14	張万人に一人の割合だといふことが出来	ませ	うか．上へ往けば往くほど其の割合が多くなる
	ま	182	17	人の妾を蓄る力があつたらドウで御坐り	ませ	う．其の結果は実に思ひ遣られます．また我々
	ま	184	10	ししたら，ドウして一夫一婦の教が立ち	ませ	うか．誠に恥かしいことながら恐らくは世界中
	ま	187	01	殊に婦人の良友たることは明白で御坐り	ませ	う．今より大凡一千八百八十年前に処女マリヤ
	ま	189	02	いふ立法権の種類に属すべきものであり	ませ	う．其れから執行権の事は絶えず分れて居つた
	ま	189	16	になつて居る国もあり其の他，色々あり	ませ	う．其れで，この執行権の方になりますと執行
	ま	191	15	日本でも調べたら色々面白いことがあり	ませ	う．其れで立憲権力即ち一国に関することをき
	ま	194	04	は行政官権，行政議会，行政裁判を論じ	ませ	う．今日は少し講旨と離れて居ることではあり
	ま	195	05	出ました．諸君は定めて御記臆で御坐り	ませ	うが，これは朝，日の出ます前に，東に当つて
	ま	198	05	枝は咲きますがザットお話しをしておき	ませ	う．先づ楕円とはドンナもので有るかと云ひま
	ま	201	05	ことも分りさうなもの」とお疑ひになり	ませ	うが，そこにむつかしいことが有るので，ヨホ
	ま	202	12	ツをのんで待つて居つた」と．でも言ひ	ませ	う．ところが果して其れが肉眼で見えました．
	ま	204	11	をお読みになつたお方は御承知で御坐り	ませ	うが，千四百五十六年はトルコ人がコンスタン
	ま	205	07	の有ることも一年に三度位はキット有り	ませ	う．丁度同じ位なもの故，イツもイツも彗星の
	ま	206	12	寧ろ子を生んだと云ふ方が宜しう御坐り	ませ	う．其れは丁度サトイモに子の出来たやうな塩
	ま	212	03	当の彗星の中へ這入れるのは推して知れ	ませ	う．たゞ少し恐ろしいのは若しや彗星の心がぶ
	ま	212	11	なりますから今一言して此の講談を終り	ませ	うが，千九百〇九年，即ち今から二十六年後に
	ま	212	14	星の話をするのも随分面白いことで有り	ませ	う．其の時こそ学問も今日より進んで彗星の物

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ませ）	ま	212	15	何物たるかと云ふことを言ふことも出来	ませ	う．先づ其れまではお預かりにしておきませう
	ま	212	15	う．先づ其れまではお預かりにしておき	ませ	う．小説と演劇との関係明治二十年二月二十日
	ま	213	05	とした名説でも有るやうに諸君が思はれ	ませ	うが其れならば大違ひ．私は性来，不才だから
	ま	215	06	もので有つたならぢき，さびれてしまひ	ませ	う．世の風潮の満ち干と云ふものは実に面白い
	ま	215	09	と致して小説と演劇との成り立ちを申し	ませ	う．先づ小説の成り立ちよりして来歴の次第を
	ま	215	10	説の成り立ちよりして来歴の次第を申し	ませ	う．しかし之を申すには西洋の小説も支那の小
	ま	215	13	持ち前の我が国のことばかりに付て申し	ませ	う．先づ我が国の小説は昔話しから出たもので
	ま	216	13	う云ふことからして始まつたもので有り	ませ	う．其れから我が国に古く霊異記だの感霊録だ
	ま	217	02	古雅な所を見れば延喜以前のもので有り	ませ	う．竹取物語の大意は竹取の翁と云ふ人が竹を
	ま	217	15	云ふ品目を立てたのに拠つたもので有り	ませ	う．其れは源氏物語の標目は仏道に拠つたと云
	ま	218	05	めかしたのは同体の仮名文だからで有り	ませ	う．さて，伊勢物語，源氏物語などはイサヽカ
	ま	219	01	云ふ真の理と云ふものに近い訳でも有り	ませ	うか．さて，其れに付てチト話しが横道に入り
	ま	220	05	白いだけにお負け話しが有ることで有り	ませ	う．まして曽我兄弟のことを書いた曽我物語だ
	ま	222	09	までとして，これから演劇のことを述べ	ませ	う．演劇は舞と，能の狂言とが転変してア一云
	ま	222	11	大要を申して次に其の濫觴をザット述べ	ませ	う．先づ我が国の上古には久米舞，吉志舞など
	ま	223	01	れが演劇の濫觴とも云ふべきもので有り	ませ	う．足利の始めに観世氏の祖，観阿弥世阿弥の
	ま	224	17	りますから共に体面を改めるやうになり	ませ	うが，小説の方は，これまでと違つて立派な人
	ま	225	02	て必ず目ざましい改良を見ることが出来	ませ	うが演劇の方はまだ見物の了簡が強盗や情死で
	ま	226	11	政，第二部は行政裁判と云ふ順序に致し	ませ	う．先づ第一部に於ては行政官権並びに行政議
	ま	226	15	致します．先づ第一部から申し上げて見	ませ	う．即ち行政官権及び行政議会のことで御坐い
	ま	227	03	．よつて第一部では両方一所に申し上げ	ませ	う．先づ第一に行政上の土地の区画と云ふこと
	ま	232	16	す．今日は先づこれまで申し上げて置き	ませ	う．専修学校生徒卒業式祝辞明治二十年七月十
	ま	237	17	また大いなるイサヲシを為すことが出来	ませ	う．ただ今日のヤサシイことを知つて昔の二大
	ま	242	02	全体のことを御熟知なされたる方も有り	ませ	うが，中には監獄の如何をも知らない方が無い
	ま	242	08	した趣意に従つて申し上げることと致し	ませ	う．監獄は昔は牢屋と申しました．フランスで
	ま	242	15	の大政を掌ると何ぞ異なるところが有り	ませ	うや．先づ監獄は行政権に属するもので有りま
	ま	243	02	るから第一に監獄の行政上の位置を述べ	ませ	う．さて監獄は行政上に於て如何なる部分に属
	ま	245	15	の目的及び方法を申し上げることに致し	ませ	う．さて，監獄は前に申し上げたる通り刑の執
	ま	247	05	の分らないことだ」と思つて居るで有り	ませ	う．此れ等の人物に向つては其の悪いと云ふこ
	ま	248	07	きを得ざると云ふことに基づくので有り	ませ	う．前に申しました所が則ち監獄の目的及び方
	ま	249	12	．これよりは監獄と教育との関係を述べ	ませ	う．此のことに付ては次に図を示して申て上げ
	ま	249	12	のことに付ては次に図を示して申て上げ	ませ	う．人生れて，丁年に至るまで（即ち二十歳に
	ま	250	11	年齢を以て二つに区分いたして申し上げ	ませ	う．即ち丁年以上の者が悪い事をすると不良民
	ま	251	03	訳であるか」と云ふ疑ひを起す人が有り	ませ	うけれども決してさういふ訳では有りませぬ．
	ま	251	10	て居りまする．然れば右のお疑ひは晴れ	ませ	う．今度は未丁年の不良者でありまして此の者
	ま	255	10	と決して左様なものではない有様であり	ませ	う．然るを監獄ばかり先祖が悪かつたと云つて
	ま	256	03	まするから貧民救助のことを簡略に述べ	ませ	う．貧民の救助と申しまするものは慈恵に係る
	ま	258	17	ります．これは全国を調べたら随分あり	ませ	う．これは放免者保護会社でも出来たときには
	ま	260	04	て之を補ふとも引き足らないやうになり	ませ	う．第五，必需入額及び予備入額の備はりたる
	ま	261	01	か銭を使ふと云ふことの無いやうになり	ませ	う．第七，被救助者の姓名は役員の外，他人に
	ま	261	17	．これより欧米の監獄の事を一言いたし	ませ	う．初めにも申しました通り，フランスにおき
	ま	264	14	一斑は一目してお分りになることで有り	ませ	う．此の表の中で第一の犯罪予防部の事業は二
	ま	267	14	すべき事業は明瞭にお分りになるで有り	ませ	う．前に申した方法は二百年以来エウロッパの
	ま	268	03	さて，これより欧洲の監獄の種類を述べ	ませ	う．これには二つの区別が有りまして一つは軍
	ま	269	01	監獄に関する実例を申し上ることに致し	ませ	う．順序は前と違ひますが中央獄は二十四箇所
	ま	271	07	て，これよりは日本の監獄のことを申し	ませ	う．付ては先づ日本の監獄の種類から申しませ
	ま	271	09	．付ては先づ日本の監獄の種類から申し	ませ	う．これにも軍事の監獄と普通の監獄との区別
	ま	271	10	の監獄に関係しましたことだけ申し述べ	ませ	う．普通の監獄を別ちますると第一，留置場．
	ま	273	02	監獄に関する実例を申し上ることに致し	ませ	う．（これは内閣統計局編纂の「日本帝国第五
	ま	274	05	三万八千人を殖すことはイト易いであり	ませ	う．これにて欧米の監獄のことと，我が国の監
	ま	274	09	より監獄の改良と申すことを一言いたし	ませ	う．監獄は実に数万の囚徒を取り扱ふ所で前に
	ま	275	15	遠からずして其の効を奏することになり	ませ	うと考へまする．之を要するに我が国の現在の
	ま	276	11	と云ふやうな大間違ひを致すことになり	ませ	う．若し斯くの如き囚徒が有りましたときには
	ま	278	13	とは追つて著書に於て論ずることと致し	ませ	う．
	ま	207	05	は日本で此の流星を見たと云ふ人は知り	ませ	ず，私は其の頃はまだ気をとめませんで有りま
	ま	001	11	と，考へが無いなら会員になつては居り	ませ	ぬ．其の考へはもとより参議方どころでは無く
	ま	006	14	が有る．さてさて困つたことでは御坐り	ませ	ぬか．さういふ訳で有るから私は一刻も早く漢
	ま	006	16	したいと申した所が，さううまくは参り	ませ	ぬ．泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名の会は
	ま	007	10	になる．其れでよいことで有るかは知り	ませ	ぬが歎はしいことは大臣や参議に名筆のお方が
	ま	008	10	に温かい褥の上に坐つて居ることは出来	ませ	ぬが，そんな人が少ないから漢字はなかなか廃
	ま	008	11	な人が少ないから漢字はなかなか廃され	ませ	ぬ．さて漢字を廃するなら方法は如何といふに
	ま	011	12	のが半分，知らないものが半分かも知れ	ませ	ぬ．さりながら人間の物知りたがりには限りの
	ま	012	10	で有ります．併し其れは私の目的で有り	ませ	ぬから，地理学の初歩は御存じと見做して別に

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ませ）	ま	012	11	て別に今日は地理学のことは御話し申し	ませ	ぬ．「亜細亜から欧羅巴へはドウ往く」「日本
	ま	013	06	との出来るものです．昔はさうでは有り	ませ	ぬが今日ではまごついて二三千里位のむだ足は
	ま	014	12	と，これは其の遠さが知れない間は分り	ませ	ぬ．総て物は同じ大きさに見えても大きくて遠
	ま	014	14	唯見た計りでは大きい小さいの論は立ち	ませ	ぬから先づ距離を測るのが第一番のことで有り
	ま	015	03	々間縄を打つたり足ぶみをして調べはし	ませ	ぬ．唯最初の一個所だけを直に測りまして，あ
	ま	016	04	ますが月の直径は八百八十七里ほか有り	ませ	ぬ．其れ故に地球の直径十一分の三，即ち地球
	ま	016	05	直径を十一に割つて其の三つにほか当り	ませ	ぬ．そこでザット地球と月との位置を比べて見
	ま	016	12	りますかと云ふに不幸にして其れは有り	ませ	ぬ．若し有りましても分量が甚だ少くて迚も我
	ま	016	16	が空気と水が無くては人間の生活は出来	ませ	ぬ．月には空気も無く水も無い以上は人間は居
	ま	016	17	く無い訳ではなく少し位は有るかも知れ	ませ	ぬから事によつたら下等の動物位は居るかも知
	ま	017	01	によつたら下等の動物位は居るかも知れ	ませ	ぬ．けれども我々みた様なものは居ない．して
	ま	017	06	す．併し月の距離の様にやさしくは有り	ませ	ぬが測量の出来ないことは有りませぬ．今日の
	ま	017	07	有りませぬが測量の出来ないことは有り	ませ	ぬ．今日の所でも三千七百八十五万里余といふ
	ま	017	13	尺の玉は両手でも抱きまはすことは出来	ませ	ぬ．同じ大きさに見えても月と太陽は非常な違
	ま	018	09	主人親分と貴んでも我々は恥る所は有り	ませ	ぬ．そこで太陽のグルリを地球が回つて居る，
	ま	019	16	ふまでで今一つは望遠鏡で無ければ見え	ませ	ぬ．此の外にもまだ有りますが此の位でおいて
	ま	022	01	火星の住民はズット野蛮で有るかも知れ	ませ	ぬが，さうしたら金星か其の外にズット進んだ
	ま	022	02	の外にズット進んだのが有るに違ひ有り	ませ	ぬ．そこで其の通りにイクラも地球の仲間が有
	ま	023	02	した数が明日はウソになりますかも知れ	ませ	ぬ．其れから木星は十七丁の距離に在りまして
	ま	024	12	うが天王星に四つ海王星に一つしか見え	ませ	ぬ．太陽は親父で惑星は子，衛星は孫でありま
	ま	025	05	りますから星のことを言はなければなり	ませ	ぬ．さて星が我々の太陽の様なものでは無から
	ま	025	16	らモウ少し大きい物さしでなければなり	ませ	ぬ．今度の物さしは地球の太陽のグルリを回る
	ま	026	02	の距離は大き過ぎて測量することが出来	ませ	ぬ．先づ今日までに知れて居ります距離の中で
	ま	026	06	千九百里ばかりの所に置かなければなり	ませ	ぬ．こんな長い距離は地球をグルッと回つても
	ま	026	07	長い距離は地球をグルッと回つても有り	ませ	ぬ．して見ると云ふと此の一番近い星まで往く
	ま	026	08	まで往くには非常な距離を通らねばなり	ませ	ぬ．箇様に遠くに居ながら，あの通りによく見
	ま	026	12	うが太陽より大きいのも有りますか知れ	ませ	ぬ．此の一番太陽に近い星は何で有るかといふ
	ま	026	13	るかといふに不幸にして東京からは見え	ませ	ぬ．其れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ星で有り
	ま	027	08	までゆくに瞬きをする程の時間はかゝり	ませ	ぬ．月まで行きますにも二セコンドはかゝりま
	ま	027	08	月まで行きますにも二セコンドはかゝり	ませ	ぬ．其れがαＣｅｎｔａｕｒｉから来るには三
	ま	027	11	ケ月たつて始めて分る，其れまでは分り	ませ	ぬ明りが途中でまごついて居るから．これから
	ま	027	14	居るがどれだけ遠いかと云ふことは知れ	ませ	ぬ．今まで申しました星は肉眼で見ゆる位な星
	ま	030	08	ります．其れには譬へを取らないといけ	ませ	ぬ，こゝによい物が有りますアマノガハといふ
	ま	031	02	て居る者が沢山ある．併し肉眼では見え	ませ	ぬ．其れからして又其れと類似したもので矢張
	ま	032	02	の太陽系に移る様なものであるかも知れ	ませ	ぬ．此の二番目の説にすれば最初の問題に続け
	ま	032	04	ます．併し此の説は全く確な説では有り	ませ	ぬからハッキリとは言へませぬ．ことによれば
	ま	032	04	説では有りませぬからハッキリとは言へ	ませ	ぬ．ことによれば第一の説の如く我々の見るこ
	ま	032	08	れまでといふ所までこぎつけたかも知れ	ませ	ぬ．いづれにしても私の最初に持ち出しました
	ま	032	09	どこに居るか」といふ問題は立派に解け	ませ	ぬが我々が今日の学力で解けるだけはドウかカ
	ま	034	03	るもので之が為めに害を受けぬ者は有り	ませ	ぬ．然るに今日，日本で「文明」と訳字を付け
	ま	034	10	思ふのは実に条理が分らぬことでは有り	ませ	ぬか誠に不思議な訳では有りませぬか．かうい
	ま	034	10	は有りませぬか誠に不思議な訳では有り	ませ	ぬか．かういふ所から私共も説を立てて見て世
	ま	034	13	と思ひます．諸君はドウ思し召すか知れ	ませ	ぬが私は酒を飲んでは身体を弱らし智慧を鈍く
	ま	034	15	はさうで無い，大慾の人は余り酒を用ひ	ませ	ぬ．歴史などを見ましても酒を飲まない人は古
	ま	035	02	ことを好んで前に述べた様なことは致し	ませ	ぬ．西洋の諺にも「酒が腹中に入れば，智慧は
	ま	035	04	が有りますが何と面白いことでは御座り	ませ	ぬか．諸君はドウお考へなさるか知れませぬが
	ま	035	04	せぬか．諸君はドウお考へなさるか知れ	ませ	ぬが私は面白いことと思ひます．私どもの実験
	ま	035	11	す．あなた方は何とお思ひなさるか知れ	ませ	ぬが私どもは善いと思ひます．其れは外のこと
	ま	051	04	説私はとんと演説を致したことは御坐り	ませ	ぬ．たゞ生徒を集めて講釈を致したことは御坐
	ま	051	08	述べられましたから今日私はそこは申し	ませ	ぬ．たゞ愈々広く益々盛んに此の会の成りゆく
	ま	051	11	では，これで盛大になつたとは考へられ	ませ	ぬ．会にお集まりなされた方が使へるだけは仮
	ま	051	13	に仮名文字の用ひが殖る様の実があがり	ませ	ぬでは名簿ばかりでは盛大と私に於ては思へな
	ま	053	10	長くばかりしては，いつまでも事は出来	ませ	ぬ．また，せいてもいけませぬ．と言つて油断
	ま	053	10	も事は出来ませぬ．また，せいてもいけ	ませ	ぬ．と言つて油断してはすみませぬ．私の工夫
	ま	053	11	もいけませぬ．と言つて油断してはすみ	ませ	ぬ．私の工夫は小学校の初等科の生徒に先づ仮
	ま	055	10	断を望む準備が出来る様で無ければなり	ませ	ぬと思ひます．この自分の持論を述べて諸君に
	ま	057	17	申すことがあります．其れは外でもあり	ませ	ぬが凡て話しと云ふものは何でもオモシロミが
	ま	058	01	何でもオモシロミが無いと脳髄に這入り	ませ	ぬ．彼の欧羅巴の学者スペンサーが曾て申しま
	ま	058	05	べても脳髄に這入らぬときは何にもなり	ませ	ぬから私は極めて俗語で陳べます．併しあまり
	ま	060	07	むといふことを強ち悪く言ふのではあり	ませ	ぬが斯の如く贅沢を行ふ人がドウいふ芸術が出
	ま	061	05	ぶのみで衛生上のことなどは夢にも考へ	ませ	ぬ．我が邦に行はるゝ人力車の如きも其れと同
	ま	065	04	て一朝一夕に論じ尽すことは容易であり	ませ	ぬから大概にして止めやうと思ひますがツマリ
	ま	067	05	が御坐いました．其の後はコチラに居り	ませ	ぬ故に其の後の卒業式のことは存じませぬが今

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ませ）	ま	067	05	ませぬ故に其の後の卒業式のことは存じ	ませ	ぬが今日は幸ひに此の盛場に列するの栄を得ま
	ま	067	12	更に私が諸君に向つて言ふことは御坐い	ませ	ぬ．たゞ「御目出たう御坐います，御愉快で御
	ま	067	13	で御坐いませう」と申すより外は御坐い	ませ	ぬ．併しながら我々は隴を得て蜀を望むの欲を
	ま	067	14	隴を得て蜀を望むの欲を抛つことが出来	ませ	ぬから諸君も今日の卒業を以て足れりとせず益
	ま	068	06	て修めなければ試験を受くることは出来	ませ	ぬ．而して第一回試験の及第から第二回の試験
	ま	068	08	習生となつて実務を見習はなければなり	ませ	ぬ．（見習生はＲｅｆｅｒｅｎｄａｒと申しま
	ま	068	17	までには平均三箇年を待たなければなり	ませ	ぬ．其れはＡｓｓｅｓｓｏｒが多い故裁判官と
	ま	069	06	用大試験を願ひたる者四百七十人に過ぎ	ませ	ぬでしたが千八百八十一年には七百五人となり
	ま	070	11	によつて見れば余程の数を要せねばなり	ませ	ぬ．然るに前陳の如く僅で御坐いまして斯の如
	ま	073	05	出し教育の盛んなること実に欣喜に堪へ	ませ	ぬ．則ち其れだけが祝詞で御坐んすが，これに
	ま	073	13	言ふに至つては必ずしも同一とは言はれ	ませ	ぬ．其の同一で無いと言ふことに付ては一己説
	ま	077	04	利を興すものであるとかいふ様にも参り	ませ	ぬ．浅近の例を挙げて見ますと勉強して金を拵
	ま	079	09	ものには進歩と云ふことが聊かも御坐り	ませ	ぬ．其の進歩すると云ふことは実にひろく世の
	ま	079	15	ものはたゞ進み行くことばかりで御坐り	ませ	ぬ．劣りたる所より優れたる所へ賤き所より貴
	ま	081	02	其の本心本性本質の進歩で無ければなり	ませ	ぬ．人が自分の勝手に作つて用ゆる所の品々の
	ま	081	03	に作つて用ゆる所の品々の進歩で御坐り	ませ	ぬ．進歩といふものは内部から起つて来て外部
	ま	081	04	来て外部に発現するもので無ければなり	ませ	ぬ．外部から起つて来て内部に移る様なもので
	ま	081	05	つて来て内部に移る様なものでは御坐り	ませ	ぬ．全く物体上のことで無く霊魂上のことで御
	ま	081	09	となどのものは進歩と云ふもので御坐り	ませ	ぬ．人の内部の進歩に由つて自然に生ずる所の
	ま	081	11	は必ず人みづからの進歩で無ければなり	ませ	ぬ．人が勝手に造り且，用ゆる所の器物品物家
	ま	081	12	物品物家屋また器械等のものでは御坐り	ませ	ぬ．人の内部から起らずしてたゞ目に見える様
	ま	082	02	如し学術が自分に進歩するもので御坐り	ませ	ぬ．学術に付て人々自分の進歩で御坐ります．
	ま	082	05	が御坐ります．此の種類が完全して居り	ませ	ぬならば他のものが進歩しても完全な進歩が迚
	ま	082	06	ものが進歩しても完全な進歩が迚も出来	ませ	ぬ．此の一つの至極大切なものは即ち道徳の進
	ま	082	09	ねば完全なる進歩を成就することが出来	ませ	ぬ．たとひ，イクラ人の智慧が開けても学術が
	ま	082	11	道徳盛んならば本当な進歩がキット出来	ませ	ぬ．万国史を調ぶれば只今申したことの証拠は
	ま	083	07	りました．支那人決して愚人では御坐り	ませ	ぬ．其の智慧も随分明らかに御坐りますけれど
	ま	083	11	進んで居りますが道徳の進歩充分で有り	ませ	ぬから仏国当時の有様実に気の毒で御坐ります
	ま	083	14	す所には必ず道徳の進歩が無ければなり	ませ	ぬ．さもなければ完全なる進歩が迚も出来ませ
	ま	083	15	．さもなければ完全なる進歩が迚も出来	ませ	ぬ．第五，また人間社会の進歩に付てかう云ふ
	ま	084	01	は常に一様に進んで行くことでは御坐り	ませ	ぬ．きまつた速力で行くもので御坐りませぬ．
	ま	084	01	せぬ．きまつた速力で行くもので御坐り	ませ	ぬ．或る時は進歩の盛んな時も御坐りまするし
	ま	084	04	止まつて居るか或は後れてあるかも知れ	ませ	ぬ．進歩の種々の種類が皆な一所に並んで進み
	ま	084	08	ふに到着の時節も亦知れぬことで御坐り	ませ	ぬ．さりながら人間社会の進歩はさういふもの
	ま	084	09	間社会の進歩はさういふものでは御坐り	ませ	ぬ．たとへば或る時欧羅巴で不意に商法が盛ん
	ま	084	16	進歩は速力の能く定まつたもので御坐り	ませ	ぬ．世の種々の国の様々の進歩を調ぶると云ふ
	ま	086	09	ども，これ等の高尚なものを充分に説き	ませ	ぬ．これ等の大切なものは此の世の権威と勢力
	ま	086	16	柄がサッパリ分らぬと云ふことが御坐り	ませ	ぬ．これ等の高尚なる事柄を世の人に委しく教
	ま	087	03	て誤ること，つまづくことは容易に致し	ませ	ぬ．併しながら不案内の御方が疑ひを起して「
	ま	087	16	ふこと或はつまづくことは容易に御坐り	ませ	ぬ．其れ故にまた箇様な論じ方に由つて見れば
	ま	088	02	ぬ御方は直に，この論じ方を善しと致し	ませ	ぬかも知らぬけれども，この御方若し追々と怠
	ま	088	07	たることを能く承知して居なければなり	ませ	ぬ．若し自分が充分に完全して居ると思つて居
	ま	088	08	と思つて居るならば進歩することが出来	ませ	ぬ．己れが不足なる有りの儘にして満足するな
	ま	088	09	して満足するならば進歩することが出来	ませ	ぬ．米国の土人，ニュージーランド島のマオリ
	ま	088	14	はしたことも御坐りましたがドウもいけ	ませ	ぬ．ニュージーランド島の土人も亦其の通りで
	ま	088	15	でも種々世話を致しましたがヤハリいけ	ませ	ぬ．立派な家を建て家財を備へてやつてもソコ
	ま	088	16	家財を備へてやつてもソコに住居いたし	ませ	ぬ．山奥に逃げてしまひ鹿や猪の様なもので御
	ま	089	01	れの不足な所を能く承知しなければなり	ませ	ぬ．併しながら人の本当の有様，人々の不完全
	ま	089	02	ことを教ゆるには基督教に若くは御坐り	ませ	ぬ．基督教に双ぶものは御坐りませぬ．基督教
	ま	089	02	坐りませぬ．基督教に双ぶものは御坐り	ませ	ぬ．基督教は決して人に諂ふことも無く恐るゝ
	ま	089	07	れて貴い有様へ進むの志が無ければなり	ませ	ぬ．モトの悪しき有様を出でまして善い有様へ
	ま	089	08	へ移る願ひと望みと志しが無ければなり	ませ	ぬ．然らざれば己れが賤きを知つても能く進歩
	ま	089	08	賤きを知つても能く進歩することは出来	ませ	ぬ．併しながら人の心の中に厚き志を引き起さ
	ま	089	12	りますれば進歩せぬことが決して御坐り	ませ	ぬ．第三．また人の種々の進歩を励ます為めに
	ま	089	14	所ないならば進歩を成就することが出来	ませ	ぬ．少しづゝ進歩するかも知れませぬが遂にま
	ま	089	15	出来ませぬ．少しづゝ進歩するかも知れ	ませ	ぬが遂にまた退く様になります．併しながら高
	ま	089	17	なれば，これより上と申すものが御坐り	ませ	ぬ．これより高尚なものが御坐りませぬ．これ
	ま	090	01	りませぬ．これより高尚なものが御坐り	ませ	ぬ．これより貴いものが御坐りませぬ．基督教
	ま	090	01	坐りませぬ．これより貴いものが御坐り	ませ	ぬ．基督教を能く心得たる人には目的が無く己
	ま	090	02	いゆくさきを知らずと云ふことが御坐り	ませ	ぬ．知らぬことが御坐りませぬに由つて進歩せ
	ま	090	03	とが御坐りませぬ．知らぬことが御坐り	ませ	ぬに由つて進歩せぬと云ふことが御坐りませぬ
	ま	090	03	ぬに由つて進歩せぬと云ふことが御坐り	ませ	ぬ．第四．また人の進歩を助くるには人の導き
	ま	090	05	理に疎いならば迚も進歩することが出来	ませ	ぬ．神の御言葉と云ふ聖書の極古い所に申して

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ませ）	ま	090	12	がら耶蘇基督よりも立派な模範が御坐り	ませ	ぬ．仏蘭西のレナンと云ふ不信者さへも耶蘇基
	ま	090	14	耶蘇基督を直接に誹る者が滅多に御坐り	ませ	ぬ．人を完全なる所へ進ませる模範は耶蘇基督
	ま	090	15	進ませる模範は耶蘇基督より外に御坐り	ませ	ぬ．この浮世の荒野の中で基督の足跡を能く尋
	ま	090	16	のは進歩せぬと云ふことが決して御坐り	ませ	ぬ．第六．併しながら種々の進歩を成就する為
	ま	090	17	骨折りと熱心などのものが無ければなり	ませ	ぬ．されども熱心を起さするは何で御坐りませ
	ま	091	02	起すには基督教に競ぶべきものが御坐り	ませ	ぬ．基督教は人間の権力腕力などのものを怖れ
	ま	091	13	て本当の自由を得て進歩することが出来	ませ	ぬ．なぜなれば耶蘇基督は罪悪よりして人を救
	ま	091	17	を免れた人に遇ふたことは一度も御坐り	ませ	ぬ．今弁じた所の種々のことに由つて見ればド
	ま	093	12	があるやといふことを研究したものを見	ませ	ぬ．故に已むを得ず私が一言，諸君に陳べむと
	ま	094	08	英吉利法は職違ひで御坐りますゆゑ知り	ませ	ぬが英吉利法のことは大谷木君が後程，陳べら
	ま	095	03	在つては必ず乗組人を救はなければなり	ませ	ぬ．然るをノルマントン号の船長は我が同胞を
	ま	095	08	トン号船長と雖も罪人とすることは出来	ませ	ぬ．英国領事裁判所に於て被告人のみを審問し
	ま	095	17	に当る故殺に当るといふも其の説は取れ	ませ	ぬ．今法理上より言へば凡そ罪を組成するには
	ま	096	01	には内部と外部との元素が無ければなり	ませ	ぬ．謀殺を以て問ふには予謀殺意及び殺害の所
	ま	096	02	予謀殺意及び殺害の所為が無ければなり	ませ	ぬ．其の証拠を挙げてかゝらぬければ謀殺又は
	ま	096	04	と思ふたとかいふことはまだ現はれて来	ませ	ぬから．又英国の如く怠務殺人となすにもせよ
	ま	096	06	て人を殺したることは之を証せねばなり	ませ	ぬ．其の暗礁に乗りあげてより沈没に至るまで
	ま	096	09	とで御坐りまして充分の証拠とは看做せ	ませ	ぬ．既に我が治罪法にも情況の裁判は禁じて御
	ま	096	10	ましたが今では証拠裁判で無ければなり	ませ	ぬ．英吉利のことは委しく知りませぬが開明諸
	ま	096	11	なりませぬ．英吉利のことは委しく知り	ませ	ぬが開明諸国は大抵証拠裁判になつて居ります
	ま	096	12	ます．然れば証拠が明かでなければいけ	ませ	ぬ．我々がこれだけの罪になるといふに充分な
	ま	096	14	少しく大早計と言ふべきものでは御坐り	ませ	ぬか．然れば今日吾人が我が同胞の為めに尽す
	ま	096	17	は証拠を集め材料を確かめなければなり	ませ	ぬ．而してこの証拠を如何にして集めませうか
	ま	097	01	であるから生かして言はせることは出来	ませ	ぬ．併し水潜り器機もあれば証拠を尋ねるのは
	ま	097	06	で，すておくとは随分長い話しではあり	ませ	ぬか．この証拠蒐集のことは迚も二三の人を以
	ま	103	01	二個の要点に非常の改良を加へねばなり	ませ	ぬ．然らば如何なる改良をしたならば日本人は
	ま	105	12	．然れどもこれ等は総て誤謬たるを免れ	ませ	ぬ．我輩は固より英国領事の裁判を以て至当な
	ま	105	15	者に対しては一言其の妄を弁ぜねばなり	ませ	ぬ．若し該言渡にして論者の思惟さるゝ如く果
	ま	107	01	といふより外は私は言を尽すことが出来	ませ	ぬ．たゞこの感情を言ひ現はすべき言語の無き
	ま	107	07	実に気の毒なことで之を想像するに忍び	ませ	ぬ．さて，このことに付き船長ドレーキに対し
	ま	108	09	紙又は世間の報道より外に材料は御坐り	ませ	ぬ．併しながら未だ知り得ない所の事実を考へ
	ま	109	15	いふのは甚だ請け取れぬことでは御坐り	ませ	ぬか．また諸新聞紙等に拠つて見ますと尚ほ一
	ま	110	16	公平の裁判を為さざるかの疑ひ無きを得	ませ	ぬ．故に寧ろ其の管轄を横浜に移し以て世人の
	ま	111	04	然れども今回の事たる決して之に止まり	ませ	ぬ．元来彼等は一般に日本人其の他東洋人を蔑
	ま	121	08	りますまいか．何でも論ばかりではいけ	ませ	ぬから，よく事実を穿鑿したらば弥々節酒の効
	ま	123	06	を聞きましたが実に妙な慣はしではあり	ませ	ぬか，日本も広いことだから随分穿鑿をしまし
	ま	124	12	う．これは実に不思議なことでは御坐り	ませ	ぬ．ナゼといふに使徒Ｐａｕｒｏの御言葉によ
	ま	124	15	ら多くの助けと益を受ける筈では御坐り	ませ	ぬか．これ実に幸ひなことで御坐ります．けれ
	ま	124	16	に助けられて楽の出来るものでは御坐り	ませ	ぬ．逆風に妨げられる所もあらう．卒業生の助
	ま	125	04	ャント部分けして委さに説くことが出来	ませ	ぬ故に其の種々の物の中からたゞ一つの著るし
	ま	125	11	ませうか．イゝエ決してさうでは御坐り	ませ	ぬ．総て真の学術また其の色々の正しき結局は
	ま	125	12	き結局は基督教に敵対したる者で御坐り	ませ	ぬ．基督教の色々の反対論といふものは，おも
	ま	126	17	る所の方法は決して，よいもので御坐り	ませ	ぬ．西洋の高名なる学者といふものは大抵皆な
	ま	127	03	る間は間違ひに陥ることは滅多に御坐り	ませ	ぬ．一般にはこれ等の人は随分タシカな人で有
	ま	127	11	専門家の論は非難し易いものでは御坐り	ませ	ぬ．故に私もこの若い勇者の仕方をよしとする
	ま	127	12	若い勇者の仕方をよしとすることは出来	ませ	ぬ．第二．また或る説教師は総て学術の趣意を
	ま	128	11	か或は誤つたものであるか未だ一向分り	ませ	ぬ．若し遂に各国の学者皆な近来の色々の論を
	ま	128	14	意に衰へてしまふ気遣ひは決して御坐り	ませ	ぬ．故に此の第二の仕方も亦よい仕方で御坐り
	ま	128	15	に此の第二の仕方も亦よい仕方で御坐り	ませ	ぬと存じまする．併しながらこゝに一つの珍ら
	ま	128	17	教の教師の仲間に限つたものでは御坐り	ませ	ぬ．国政家の中にも喜んで色々の無証拠な設理
	ま	129	02	術家の中にも箇様なものが無いと言はれ	ませ	ぬ．けれども君子なる政治家と学者と教師は不
	ま	129	03	色々の新しき論によつて容易に惑はされ	ませ	ぬ．君子はシッカリしたもの用心するもの，ま
	ま	129	09	御坐りますけれども無いものでも御坐り	ませ	ぬ．箇様な人が言ふ「嗚呼哀しいかな先だつて
	ま	129	16	坐ります．実にをかしいことでは御坐り	ませ	ぬか．勿論，学術に於ては鬼の角をぬきとるの
	ま	129	16	於ては鬼の角をぬきとるの効力が御坐り	ませ	ぬけれども鬼の角を人の額に生えさせるもので
	ま	129	17	の額に生えさせるものでも決して御坐り	ませ	ぬ．世の人の中に基督教の結局の勝敗に就て色
	ま	130	02	ものが有るのは不思議なことでは御坐り	ませ	ぬけれども教師たちと神学卒業生の中には箇様
	ま	130	03	道徳法の基は決して弱きものでは御坐り	ませ	ぬ．基督教は則ち造物主の御心と人間の天然の
	ま	130	12	滅びてしまふと云ふことは決して御坐り	ませ	ぬ．先づ安心なされませ．独逸国の有名なる哲
	ま	131	01	，新発明によつて容易に変ることは致し	ませ	ぬ．また人間の心に植えられたる所の道徳の法
	ま	131	10	日も其の色々の書名を挙げることが出来	ませ	ぬほどで御坐ります．たゞ一方の論のみを読み
	ま	131	12	との関係の本当の道理は分ることが出来	ませ	ぬ．其の両方の論を読む者は世の中の色々の激
	ま	131	13	の為めに不安心なることは滅多に御坐り	ませ	ぬ．第五．また善い仕方が御坐ります．卒業生

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ませ）	ま	132	03	出来ます．この仕方の益は少なく御坐り	ませ	ぬ．第六．また総て神学卒業生は常に研究する
	ま	132	14	仕方で有ります．基督教の仕方で御坐り	ませ	ぬ．偽りを倒すよりも真を立てる方がよい仕方
	ま	133	02	拠はたゞの議論に負け易いもので御坐り	ませ	ぬ．この仕方のよいことは昔から明かで御坐り
	ま	133	12	たれば本人が「イヽエ，さうでは御坐り	ませ	ぬ，未だ基督教を聞いたことは御坐りませぬ，
	ま	133	12	せぬ，未だ基督教を聞いたことは御坐り	ませ	ぬ，けれども見たことは御坐りまする」と答へ
	ま	134	10	所の道理に善く適ひたるものでは御坐り	ませ	ぬか．原因と結果，本と末といふものが有りま
	ま	134	15	て基督教に付て堅い証拠を立てねばなり	ませ	ぬ．基督教の反対論に答へむには其の外にまだ
	ま	135	02	言ふお方は神学卒業生で御坐るかも知れ	ませ	ぬ．若し私ども専らに基督教をのみ研究し且弁
	ま	135	07	為めで御坐ります．耶蘇基督が世を逝り	ませ	ぬ前きに其の弟子たちに仰せ置かれた所は多分
	ま	135	13	む者の趣意は決して狭いものでは御坐り	ませ	ぬ．却つて其の見渡す所が広く且遠くなります
	ま	136	06	れば面白いことも無く分ることも御坐り	ませ	ぬ．二階の高い所から見れば面白いこと覚るこ
	ま	142	07	．学問が有つて非凡な人でなければなり	ませ	ぬ．また見識も無くてはなりませぬ．併しなが
	ま	142	08	ばなりませぬ．また見識も無くてはなり	ませ	ぬ．併しながら今，小説の改良が必要だとてお
	ま	144	07	が其れにしてはタント好い小説を見受け	ませ	ぬ．今，申す通り古人の糟粕を嘗めずに一機軸
	ま	145	02	訳でも無いから徐々と計らなければなり	ませ	ぬ．併し一つの工夫が御坐ります．先づ現今の
	ま	148	03	かいふことを行政上できめなければなり	ませ	ぬ．また，この土地には鉱物があるとかいふこ
	ま	148	08	為さぬときは調べ直しをしなければなり	ませ	ぬ．人員疎密を調べるといふことはドレほど日
	ま	148	09	ことはドレほど日本に備つて居るか知り	ませ	ぬが例へば五万以上の市街は日本にイクツある
	ま	148	13	ふことをするには独立させなければなり	ませ	ぬ．五万人以上とか壱万人以上とかを市街とい
	ま	148	15	ばつて居ないといふと折角だが用を為し	ませ	ぬ．五万でイヤなら勝手にしろと言ふなら，さ
	ま	148	17	コに気を付けなければ要用な調べも出来	ませ	ぬ．また年齢のことにしましても徴兵年齢とか
	ま	149	07	つて，たゞスタチスチックとのみは言ひ	ませ	ぬ．日本でも先年太政官の第五科といふ所で杉
	ま	149	11	ともスタチスチックを知らなければいけ	ませ	ぬ．全く相須つて用を為すものに違ひありませ
	ま	149	11	．全く相須つて用を為すものに違ひあり	ませ	ぬ．併しスタチスチック学者の方では行政法に
	ま	150	09	居りますが其の外のは法典となつて居り	ませ	ぬから研究するのに，しにくいです．この公法
	ま	151	14	せるかといふことを，きめなければなり	ませ	ぬ．行政法といふものは法律，規則及び之を運
	ま	152	01	一には憲法との関係を調べなければなり	ませ	ぬ．第二には行政官吏，行政議会，行政裁判所
	ま	152	02	裁判所の組織職務を研究しなければなり	ませ	ぬ．第三には憲法で，きまつて居る原則，例へ
	ま	152	04	所の行政法律規則を研究しなければなり	ませ	ぬ．第四には全国，府県，町村を所有者，負債
	ま	152	05	債主の三つに分けて研究しなければなり	ませ	ぬ．其れで憲法との関係を一言して見ますと憲
	ま	152	16	変りますが行政上の法律規則は始終変り	ませ	ぬ．千七百九十年の大革命の時からのものがイ
	ま	153	17	人が講究するでありませうから私は申し	ませ	ぬ．憲法と行政法との関係はこれ位にしまして
	ま	165	05	皆さんのでモウ充分だから私は別に述べ	ませ	ぬ．私が今日述べやうと思ふのは矢張りスタチ
	ま	165	15	の事を書いたものも無いから誰にも分り	ませ	ぬ．人間社会のことを説くのは今研究中で之に
	ま	166	04	て，この様なるアサハカな話しでは分り	ませ	ぬが併し畢竟，人間生活の真理を発明しやうと
	ま	166	05	いふものが半は分つても，まだ半は分り	ませ	ぬ．たとへば引力の働きは分つて居るがドウし
	ま	166	07	これから後，幾年あるといふことは分り	ませ	ぬ．人間はドコまで開けるものか分りますまい
	ま	166	12	からモノゴトに，あてはむることは出来	ませ	ぬ．今の学風はさうで無い，事実を穿鑿して事
	ま	167	01	せう．見たばかりでは事実も道理も分り	ませ	ぬ．さて，昔のは事実と道理とハナレバナレに
	ま	167	10	知れますまい．実に面白いことではあり	ませ	ぬか．前に申したやうな訳で新しい問題は古い
	ま	169	12	人数，年齢，職業などを書いたものを見	ませ	ぬから委しいことは知りませぬが先づ亜米利加
	ま	169	12	たものを見ませぬから委しいことは知り	ませ	ぬが先づ亜米利加に行く者の方が欧羅巴に行く
	ま	170	16	ラリヤに行かうか，どんな所かよく分り	ませ	ぬ．一人や二人が知つたからといつて行くもの
	ま	170	16	が知つたからといつて行くものではあり	ませ	ぬ．其れでは欧羅巴はドウだらう．欧羅巴は人
	ま	172	09	，いふことは風聞ですから，よくは存じ	ませ	ぬ．また北亜米利加は我が国産の第一なる製茶
	ま	173	13	史で無くは，説（即ち考へ）だから分り	ませ	ぬ．併しながら我が国人は，世界の道理に従ふ
	ま	173	15	つて其れならといつて止めることが出来	ませ	ぬ．（動かない人民は弱くなつてしまふから）
	ま	174	01	す．現在人別調べのことが無いから分り	ませ	ぬが戸籍の調べで積ると明治十五年から同十八
	ま	174	17	過ぎましたからサホド遠いものではあり	ませ	ぬ．かねて申します通り「人は義務の体」と言
	ま	175	02	務を欠くと人が人とせぬやうになりはし	ませ	ぬか，さうして見ると今の人は後の世の人に義
	ま	175	03	の人は後の世の人に義務が無ければなり	ませ	ぬ．今の人は確かに後の人に義務を負つて居り
	ま	175	10	あり余ると人力ではドウすることも出来	ませ	ぬ．外国に出て外国に慣れるやうにしなければ
	ま	175	11	出て外国に慣れるやうにしなければなり	ませ	ぬ．若し国内に蟄伏せしめるやうにすると土地
	ま	175	15	のことに就ては述べて置かなければなり	ませ	ぬからチョイと凡例を述べましたまでのこと．
	ま	176	07	から道理の知れるやうにしなければなり	ませ	ぬ．これに付てはスタチスチックは第一必要で
	ま	176	16	一つも漏らさぬやうに，しなければなり	ませ	ぬ．箇様な仕方で一々調べて其の調べに何年何
	ま	188	07	すが主権に関係しましたことを申し上げ	ませ	ぬと行政法の原則に大関係をしますから其れを
	ま	188	13	のでドウしても之を分別しなければなり	ませ	ぬ．フランスでは千七百八十九年の大革命より
	ま	189	01	けて御坐います．古代のことは能く存じ	ませ	ぬが神代の頃に八百万の神が集まつて政を議し
	ま	190	09	判といふ有様であります．日本では使ひ	ませ	ぬが外国では皇帝陛下の名義を以て判決すとい
	ま	193	08	行政府のことは今日の講談の目的であり	ませ	ぬから後にします．それから追々憲法を立ると
	ま	213	08	をはかるなどと云ふ面白い話しでは有り	ませ	ぬ．マー先生方のシッカリとした演説の間の狂
	ま	213	13	，また作者も多少の学問が無ければなり	ませ	ぬが演劇の方は下等社会までも見るものだから

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ませ）	ま	215	04	比べて見れば月鼈雲泥の違ひでは御坐い	ませ	ぬか．しかし，これとはアベコベで，若し西洋
	ま	215	12	説は勿論，支那の小説とても深くは読み	ませ	ぬ故にたゞ持ち前の我が国のことばかりに付て
	ま	216	05	薬を始めた神だから療治をしたかも知れ	ませ	ぬが，これは子供などに話す為めに拵へたこと
	ま	217	01	の親と記して有ります．其の作者は分り	ませ	ぬが文体の古雅な所を見れば延喜以前のもので
	ま	217	12	の作者は源の順だと云ひますが能く分り	ませ	ぬ．物語に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ標目
	ま	218	02	必要なもので有ることは云ふまでも有り	ませ	ぬ．次に狭衣，取替へバヤ，住吉などの類の色
	ま	218	07	つたやうに作つたのも有つて一様で有り	ませ	ぬが，ツマリ物語を作つた趣意は先づ慰みもの
	ま	219	15	で書いたものだけでは迚も今日まで知れ	ませ	ぬ．全く仮名文の物語小説が有つたればこそ千
	ま	222	02	ら出たものだが殊に残酷なものでは有り	ませ	ぬか．馬琴の作も，始めは同じやうで有つたが
	ま	222	06	の後の草紙に至つては勝れた上手が有り	ませ	ぬ．また徳川時代の戯作者は人情には随分渉つ
	ま	224	10	が，まだ兎角，強盗や情死の仕組は止み	ませ	ぬ．これ等は風俗にも関係することで有ります
	ま	225	02	の了簡が強盗や情死でなくては面白がり	ませ	ぬ．其れに劇場は金主が有つて儲けづくも有り
	ま	225	07	ひますれば其の辺のことには一向関はり	ませ	ぬで，たゞ古るめかしいことを述べて諸君のお
	ま	227	05	郡に其の時分には何と云ひましたか知り	ませ	ぬが先づ只今の知事のやうなものが有りました
	ま	227	10	行政上，正しくいつて居つたとは云はれ	ませ	ぬ．足利尊氏などは自分で将軍になつたと云ふ
	ま	228	16	しては地学上ドウ区別したがよいか知れ	ませ	ぬが，例へは一方里の場所が有るとしますと其
	ま	229	12	いが下にあるべきもので有るに違ひ有り	ませ	ぬ．戸長の大いなる町，即ち市街のものを区長
	ま	229	14	には，区長も人民で撰挙しなければなり	ませ	ぬ．して郡長は区長や戸長とは違ひ知事の下役
	ま	232	02	ありまして，よく其の文言を諳んじて居	ませ	ぬが府県知事は府県会又は常置委員会に下して
	ま	235	06	に珍らしい言葉を以て祝することは出来	ませ	ぬが諸君の刻苦勉励で今日の栄誉を得られたこ
	ま	237	08	難事を遂げて来たのは実に感服の外あり	ませ	ぬ．実に今日と利害，幸不幸を異にすることは
	ま	238	05	お話ししたことでは事実などはお話しし	ませ	ぬが杉田先生の蘭学事始と云ふ書などを見ると
	ま	240	03	すから私が勝手に申し上げることは出来	ませ	ぬ．例へば内務大臣が「監獄実際の有様を巡閲
	ま	240	08	可なくしては之を他人に言ふことは出来	ませ	ぬ．例へば私の友人に○○と云ふ人が有りまし
	ま	240	12	を知りたる訳にして私が知るのでは有り	ませ	ぬ．故に○○君の許可なくしては他人に向ひ其
	ま	240	13	其の性質の如何を申し上げる訳には参り	ませ	ぬ．尤も右の如きことでも中には他人に漏らし
	ま	241	01	となると云ふことが出来まいとも申され	ませ	ぬから善く言ふも悪く言ふもナカナカ軽忽には
	ま	241	02	ふも悪く言ふもナカナカ軽忽には言はれ	ませ	ぬ．よつて他人の為めに巡閲したることは善悪
	ま	241	03	許可を得て言ふことと致さなければなり	ませ	ぬ．所有権の点に於ては無論，言ふを得られぬ
	ま	241	07	の命令外のことで有るから申しても構へ	ませ	ぬ．また監獄のことにしましても塀が立派で有
	ま	242	01	ばかり見たとて参考になるものでは有り	ませ	ぬ．固より諸君の中には監獄全体のことを御熟
	ま	242	14	のことはナカナカ軽々しきものでは有り	ませ	ぬ．監獄学を知らずして監獄のことを取り扱ひ
	ま	243	03	は先づ行政権のことを述べなければなり	ませ	ぬ．凡そ一国には二大政権あるもので国民全体
	ま	245	09	は秩序安寧だけを重もにしなければなり	ませ	ぬ．と申して私は何も土木，衛生，勧業，教育
	ま	245	10	てはならぬと申す趣意では決して御坐い	ませ	ぬ．たゞ其の性質が第二段のもので有ると申す
	ま	246	12	に大切なるところで若し此の目的を存じ	ませ	ぬと枝葉に至つて大変な間違ひを来します．例
	ま	247	06	は其の悪いと云ふことの理由を能く述べ	ませ	ぬと到底，其の心は改まることは出来ませぬ．
	ま	247	07	せぬと到底，其の心は改まることは出来	ませ	ぬ．此の目的を知らずして「終身懲役と有るか
	ま	247	10	と考へるやうなことが起らないとも云へ	ませ	ぬ．よつて監獄に於ては二つの方法を以て人心
	ま	248	15	だ法律上，罪人と定まりたる者では有り	ませ	ぬから決して罪人と同様に取り扱ふべきもので
	ま	248	16	罪人と同様に取り扱ふべきものでは有り	ませ	ぬ．何故に罪人にあらざるものを監獄に拘禁す
	ま	249	02	者は至つて丁寧に取り扱はなければなり	ませ	ぬ．斯くの如き関係で有りますから，警察と裁
	ま	250	12	の不良民は其の儘にして置く訳には参り	ませ	ぬから再たび之を学校へやつて其の心を改めさ
	ま	251	03	せうけれども決してさういふ訳では有り	ませ	ぬ．昔では人を殺したとか云ふやうな者は直ち
	ま	251	05	カ容易に死刑に処するやうなことは致し	ませ	ぬ．其れとも到底終身，心の改良は覚束ないだ
	ま	251	14	カリやつた者とは区別をしなければなり	ませ	ぬ．ところで弁別心なくして行つた者は其の罪
	ま	251	17	す．此の二つの外に，まだ罪人とはなり	ませ	ぬが根性の悪い者，また悪事の何たるを知らざ
	ま	252	02	不良少年で有りまして未だ罪人では有り	ませ	ぬが，かういふ者は先づ両親等に於て其の懲治
	ま	252	05	云ふので，これ等も懲治しなければなり	ませ	ぬ．之を二た通りに分ちまして親族，又は関係
	ま	252	11	年は監獄に入れまますることは宜しくあり	ませ	ぬ．と云ふものは監獄では罪悪の甚しい者が沢
	ま	253	05	で私の講ずる学理には一向，関係いたし	ませ	ぬ．よつて，この矯正院に於ては其の中の仕切
	ま	253	12	れ手で粟を攫むと云ふやうなことは考へ	ませ	ぬやうになります．これ等が則ち農民の中には
	ま	254	11	ると云ふやうなことを致さなければなり	ませ	ぬ．此の保護の方法が日本には有りませぬから
	ま	254	12	ませぬ．此の保護の方法が日本には有り	ませ	ぬから為めに再犯，三犯，四犯，五犯，六犯と
	ま	254	17	にあらずと申すことに注意致さねばなり	ませ	ぬ．古来，牢獄と名づけました牢屋の前を通る
	ま	255	02	つたので，監獄が悪いのでは決して有り	ませ	ぬ．今でも「あれは監獄の役人で有る故におれ
	ま	255	08	か云ふやうなことまで探すものでは有り	ませ	ぬ．されば昔のオカッピキは悪かつたから今の
	ま	256	01	なるべからざることを知らなければなり	ませ	ぬ．犯罪人と貧民との関係はヨホド綿密なるも
	ま	257	01	申しまするると，これ亦，二種類しか有り	ませ	ぬ．其の第一の種類は天然の貧民で有りまして
	ま	257	08	私の救助とを以て救助をしなければなり	ませ	ぬ．また並みの少年を養育するのは将来に善良
	ま	258	05	の予防．此の両性質には別に甲乙は有り	ませ	ぬ．此の二かどを以て救助いたしまする者に二
	ま	258	10	として仕事の教育も致させなければなり	ませ	ぬ．此の不良少年の種類は四種ありまして，其
	ま	259	06	よりしても確にきめて貰はなければなり	ませ	ぬ．私の考へまする所では貧民救助の方法は次

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ませ）	ま	259	15	名とか二百五十名とか限らなければなり	ませ ぬ．尤も此の限り方によつては時によつて変り
	ま	260	02	るか何にしても救助費の額を定めて置き	ませ ぬとムヤミに慈恵，慈恵と申して一方にばかり
	ま	261	06	を宜しくし其の範囲をきめなければなり	ませ ぬ次第で有りまする．よつて善良なる少年は学
	ま	262	07	して復讐の道具などと云ふものでは有り	ませ ぬ．全く罪人を懲治，感化すると云ふ場所で有
	ま	262	12	見合すことも，話しをさせることも有り	ませ ぬ．此の方法は悔悟遷善の利益は有りまするけ
	ま	262	17	きは如何しても話しをしない訳には参り	ませ ぬ．其れで話しをするとロクなことは稽古しな
	ま	263	03	これは多くの囚徒を集め別に区別を致し	ませ ぬもので有ります．尤も中には少しは区別を致
	ま	267	02	．其の趣意は未決者はまだ罪人では有り	ませ ぬ故に監獄に入れて置きまする目的は逃走の虞
	ま	267	04	るもので有りまする．故に分房法に致し	ませ ぬと，他の未決者から証拠を押し隠すの教授を
	ま	267	07	の事業は必ず分房法を用ひなければなり	ませ ぬ．第四の出獄人授業部の事業は慈恵上より成
	ま	267	11	有りまして若し此の部の仕事が行き届き	ませ ぬと常に何千何万と云ふ将来の犯罪人を絶えず
	ま	269	17	常に気を付けて監督養育しなければなり	ませ ぬ．若し此の間に家庭教育を充分にしませぬと
	ま	270	01	せぬ．若し此の間に家庭教育を充分にし	ませ ぬと之が為め終身のカタハモノを造り出すこと
	ま	270	02	なりまする．実に恐るべきことでは有り	ませ ぬか．また，不良少年の多少は其の教育の有無
	ま	270	11	教育より以上を受けたる者は一人もあり	ませ ぬ．して見まするとと教育の一番少ない者に不良
	ま	274	04	まする．実に莫大の費用と云はざるを得	ませ ぬ．此の費用を以て兵卒を養ふ者と致しまする
	ま	275	01	へと云ふやうに総体を変へる訳には参り	ませ ぬ．また其の次に重もなる者は幼年囚，及び不
	ま	275	05	於ては維新前のことは実に論ずるに足り	ませ ぬ．牢屋に入れまするとと牛馬同様に取り扱ひ未
	ま	275	08	すると野蛮の方法であつたには相違あり	ませ ぬ．然るに維新の改革と共に監獄も非常の改良
	ま	275	12	監獄の整頓を助けたるものに相違御坐い	ませ ぬ．また近頃は感化事業即ち幼年囚，及び不論
	ま	276	13	他，何事につけても此の大原則を了解し	ませ ぬと色々な害が起ることになりまする．何事に
	ま	278	04	軍海軍の監獄と国事犯のことは一切述べ	ませ ぬでありました．此の上は我が国の現在の監獄
	ま	278	07	によつて，こゝには申し述ることは出来	ませ ぬ．前にも申しました通り本論は専ら監獄全体
	ま	278	09	有りまするから細密なる点にまでは及び	ませ ぬが幾分か諸君を益したることであらうと存ぜ
	ま	249	04	頓いたしましても監獄が其の宜しきを得	ませ ぬければ警察も裁判も無効になりまする．また
	ま	082	08	々の進歩いたしても道徳的の進歩を致し	ませ ねば完全なる進歩を成就することが出来ませぬ
	ま	035	06	察官の厄介になつて，あとでは更に知り	ませ んだつたなどといふ様なものは所謂る智慧が徳
	ま	120	10	辺から小川町辺は商家と云ふものは有り	ませ んだつた．其れが只今ではあの通りに商家が出
	ま	137	08	外務省には条約の改正，中々数へ尽され	ませ ん．私などは専門が法律で，職業が政事新聞記
	ま	138	03	．私が或るとき病気にて眠ることが出来	ませ んでしたが其の時，医者に見て貰ひました処，
	ま	138	09	ましては斯様に眠つてしまふことは出来	ませ ん．ウ／ヲタースコットの本などを読みまする
	ま	141	17	．斯る先生では本当の小説の仕組は出来	ませ ん．凡て物事と言ふものは仕組と言ふものが肝
	ま	142	04	らなければならぬから凡才では中々いけ	ませ ん．凡そ仕組と申すものは家を建てるに致せ軍
	ま	142	07	たとひ其の文章が流暢なばかりではいけ	ませ ん．学問が有つて非凡な人でなければなりませ
	ま	142	10	，これは徐々と計つて行かなければなり	ませ ん．これに付て，モ一つ小説の改良を計らねば
	ま	142	10	付て，モ一つ小説の改良を計らねばなり	ませ んが源氏物語や枕の草子の出来た頃は未だ小説
	ま	142	11	た頃は未だ小説が盛んであつたとは云へ	ませ んが武門の世となつて殆んど其の跡を絶ちズッ
	ま	142	17	でたしと云ふ其の範囲を出ることは有り	ませ ん．凡そ小説と云ふものはたゞ勧善懲悪ばかり
	ま	143	01	はたゞ勧善懲悪ばかりが主意では御坐り	ませ ん．然らば小説の本意と云ふものは何だと云ふ
	ま	143	13	ますが私は斯様なものを貴ぶのでは有り	ませ ん，斯様なものは之を擯斥する積りで有ります
	ま	143	15	ものは是非排斥してしまはなければなり	ませ ん．右等は未だ甚だしき猥褻でもありませんが
	ま	143	16	せん．右等は未だ甚だしき猥褻でもあり	ませ んが随分人の前で読むことの出来ぬ奴がありま
	ま	144	09	の眼力が無く眼界が狭くつてまだ見当り	ませ んが只今の所では十銭か十五銭で買へるツマラ
	ま	144	13	ましたがタカが少数で中々満足いたされ	ませ ん．小説を書く人が多数の中には和漢の古今に
	ま	155	06	，しまひに出たかつて，いゝことは有り	ませ んが此の間からお請け合ひ申したことだから，
	ま	157	09	ことは決して言ひますまいと言つてきゝ	ませ んからネ）「向後キット申さんか」「へー申し
	ま	157	09	ネ）「向後キット申さんか」「へー申し	ませ ん」と誓ひを立てた．さうして「申しませんこ
	ま	157	09	せん」と誓ひを立てた．さうして「申し	ませ んことは申しませんが地は回ります」と言つた
	ま	157	10	てた．さうして「申しませんことは申し	ませ んが地は回ります」と言つた．実に度胸の大き
	ま	157	13	地が回るか回らないか私には保証が出来	ませ んが其れから，まだ四百年にはなりませんテネ
	ま	157	14	ませんが其れから，まだ四百年にはなり	ませ んテネ．其のお弟子のガリレオ，これは支那で
	ま	158	04	が物理学でやるのだからドウしても動き	ませ ん．其れが学問の極点でござす．今日，三十七八
	ま	159	07	したが其の時分には欧羅巴の教法は渡り	ませ んから老子と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其の時分
	ま	180	05	玉ふたイエス，キリストの愛では御坐り	ませ んか．また彼のウ／キルボルフォールスやクラ
	ま	180	08	，皆兄弟たり」との聖書の教では御坐り	ませ んか．殊に婦人の地位を高くしたのは全くキリ
	ま	180	17	一席の演説に論じ尽せることでは御座り	ませ ん．只私は是より其の二三の要点を挙げて婦人
	ま	181	14	其の根本から改めてかゝらなければなり	ませ ん．もし其の根本を取り除けば其の枝に結んだ
	ま	182	01	はれなければ男女の関係が宜しきに適ひ	ませ ん．男女の関係が宜しきに適はなければ決して
	ま	182	02	ば決して真の文明社会を見ることは出来	ませ ん．ナゼなれば夫婦の関係は人間道徳の基礎で
	ま	182	03	適はなければ親子の間柄も宜しきに適ひ	ませ んし親子の間柄が宜しきに適はなければ一家が
	ま	182	04	間柄が宜しきに適はなければ一家が治り	ませ ん．然し一家が治らなければ家族が集つて出来
	ま	182	05	集つて出来た社会が治まらう筈は御坐り	ませ ん．それ故に今社会を改良するに最も必要なこ
	ま	182	11	一人に過ぎないといふ人があるかも知れ	ませ ん．成る程それに違ひありませんが今若し日本

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ませ）	ま	182	12	かも知れません．成る程それに違ひあり	ません
	ま	182	15	ば往くほど其の割合が多くなるではあり	ません
	ま	182	16	得ざるに出でたことと申さなければなり	ません
	ま	183	08	しても苦しくないといふことでは御坐り	ません
	ま	183	13	義務に於ては決して男女の区別は御坐り	ません
	ま	184	01	て居ました．ナント無理な教では御坐り	ません
	ま	184	01	せんか．ナント不都合なことでは御坐り	ません
	ま	184	02	地位を占め真正の幸福を受ることは出来	ません
	ま	184	03	れから起る所の弊害不幸は何程だか知れ	ません
	ま	184	08	出来ては一夫一婦の教も何の役にも立ち	ません
	ま	184	14	矢張キリスト教の力に依らなければなり	ません
	ま	184	15	何の故に係らず妻を出しても支障御坐り	ません
	ま	185	04	が出来しても決して離別することを許し	ません
	ま	185	05	最も注意して決して軽々しく婚姻は致し	ません
	ま	185	06	の比例は如何程であるか只今諳記いたし	ません
	ま	185	08	に驚くべく憂ふべきことと申さねばなり	ません
	ま	185	12	も其の一大原因であると申さねば，なり	ません
	ま	185	14	張キリスト教の力を借りなければ，なり	ません
	ま	186	01	す．しかしこれは日本ばかりでは御坐り	ません
	ま	186	02	も男尊女卑の風習の行はれぬ所は御坐り	ません
	ま	186	03	す．幸に我が国には其れ程のことはあり	ません
	ま	186	04	はありませんが矢張男尊女卑の風は免れ	ません
	ま	195	12	と言つただけでは済まなかつたかも知れ	ません
	ま	195	14	でも起りはすまいか」と言つたかも知れ	ません
	ま	196	02	云ふ位の考へは起した人が有るかも知れ	ません
	ま	196	02	は「イヤな彗星だ」と言はれたかも知れ	ません
	ま	196	07	，無いものか，たゞして見なければなり	ません
	ま	196	17	星を怖れるの念は減つて来るに違ひ有り	ません
	ま	197	05	ット惑星のことをお話ししなければなり	ません
	ま	197	08	たやうなものだけで，委しいことは言ひ	ません
	ま	198	04	ことは若しお分りの無い方があるといけ	ません
	ま	199	07	と云ふことは，こゝで一席には述べられ	ません
	ま	199	08	門から，はいつて大学までいくには及び	ません
	ま	199	09	ますと皆な抛物線で有つて楕円では有り	ません
	ま	199	12	には無極な遠い所にいつて再び帰つて来	ません
	ま	200	12	に出た時の形ちと強ち同じ形ちにはなり	ません
	ま	200	15	ず其の道によつて考へて来なければいけ	ません
	ま	201	03	月何日と云ふことをHalleyが言ひ	ません
	ま	201	08	す．これはムツカシク言へばキリは有り	ません
	ま	201	17	は彗星がジットして居ると思つてはいけ	ません
	ま	202	01	つては来ますが，どの位後れるかが分り	ません
	ま	202	07	をしました．其れも充分の計算にはゆき	ません
	ま	202	13	しドコからでも見ゆると云ふ訳にはいけ	ません
	ま	203	05	．今度はカタヅをのむと云ふ程では有り	ません
	ま	203	13	つてムヤミにこはがるやうなことは有り	ません
	ま	203	14	ことで有るから，何もこはい因縁が有り	ません
	ま	205	06	くも一年三度位，彗星の出ない時は有り	ません
	ま	205	14	ることは見えます．しかし肉眼では見え	ません
	ま	205	15	面白いと云ふことですが私はさうは言へ	ません
	ま	206	01	れは前のClairantほどにはいき	ません
	ま	206	03	ます道を勘定しましたが抛物線では有り	ません
	ま	206	15	居りますと今度は一つで子はつれて居り	ません
	ま	207	02	後も待つて居りましたがドウしても見え	ません
	ま	207	03	ウしても見えません．無くなつたか知り	ません
	ま	207	05	知りませず，私は其の頃はまだ気をとめ	ません
	ま	207	14	星と雨とはドンナ関係が有ることか知り	ません
	ま	208	10	かと云ふことはたゞ旅をした位では分り	ません
	ま	208	13	に一部分一部分に研究をしなければいけ	ません
	ま	208	17	居る，至つて軽いもので有るに違ひ有り	ません
	ま	209	02	引つばつたとて地球の運動に狂ひは有り	ません
	ま	209	06	いと色々説が有りましてハッキリと申せ	ません
	ま	209	17	実に天文学はまだこの辺に進んでは居り	ません
	ま	210	02	，可とせし説も明日は否となるかも知れ	ません

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ませ）	ま	210	04	ます．日本では幸にソンナ風説は行はれ	ませ	ん．さう云ふ説の日本に行はれないのは日本人
	ま	210	06	デ訳が分らないから騒がないのかも知れ	ませ	ん．方々で「今度は世界のシマヒだから今の中
	ま	210	12	の流行らない中に用心をしなければなり	ませ	ん．しかし彗星が地球に必ず突き当らないとも
	ま	210	13	彗星が地球に必ず突き当らないとも言へ	ませ	ん．なぜなれば両方ともムヤミにあるいて居る
	ま	211	06	ドンが無くなる位なことは有るかも知れ	ませ	ん．彗星が我々の所へ這入つて来ると丁度何か
	ま	211	08	になつて地球に疫病でも流行るかも知れ	ませ	ん．しかし尾の中に我々が這入りこむことが有
	ま	211	09	のはヨホド稀なことと云はなければなり	ませ	ん．確には分りませんが双六や其の外のアタリ
	ま	211	10	と云はなければなりません．確には分り	ませ	んが双六や其の外のアタリハヅレを研究する学
	ま	211	13	中に五時間が六時間，居つたに違ひ有り	ませ	ん．其の時に日本あたりは昼で有つたがフラン
	ま	211	16	居りまして少しも何も変つたことは有り	ませ	んだつたが其の時にヒトリ，イギリスの天文学
	ま	212	05	すが，其れも地球の一部分だけかも知れ	ませ	ん．其のぶつつかる所の人たちの為めには実に
	ま	212	06	には，どの位，利益にならうか測り知れ	ませ	ん．観測をしたくも十分に観測が出来ず，行か
	ま	212	08	また金や銀や宝石を持つて来るかも知れ	ませ	んが，古物学者などに取つては金剛石や金銀に
	ま	212	10	い程の品物を得ることが出来るかも知れ	ませ	ん．しかし其の様な結構なことは滅多に無いか
	ま	212	10	の様な結構なことは滅多に無いかも知れ	ませ	ん．あまり長くなりますから今一言して此の講
	ま	214	08	なり人に尊ばれるなどと云ふことは有り	ませ	んだつた．また演劇の俳優は誰も御存じの通り
	ま	214	12	は勿論，然るべき人とはツキアヒが出来	ませ	んだつた．然る所，近年追々と西洋風が流行つ
	ま	228	08	から一定即ちユニテーと云ふことは有り	ませ	んでした．漸く明治の四年頃になりまして日本
	ま	130	12	は決して御坐りませぬ．先づ安心なされ	ませ	．独逸国の有名なる哲学者Ｋａｎｔといふお人
まぜ	交	218	16	行を記して其の間に時々の景色と歌とを	交ぜ	たやうなもので馬琴や京伝の小説のやうに斬つ
	交	218	14	が出たり妖怪が出る位の奇らしいことも	交ぜ	て有りますが源氏物語などは五十四帖もある大
	交	222	17	が盛に行はれて其の舞の中に故事などを	交ぜ	てすることとなりました．これが演劇の濫觴と
	交	223	06	衛門は女に出たち，伝助と云ふ滑稽家を	交ぜ	て踊りました．念仏踊と云ふは空也上人から始
まぜこぜ	マ	229	09	あらず町村にあらず丁度，郡と町村とを	マゼコゼ	にしたやうなもので有るから区長は郡長の
	マ	252	12	甚しい者が沢山居りまするから，これと	マゼコゼ	にするのは至つて危険でありまするのが一
また	ま	252	01	だ罪人とはなりませぬが根性の悪い者，	また	悪事の何たるを知らざる者が有ります．これは
	ま	168	02	づそんなものです．世が開けるに従つて	また	新しいものが，はいつて来ましたから何事も競
	ま	177	09	る手段を運らすに至つて便利であつて，	また	予じめ国人増殖の後難を防ぎ止むることも出来
	ま	192	01	に定まつたことを改むることが出来る．	また	新たに何事をもきめることが出来るといふのが
	ま	084	10	ボスが新世界を発見した時に当ります．	また	或る時は機械と製造のことが沢山開けた頃が御
	ま	084	12	則ち蒸汽力が発明された時に当ります．	また	或る時は政治のことが能く進歩したことが御坐
	ま	125	15	術と基督教は決して相符合するに非ず．	また	或る人はＨｕｘｌｅｙ氏が何々と申されました
	ま	127	13	をよしとすることは出来ませぬ．第二．	また	或る説教師は総て学術の趣意を感心して，また
	ま	129	12	ら我が道徳法がドウなりませうか」と．	また	或る人が「旧約聖書に就てＧｌａｎｄｓｔｏｎ
	ま	002	14	が有るか，其の様に漢字を嫌ふといふは	また	如何なる訳ぞといふに，いづれも方にも定めし
	ま	120	11	出来て麦酒などが移住して参りました．	また	イギリスのスタチスチック，ジョルナルなどを
	ま	140	02	ら其の筆先きの勝れたものと見えます．	また	イギリスの故宰相ジスレリーなども長技は何で
	ま	276	06	由剝奪と云ふだけの主義でありまする．	また	維新前は復讐と云ふ意味がありましたけれども
	ま	110	03	ローターは逃るゝことが出来ますまい．	また	一層考へるとマーダーになるかも知れない事実
	ま	086	07	れに付て若し世の人々の自分の見込み，	また	一般の輿論に問ふならば明らかな返答は出来ま
	ま	102	15	うつりやすく真面目でないといふこと，	また	一方に於ては我が日本の国情が知られぬといふ
	ま	242	06	新聞に出ましたが甚だ欠くる所も有り，	また	一方から申せば右心得方を充分に敷衍するに於
	ま	243	08	体の望みに適ふやうに事を議決せしめ，	また	一方に於ては政府即ち内閣大臣等を設け之に執
	ま	252	09	人の心を改良するが目的で有りまして，	また	一方からするときは犯罪人を予防すると云ふの
	ま	135	17	帝国の地図が委しく造つて御坐ります．	また	緯度経度を記す為めにハリガネが縦横にチャン
	ま	087	12	たるものなりと云ふ返答が出来まする．	また	所謂，道徳法の原因と其の基本は何処に在るか
	ま	169	06	ふ風に方向を取つたに違ひない．そこに	また	疑ふといふものは我が日本の海外貿易の利は東
	ま	175	16	チョイと凡例を述べましたまでのこと．	また	英国人は「人は地球の寄生物」といふ人間の道
	ま	142	01	家を建つるには此処に斯様な柱を建て，	また	宴会室には斯様と其の他軍艦を造るにも仕組と
	ま	214	09	るなどと云ふことは有りませんだつた．	また	演劇の俳優は誰も御存じの通り昔は河原者と呼
	ま	214	15	り得ると云ふトテツも無いことになり，	また	演劇に至つてはナホサラ真の理をして見せるも
	ま	263	13	の一つを用ふるだけに止ります．さて，	また	欧米諸国に於て実行せる監獄事業の分ち方はこ
	ま	237	17	になつて，やつたら大変な学者になり，	また	大いなるイサヲシを為すことが出来ませう．た
	ま	126	09	が其の中に至極よいものも御坐ります．	また	大きに誤つたものも御坐ります．今から私は其
	ま	120	05	持つて居る様なものだ」と述べました．	また	Ｏｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ人は酒と麦酒とは世
	ま	083	04	道徳の進歩がサツパリ無かつた故に遂に	また	衰へました．今日欧羅巴各国の中で至つて弱い
	ま	153	13	ら名前をムヤミに変ることを禁じます．	また	お前の所のムスコは気違ひなら外に出してはい
	ま	200	13	になつて出るかと思へば，ひつこんで，	また	女になつて出て来るので始めて芝居を見る者な
	ま	219	05	アシなどを考へて気に入れば云ひより，	また	女の方でも男の文の体や風聞によつて，ゆかし
	ま	110	10	付て考へて見ても疑はしいことである．	また	外国の例に保険附きの船を沈めて保険料を取う
	ま	193	08	します．それから追々憲法を立るとか，	また	かういふことをするとか，また人民の権理を保
	ま	130	06	有ります．私ども常に陳る所の宗教の基	また	学者が常に調べ且説く所の万物は同じく神の御
	ま	130	08	敵になり或は基督教が学術を滅ぼし或は	また	学術が基督教を滅ぼすものなりなどのことは誠

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（また）	ま	054	07	が肝腎だと思ひます．先づ小学校の本，	また	学問のある人の研究の為めの本，それから第三
	ま	222	13	して今は僅かに東舞と倭舞の類を存し，	また	神楽，催馬楽に古風を伝へて居ります．中古以
	ま	131	15	べる所の宗教の色々の面白い譬喩とし，	また	固い証拠を設けることが出来ます．さすれば学
	ま	218	09	などの徒然を慰むる為めで有りました．	また	傍ら上等社会の婦人は深窓の中に居つて世態人
	ま	126	10	其の色々の仕方を順に従つて申し上げ，	また	兼ねて其の得失を弁じませう．第一．年若き卒
	ま	086	05	るものは如何なるもので御坐りますか，	また	彼の道徳と道徳の法と其の基本は何で御坐りま
	ま	180	05	ス，キリストの愛では御坐りませんか．	また	彼のウ／ヰルボルフォールスやクラルクソンを
	ま	161	11	耽るとか物を貪るとかいふことが起り，	また	我慢といつて他人の言ふことを聴かずに我を張
	ま	087	16	くことは容易に御坐りませぬ．其れ故に	また	箇様な論じ方に由つて見れば社会進歩の為め基
	ま	177	04	其の地で定まつた有様もありませうし，	また	変つた有様を見ることも出来ませう．其の年々
	ま	264	04	うして，この家族長が教育の世話もし，	また	感化にも尽力し，且職業の教育をも施しますこ
	ま	227	17	は何であるかと云ふと主権者でも無く，	また	管轄権を有つて居つたのでも無い．諸侯の一つ
	ま	241	07	のことで有るから申しても構へませぬ．	また	監獄のことにしましても塀が立派で有つたとか
	ま	244	15	，又は海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，	また	監獄を用ふることになります．故に秩序安寧の
	ま	252	13	ありまするのが一つの理由であるのと，	また	監獄に這入つて居りまする者は丁年以上の者，
	ま	268	05	関係しましたことは申し述べますまい．	また	監獄の目的及び方法などに至つては軍事のもの
	ま	117	16	まいと思ひます．昔から禁酒をしたり，	また	願酒とて神様に祈らなければ下等の欲に打ち勝
	ま	085	16	と．此の三つで御坐ります．それから，	また	完全なる進歩を成就する為めに道徳の進歩は必
	ま	150	17	．行政法と言へば一国施政上の法律規則	また	官府とかいふやうな機関を要する道具に関係の
	ま	053	01	に平仮名を使つたのは草紙物語より出で	また	漢文に訓読を下して，すて仮名を附け其れが段
	ま	080	03	其の中に種々の大切な事実，面白い事柄	また	肝要な道理が含まつて居ると存じまするゆゑ先
	ま	081	12	勝手に造り且，用ゆる所の器物品物家屋	また	器械等のものでは御坐りませぬ．人の内部から
	ま	147	16	とが大いなることであります．其れから	また	季候の如きにしましても季候を調べるのは是非
	ま	176	13	きの地で人が生れゝば記し死ねば除き，	また	帰国して職業を為す人があれば之を記し彼れに
	ま	092	12	由つて能く己れを進歩させる時は兼ねて	また	貴国の社会を進歩させるの有り難い好結果は必
	ま	172	10	とは風聞ですから，よくは存じませぬ．	また	北亜米利加は我が国産の第一なる製茶，生糸な
	ま	260	09	寄附を受けないと云ふことに致したい．	また	救助の種類もイクツも有りまして例へば訓盲唖
	ま	223	11	なつて居つたが段々と古事を取り込み，	また	狂言作者と云ふ者も出来て続き狂言を作り元禄
	ま	081	14	なもので真物で無く僞物で御坐ります．	また	鞏固ならぬもので御坐ります．第四．人間の器
	ま	149	10	て居らなければ要用なる調べは出来ず，	また	行政法を知るには是非ともスタチスチックを知
	ま	179	10	せられ人々みな神の救をみん」とあり，	また	キリストも此の預言者の語を引て「我は貧しき
	ま	186	13	の温柔謙遜の徳を貴ぶこと，其の他にも	また	キリスト教が婦人の地位を高くし且，之に真正
	ま	087	13	かと基督教に問はばこれ等即ち神のノリ	また	基督の総ての高尚なる仰せを書き載せ神のミコ
	ま	126	02	むとする者の中には一向学術を知らず，	また	基督教の原因と趣意と目的と結果を全く覚らざ
	ま	212	08	れなかつたものを知ることが出来ます．	また	金や銀や宝石を持つて来るかも知れませんが，
	ま	090	13	質と其の行状を頻りに称美いたします．	また	近来様々の不信者の中にも耶蘇基督を直接に誹
	ま	181	03	らぬことを堅く信ずる者で御坐ります．	また	近来は教外の先生等にも社会を改良するには是
	ま	203	01	ます．今度また七十五六年後にはキット	また	来るに違ひ無い．天王星と云つて土星の先きに
	ま	236	16	の外，西洋学をした為めに藩を逐はれ，	また	苦しめられた者も沢山有りました．尤も左様な
	ま	162	07	に灌献の礼を行はしむるが為めのみ文王	また	群臣の小子に教へて曰く常に酒を飲んで以て其
	ま	231	10	務省に中央衛生会とか地方官会議とか，	また	警察官会議とか云ふものが有りますやうに．議
	ま	228	12	云ふのは大いなる市街のある所を云ひ，	また	県と云ふのは別に府と違つた所は無いが，たゞ
	ま	219	08	の方から通つたと云ふことで有ります．	また	源氏物語の箒木の巻に雨夜の品定めと云つて源
	ま	142	08	有つて非凡な人でなければなりませぬ．	また	見識も無くてはなりませぬ．併しながら今，小
	ま	085	13	また人の位を下げる所のものを除き去り	また	減ずること，また一つは何れの人にでも現に成
	ま	153	02	の即位式を行ふといふことを，きめる．	また	憲法で人民に納税の義務が有ると定めるが併し
	ま	153	06	くとかいふのは行政法で定めるのです．	また	憲法では宗教自由（耶蘇教でもモルモン宗でも
	ま	192	10	せしむるといふことの詔もありましたし	また	元老院といふものもありますし，今に国会も立
	ま	228	17	過半を占めるときは之れを町と名づけ，	また	耕作地の方が過半を占めるときには之を村と名
	ま	153	09	もヤツパリ従一位だとか正二位だとか，	また	侯爵だとか伯爵だとか，いふのは行政法で定め
	ま	103	09	う．皆な宗教信仰の深き故であります．	また	弘法大師の如き日蓮上人の如きものを見るも其
	ま	275	07	て殺すと云ふやうなことも流行つたり，	また	拷問などを致しまするので，今から考へまする
	ま	159	17	どもたとひ天主，天国があるにもせよ，	また	極楽があるにもせよ，カラダが行くではあるま
	ま	086	10	世の権威と勢力また人の立てた所の法則	また	此の世の富などに係はらぬもので御坐ります．
	ま	145	16	改良の方が区域が広からうと思ひます．	また	此の演劇を改良したら面白くなくなり観者が無
	ま	175	05	す．非でありますか，是でありますか．	また	此の四箇年の間は国人の難儀な年柄でさえ人数
	ま	086	05	会の進歩と所謂文明開化を妨げるもの，	また	之を進ませるものは如何なるもので御坐ります
	ま	130	15	のを深く思へば思ふほど我れ之に感服し	また	之を尊敬す．この二つのものは則ち遙か上に立
	ま	152	08	めた原則を実際に行ふものであります．	また	之を適用するに付て規則といふものを，こしら
	ま	232	13	行政議会と云ふことを研究しますには，	また	之を三つ即ち第一には中央行政，第二には府県
	ま	052	13	るのは宜い様で御坐りますが，いろいろ	また	困難のことも起つて来る．其の訳は全体この御
	ま	006	05	無からう，考へさへすれば分るだらう．	また	今日漢字を用ふるが為めに教育上実に奇々怪々
	ま	034	07	のでは無いといふことが分つて来ます．	また	今日智慧を研き身体を丈夫にしようといふ様な

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（また）	ま	190	10	判決すといふ言葉を使ふ所があります.	また	裁判の中にも執行権者が自分でする裁判といふ
	ま	213	12	から其の面白みも文字を読む者に限り,	また	作者も多少の学問が無ければなりませぬが演劇
	ま	116	09	いに身体を悪くしたと思ふことも無く,	また	酒の為めに品行を乱したといふ覚えも無い. さ
	ま	163	01	るが今のは私がアラマシを書いたのだ.	また	酒の為めに大事業が中道で成らずにしまつたも
	ま	007	14	でが碁をうち, 大臣参議が茶道を好むと	また	茶道がはやる. これはいづくのハテでも人情だ
	ま	250	16	る. 其れに此の罪人は二年でよからう,	また	三年でよからう或は十年でよからうと云ふやう
	ま	221	14	は近ごろ劇場でするやうになりました.	また	三馬, 一九などは今日の言葉を用ゐて滑稽を述
	ま	147	13	て居つて其れが即ち行政法であります.	また	山林のことを調べましても川がイクツあるとい
	ま	259	02	く貧民の救助は慈恵と云ふのが一つで,	また	慈恵と犯罪予防と云ふのが一つで, 救助を施し
	ま	171	01	チット広ければよいと思つて居る位で,	また	仕事をする者も上手になつて居ますから欧羅巴
	ま	231	06	に隷属するもので有ります. 其れから,	また	施政は, 一人, 議政は数人でやるのです. 之を
	ま	122	05	た其の為めに最も恐るべき徴毒が殖え,	また	私生の子が殖えます. 私生の子はフランスでは
	ま	199	11	遠の場所から太陽の近所に来て其れから	また	次第に遠くなつてトウトウしまひには無極な遠
	ま	203	01	れることの分つた始めで有ります. 今度	また	七十五六年後にはキットまた来るに違ひ無い.
	ま	140	08	如き家に住んで居たと申すが其の著作は	また	実に旨いもので筆先きのオモシロミと言ふは別
	ま	189	14	事柄にも執行権で干渉することがあり,	また	執行権の方にも立法権が干渉することがある.
	ま	190	14	ある. この行政裁判といふものにしろ,	また	司法裁判といふものにしろドチラも同一の裁判
	ま	243	14	に於て之が執行を掌ることで有ります.	また	司法権は法律の執行を掌ることで有りまするが
	ま	080	16	す. 此の三つの仕方は一個人に付ても,	また	社会に付ても適用すべきもので御坐ります. 畢
	ま	138	14	れば面白いに連れて其のキヽメも多い.	また	社会を諷刺する小説の如きも大いに効能が御坐
	ま	182	08	ト教の儒道や仏道と大に違ふ所の一で,	また	社会を改良する勢力ある所以で御坐ります. 然
	ま	137	06	, 衣服の改良, 女の髪の結ひ様の改良,	また	自由党などに言はせたなら政治の改良, 社会の
	ま	214	02	き見ることを憚つたもので有りました.	また	従前小説家と云ふものは其の中で泰斗と呼ばれ
	ま	119	16	にて「酒を好むことは悪鬼の働きなり,	また	酒疫なり」と述べました. 之を解して見ると人
	ま	127	10	方が宜しう御坐ります. よく熟した学者	また	熟練した理論者にあらざれば西洋の専門家の論
	ま	089	05	とが御坐りますまいと存じます. 第二.	また	種々の進歩をせむとする御方は必ず賤き有様を
	ま	204	02	をする学と云ふことで実は学でもなく,	また	術でもないやうなもので有りますが, 日本で云
	ま	252	06	願ひ出る者を出願懲治者と申しまして,	また	出願人は誰も無いが例へば東京の日本橋のやう
	ま	109	15	だ請け取れぬことでは御坐りませぬか.	また	諸新聞紙等に拠つて見ますと尚ほ一層怪しむべ
	ま	270	10	して丁度九分六厘ばかりに当りまする.	また	小学の教育を受けたる者が三十四人ありまして
	ま	145	16	は賛成の方で有るが此の演劇改良よりも	また	小説改良の方が区域が広からうと思ひます. ま
	ま	231	13	事が一人で施政を為し議政の方は府県会	また	常置委員会が有ります. 町村になると町村会が
	ま	258	09	育, 体育を施し且, 懲戒, 懲治を施し,	また	将来, 就業の準備として仕事の教育も致させな
	ま	058	10	諸君に面会しお話しを致すことも出来,	また	諸君が東京より奏楽者を聘して奏楽をお聞きな
	ま	228	03	の如くで有りますから日本帝国の中に,	また	諸侯国が何百か有つて, 各諸侯国で租税を異に
	ま	251	13	働いた者は其の心に弁別が有つた者と,	また	知らずにウッカリやつた者とは区別をしなけれ
	ま	089	15	少しづゝ進歩するかも知れませぬが遂に	また	退く様になります. 併しながら高尚な目的を示
	ま	166	02	なる物質もある訳だといふ学派もあり,	また	身体の様なる物質があるから精神も之に添つて
	ま	250	04	育, 即ち両親, 其の他に於て之を掌り,	また	身体の教育, 即ち体育と申しまするものは或ひ
	ま	091	09	る害になるものは何で御坐りませうか.	また	進歩しやうと思ふ人が前以て棄てねばならぬも
	ま	153	04	ことは行政法できめることであります.	また	人民は血税を納めるの義務があるといふことを
	ま	153	07	めれば行政法では其の取締を設けます.	また	人民は同等のものであるといふことを憲法で,
	ま	193	09	るとか, またかういふことをするとか,	また	人民の権理を保護するとかいふ保証をなされた
	ま	181	12	夥しいことで御坐りませう. 煙草の害も	また	随分少なからざることで御坐りませう. 然しな
	ま	108	15	乗うといふ考へはあつたらうと考へる.	また	数十人の人が危険にかゝつたときドチラに避け
	ま	082	15	国はエジプトとペルシヤで御坐ります.	また	少し後の例を挙ぐればギリシヤの国また其の中
	ま	132	04	仕方の益は少なく御坐りませぬ. 第六.	また	総て神学卒業生は常に研究する所の新旧約聖書
	ま	163	16	に失敗するといふこともよく知れる. 」	また	駿河の今川は歌舞を好み相摸の北条は酒を好み
	ま	151	09	即ち憲法で定めた原則を実地に適用し,	また	制限する. 例へば人民は言論の自由があると言
	ま	138	14	小説の如きも大いに効能が御坐ります.	また	西洋の著作中にも其の善きものは之を見て自ら
	ま	144	11	其れには西洋の学問が第一入りまする.	また	西洋の小説を多く読んで貰ひたい. 少し悦ばし
	ま	144	15	中には西洋の書物を読まない者も有る.	また	西洋の小説を読んだ者は筆先が鈍し. 兎角双方
	ま	237	11	日本語でやらうと何でも勝手に出来る.	また	西洋の学問をするのは人間の当り前のやうにな
	ま	083	12	云ふものは一個人の為め全国民の為め,	また	世界中の人類の為めにも一様に必要で御坐りま
	ま	224	09	来は官からも不都合のことは禁ぜられ,	また	世上にも色々と風評が有つて俳優や作者も気が
	ま	235	01	後には日本の言葉で高尚な学問も出来,	また	先生も十分に出来ると云ふやうになつて来るこ
	ま	073	04	出ましたが段々過刻より卒業証書の授与	また	卒業諸君の演説などが有りまして賢才の輩出し
	ま	133	01	は明かにして実に固いもので有ります.	また	卒業生の行ひの証拠はたゞの議論に負け易いも
	ま	233	07	のお話しのやうに生徒の数も多くなり,	また	卒業生も多くなり誠に祝すべきことで有ります
	ま	082	15	また少し後の例を挙ぐればギリシヤの国	また	其の中のアデンスの町を御覧なされ. アデンス
	ま	083	01	つてツマリ恥かしく衰微いたしました.	また	其の後の時代において彼の盛んな羅馬帝国が其
	ま	085	01	で御坐ります. 先づ人間の進歩の有様と	また	其の進歩に付て種々の大事なものの概略を申す
	ま	086	01	れ等の種々の事柄は演題の確実なこと,	また	其の間違ひ無いことを充分証拠だてることも有

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（また）	ま	087	06	なる原素，人の位を下げる所のモノゴト	また　其の外社会の進歩を妨げるものは如何なるもの
	ま	122	04	考へると其の関係が妙に思はれませう．	また　其の為めに最も恐るべき徴毒が殖え，また私生
	ま	125	02	と思ひまする所は則ち若い伝道師の妨げ	また　其の務めの邪魔になるもので御坐ります．勿論
	ま	125	11	てさうでは御坐りませぬ．総て真の学術	また　其の色々の正しき結局は基督教に敵対したる者
	ま	125	13	ふものは，おもに学術と基督教との関係	また　其の合ふこと合はぬことなどに本づいたもので
	ま	127	04	れ等の人は随分タシカな人で有ります．	また　其の論はかたい論にして中に面白いことも，ま
	ま	133	05	残酷な者さへも信者の愛信の厚いこと，	また　其の行義の正しいことに感服したことは歴史に
	ま	135	12	ります．イヽエ，基督教を専らに研究し	また　其の為めに励む者の趣意は決して狭いものでは
	ま	138	17	治を改良することにも向つて参ります．	また　其のキヽメの深浅を云ひましたら小説の方が固
	ま	146	∪1	れが手本になつて面白いことも出来る．	また　其の小説をこしらへて利益が有るかと言ふと随
	ま	150	13	即ち政府とか天皇とかいふものの組織，	また　其の職務の遺伝法といふものなどを書いたのが
	ま	171	08	は人がまだ多くなく，国に余地がある．	また　其の中にパナマの地峡でもスッカリ開けたら渡
	ま	176	12	，姓名，生国，職業，年齢などを記し，	また　其の行く先きの地名を記し，其れが一時の出稼
	ま	219	05	つて，ゆかしくも，きらはしくも思ひ，	また　其の親も其の文が気に入れば女に勧めても返書
	ま	275	01	やうに総体を変へる訳には参りませぬ．	また　其の次に重もなる者は幼年囚，及び不良少年の
	ま	191	13	いふものは無いが詔勅が度々あつたり，	また　其れに係はらず常定主義がきまつてある．かう
	ま	200	04	年にＫｅｐｌｅｒの観測しました彗星，	また　其れより七十五六年前即ち千五百三十一年にＡ
	ま	209	14	ます．が，しかし其れも信じなければ，	また　其れまでのことで有ります．箇様なことは迚も
	ま	229	07	いなる市街と云ふ意味で，所によると，	また　其れをも数区に分つと云ふやうな意味で有りま
	ま	097	02	いことではありますまい．海底を探ね，	また　他に名案を施したらば罪跡が現はれないことは
	ま	114	09	して言訳の無いやうな話しで有ります．	また　他の動物は命が惜いといふことは一と通りは知
	ま	254	05	も働かなければならぬやうになります．	また　第二の資金なき者と云ふのは前のと同様であり
	ま	181	11	書にも見えた通り飲酒喫煙を禁ずるのも	また　大事な改良で御坐りませう．酒の社会を害する
	ま	208	03	土星と同じやうなものと言ひましたが，	また　太陽から遠ざかつていつたやつが有る．いよい
	ま	129	04	君子はシッカリしたもの用心するもの，	また　タシカなもので御坐ります．第三．また只今説
	ま	129	05	またタシカなもので御坐ります．第三．	また　只今説いた所に丁度反対したる仕方が御坐りま
	ま	101	15	試みるものもなくて直ちに之に雷同し，	また　直ちに之を打ち捨ててしまふ様です．今之を獣
	ま	162	08	酒を飲んで以て其の官職を怠ること勿れ	また　民の小子を戒めて曰く農民は平日土物を愛し耕
	ま	275	12	頓を助けたるものに相違御坐いませぬ．	また　近頃は感化事業即ち幼年囚，及び不論罪懲治者
	ま	190	07	座んするけれども，さう手が届かない．	また　力も及ばぬといふよりして裁判所に委託してや
	ま	252	17	を施し，これにても不充分なるがゆゑ，	また　懲戒を与へると云ふ此の三つの方法を要します
	ま	173	01	れて居り天恩，君恩，主恩，父母の恩，	また　長老朋友などに対してあの人は恩人だと言ふや
	ま	083	05	イスパニヤとポルトガルで御坐ります．	また　地理によつて諸君に近い国の例を申しますなら
	ま	081	15	人間の器量は様々にして其の常に為す所	また　勉める所種々なれば人の進歩も亦たゞ一と筋の
	ま	145	06	し其の委員が好いと認めた新著を出版し	また　手本になるべき西洋小説を翻訳させ検定の上で
	ま	222	15	婦女の間に白拍子の舞が有りましたが，	また　田楽と猿楽と云ふものが起りました．これは舞
	ま	122	08	亦酒を飲むと云ふ様になつて行きます．	また　独逸でコレラ病に罹る者を調べたのには平常酒
	ま	254	07	る者も，これもドウも仕方が無いから，	また　盗賊を始めると云ふ次第でありまするから，監
	ま	270	12	云ふことは此の事実から見ても尤もで，	また　道理からしても，さうあるべきものに相違あり
	ま	171	09	渡航するにも大層な便利がありませう．	また　十日平均位に行くことも出来ませう．一昨日，
	ま	128	05	のかたい事実となるものも御坐ります．	また　遠からずず全く聞えなくなるべきものも御坐り
	ま	083	09	国中の有様は気の毒千万で御坐ります．	また　時の近い例を申しますならば彼の仏蘭西の国を
	ま	244	06	と申しまするものは法律の細目を定め，	また　時としては法律の委任を受けて某々の事を定む
	ま	250	09	したのは本街道で有りまするけれども，	また　時としては此の本街道を外れて他の悪い道に飛
	ま	268	11	に送り付けることになつて居りまする．	また　時としては数日の拘留の刑はこヽに於て執行す
	ま	222	06	紙に至つては勝れた上手が有りませぬ．	また　徳川時代の戯作者は人情には随分渉つたが事柄
	ま	207	08	まして，秋の頃，沢山に「ソラ飛んだ，	また　飛んだ」と云ふことが有ります．しかし雨のや
	ま	257	08	とを以て救助をしなければなりませぬ．	また　並みの少年を養育するのは将来に善良有益の人
	ま	241	09	これ等は述るに於て聊か不都合は無い．	また　成るべく世間に知らしむるに於て利益あるもの
	ま	034	01	つたとか，いふことが見えて居ります．	また　日本ばかりでなく西洋でも総て酒は人間の食物
	ま	141	02	は見るに忍びぬ程で有つたと申します．	また　日本の小説家の品格を申さば源氏物語の紫式部
	ま	188	17	したことは無いことになつて居ります．	また　日本におきましても立法上のことと執行上のこ
	ま	083	16	完全なる進歩が迚も出来ませぬ．第五；	また　人間社会の進歩に付てかう云ふことが御坐りま
	ま	131	01	によつて容易に変ることは致しませぬ．	また　人間の心に植えられたる所の道徳の法も人の色
	ま	153	11	ことは行政法できめなければならない．	また　人間の姓名は自由であるから束縛されることは
	ま	216	07	為めに拵へたことで有らうと思ひます．	また　仁徳天皇の時，摂津の菟我野と云ふ所に鹿が二
	ま	148	17	付けなければ要用な調べも出来ませぬ．	また　年齢のことにしましても徴兵年齢とか学校年齢
	ま	269	11	七十四人，即ち六割四分で有りまする．	また　年令を以て割合を申しまするると十歳以下は百八
	ま	054	04	用ふることを開くに如かずと思ひます．	また　後のことを考へると前に申した秦の始皇の話し
	ま	241	11	至りまするとコレコレは述べてもよい，	また　述べるがよいと云ふことは沢山に有りまする．
	ま	130	11	教は迚も近来不意に起つた所の新しき論	また　は設理，或は一人か二人の量見によつて滅びて
	ま	134	07	つて之を知るべし」と仰せられました．	また　は「悪き木は善き実を結ぶこと能はず」などと
	ま	150	06	と国との関係を規定したるものを外公法	また　は万国公法と言ひ，国と国民と其の国に居住し

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（また）	ま	169	15	方は学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，	また は華族とか何とか云ふやうな金持ちたちで亜米
	ま	207	06	まだ気をとめませんで有りましたが……	また 話しに枝がさきますが，諸君の御存じの通りィ
	ま	209	02	たとて地球の運動に狂ひは有りません．	また 非常に稀薄なものであらうと云ふ証拠は尾を透
	ま	267	05	教授を受くるやうなことが有りますし，	また 非常に性質の悪い者とサホドで無い者とを一所
	ま	274	15	，イギリスに於ては千八百七十年にこれ	また 非常の英断を以て地方監獄を中央政府の直轄と
	ま	275	12	致されたとのことで有りまする．これ，	また 非常に監獄の整頓を助けたるものに相違御坐い
	ま	080	15	人の種々の善き所に加へて人を貴くし，	また 人を活発にする新しい原素をつくる仕方で御坐
	ま	085	12	人の悪しき性質，人の損害になる原素，	また 人の位を下げる所のものを除き去りまた減ずる
	ま	085	14	にでも現に成り立つて居る所の善き性質	また 人の得益になる原素，人を貴くするものを能く
	ま	086	03	ば人の悪しき性質，人の損害になる原素	また 人の位を下げる所のものは何で御坐りませうか
	ま	086	10	れ等の大切なものは此の世の権威と勢力	また 人の立てた所の法則また此の世の富などに係は
	ま	087	09	ざるものなりと云ふ返答が出来まする．	また 人の善き性質，人の益になる原素，人を貴くす
	ま	089	03	るゝことも無くして人の真の有様を示し	また 人の種々の不足不完全を明らかに教ゆる宗教で
	ま	089	12	せぬことが決して御坐りませぬ．第三．	また 人の種々の進歩を励ます為めには人の目の前に
	ま	090	04	せぬと云ふことが御坐りませぬ．第四．	また 人の進歩を助くるには人の導きになる教，色々
	ま	183	03	子は妾を蓄ることを何とも思はず婦人も	また 人の妾となることを何とも思はず甚しきは妾を
	ま	008	15	は字もむづかしいのは成るたけ教へず，	また 一つには仮名か羅馬字で綴つた文章を読ませる
	ま	080	13	ものを減じ或は除くことで御坐ります．	また 一つには現に成り立つて居る人の善き所，人の
	ま	080	14	のものを能く養ふて盛んにするの仕方．	また 一つには現に成り立つて居る人の種々の善き所
	ま	085	13	る所のものを除き去りまた減ずること，	また 一つは何れの人にでも現に成り立つて居る所の
	ま	085	14	するものを能く養ひて盛んにすること．	また 一つは人が既に持つて居る所の善き事柄の上に
	ま	135	01	これで御坐ります．併しながら，こゝに	また 一つの不承知を言ふお方が御坐ります．この不
	ま	175	11	せしめるやうにすると土地は狭くなり，	また 一つの職業でも，共争ひに争ふやうになつて身
	ま	125	16	教は素より全く間違つたもので御坐る．	また 一人はＴｙｎｄａｌｌ氏が何々と示した故に私
	ま	231	16	きは議長之を決すると云ふことも有り，	また 府県知事が自ら議会へ出て討論をすると云ふこ
	ま	186	12	ト教に於ては女子の教育を勤めること，	また 婦人が社会のために働くことを励ますこと，婦
	ま	191	07	力即ち大権といふものが三つあるとも，	また 二つあるとも云ふことを論定したのでも無い．
	ま	153	06	宗教自由（耶蘇教でもモルモン宗でも，	また 仏教でも勝手に信じてよいといふこと）を定め
	ま	166	09	考へ種々様々な論説を出し問答研究し，	また 物理学，機械学，数学などの色々の学科の助け
	ま	108	17	避ける方向に向つて避けるに違ひ無い．	また 船が沈没しきらぬうちに海員の或る部分は端艇
	ま	121	04	を見せたら其れからして論も起らうし，	また 弊害が有ると云ふことが分れば自然と節酒する
	ま	251	16	す．此の者を不論罪懲治者と申します．	また 弁別心が有つて悪事を働いた者は已むを得ず之
	ま	208	12	云ふ調べはむつかしいもので有ります．	また 彗星は惑星と違つてボーットしたもの故に一部
	ま	212	01	が彗星の尾の中に居つたので有ります．	また 彗星の頭のコナゴナの中は地球がショッチュウ
	ま	212	13	と思ひます．お互に長生きをして其の頃	また 彗星の話をするのも随分面白いことで有りませ
	ま	189	12	ります．例へば法律の草案を出すとか，	また 法律を議するときには政府の委員が出て討論を
	ま	127	13	る説教師は総て学術の趣意を感心して，	また 前に申した仕方の間違つて居ることをよく承知
	ま	228	07	つて名誉戸長と云ふやうなものが有り，	また 町には町年寄と云ふものが有りました．かうい
	ま	218	06	たことを本にして作り広めたのも有り，	また マルマル無いことを有つたやうに作つたのも有
	ま	243	04	体の望みを表はすものを立法権と云ひ，	また 右の望みを執行するものを執行権と申しまする
	ま	152	10	法はアタマで行政法は手足であります．	また 民法は本で訴訟法は附属物であると同じく憲法
	ま	219	06	気に入れば女に勧めても返書を書かせ，	また 娘が文を受け取つても親が不承知なら，よさせ
	ま	263	16	の部に於ては不良の少年を教育感化し，	また 無籍の幼年者を教育感化し，また幼年犯罪者を
	ま	228	06	名の下に今の郡長のやうなものを置き，	また 村には名主と云つて名誉戸長と云ふやうなもの
	ま	230	02	内地の郡の如きものが三十六あります．	また 村と，村のやうな島が五百八十九あります．現
	ま	192	08	い狭いで輿論といふことには違ひ無い．	また 明治二三年に公議所を開いたのも其の通り，其
	ま	124	06	無益で有るまいと希望いたします．併し	また 若し図らず今度のお話しの序に僅でも其の他の
	ま	135	09	のべ伝へよ」といふことで御坐ります．	また 若し人間の色々の楽みと哀み人の色々の願ひと
	ま	090	07	光りの如し」と云ふ明文が御坐ります．	また 耶蘇基督御自分に「我れは世の光りなり」と仰
	ま	134	05	き行ひを見て神を崇めしめむ為めなり」	また 耶蘇基督御自分にも明かに申されましたことが
	ま	132	13	てしまふもので有ります．滅ぼすこと，	また 破ることと駁つことは露西亜の虚無党の仕方で
	ま	210	09	した者も有りました．少したつと今度は	また 山師が「ベルリンのプロフェッソルの誰がいよ
	ま	085	01	を勉強する人には至つて面白いことで，	また 有益なることで御坐ります．先づ人間の進歩の
	ま	127	05	論はかたい論にして中に面白いことも，	また 有益有用なることも多う御坐ります．故に若い
	ま	086	08	ば明らかな返答は出来まいと存じます．	また 世の普通の学問は誠に大切なものなれども，こ
	ま	131	14	なることは滅多に御坐りませぬ．第五．	また 善い仕方が御坐ります．卒業生が学術のよくシ
	ま	263	17	化し，また無籍の幼年者を教育感化し，	また 幼年犯罪者を教育感化いたしますところで有
	ま	146	02	利益が有るかと言ふと随分利益も有る．	また 能く売れます．千部売れゝば大いなることは無
	ま	113	13	ことだが其の必要なもので有るだけに，	また 欲が熾んに有るから之を節するのは甚だむつか
	ま	270	06	まして丁度五割三分ほどに当りまする．	また 読むことだけを知つて居りまする者が千三百四
	ま	270	07	まして丁度一割六分ほどに当りまする．	また 読むことと書くことを知つて居りまする者が千
	ま	270	08	まして丁度二割一分ほどに当りまする．	また 読むことと書くことと算へることを知つて居り
	ま	008	06	火を打ち揚げてヒュウヒュウポンポン．	また 夜になつて鹿鳴館に往て見ると賑で押し返され

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（また）	ま	263	15	に於て実行せる監獄事業の分ち方はこれ	また	四部となります．其の第一は犯罪予防部と申し
	ま	149	03	生とか其の他，離婚のこと結婚のこと，	また	来住のこと往住のことなどを調べるにしてもド
	ま	189	12	ときには政府の委員が出て討論をする．	また	立法権で法律を議決したときには執行権者が裁
	ま	145	05	智識を交換するが面白からう．其の中に	また	和漢洋兼備の先生たちを撰り出して委員と致し
	ま	171	13	動が始まつたら益々便利になりませう．	また	我が国の人民は北亜米利加に向つて行く因縁が
	ま	136	01	其の庭を見ますれば誠に面白くも無く，	また	分らぬやうに見えます．けれども遂に二階に上
	ま	246	04	足の先きまで悪いと云ふことでも無し，	また	悪い事をした日から何十年の間，死ぬまでも悪
	ま	183	02	せう．其の結果は実に思ひ遣られます．	また	我々の最も不思議に思ふのは世間で妾や権妻と
	ま	053	10	りしては，いつまでも事は出来ませぬ．	また	，せいてもいけませぬ．と言つて油断してはす
	ま	086	03	下げる所のものは何で御坐りませうか，	また	，これ等の善き性質，人の益になる原素，人を
	ま	148	03	とを行政上できめなければなりませぬ．	また	，この土地には鉱物があるとかいふことをスタ
	ま	165	12	とで之を説くといふのも亦むづかしい．	また	，この題は一人一己の事を説くものでは無くて
	ま	183	06	れは実に心外千万なことで御坐ります．	また	，こゝに申さねばならぬことが御坐りますがキ
	ま	184	02	め真正の幸福を受ることは出来ません．	また	，これから起る所の弊害不幸は何程だか知れま
	ま	230	04	たのは廃藩置県のときからで有ります．	また	，この区画を色々に利用しまして陸軍に於ては
	ま	248	14	の刑を執行するのは監獄で有りまする．	また	，刑事上の被告人，即ち俗に未決者と申します
	ま	249	04	ければ警察も裁判も無効になりまする．	また	，警察と監獄が何ほど宜しくとも裁判が悪いと
	ま	249	05	悪いと警察と監獄が無効になりまする．	また	，裁判と監獄が何ほどよく整頓しましても警察
	ま	253	09	科目の多少をきめることで有りまする．	また	，只今申した如き者の為めには農業をさせるの
	ま	270	03	．実に恐るべきことでは有りませぬか．	また	，不良少年の多少は其の教育の有無に関係する
	ま	270	11	りまして丁度たゞの四厘に当りまする．	また	，小学教育より以上を受けたる者は一人もあり
	ま	273	06	池，樺戸，空知の五箇所でありまする．	また	，其の中を区別しますると未決監は百七十五，
	ま	274	15	に大いに改良を施すことが出来ました．	また	，イギリスに於ては千八百七十年にこれまた非
	ま	121	12	病死することが増す」「自殺が殖える」	また	「罪を犯す者が多くなる」などと云ふ様なこと
	ま	210	15	やうな有様だらう」と言ふ人が有れば，	また	「地球が彗星に突き当れば我々はズット寒い所
	ま	210	17	させられるのもドツチも有り難くない．	また	「地球が彗星に突き当るとコナ微塵になる」と
	ま	211	03	恐ろしく無い」と言ふ者も有りました．	また	「何でも無いことだ，地球に彗星が何十何まん
また	股	063	16	炎天にさらし夜は湿気に触れ漸く提灯を	股	に狭んでウタゝネし時ならざるに食ひ時ならざる
また	待	068	16	の俸給を得まするまでには平均三箇年を	待た	なければなりませぬ．其れはＡｓｓｅｓｓｏｒ
	待	068	17	ｏｒが多い故裁判官となるには三箇年を	待た	ねばならぬ訳で有ります．之を以て孛漏生国の
また	復	164	12	数字を揮灑し某弁に頤指し施措を飛行し	復た	客と酌む．夜闌にして客始めて謝し去り且云く
また	亦	058	08	ればならぬが併し物は一利一害で開化も	亦	開化の度に依つて種々のよしあしが御坐います．
	亦	082	02	て人の進歩で御坐ります．学術の進歩も	亦	斯の如し学術が自分に進歩するもので御坐りませ
	亦	084	05	で進み行くならば全国民の総体の進歩も	亦	川が流れる如くに進み行く筈で御坐りませう．た
	亦	186	04	れません．而して此の不釣合を直すのも	亦	キリスト教で御坐ります．何となればキリスト教
	亦	088	05	々の必要なものが御坐ります．これ等も	亦	基督教の緊要なることを能く顕はす故に其の中の
	亦	102	06	本の国情が西洋に知れて居ないのがこれ	亦	軽蔑の一原因であります．私は固より日本人であ
	亦	122	08	ば私が酒飲みだと私の子が酒を飲み孫が	亦	酒を飲むと云ふ様になつて行きます．また独逸で
	亦	084	08	知れてあつたならば向ふに到着の時節も	亦	知れぬことで御坐りませぬ．さりながら人間社会
	亦	128	02	に務めて論ずるもので有りまする．これ	亦	随分ケンノンな仕方で御坐ります．ナゼと云ふな
	亦	125	01	多けれども其の妨げと邪魔になるものも	亦	少なからず．そこで私今専ら弁じたいと思ひます
	亦	135	05	いものと言はれるならば基督教の趣意も	亦	狭いもので御坐りませう．ナゼなれば基督教は則
	亦	135	11	のものが狭いものならば基督教の趣意は	亦	狭う御坐ります．ナゼといふのに人間のこれ等の
	亦	088	14	けませぬ．ニュージーランド島の土人も	亦	其の通りで御坐ります．英吉利の政府でも種々世
	亦	081	16	す所また勉める所種々なれば人の進歩も	亦	たゞ一と筋のもので無く其の種類多く御坐ります
	亦	097	09	れ道徳上の罪人なる船長ドレーキをして	亦	法律上の罪人たるに充分なる証拠を蒐集すること
	亦	108	04	を為すの結果，人を殺すに至つたものも	亦	マーダーと為す如きものであります．そこで自分
	亦	165	11	，むづかしいことで之を説くといふのも	亦	むづかしい．また，この題は一人一己の事を説く
	亦	059	13	等の悪病より煙草，酒其の他の贅沢品も	亦	輸入いたしたでありませう．所で人間の性と云ふ
	亦	128	14	て御坐りませぬ．故に此の第二の仕方も	亦	よい仕方で御坐りませぬと存じまする．併しなが
	亦	185	02	淫を行ふ者で其の出された婦を娶る者も	亦	，姦淫を行ふ者である」と仰せられましたが，こ
	亦	191	08	法律を執行するに止まる．政を行ふのも	亦	，法律を執行するに止まるものであるから行政権
	亦	257	01	貧民の種類は何かと申しますると，これ	亦	，二種類しか有りませぬ．其の第一の種類は天然
	亦	260	05	る上は更に寄附を受けざること．これも	亦	，最も必要なことで，例へば一万円の年額を要す
また	又	046	16	や印度などに往いて残忍のことをしたり	又	亜細亜各国に対して勝手次第のことをしたり忌憚
	又	030	02	のアマノガハの上にある星が一番多い．	又	アマノガハの外にある星の中でも精しく調べて見
	又	031	14	違つた様に見ゆるのも有ります．そこで	又	アマノガハの中にも大分瓦斯体であつて望遠鏡で
	又	051	13	モロコシ文字を省いて書くといふ様に日	又	一日に仮名文字の用ひが殖る様の実があがりませ
	又	045	15	から決して悪いこととは申されぬぢゃ．	又	いつまでも，やまぬであらうと云ふことは政府が
	又	060	03	ふは必竟これ等は便利であるからです．	又	田舎では以前は絹衣などは絶て着るものが無かつ
	又	054	13	集先生の御著述を待つて居ります．さて	又	今まで修身の道は我が国では孝経をたのみにして
	又	077	06	律と経済とは社会上同一に必要なもので	又	今の様に相須つて用を為すものであれば同一の業
	又	039	05	れば社会を守ることが出来ぬからぢゃ．	又	生れ子を殺す風習の有る社会が有るが其の中にも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（また）	又	061	14	るに方つて尚ほ人力車を用るあり，或は	又 運動を必要とする男女学校生徒にして僅か近傍の
	又	096	04	いふことはまだ現はれて来ませぬから．	又 英国の如く怠務殺人となすにもせよ其の本務を怠
	又	079	11	もので，たゞ一個人にも御坐りまするし	又 多くの人より成り立つ社会の中にも御坐ります．
	又	059	02	云ふが，これ則ち衛生の有り難い証拠で	又 開化の徳でありませう．此の県下で六伝染病中チ
	又	099	01	が共同して二十五名の人の不幸を悲しみ	又 外国人の不道徳なるを怒つて其の罪を鳴らしたか
	又	071	04	苦勉励せられて他日の成業を期待せられ	又 学科上に就て教師の任を執らるゝ方は一層の勉励
	又	034	06	で決して兎が餅を搗いて居るでは無く，	又 雷は大鼓をしょつて居るものでは無いといふこと
	又	045	07	は参政の権が有るが女には其れが無い．	又 議員を選挙する権も亜米利加のは州によりて普通
	又	070	15	修学校で昨日の倍数ほど卒業生が出来，	又 来る十七日には英吉利法律学校の卒業式にも案内
	又	048	06	．故に電信だの郵便だの互に条約が有り	又 今日の官報に出て居た様に日本でも欧羅巴のメー
	又	020	12	れば蒸発気が有るから雲も有る訳です，	又 現に有るです．雲が有る位だから空気も有る．又
	又	074	10	ち積極的の価値といふことになります．	又 之に反して害を除く方で御坐んすが，これは世の
	又	031	06	と星のかたまりの様に見ゆるのも有り，	又 今日世の中にある極上の望遠鏡で見ても矢張り雲
	又	043	17	が行はれたらば人類は亡びたであらう．	又 今日文明開化になりたのも強い人種が弱い人種を
	又	048	07	でも欧羅巴のメートル条約に加入したが	又 子午線のことにも加入する様になるだらう．さす
	又	064	16	立派な他の業を営むことも出来ませう．	又 従つて二十余万の人の健康を害することも大いに
	又	042	02	西洋では大いに人民の権を許してある．	又 支那では父子の間で子が親に対しては終身，権は
	又	057	15	ものと思ひます．是れ私が当路者に謝し	又 諸君が斯る幸福なる県下に居らるゝことを賀する
	又	060	17	モンドを捨て張り子の虎を取りませう．	又 諸君が田舎に於て真赤に塗りたる寺院を見るか又
	又	067	10	形なる愛護と教師諸君の深切なる尽力と	又 諸君が多年の刻苦と勉強とによつて得られたる栄
	又	063	13	弊たるや国民衛生上頗る有害なることで	又 人力車夫自身の健康上に至つては更に一層の危害
	又	045	08	加のは州によりて普通選挙の国も有るが	又 制限を立てて丁年の男子は誰でも選挙にかゝると
	又	079	11	より成り立つ社会の中にも御坐ります．	又 世界中の人類にも御坐りますけれども一番有り難
	又	058	12	化して鉄道が出来た為めでありませう．	又 先刻坪井医学士が言ふた通り英吉利は衛生が進ん
	又	031	12	ても瓦斯の部分が多いと云ふことです．	又 其の位置はと言ふと或はアマノガハの近所に在る
	又	068	02	る順序によつて如何なる資格を有するや	又 其の員数は如何，又其の需要と供給の比較は如何
	又	068	02	なる資格を有するや又其の員数は如何，	又 其の需要と供給の比較は如何と云ふことを簡短に
	又	031	02	併し肉眼では見えませぬ．其れからして	又 其れと類似したもので矢張り肉眼で見ては見えず
	又	040	04	が一つぢゃと云ふことが分るであらう．	又 大古は夫婦の配偶と云ふものは全く無くて，たゞ
	又	059	06	なされ必ず無くなること請け合ひます．	又 近くは我が陸軍や海軍で兵士の食物を改良し空気
	又	020	12	るです．雲が有る位だから空気も有る．	又 地球に似て南極北極と云ふものが有り此の南極北
	又	058	13	くなつたと云ふのも即ち開化の為めで，	又 独逸の或る都府に於てはこれまで大層チフスと云
	又	061	01	田舎に於て真赤に塗りたる寺院を見るか	又 東京に於ても支那の公使館の門を見られたならば
	又	075	02	権利を伸張せむが為め法律家を頼むとか	又 内乱とか暴行等があつて，こはくてたまらぬから
	又	070	16	校の卒業式にも案内を受けて居りますが	又 何人か卒業生が出来ることで御坐いませう．斯の
	又	002	03	一体お前は元の「かなのとも」で有るか	又 は何で有るかとのお尋ねで有りました．私は「か
	又	045	16	悪い事をした人を害するに首を斬るとか	又 は懲役に処するとか禁獄に処するとかするが其れ
	又	060	13	まり家を亡ぼし遂には獄内に籠城するか	又 はモルヒネ往生等に極を結ぶ者多くあります．是
	又	074	06	求めるとか子供ならば玩弄物を買ふとか	又 は家政の為めに田地を買ひ貸家を建つて家賃を取
	又	096	03	．其の証拠を挙げてかゝらぬければ謀殺	又 は故殺に問ふことは出来ますまい．なぜなれば船
	又	106	06	ち商務局若しくは海事裁判所に於て船長	又 は其の他海員に不応為の所為があると思料する場
	又	106	08	為あるに於ては其の海員の業務を停止し	又 は其の免状を没収するの処分を為すべし」といふ
	又	108	09	が未だ取り調べが出来ずして僅に新聞紙	又 は世間の報道より外に材料は御坐りませぬ．併し
	又	144	13	人たちがソロソロ西洋の小説を訳したり	又 は著はしたりして参りましたがタカが少数で中々
	又	170	12	コを好んで行きませうか．朝鮮か満州か	又 は支那を好んで行きませうか．さうでありますま
	又	184	07	りますが，たとひ一人で多くの妻を持ち	又 は妾を置くことはせんでも若し何時でも勝手次第
	又	195	13	凄い彗星だ，大風でも吹きはすまいか，	又 は地震が有りはすまいか，戦争でも起りはすまい
	又	214	13	年追々と西洋風が流行つて来て留学生や	又 は洋行の人などが帰朝するに従つて小説と云ふも
	又	215	02	学者は競つて西洋の小説を翻訳するとか	又 は自分で著述するやうになり，俳優も編笠どころ
	又	222	16	れは舞ばかりで無く高い所で芸をしたり	又 は刀を使つたり又はヲカシイことを言つて身ぶり
	又	222	16	く高い所で芸をしたり又は刀を使つたり	又 はヲカシイことを言つて身ぶりをするもので有り
	又	228	17	里の場所が有るとしますと其の中で家邸	又 は公園と云ふ如きものが過半を占めるときは之れ
	又	231	08	と云ふものが有り其の側らに法制局とか	又 は参事院とか云ふ行政議会が有つて議政に与かる
	又	232	02	を諮んじて居ませぬが府県知事は府県会	又 は常置委員会に下して其の意見を諮問することを
	又	240	02	詰問せられました．けれども元来，上官	又 は他人の命，又は依頼を受けて其の人の為めに見
	又	240	02	た．けれども元来，上官又は他人の命，	又 は依頼を受けて其の人の為めに見たことは其の注
	又	242	10	きまするとツカマヘルと云ふ意味で罪人	又 は刑事上の被告人又は金を借りて払はない者など
	又	242	10	ルと云ふ意味で罪人又は刑事上の被告人	又 は金を借りて払はない者などを拘禁する所であり
	又	243	15	りまするが単に民法，刑法だけの執行，	又 は適用を掌ることとなつて居りまして其の他の法
	又	244	01	に申しまする如く立法権事務は元老院，	又 は国会を設けて之を行ひ，執行権事務は政府と行
	又	244	15	著しきもので，之を維持せむには陸軍，	又 は海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，また監獄を用
	又	248	11	犯罪人を捜索して之を裁判所に引き渡し	又 は嫌疑者を捜索して之を裁判所に引き渡すもので
	又	249	06	ヤミに誰でも拘引して警察署の留置場，	又 は監獄の未決監に入れて置くと云ふことが起りま

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（また）	又	252	06	せぬ．之を二た通りに分ちまして親族，	又	は関係者から願ひ出る者を出願懲治者と申しまし
	又	255	06	しました．警察に於ては法律の違反者，	又	は国事に関係する者は探索することも有りまする
	又	256	06	一の公けの救助と申しますものは全国，	又	は府県，若しくは町村よりして救助することで有
	又	256	08	二の私の救助と申しますものは一私人，	又	は数私人，若しくは有志者，特志者から救助する
	又	257	03	民で有りまして，例へば衣食住の一部，	又	は全部を欠く者（即ち壮健なる貧民），貧病人，
	又	257	14	の中にも単に救助に止まるものも有り，	又	は救助と犯罪人予防との両性質を有するものも有
	又	258	02	不具者にして親族の救助し能はざる者，	又	は救助せざる者，又は親族の無き者で有ります．
	又	258	02	救助し能はざる者，又は救助せざる者，	又	は親族の無き者で有ります．第二種は貧病人にし
	又	258	03	貧病人にして親族の救助し能はざる者，	又	は救助せざる者，又は親族なき者で有りまする．
	又	258	03	救助し能はざる者，又は救助せざる者，	又	は親族なき者で有りまする．第二，貧民の救助，
	又	258	07	る貧民にして親族の救助し能はざる者，	又	は救助せざる者，又は親族なき者で有ります．第
	又	258	07	救助し能はざる者，又は救助せざる者，	又	は親族なき者で有ります．第二種は不良少年にし
	又	258	08	種は不良少年にして親族の矯正なき者，	又	は矯正の足らざる者を矯正すること（即ち心の救
	又	258	14	者即ち出獄人にして必需の資力なき者，	又	は引取人なき者，又は他人の使傭するを嫌ふ者が
	又	258	14	必需の資力なき者，又は引取人なき者，	又	は他人の使傭するを嫌ふ者が有ります．現在は引
	又	258	15	者が有ります．現在は引取人の無い者，	又	は帰郷旅費の無い者は別房留置者と名づけまして
	又	259	04	救助を以てし，或ひは私設救助に政府，	又	は府県，町村より補助するの仕方を以てやるべき
	又	261	03	点で有らうと思ひます．其の方法は異名	又	は番号を以て行つても宜からうと存じまする．前
	又	261	11	，唖，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，	又	は養育院の如きものの管轄と致し，生れて未だ身
	又	261	13	例へば棄児或ひは孤児の如きは棄児院，	又	は孤児院の如きものの管轄と致すと云ふのが私の
	又	267	09	の会社に於ては或ひは授業の方法を与へ	又	は出獄人を周旋して通常の雇人と致すことに尽力
	又	268	09	留置場と申しまして，これは各警察署，	又	は憲兵署などの在る所に設けるもので有りまする
	又	271	02	ざる中に監獄に送つてしまひまするか，	又	は無罪放免になりまするからのことで有りまする
	又	272	01	論罪懲治者の宣告を受けたる者と両親，	又	は親族等より願ひ出でたる出願懲治者（未丁年）
	又	273	16	になりましても行きどころが無いとか，	又	は帰郷旅費が無いとか足りないとか云ふので拠ろ
	又	276	02	棒罰すると云ふ主義で，棒でぶつておけ	又	は道具でカラダを苦しめろ，或ひはハリツケにし
	又	070	05	しましたが二十人たらずで有りませう．	又	判事補は九百〇六人，代言人は千〇六十五人で内
	又	061	02	開時の風たるを覚らるゝでありませう．	又	緋縅の鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のときは又未
	又	038	14	の社会を維持し進歩を謀らねばならず，	又	開けた国では其の有様によりて其の社会を維持し
	又	041	15	在りては今日の道徳と全く違ふて居るし	又	開けて来た後でも今の欧羅巴と支那とは大いに違
	又	043	12	黙りて打たせておけと云ふ所までゆき，	又	仏教では人間のみならず禽獣にまで慈悲を施し決
	又	042	10	になることをせねばならぬと云ふこと，	又	法と云ふものは己を利することを許すは固よりな
	又	075	03	も無ければならず巡査も無ければならず	又	凡夫であれば僧侶に頼んで罪を擯ひ除けるとかい
	又	061	02	の鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のときは	又	未開化人の用ゆるものたるを知られませう．故に
	又	076	08	の部類に属することで御坐んせう．さて	又	右の如く消極的の学科即ち法律学の如きは直接に
	又	108	06	す．然るに其の所為はマーダーに当るか	又	メンスローターに当るかといふに当時の実況は我
	又	047	13	ことをして実に道徳にも何にも構はぬ．	又	耶蘇教師までも其れを何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．
	又	039	09	から，なほさら殺さねばならぬ訳ぢゃ．	又	老人などが役に立たぬ様になると殺す社会が有る
	又	071	06	を製造陶冶せられむことを望みまする．	又	我が国に於て新聞記者が「最早法律学士の供給は
	又	018	04	も皆太陽がたいてくれるので有ります．	又	我々が手を動かすも足を動かすも皆太陽が動かし
	又	033	10	酒を以て国を亡ぼす者あらむ」と言はれ	又	「酒は百薬の長」とも言はれまして説が両端にな
また	俟	099	14	義侠の心を生ずるものなること論ずるを	俟た	ず．且船長は幾多船客の生命を保護すべき責任
まだ	ま	096	04	とか臨時殺さうと思ふたとかいふことは	まだ	現はれて来ませぬから．又英国の如く怠務殺人
	ま	019	16	遠鏡で無ければ見えませぬ．此の外にも	まだ	有りますが此の位でおいて外のことに移りませ
	ま	070	12	が今日僅に二十四人の卒業生では，まだ	まだ	遺憾と思ひます．この上にも沢山にお出来なさ
	ま	004	09	カンベーとやられてしまふ．フランスは	まだ	イクサを始めたといはぬを分らぬことと思ふ者
	ま	004	10	はぬを分らぬことと思ふ者もあれど実は	まだ	イクサにならない．小さな蟻を大きな足で踏み
	ま	134	15	．基督教の反対論に答へむには其の外に	まだ	色々の仕方が御坐りませうけれども先づ今日説
	ま	171	07	うと思ひます．北亜米利加合衆国は人が	まだ	多くなく，国に余地がある．また其の中にパナ
	ま	207	05	たと云ふ人は知りませず，私は其の頃は	まだ	気をとめませんで有りましたが……また話しに
	ま	252	15	筈の者であります．然るに未丁年の者は	まだ	教育最中であつたのですから此奴には教育も与
	ま	236	17	新前になつてはヨホド減つては来たが，	まだ	決してウケのよい学問と云ふことでは無かつた
	ま	225	02	良を見ることが出来ませうが演劇の方は	まだ	見物の了簡が強盗や情死でなくては面白がりま
	ま	209	17	べるやうになりますから．実に天文学は	まだ	この辺に進んでは居りません．今日，天文学の
	ま	156	01	，理財学，法律学，社会学，史学，文学	まだ	此の外にあるので，ごすけれども先づ此の通り
	ま	251	17	を幼年囚と申します．此の二つの外に，	まだ	罪人とはなりませぬが根性の悪い者，また悪事
	ま	267	02	適用いたしまする．其の趣意は未決者は	まだ	罪人では有りませぬ故に監獄に入れて置きます
	ま	140	16	とと思はれます．其の時分には日本では	まだ	小説の地位と言ふものが進まず彼れは戯作者だ
	ま	158	06	つて来る．其のかはり今，知れんことは	まだ	知れん，まだ知れんと云つて詰めると段々に知
	ま	158	06	のかはり今，知れんことはまだ知れん，	まだ	知れんと云つて詰めると段々に知れるやうにな
	ま	019	06	が此の星のことで御坐います．其れから	まだ	辰星と申しまして太陽のソバに居て滅多に離れ
	ま	181	13	ながら私の考へには禁酒禁煙は抑も末で	まだ	其の上に弊害の根本たる者があらうと存じます
	ま	198	07	其れは春の頃にタケノコがのびまして，	まだ	竹にならない時に庖丁でハスカケに切りますと

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まだ）	ま	224	10	つて俳優や作者も気が付て来ましたが，	まだ	兎角，強盗や情死の仕組は止みませぬ．これ等
	ま	166	05	で其の事実といふものが半は分つても，	まだ	半は分りませぬ．たとへば引力の働きは分つて
	ま	140	11	に借家し米屋炭屋がカケトリに来れば，	まだ	本屋から草稿料を呉れないから待つて呉れろと
	ま	070	12	ますが今日僅に二十四人の卒業生では，	まだ	まだ遺憾と思ひます．この上にも沢山にお出来
	ま	060	04	して猫も杓子も（と云つて杓子の絹衣は	まだ	見ぬけれども）着て居ります．しかのみならず
	ま	144	08	ふものは私の眼力が無く眼界が狭くつて	まだ	見当りませんが只今の所では十銭か十五銭で買
	ま	167	07	きの宇川さんの「離縁の話し」なども，	まだ	よく分らぬことだが段々気が付て来たから，お
	ま	157	13	か私には保証が出来ませんが其れから，	まだ	四百年にはなりませんテネ．其のお弟子のガリ
まち	待	128	13	せう．卒業生が各国の学者たちの判断を	待ち	まする間に基督教が不意に衰へてしまふ気遣ひ
まち	町	228	07	長と云ふやうなものが有り，また町には	町	年寄と云ふものが有りました．かういふやうな有
	町	228	07	名誉戸長と云ふやうなものが有り，また	町	には町年寄と云ふものが有りました．かういふや
	町	229	02	も区別しなければならないと思ひます．	町	の数は一万二千二百十七あるです．東京の町の数
	町	229	02	数は一万二千二百十七あるです．東京の	町	の数は俗に八百八町あるとか云ひますが，これも
	町	082	16	アデンスの町を御覧なされ．アデンスの	町	は立派に開けたもので御坐りましたが其の人民が
	町	082	15	ばギリシヤの国また其の中のアデンスの	町	を御覧なされ．アデンスの町は立派に開けたもの
	町	229	12	有るに違ひ有りませぬ．戸長の大いなる	町	，即ち市街のものを区長と名づけますのですから
まちがい	間	269	16	ると十二歳より十六歳までの間が一番，	間違	の出来やすい時で有るものと見えます，故に人
まちがつ	間	125	16	と申されました故に基督教は素より全く	間違つ	たもので御坐る．また一人はＴｙｎｄａｌｌ
	間	127	13	趣意を感心して，また前に申した仕方の	間違つ	て居ることをよく承知して学者が世に出す所
	間	232	08	も宜いし諮問しなくても宜いとの考へは	間違つ	て居るので，諮問すると云ふのは議定させる
	間	232	10	い．諮問もせずに，きめると云ふことは	間違つ	て居るので，たゞ法理ではコレコレのことは
まちがひ	間	172	16	からう．前に申した箇条箇条がタシカで	間違ひ	が無ければ我が国人は永く之を忘れずして恩
	間	048	15	．尤も其れは実に夢の様な話しなれども	間違ひ	無いことと思はれる．其れまでの間は各国が
	間	086	01	々の事柄は演題の確実なこと，また其の	間違ひ	無いことを充分証拠だてることも有らうと存
	間	127	03	の区域に限つて天然のものを論ずる間は	間違ひ	に陥ることは滅多に御坐りませぬ．一般には
	間	127	08	論ずる間には，なみの人の如くに色々の	間違ひ	に陥り易いもので御坐ります．けれども卒業
	間	162	14	洛詰だの無逸だのは正銘なもので決して	間違ひ	の無いものと私は思ふ．この酒詰の中に酒を
	間	132	10	で有ります．ナゼといふのに人の色々の	間違ひ	を駁つよりも真の道理を設ける方が余程よい
	間	246	13	目的を存じませぬと枝葉に至つて大変な	間違ひ	を来します．例へば監獄に罪人が這入ります
	間	276	10	其の囚徒をなぐつて懲すと云ふやうな大	間違ひ	を致すことになりませう．若し斯くの如き囚
まちがふ	間	087	16	る人はこれ等の大切なるものに付て或は	間違ふ	こと或はつまづくことは容易に御坐りませぬ
	間	038	07	ども併し近頃の西洋の説では其れは甚だ	間違ふ	たることで道徳は決して天然自然に有るもの
まちまち	区	241	13	るが，諸君の私にお問ひなさることが，	区々	になつて私も甚だ惑ひます．といふものは例へ
まつ	須	077	06	社会上同一に必要なもので又今の様に相	須つ	て用を為すものであれば同一の業を為すものだ
	須	149	11	ックを知らなければいけませぬ．全く相	須つ	て用を為すものに違ひありませぬ．併しスタチ
まつ	待	054	13	手紙の書き方の本は物集先生の御著述を	待つ	て居ります．さて又今まで修身の道は我が国で
	待	063	09	貴び鉄道のステーションに於ても五分も	待つ	て居るときは人皆な之を笑ふ位の忙しき所にて
	待	063	11	一時間も前からステーションに詰めかけ	待つ	て居る位の緩慢なる人物が多きにも拘らず一千
	待	140	11	ば，まだ本屋から草稿料を呉れないから	待つ	て呉れろと手をついて言訳を致したとか斯様な
	待	202	11	云ふので皆な面白がつてエウロッパ中で	待つ	て居つたです．この有様を日本の作者に言はせ
	待	202	12	に言はせましたら「各々カタヅをのんで	待つ	て居つた」と．でも言ひませう．ところが果し
	待	203	06	結果は，どの位，精密にゆくかと云つて	待つ	て居りました所が今度は十三日と言つたのが十
	待	206	14	天文学者がモウ戻つて来さうなものだと	待つ	て居りますと今度は一つで子はつれて居りませ
	待	207	01	度何月何日頃に現はれなければならぬと	待つ	て居りました，けれどもドコへいつたか今度は
	待	207	02	度は全く見えなくなりました．其の後も	待つ	て居りましたがドウしても見えません．無くな
	待	128	07	分多う御坐ります．故に先づ暫時の間，	待つ	方が宜しう御坐りませう．即ち各国の学者皆よ
	待	128	09	意して近来の色々の新論を承知するまで	待つ	方が宜しう御坐りませう．其の外に学術の色々
まづ	ま	101	08	り軽侮軽蔑を受くる原因でありませう．	まづ	第一に何を証拠として日本人は真面目でない強
まづ	先	030	17	ガハの外に有る星もあらうか，あらかた	先づ	アマノガハの中で無ければならない．然るに中
	先	169	12	見ませぬから委しいことは知りませぬが	先づ	亜米利加に行く者の方が欧羅巴に行く者よりは
	先	130	12	まふと云ふことは決して御坐りませぬ．	先づ	安心なされませ．独逸国の有名なる哲学者Ｋａ
	先	235	13	．尤も天文も渡りましたが其れは僅かで	先づ	一番は医術，其れから砲術で其れより今日の勢
	先	012	05	球の位置」と題をつけて致します演説は	先づ	今申しました位を目的と致しますことで御座い
	先	198	08	切り口が楕円の形ちになります．楕円は	先づ	円のやうなものですが細長いもので，惑星即ち
	先	142	14	は大体きまつて居ります．春水の梅暦が	先づ	お手本でドレを見ても一つこと．初めに情夫が
	先	176	10	有様を調べることが第一でありますから	先づ	海外に出稼ぎをなし移住をなす人があれば男は
	先	009	04	いかと思はれる．漢字を廃さうとならば	先づ	かういふ方法．併し廃さうでは無い，廃さない
	先	155	10	をならべなければ学者らしく見えない．	先づ	学問といふものは御存じの御方には言ふに及ば
	先	051	05	御坐りますが甚だ不調法で御坐ります．	先づ	仮名文字は便利でありモロコシ文字は不便であ
	先	053	12	ぬ．私の工夫は小学校の初等科の生徒に	先づ	仮名ばかりで教へたい．先づ「いろは」でも「
	先	177	11	本帝国を繁昌させることが出来ませう．	先づ	箇様な訳で先日も学士会院で演説しましたが其
	先	242	17	ると何ぞ異なるところが有りませうや．	先づ	監獄は行政権に属するもので有りまするから第
	先	134	16	まだ色々の仕方が御坐りませうけれども	先づ	今日説きまする所のおもなるものは，これで御

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まづ）	先	243	03	部分に属するかと云ふことを述べるには	先づ 行政権のことを述べなければなりませぬ．凡そ
	先	170	01	は随分下等の人物もありませうが云はゞ	先づ 玉石混淆の雑種人でありませう．けれども国人
	先	014	14	では大きい小さいの論は立ちませぬから	先づ 距離を測るのが第一番のことで有ります．そこ
	先	134	12	ば其の本は勿論貴いもので御坐ります．	先づ 基督教は善の教で御坐りまする．即ち世の中に
	先	059	16	で最も多く人の好くものは何かと云ふに	先づ 奇麗なものや便利なもの等であります．何とな
	先	145	03	ませぬ．併し一つの工夫が御坐ります．	先づ 現今の小説に志す人々は日本流の人も西洋流の
	先	172	15	ければ責められるがコッチにもあるから	先づ 五分五分と見てよからう．前に申した箇条箇条
	先	092	05	ます．あまり御話しが長くなりますから	先づ こゝに擱きませうけれども，終りに一言を申し
	先	208	02	星のことを言ひますと長くなりますから	先づ この位でおきまして今度は彗星に立ちかへつて
	先	208	16	が，知れて居りますだけに止めますと，	先づ この彗星の頭は軽いもので有る，稀薄なもので
	先	017	04	申さば明き家みた様なもので有ります．	先づ 此の位で月のお話しはおきまして此の外に何ぞ
	先	156	01	学まだ此の外にあるので，ごすけれども	先づ 此の通り聞きました．此の通り学問があるが極
	先	232	16	ことを講究する順序になります．今日は	先づ これまで申し上げて置きませう．専修学校生徒
	先	026	02	大き過ぎて測量することが出来ませぬ．	先づ 今日までに知れて居ります距離の中で一番近い
	先	022	07	ねますから鵞形を以て解き明しませう．	先づ さつき申しました直径一寸の玉を地球の鵞形と
	先	022	14	ち火星で太陽の鵞形から四丁と五十五間	先づ ザット六丁の処に五分三厘に足りない玉が有る
	先	128	07	つた所の論は随分多う御坐ります．故に	先づ 暫時の間，待つ方が宜しう御坐りませう．即ち
	先	088	06	の中の重もなる所を申しませう．第一．	先づ 種々の進歩を致さうと思ひます人は己れの不充
	先	054	06	るものを作ることが肝腎だと思ひます．	先づ 小学校の本，また学問のある人の研究の為めの
	先	093	02	トン号船長の罪を鳴らさんとせば宜しく	先づ 証拠蒐集に尽力すべし明治十九年十一月十八日
	先	093	06	トン号船長の罪を鳴らさんとせば宜しく	先づ 証拠蒐集に尽力すべし」といふ題に付て簡短に
	先	215	10	小説と演劇との成り立ちを申しませう．	先づ 小説の成り立ちよりして来歴の次第を申しませ
	先	217	11	ふ古めかしい趣向が有るだけに我が国で	先づ 小説を編み立つた始めで有らうと思ひます．其
	先	079	14	ワケはドウいふもので御坐りませうか．	先づ 進歩と云ふ漢字の和訓でも分りませう．即ちス
	先	089	04	人若し己れの真の有様を知りたいならば	先づ 新約書旧約書を研究するならば分らぬことが御
	先	206	16	居るが大分，親とは離れて居つたので，	先づ スダチしたと云ふやうな訳で，燕が子を生んで
	先	147	07	つて居るには違ひありますまいが今日は	先づ スタチスチックと行政法との関係より始めて並
	先	015	06	球の表面に於て二個所の点を取りまして	先づ 精密に其の距離を測りまして其れから先きは地
	先	149	14	のことまで関係して居るといふのですが	先づ 世間公けのことに関することであれば相集まつ
	先	147	05	講究しやうと云ふ趣意は色々ありますが	先づ 全国行政，地方行政，町村行政の三つに分つて
	先	014	06	て居ましたが昔の人の知つて居つたのは	先づ 其の位なものです．其れから望遠鏡で月を見る
	先	032	14	白くなる．併しどの国の歴史を書くにも	先づ 其の国の地図から始めるが順序ですから私は今
	先	080	03	な道理が含まつて居ると存じまするゆゑ	先づ 其の重もなるものを述べ而して後に本論に取り
	先	091	10	ねばならぬものは何で御坐りませうか．	先づ 其の言葉が種々御坐りませうけれども，たゞ一
	先	181	14	す．若しも世の弊風を改めやうとならば	先づ 其の根本から改めてかゝらなければなりません
	先	012	01	訳ですが中々今の有様では知れないから	先づ 其れまでいつたら，我々の物知りたがりも暫く
	先	014	02	といふことが知れる様になりましたから	先づ 其れからお話し致しませう．天の中にありて一
	先	212	15	かと云ふことを言ふことも出来ませう．	先づ 其れまではお預かりにしておきませう．小説と
	先	168	01	なりませう．其の外，色々ありませうが	先づ そんなものです．世が開けるに従つてまた新し
	先	024	04	持つた惑星が有るかと云ふに随分有る．	先づ 第一に火星には二つほど眷属が有る，二つほど
	先	025	01	る．「太陽系は何の中か」と言ひますに	先づ 第一に我々の地球などに比べると夥しい大きい
	先	181	07	考へではキリスト教に此の力がある訳は	先づ 第一に一夫一婦の教で御坐ります．即ち一人の
	先	226	12	部は行政裁判と云ふ順序に致しませう．	先づ 第一部に於ては行政官権並びに行政議会の組織
	先	226	15	織と権限とを講究することに致します．	先づ 第一部から申し上げて見ませう．即ち行政官権
	先	227	04	第一部では両方一所に申し上げませう．	先づ 第一に行政上の土地の区画と云ふことが大事で
	先	231	01	方になりますると沿革はさておきまして	先づ 第一に二つの原則が有ります．即ち第一には施
	先	222	10	とが転変してアー云ふ風になりましたと	先づ 大要を申して次に其の濫觴をザット述べませう
	先	198	05	ますがザットお話しをしておきませう．	先づ 楕円とはドンナもので有るかと云ひますと楕円
	先	227	06	時分には何と云ひましたか知りませぬが	先づ 只今の知事のやうなものが有りました．其れか
	先	219	03	人と云ふものは無くて婦人をみそめると	先づ 便りを求めて公然と文をやり其の返書の体や歌
	先	167	17	の為めに書くものや法令文書の往復まで	先づ ドウかカウか行はれて居ますが若し今すぐに此
	先	148	10	とを西洋のヤール，ブックに就て見ると	先づ 東京とか大坂とか京都とかは無論で，それから
	先	173	07	けては，きつたり，はつたりするものは	先づ 無いやうになつたので知れませう．若し我が日
	先	218	08	りませぬが，ツマリ物語を作つた趣意は	先づ 慰みもので日長のときや雨夜などの徒然を慰む
	先	226	10	す．よつて此のことを講究しまするには	先づ 二部に分ちまして第一部は行政，第二部は行政
	先	064	08	に如何なる者が之を営業するかと云ふに	先づ 二十歳以上四十歳以下のものにして随分他に立
	先	271	07	日本の監獄のことを申しませう．付ては	先づ 日本の監獄の種類から申しませう．これにも軍
	先	079	07	所の進歩すると云ふ性質が御坐ります．	先づ 人間は進歩する動物で御坐ります．世の中の動
	先	085	01	とで，また有益なることで御坐ります．	先づ 人間の進歩の有様とまた其の進歩に付て種々の
	先	037	04	分りにくき題なるべしと考ふることゆゑ	先づ 初めに社会と云ふことから講釈をしませう．社
	先	048	08	．さすれば国と国とが段々と相結合して	先づ 一の社会様のものを為すことになり一つの法律
	先	156	03	ればならない．其れだからむつかしい．	先づ 一つ，むつかしいことの話しをしませう．皆さ
	先	252	14	ち出生より丁年になるまでの間に教育は	先づ 一と通り終つた筈の者であります．然るに未丁

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まづ）	先	218	11	ソコデ物語は婦人の作が多い．其れゆゑ	先づ	婦人の心得になるやうに作つたので，かの勧善
	先	028	11	すが中にはコンナにかたまつて居ます．	先づ	二つかたまつて居る星は肉眼で見ますと唯一つ
	先	236	17	ケのよい学問と云ふことでは無かつた．	先づ	砲術などはイクサの為めにしなければならぬと
	先	025	04	月と惑星と其外に星と言ふものが有る．	先づ	星と言ふものは大事のもので天文学のことを星
	先	154	05	に付ては色々の奇談もありますが其れは	先づ	やめませう．学問と宗教との極点を論ず明治十
	先	127	10	は迚も出来ぬことで御坐りませう．故に	先づ	用心する方が宜しう御坐ります．よく熟した学
	先	252	02	だ罪人では有りませぬが，かういふ者は	先づ	両親等に於て其の懲治を掌りまするけれども元
	先	059	11	ものです．さて其の半開化の害といふは	先づ	我が邦が開化に赴きし以来如何なるものが舶来
	先	215	14	我が国のことばかりに付て申しませう．	先づ	我が国の小説は昔話しから出たもので小説の原
	先	222	11	して次に其の濫觴をザット述べませう．	先づ	我が国の上古には久米舞，吉志舞など云ふ固有
	先	203	08	．して見ますと，この彗星と云ふものは	先づ	惑星と同種類のもので有る，全く惑星と同じ様
	先	241	12	と云ふことは沢山に有りまする．其れで	先づ	私が諸君にお話し致しまることは前に申しま
	先	113	09	計に見ゆる．して見れば酒といふものは	先づ	悪い方に勘定をしなければ，ならないので酒を
	先	053	12	科の生徒に先づ仮名ばかりで教へたい．	先づ	「いろは」でも「あいうえお」でも「ほへと」
	先	053	14	に仮名を教へ仮名の字面を知りましたら	先づ	「は」の字と「な」の字を知れば「はな」とは
まっか	真	060	17	の虎を取りませう．又諸君が田舎に於て	真赤	に塗りたる寺院を見るか又東京に於ても支那の
まつしろ	真	029	12	せうが秋の頃に天を見てお出でなさると	真つ白	なものが有りませう，雲かと思へば雲で無い
まっすぐ	真	198	12	．其れは石を空に向けて斜に抛りますと	真直	で無く抛物線の形ちにあるきます．チョイト図
	真	044	03	右様の教を起したのぢゃ．曲りたものを	真直	にしようと云ふには真直にしたばかりては直に
	真	044	04	．曲りたものを真直にしようと云ふには	真直	にしたばかりては直に元の通りになるから全く
まったく	全	149	11	チスチックを知らなければいけませぬ．	全く	相須つて用を為すものに違ひありませぬ．併し
	全	188	13	ふものである．この立法権と執行権とは	全く	相異つて居るものでドウしても之を分別しなけ
	全	144	03	斯様な画が有るからとて画と言ふものは	全く	卑しむべきものとは言はれますまい．これと同
	全	038	01	間が即ちＣｅｌｌで動植物のＣｅｌｌと	全く	同じことぢゃ．其の様なる訳ゆゑ社会は全く動
	全	031	11	違つて瓦斯だと云ふことが知れました，	全く	瓦斯で無いにしても瓦斯の部分が多いと云ふこ
	全	129	11	が道徳法といふものには基が無し道徳は	全く	各国の慣習と風俗に係るものなりと言はれた，
	全	055	09	居ります．ドウゾ皆様のお骨折りを以て	全く	仮名の世界にしてしまひ，秦の始皇の大決断を
	全	219	15	ものだけでは迚も今日まで知れませぬ．	全く	仮名文の物語小説が有つたればこそ千年の後ま
	全	245	02	とも有りますが，これは通常の悪人とは	全く	変つたるもので有りまして数から申しますと，
	全	128	06	なるものも御坐ります．また遠からずず	全く	聞えなくなるべきものも御坐ります．学術の歴
	全	180	08	せんか．殊に婦人の地位を高くしたのは	全く	キリスト教の力で御坐ります．若し之を疑ふも
	全	027	10	ら其の星に何か一朝変動が生ずるか或は	全く	此の星が無くなつても其れから九年と三ケ月た
	全	262	07	の道具などと云ふものでは有りませぬ．	全く	罪人を懲治，感化すると云ふ場所で有りまする
	全	116	12	も続いて酒を過したあとで，あつたから	全く	酒の為めだと思つて其れからは自分でも，さう
	全	116	13	も今年も腸胃痛が起らなかつたを見れば	全く	酒を節した効能だらうと思はれます．かく自分
	全	117	15	もよい．私などは若し禁酒会にはいつて	全く	酒を禁じたらば却つて身体の為めによく有るま
	全	126	03	また基督教の原因と趣意と目的と結果を	全く	覚らざる者が多う御坐ります．例へて申します
	全	170	07	利加へ行く者の方は人に頼つたので無く	全く	自発して行くのでありませう，富貴の働きの方
	全	046	09	を云へば先刻言ふた様な訳なれども併し	全く	十分には行はれぬに相違ないと申すのぢゃ．こ
	全	237	10	なつて学問をする人は右二つの大難事が	全く	消滅しました．先生もあり，本もあり，西洋語
	全	037	10	が近頃に至りて社会は動植物と同し様に	全く	真実の有機物ぢゃと云ふことになりた．私の知
	全	162	10	に用ひ献酬歓を承けて以て天倫の楽みを	全く	すべし若し故なく群を成し相聚り酒を飲む者あ
	全	040	13	は今から言へば道徳に背いた様なれども	全く	其の為めに其の社会を維持して参りたのぢゃ．
	全	028	16	分有るだらうと思はれます．して見れば	全く	太陽系と同じ様な世界で有ります．三つ以上組
	全	014	08	と言ひます処が余程はつきり見えまして	全く	高い山や深い谷などで有ります．山だの川だの
	全	032	04	中の一つだ」と言へます．併し此の説は	全く	確な説では有りませぬからハッキリとは言へま
	全	221	10	ますが此の時分になつて我が国の小説は	全く	地に墜ちたものと見えます．其の時分，京伝は
	全	040	09	様なることが総て野蛮の国と開けた国と	全く	違ふて居る．善と悪とが，まるでウラハラで有
	全	041	14	た如く野蛮の時に在りては今日の道徳と	全く	違ふて居るし又開けて来た後でも今の欧羅巴と
	全	020	14	つも氷がはりつめて居ます．これなぞは	全く	地球と同じ事です．其れから火星と云ふ惑星の
	全	021	02	道づれどこでは無い今言つた通り火星は	全く	地球に似た星で有りますから地球には人間など
	全	084	15	分には外の進歩が或は後れて居たか或は	全く	滞止したのでありました．何れの国においても
	全	038	01	同じことぢゃ．其の様なる訳ゆゑ社会は	全く	動植物同様にＣｅｌｌより集合したる所の一個
	全	185	17	ト教は之に反して神の前に於て男女とも	全く	同等のものであると教へます．しかしこれは日
	全	186	05	よりも卑しい者ともせず尊い者ともせず	全く	同等な者と致します．若し女が神の前に於て罪
	全	021	04	ら其れの方が却つて不思議で有ります．	全く	動物植物の生活の出来るのは空気が有つたり水
	全	016	17	以上は人間は居る気づかいは無い．尤も	全く	無い訳ではなく少し位は有るかも知れませぬか
	全	040	04	らう．又大古は夫婦の配偶と云ふものは	全く	無くて，たゞ禽獣同様に（こゝらに犬や猫が居
	全	204	16	しました．あとで調べて見れば，これは	全く	ハレーの彗星がイツモの日限に遠方から戻つて
	全	044	04	したばかりては直に元の通りになるから	全く	反対の点まで持て参らねばならぬことぢゃが其
	全	073	15	凡そ物の価を生ずるといふものは二個の	全く	反対したるものより生ずるとの説を思ひ出しま
	全	074	02	言ふたもので御坐んす．さて其の二個の	全く	反対するといふ其の一のものは全く利を興す所
	全	116	03	ない．併し其れが出来ないといふは実に	全く	低い動物的の欲に勝たれるからのことで，さう

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まったく）	全	038	09	開けぬ人民が有りて其の道徳とする所は	全く	表裏反対ぢゃ．如何なる訳で其の様に表裏反対
	全	232	06	を得ない．よつて中央政府の用では無い	全く	府県固有の用で有るものでも右事項の外は知事
	全	081	05	内部に移る様なものでは御坐りませぬ．	全く	物体上のことで無く霊魂上のことで御坐ります
	全	196	04	の講談会へ聴きにお出でなさる方などは	全く	別儀で御坐ります）．今日は兎角，物の理屈を
	全	133	16	のになりました．が其れから，かの者が	全く	外の人になつたやうに，まるで変つて来ました
	全	029	17	たですが望遠鏡で見ますとアマノガハは	全く	星のかたまりです．濃い所になりますと夥しく
	全	129	08	開けた所の学術の為めには基督教が遂に	全く	滅びてしまふであらう．故にこの輩は学問をけ
	全	125	16	何々と申されました故に基督教は素より	全く	間違つたもので御坐る．また一人はＴｙｎｄａ
	全	207	03	見えません．無くなつたか知りませんが	全く	迷ひ子になつてしまひました．ところが不思議
	全	207	01	ました，けれどもドコへいつたか今度は	全く	見えなくなりました．其の後も待つて居りまし
	全	124	06	する積りである故に，これ等の為めにも	全く	無益で有るまいと希望いたします．併しまた若
	全	043	05	ふのは今日まで存する主義ぢゃが其れは	全く	昔の主義ぢゃ．其れ故政府の上でも矢張り道徳
	全	075	10	は健康体を失つて居る故に医者に頼んで	全く	モトの身体にするのである．権利を失はむとす
	全	074	02	個の全く反対するといふ其の一のものは	全く	利を興す所のもので其の一のものは之に反して
	全	226	07	行政のことと行政裁判のこととは事柄が	全く	分れまする．然れども行政と云ひ行政裁判と云
	全	203	08	ものは先づ惑星と同種類のもので有る，	全く	惑星と同じ様なもので有ると云ふことが分りま
まっとう	全	093	09	して船長並に他の乗組人等が其の生命を	全う	したといふことが世上に現はれてより嘗々或ひ
まつりごと	マ	149	09	といふ字を使つて居ました．日本でいふ	マツリゴト	は行政のことです．故にスタチスチック
まつりごと	政	189	01	せぬが神代の頃に八百万の神が集まつて	政	を議したさうで御坐います．これ等は議政といふ
	政	190	05	府は政府できめたことを実際に行ふ即ち	政	を行ふといふ方で，其れから行政上の法律規則を
	政	191	06	ある．即ち法律を制定するの力其れから	政	を行ふの力，其れから裁判をするの力とかう申し
	政	191	08	裁判をするは法律を執行するに止まる．	政	を行ふのも亦，法律を執行するに止まるものであ
	政	231	07	言ひますと，天皇陛下が内閣に居られて	政	を為さると其の下に大臣会議と云ふものが有り其
まで	ま	026	07	せぬ．して見ると云ふと此の一番近い星	まで	往くには非常な距離を通らねばなりませぬ．箇
	ま	275	14	に於て非常に尽力せられまするの時機に	まで	到りましたから，これも遠からずして其の効を
	ま	206	07	の元祖で有ります．Ｈａｌｌｅｙが今日	まで	一番大きな道をあるいて居るので有ります．其
	ま	012	01	中々今の有様では知れないから先づ其れ	まで	いつたら，我々の物知りたがりも暫く満足せね
	ま	047	06	，なりたいなれど其れよりは各国が今日	まで	未だ一つの社会にならぬのが歎はしいと言ふ方
	ま	020	01	の位でおいて外のことに移りませう．今	まで	お話ししました星の中で一番我々のよく観測の
	ま	007	08	ると地方でも賞められ書けぬと百姓町人	まで	が馬鹿にする．其れだから役所から帰ると字を
	ま	007	12	ると書記官も仕方が無いから習ふと属官	まで	が小癪に手習ひして唐紙位は反古にしようとい
	ま	007	14	に願ひたい．大臣参議が碁を好むと属官	まで	が碁をうち，大臣参議が茶道を好むとまた茶道
	ま	139	14	エン陛下より下は裏店社会のおかみさん	まで	が其のクシャミの仕様までをも，うかゞつて居
	ま	201	14	りの筈だけれども天王星や海王星や地球	まで	が人なみに重いものになつて威張ります，ソコ
	ま	203	11	は楕円を書いて居るのも有ると云ふこと	まで	が分りました．このやうな発見が出来ましてか
	ま	223	07	朱雀，村上の朝の人で古いものサ．これ	まで	が演劇の成り立ちとも云ふべきもので有ります
	ま	220	17	ましたが其の言葉つきから趣向の立て方	まで	下等社会のものに向くのを目途としたものと見
	ま	149	13	無くスタチスチックは台所の味噌のこと	まで	関係して居るといふのですが先づ世間公けのこ
	ま	027	05	いが併し余ほど早いもので太陽から我々	まで	来ますに十分はかゝらない幾ど八分と少しで来
	ま	188	15	十一年まで即ち今の共和政治になります	まで	国の組織となる憲法を十一度取り変へましたが
	ま	251	02	なれど終身刑の者があるが，これは死ぬ	まで	稽古をする訳であるか」と云ふ疑ひを起す人が
	ま	028	05	ら三万年ばかりも，かゝらなければ地球	まで	来ない．三万年の昔こんな星が無くなつて居て
	ま	032	08	日の学問の有様では，これまでといふ所	まで	こぎつけたかも知れませぬ．いづれにしても私
	ま	132	05	答ふることが出来ます．昔より今に至る	まで	此の聖書の効力を滅ぼさうと思ふ所の敵が多う
	ま	255	08	失敬のことを言つたとか云ふやうなこと	まで	探すものでは有りませぬ．されば昔のオカッピ
	ま	116	08	ない．勿論若い時から好きは好きだが今	まで	酒の為めに大いに身体を悪くしたと思ふことも
	ま	091	08	せうか．人間を衰へさせて殆んど畜生に	まで	下げるものは何で御坐りませうか．人間の最も
	ま	192	16	権は天子が持つて居られる．其れで今日	まで	執行権は天子となつて居りますが天子といふも
	ま	043	13	ゆき，又仏教では人間のみならず禽獣に	まで	慈悲を施し決して残酷なことをしてはならぬと
	ま	054	13	生の御著述を待つて居ります．さて又今	まで	修身の道は我が国では孝経をたのみにして居る
	ま	096	07	．其の暗礁に乗りあげてより沈没に至る	まで	充分の時間があつたから故ひ得られさうなもの
	ま	224	14	坐いますまい．右のやうな次第で，これ	まで	小説と演劇とは実に兄弟のやうなもので有りま
	ま	212	07	と云つても行くことの出来ないで，これ	まで	知れなかつたものを知ることが出来ます．また
	ま	219	15	時，漢文で書いたものだけでは迚も今日	まで	知れませぬ．全く仮名文の物語小説が有つたれ
	ま	027	06	少しで来ます，丁度九段の坂下からこゝ	まで	人力車で来る位な間に来ます，僅か一秒時間に
	ま	188	14	百八十九年の大革命より千八百七十一年	まで	即ち今の共和政治になりますまで国の組織とな
	ま	220	07	かしながら猿楽の能から今の雑劇に至る	まで	其の書の中の事を仕組んだものが多いから安宅
	ま	043	04	母，民は天子の赤子などと云ふのは今日	まで	存する主義ぢゃが其れは全く昔の主義ぢゃ．其
	ま	058	14	為めで，又独逸の或る都府に於てはこれ	まで	大層チフスと云ふ病気があつた所が其の都府で
	ま	120	16	で有りますが日本では此の事に就ては今	まで	誰も深く注意して論じた者は無くたゞ「随分飲
	ま	093	10	ことになりました．併し各新聞紙がこれ	まで	喋々して居る所を聞けば或ひは謀殺に当ると言
	ま	009	06	ダのことも有る故ムダのことを一言演る	まで	で有りまする．地球の位置明治十八年三月二十
	ま	018	02	らゆる光りと熱は直接に太陽から来ない	まで	で皆間接に太陽から来て居るので有ります，こ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（まで）	ま	019	15	の中に一つはヤット肉眼で見えるといふ	まで	で今一つは望遠鏡で無ければ見えませぬ．此の
	ま	209	13	置きましたが，あの説を信ずれば，あれ	まで	で有ります．が，しかし其れも信じなければ，
	ま	213	07	り演劇なりに付て故事来歴の大略を演る	まで	で決して当今流行の改良をはかるなどと云ふ面
	ま	032	08	行つて丁度今日の学問の有様では，これ	まで	といふ所までこぎつけたかも知れませぬ．いづ
	ま	222	09	な様子が有りました．小説の来歴はこれ	まで	として，これから演劇のことを述べませう．演
	ま	224	17	やうになりませうが，小説の方は，これ	まで	と違つて立派な人の仕事となりまして看る人の
	ま	225	01	の仕事となりまして看る人の意も，これ	まで	とは格別で有りますから数年ならずして必ず目
	ま	131	04	づいたものなるが故で御坐ります．これ	まで	説きました所の三つの仕方は皆な誤つた仕方で
	ま	236	14	間に嫌はれ，中には之が為めに自分の命	まで	取られるやうな人が有つた．高野長英や渡辺華
	ま	202	10	出しました．いよいよ天文学で竟にこれ	まで	無かつたことが見えると云ふので皆な面白がつ
	ま	014	16	かと言ひますと地球の中心から月の中心	まで	何里あると云ふことを調べるので有ります．「
	ま	026	02	て測量することが出来ませぬ．先づ今日	まで	に知れて居ります距離の中で一番近いのが今の
	ま	068	16	察官の本官となり一定の俸給を得まする	まで	には平均三箇年を待たなければなりませぬ．其
	ま	069	11	者は千八百八十五年即ち昨年の八月五日	まで	に千〇二十人と云ふ非常なる数に増加して居り
	ま	253	10	て之を世話をして其の実を収むると云ふ	まで	には三月或ひは四月若しくは半年も要すること
	ま	002	09	人数が少ない，そこで月の部にはいつた	まで	のこと，仮名遣ひなどはドウでも構はない．ナ
	ま	004	16	那をお師匠さんにして居るうちは，これ	まで	の様に字ばかり習つて居るのが支那におハムキ
	ま	014	15	のが第一番のことで有ります．そこで月	まで	の距離はと言ふと現に既に測量して有ります．
	ま	015	07	或る距離を測る時の通りに例の角度で月	まで	の距離を測り出します．随分此の測量はむつか
	ま	015	09	結果はと云ふと地球の中心から月の中心	まで	の距離が日本の里数で九万七千五百里です．九
	ま	015	16	を大きくして参ります．さて地球から月	まで	の距離を唱へるには里でも間に合ひかねるから
	ま	023	15	有ります．其れでは太陽からして海王星	まで	の距離は夥しいかと云ふに，さう言へない場合
	ま	026	03	二万千八百倍で有ります．地球から太陽	まで	の距離が三千七百八十五万里で随分大きなもの
	ま	036	03	様です．其れを信仰する人が有れば其れ	まで	のことですが「大いなる社会は大いなる酒好き
	ま	048	15	れども間違ひ無いことと思はれる．其れ	まで	の間は各国が何分にも社会を異にして，居るか
	ま	084	06	ば横浜から亜米利加のサンフランシスコ	まで	の里数と一昼夜に船のはしる里数が能く分つて
	ま	173	08	人と親しんだなら其の親和力は実にドコ	まで	の度合ひに及ぶか定めて，うまい味ひがあらう
	ま	175	15	りませぬからチョイと凡例を述べました	まで	のこと．また英国人は「人は地球の寄生物」と
	ま	183	14	義務あるもので御坐ります．然し，これ	まで	の考へでは妻たる者は必ず貞操を守らなければ
	ま	204	16	星がイツモの日限に遠方から戻つて来た	まで	のことで有つたのです．地球と同じやうなもの
	ま	209	14	，しかし其れも信じなければ，また其れ	まで	のことで有ります．箇様なことは迚も一席の講
	ま	223	02	祖，観阿弥世阿弥の父子が奮発して其れ	まで	の猿楽の舞を修正して多くの新曲を作り滑稽に
	ま	252	14	丁年以上の者，即ち出生より丁年になる	まで	の間に教育は先づ一と通り終つた筈の者であり
	ま	269	14	二割八分，十八歳以上丁年即ち二十一歳	まで	の者は千〇三十四人，即ち一割一分八厘で有り
	ま	269	15	する．して見まると十二歳より十六歳	まで	の間が一番，間違の出来やすい時で有るものと
	ま	005	05	ければならない．其れだから支那人に今	まで	はお世話になつたがこれからはお前も漢字を廃
	ま	012	04	先きは今日の学問の有様では分らない所	まで	はいきたいものです．このことについて私が知
	ま	015	13	ては間に合はない．例へばこれから本郷	まで	は九万七千五百寸あるなどと言つては，どの位
	ま	017	16	．さうすると我々はモウ威張れない．今	まで	は月を附属にして居つたが今度は我々が太陽の
	ま	022	15	が有るのが火星の雛形で有ります．これ	まで	は皆地球よりは小さいか大凡同し位の球で同し
	ま	027	11	ら九年と三ケ月たつて始めて分る，其れ	まで	は分りませぬ明りが途中でまごついて居るから
	ま	068	07	して第一回試験の及第から第二回の試験	まで	は見習生となつて実務を見習はなければなりま
	ま	069	03	し其れより高等司法官吏に任用せらるゝ	まで	は前三年，次四年，次三年で都合十年間で有り
	ま	095	15	暗礁に乗りかゝつてから船長初め逃げた	まで	は長い間であるから，この間に助けられるだら
	ま	203	02	きな惑星が有りますがＨａｌｌｅｙの時	まで	は知れなんだのが今度はよく知れて，どの位な
	ま	212	15	ことを言ふことも出来ませう．先づ其れ	まで	はお預かりにしておきませう．小説と演劇との
	ま	236	07	易くはなつたなれども，しかし御一新頃	まで	は先生も十分には無く本も十分には無いことゆ
	ま	236	13	に減つては来ましたが，ヤハリ御一新前	まで	は鎖国攘夷の論が盛んだから世間に嫌はれ，中
	ま	248	14	俗に未決者と申しまする者は裁判の済む	まで	は監獄に預つて居りまする．然れども此の未決
	ま	260	16	る．其れは右の行政官に於てはコレコレ	まで	は全国の利益になる，此の度合ひを超ると惰民
	ま	269	12	十七人即ち二分二厘で，十歳より十二歳	まで	は五百九十人，即ち七分で，十二歳より十六歳
	ま	269	13	九十人，即ち七分で，十二歳より十六歳	まで	は四千二百八十三人，即ち五割一分，十六歳よ
	ま	269	14	三人，即ち五割一分，十六歳より十八歳	まで	は二千三百二十人，即ち二割八分，十八歳以上
	ま	278	09	述べたので有りまするから細密なる点に	まで	は及びませぬが幾分か諸君を益したることであ
	ま	022	17	が有ります．其の数は夥しいことで今日	まで	発見になりましたのだけが二百いくつと云ふ程
	ま	187	04	をも眷顧たまふが故なり今より後，万世	まで	人々我を福なるものと称ふべし」と謳ひました
	ま	187	09	我が救主なる神を喜ぶ，今より後，万世	まで	人々我を福ある者と称ふべし」と此の凱歌を唱
	ま	166	10	くこととなつて人間世界を調子よく今日	まで	開いて参りました．昔の学風といふものは事実
	ま	165	14	み合つて居る社会といふものは，どの位	まで	開けてゆくか其の事を書いたものも無いから誰
	ま	166	08	るといふことは分りませぬ．人間はドコ	まで	開けるものか分りますまい．其れだから事実に
	ま	052	09	仏書の読める人は宜う御坐いませうが今	まで	翻訳書をあてにした人はこの時に差しつかへて
	ま	174	01	の調べで積ると明治十五年から同十八年	まで	毎年の生れた数から死んだ数を除いたものと就
	ま	128	09	に同意して近来の色々の新論を承知する	まで	待つ方が宜しう御坐りませう．其の外に学術の

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（まで）	ま	167	17	交換の為めに書くものや法令文書の往復	まで	先づドウかカウか行はれて居ますが若し今すぐ
	ま	054	03	持つて行く様になる．其れを用の弁ずる	まで	学ばさうとすると不毛の地が出来て肝腎のもの
	ま	202	14	どでは霧がかゝつて見えないでイタリヤ	まで	見に行つた人が有りました．果してＨａｌｌｅ
	ま	157	01	法を握つて居るんだが，日本では此の間	まで	宮様が教法の親方だつたが今は其れも無いが，
	ま	200	03	の道は抛物線では有るが形ちから大きさ	まで	昔し出た彗星の道に違はない．昔し千六百〇七
	ま	156	17	が驚いたところでは無い，智慧の有る者	まで	向ふ鉢巻で驚いた．さうすると西洋には羅馬法
	ま	104	03	ことなれども日本に之を実行するは，さ	まで	むつかしきことではありますまい．設令全国を
	ま	104	05	所で上流社会に英語を談ぜしむるは，さ	まで	むつかしきことではなし．而して西洋人と交際
	ま	001	11	もとより参議方どころでは無く天子様に	まで	も申し上げたい位のことゆゑ此の機会失ふべか
	ま	012	01	居る人は恐らく有りますまい．実に其れ	まで	も知りたい訳ですが中々今の有様では知れない
	ま	015	04	に移り次第に先へ進んでドンナに遠い所	まで	も測量致します．そこで地球と月とありますに
	ま	035	08	がよく分りませう．己れの大切なる智慧	まで	も徳利の中へ質物にするとは何と無欲なもので
	ま	045	02	考へでは今日行はれぬのみで無く，いつ	まで	も極十分には行はれぬであらうと思ふ．例へば
	ま	045	15	して悪いこととは申されぬぢゃ．又いつ	まで	も，やまぬであらうと云ふことは政府が刑罰の
	ま	047	13	実に道徳にも何にも構はぬ．又耶蘇教師	まで	も其れを何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．耶蘇教師な
	ま	053	10	ます．たゞ気を長くばかりしては，いつ	まで	も事は出来ませぬ．また，せいてもいけませぬ
	ま	054	10	に喜ばしいことでドウか幾何から三角術	まで	も仮名で書いた本がほしい．其の外，天文，地
	ま	130	09	の出所は一つのもので有る故に必ずドコ	まで	も互に符合すべき筈のもので御坐ります．優勝
	ま	131	11	ゞ一方の論のみを読みまするお方はドコ	まで	も基督教と学術との関係の本当の道理は分るこ
	ま	190	06	ります．裁判権の性質は執行権者がドコ	まで	も裁判するといふので御座んするけれども，さ
	ま	209	04	が見ゆるなら宜う御坐りますが小さな星	まで	も能く見えます．頭の所はドウで有るかと云ひ
	ま	213	13	ければなりませぬが演劇の方は下等社会	まで	も見るものだから第一に世間の流行を追つて時
	ま	218	02	をするにも必要なもので有ることは云ふ	まで	も有りませぬ．次に狭衣，取替へバヤ，住吉な
	ま	219	15	文の物語小説が有つたればこそ千年の後	まで	も其の風俗を知ることが出来て歴史編纂などの
	ま	233	14	云ふやうな専門学校が有るなれどもイツ	まで	も其ればかりでは仕方が無いから日本語を以て
	ま	246	05	た悪い事をした日から何十年の間，死ぬ	まで	も悪い人と云ふ訳では決して無い．則ち其の所
	ま	255	05	す者が有つてムヤミに人の道徳内の悪事	まで	も探索して之を持ち出しました．警察に於ては
	ま	023	17	来ます．其れは跡でお話ししませう．今	まで	申したことをつゞめて申しますと太陽は大きい
	ま	027	14	だけ遠いかと云ふことは知れませぬ．今	まで	申しました星は肉眼で見ゆる位な星です．此の
	ま	077	07	すものであれば同一の業を為すものだと	まで	申しても宜しう御坐んす．故に我輩が諸君に望
	ま	232	16	究する順序になります．今日は先づこれ	まで	申し上げて置きませう．専修学校生徒卒業式祝
	ま	158	12	らなかつたと見えます．サスガの孔子様	まで	萌黄の蚊帳をつつて線香をたてゝ臍を隠したか
	ま	044	04	は直に元の通りになるから全く反対の点	まで	持て参らねばならぬことぢゃが其れと同じこと
	ま	007	16	がよいことと思ふなら参議から人力車夫	まで	やるがよい．若し茶道や名筆では外国と競争が
	ま	043	12	りて来れば黙りて打たせておけと云ふ所	まで	ゆき，又仏教では人間のみならず禽獣にまで慈
	ま	027	08	瞬きをする程の時間はかゝりませぬ．月	まで	行きますにも二セコンドはかゝりませぬ．其れ
	ま	199	08	ら失礼ながら予備門から，はいつて大学	まで	いくには及びません．さて彗星の毎日の観測を
	ま	027	07	地球のかたつ方の端から，かたつ方の端	まで	ゆくに瞬きをする程の時間はかゝりませぬ．月
	ま	173	02	うになり法律には無いが田舎の隅のもの	まで	よく知つて居て恩を知らぬものを「恩しらず」
	ま	250	07	へまして，終りを善くする者は死亡する	まで	良民を以て終わりまする．只今，申したのは本
	ま	246	04	い事をしたとて其の人が頭から足の先き	まで	悪いと云ふことでも無し，また悪い事をした日
	ま	139	14	のおかみさんまでが其のクシャミの仕様	まで	をも，うかゞつて居ます．フランスのビクトル
	ま	142	03	家は其の仕組をこしらへたる上に仕上げ	まで	をも立派にやらなければならぬから凡才では中
	ま	159	10	地，草木，鳥獣，人のカラダ，タマシヒ	まで	を製造するが西洋の教へ方で東洋には向きが悪
	ま	269	17	の父母たる者は専ら十二歳より十八歳位	まで	を非常に気を付けて監督養育しなければなりま
	ま	097	05	とでありますが先月の二十四日から今日	まで	，すておくとは随分長い話しではありませぬか
	ま	113	15	飲食を節用するといふことは昔から今日	まで	，むつかしいことになつて居ります．併し之を
	ま	157	16	いとしても動かなくなりました．この間	まで	，あの佐田介石が天を動かさうと云つて骨を折
	ま	036	12	いたした趣意をちょつとお話し申します	まで	．社会外に道徳なし明治十九年四月二十日哲学
	ま	250	01	申て上げませう．人生れて，丁年に至る	まで	（即ち二十歳に至るまで）は之を末丁年者と唱
	ま	250	01	て，丁年に至るまで（即ち二十歳に至る	まで	）は之を未丁年者と唱へまして専ら之に教育を
まどは	惑	129	03	来る所の色々の新しき論によつて容易に	惑は	されませぬ．君子はシッカリしたもの用心する
まとひ	ま	039	11	若し他の社会から攻撃されたときに足手	まとひ	が有ると其の為めに負ける恐れが有るゆゑ本
まどひ	惑	241	13	ひなさることが，区々になつて私も甚だ	惑ひ	ます．といふものは例へば国事犯罪人の取扱方
まとまる	ま	244	02	ますれば，これだけにて天下のことは，	まとまる	姿になりまする．さて，行政権に於て執行
まとめ	ま	177	01	齢，職業などの種類を分つて其の国々に	まとめ	何年の調べとして五年も積み十年もたてば何
まとも	マ	020	07	離が非常に近くなる上に丁度太陽の光を	マトモ	に受けて満月の様に見ゆるので余程よく其の
まないた	俎	062	12	下げ背には大いなる文庫を背負ひ足には	俎板	然たる木履を穿ち，おまけに頭にはバクバクし
まなば	学	054	03	て行く様になる．其れを用の弁ずるまで	学ば	さうとすると不毛の地が出来て肝腎のものを失
	学	053	16	れほどかの年月教へたら上等科のことを	学ば	ないで文通が出来やう．田舎の様子を見ますに
	学	237	12	間の当り前のやうになつて西洋のことを	学ば	ぬ人は世に歯せられぬと云ふ有様になつて来ま
まなび	学	077	08	性質に相違あるにも係はらず諸君が各々	学び	得たる所を以て社会の為めに利を興し害を除き
	学	234	07	専門学校の先生になれば其の人が自分の	学び	得た所を脳髄から練り出して来て其れを講義と

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（まなび）	学	234	10	則ち此の専修学校は右様なる先生が嘗て	学び
	学	236	07	つた．尤も其れより追々に開けて漸々と	学び
まなぶ	学	235	12	ことをお話ししたい．昔の西洋のことを	学ぶ
	学	236	09	モウ一つの大難事と云ふは西洋のことを	学ぶ
	学	267	06	い者が非常に性質の悪い者のしたことを	学ぶ
	学	237	04	時分でさへも開けぬ藩では西洋のことを	学ぶ
	学	237	06	は決して自分の利を図る為めに西洋学を	学ぶ
	学	237	02	ので有つたが其れを取るだけで其の外に	学ぶ
まなべ	学	237	06	に西洋学を学ぶので無くて西洋のことを	学べ
まなべる	学	234	13	ならぬなれども当り前のことは日本語で	学べる
まなん	学	054	16	ばならない．我が国は支那の本で修身を	学ん
まぬがるる	免	110	12	しめば彼等はマーダーの犯罪たることは	免るゝ
まぬがれ	免	091	16	耶蘇基督に係はらず彼の恐ろしい罪悪を	免れ
	免	089	06	進歩をせむとする御方は必ず賤き有様を	免れ
	免	091	12	督の御功績に由らざれば人が此の罪悪を	免れ
	免	170	03	う．これは日本ばかりで無く世界万国の	免れ
	免	006	10	の講釈に止つて居る．これはドウしても	免れ
	免	105	12	ます．然れどもこれ等は総て誤謬たるを	免れ
	免	186	04	ことはありませんが矢張男尊女卑の風は	免れ
まねか	招	067	04	．私はこの専修学校の始めての卒業式に	招か
	招	070	14	甚だ喜ぶ所は私は昨日は大学の卒業式に	招か
まねる	ま	062	07	下のものは無理にも乗車して上等社会を	まねる
まのあたり	ま	132	17	督教を行ふの仕方で御坐ります．人が，	まのあたり
まはし	ま	013	11	は広大無辺なもので地球をグルリと取り	まはし
まはす	ま	017	13	はりますが一丈一尺の玉は両手でも抱き	まはす
まばたき	瞬	027	07	つ方の端から，かたつ方の端までゆくに	瞬き
まはり	ま	017	12	陽になります．一寸の玉は手の指ででも	まはり
	ま	020	17	も言ひました通り此の星も同しく太陽の	まはり
まはり	マ	197	13	やうとするので其の間を取つて，太陽の	マハリ
	マ	199	14	起りました．さうするとグリツト太陽の	マハリ
まはりばん	マ	155	04	浅草井生村楼に於て原坦山君演説今日は	マハリバン
まひご	迷	207	03	ません．無くなつたか知りませんが全く	迷ひ子
まぼしく	ま	020	05	で有りますから距離が遠い時である上に	まぼしく
まま	儘	088	12	りをして家を立ることを知らねども其の	儘
	儘	088	08	とが出来ませぬ．己れが不足なる有りの	儘
	儘	250	12	る罪人となりまする．此の不良民は其の	儘
	儘	256	15	犯罪人を予防すること，即ち貧民を其の	儘
	儘	075	14	ふ．これは先進の説に意見を加へぬ其の	儘
ままはは	継	220	13	書いたものや，鉢かつぎの草紙と云つて	継母
まめつぶ	豆	008	07	ると賑で押し返されぬ程の騒ぎ．其れは	豆粒
まもら	守	117	09	といふやうな人は仕方が無いが成るたけ	守ら
	守	183	15	れまでの考へでは妻たる者は必ず貞操を	守ら
まもる	守	039	05	ば強盗をするほどの者で無ければ社会を	守る
	守	183	09	く神の前に在つて真実に一夫一婦の道を	守る
	守	118	02	いらぬ方がよい．一体，一人で孤立して	守る
	守	182	16	ば今の一夫一婦の風はこれが真理だから	守る
	守	183	15	操を守らなければならぬが夫は必ずしも	守る
	守	183	12	夫たるものも妻たるものと同様に貞操を	守る
	守	183	14	の区別は御坐りません．双方共に貞操を	守る
	守	118	03	ゑ此の節酒会にても成るたけ堅く約束を	守る
	守	038	06	古代の説には天然自然に有る所の吾人の	守る
	守	183	10	す．儒者の教にも妻が夫に対して貞操を	守る
	守	183	11	うで御坐りますが夫が妻に対して貞操を	守る
まもれ	守	117	08	そ此の会が必要になることぢゃ．其れが	守れ
まよひ	迷	132	12	たる道理を固く立てるならば，すべての	迷ひ
	迷	132	11	御坐ります．若しあなた方，世の色々の	迷ひ
	迷	210	11	ことを調べる人はショッチュウ其れ等の	迷ひ
まりや	マ	187	02	う．今より大凡一千八百八十年前に処女	マリヤ
	マ	187	05	と称ふべし」と謳ひましたが思ふに此は	マリヤ
	マ	187	08	はれんとする時に当つて日本の婦人方も	マリヤ
まる	丸	024	08	の真中の所に筋の様なものが見えます，	丸
まるい	円	156	12	たが，をかしい．地が回るとなると天が	円い
	円	199	02	りますと抛物線に近くなります．最初は	円い

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（まるい）	円	156	05	のとき孔子様の学問をした時分には天が	円い　と思つて居たが近来は法外な違ひになりました
	円	156	08	，所が其れが出るとは言はれない．地が	円い　のだから地の方で回つて，いくのださうでござす
	円	013	09	場所で有ります．この住つて居る場所は	円い　ものでタカの知れたハゞの見えたもので我々の
	円	014	04	のは望遠鏡の開けます余ほど前からして	円い　もので時としては虧けたり時としては満ちたり
	円	030	07	違ひない．大方アマノガハと云ふものは	円い　者をおしつぶした様な形したもので有るさうで
	円	014	11	のでは有るまいか，第一番に地球の様に	円い　，其れに谷だの山だのが有る処がよく似て居る
まるきり	ま	003	05	際限が有つて一日に二十四時間あるが，	まるきり　二十四時間働らけるものでは無い．寝る時
まるく	団	142	16	遂に勘当を喰ふ其れから困難をする後に	団く　理まるめでたしめでたしと云ふ其の範囲を出る
まるくつ	円	156	03	せう．皆さま御存じのことだが昔は天が	円くつ　て地が四角だといひました．其れは天円地方
まるせいゆ	マ	205	17	さて，このＥｎｃｋｅの彗星と云ふのは	マルセイユ　の天象台の門番のＰｏｎｓと云ふ人が肉
まるで	ま	025	11	い，山の上から人のあるくのを見れば，	まるで　蟻のはふ様に見える，其れだから人は小さい
	ま	040	09	けた国と全く違ふて居る．善と悪とが，	まるで　ウラハラで有る．其の開けの度に応して道徳
	ま	133	17	，かの者が全く外の人になつたやうに，	まるで　変つて来ましたので御坐る．昔は極軽い事柄
	ま	167	15	支那印度などの文物制度が入り来つて，	まるで　自分の物のやうになりました．文字でも其の
	ま	025	03	が矢張り近所に同士が有るであらうか，	まるで　世界の中に孤立して居て外に党類は有るまい
	ま	043	14	とを教ふることぢゃ．されども其れは，	まるで　世界の開けた道理とは違ふて居ることぢゃ．
まるで	マ	237	13	せられぬと云ふ有様になつて来ました。	マルデ　昔とウラヘラになつた．今日の学生が骨を折
	マ	210	06	取り合はないからだと云ふのでは無く，	マルデ　訳が分らないから騒がないのかも知れません
まるまげ	丸	061	02	ゝでありませう．又緋縅の鎧や天保銭や	丸髷　島田を御覧のときは又未開化人の用ゆるものた
	丸	065	02	ら減少して来ませう．故に私は人力車や	丸髷　島田の増減は日本男女の文明如何を卜するに足
	丸	065	11	て居るし，食物や家屋や人力車の濫用や	丸髷　島田の窮屈髷や長袖広帯のナマケ服など共に皆
	丸	062	13	クバクして蝦蟇の様な島田や鍋蓋の如き	丸髷　を頂き居りて運動の自由ならざるは則ち原因の
まるまる	マ	218	07	とを本にして作り広めたのも有り，また	マルマル　無いことを有つたやうに作つたのも有つて
まれ	稀	211	09	とが有つても心にぶつつかるのはヨホド	稀　なことと云はなければなりません．確には分りま
まわす	回	157	12	近い学問所で天球儀，地球儀をころがし	回す　やうに，なりましたが実は地が回るか回らない
まわつ	回	016	09	．党類で有るのみならず地球のグルリを	回つ　て居ります．地球が真中にチャンとして居つて
	回	017	15	い．其れのみならず月が地球のグルリを	回つ　て居ると同様に太陽のグルリを地球が始終グル
	回	017	15	に太陽のグルリを地球が始終グルグルと	回つ　て居る．さうすると我々はモウ威張れない．今
	回	018	10	りませぬ．そこで太陽のグルリを地球が	回つ　て居る，其の一遍回つて元の所へ来ます間が即
	回	018	10	のグルリを地球が回つて居る，其の一遍	回つ　て元の所へ来ます間が即ち一年と言ふもので有
	回	020	02	惑星で有ります．矢張り太陽のグルリを	回つ　て居る星で地球と同様に自分には明りを持たな
	回	020	17	した通り此の星も同しく太陽のまはりを	回つ　て居りまして地球が内の方を回つて居ますと火
	回	020	17	はりを回つて居りまして地球が内の方を	回つ　て居ますと火星が外を回つて居ます．これが我
	回	021	01	球が内の方を回つて居ますと火星が外を	回つ　て居ます．これが我々の第二の道づれで有りま
	回	021	09	は人間は高慢で日も月も地球のグルリを	回つ　て居る．動物は地球の表面にしか居ない，智慧
	回	024	01	るい玉で其のグルリを惑星と言ふ世界が	回つ　て居る．或は遠く或は遅く或は早く運動します
	回	028	13	今一つは小さく，かたつ方がかたつ方を	回つ　て居ます．丁度地球が太陽を回り，月が地球を
	回	029	02	以上組み合つてある星で無ければ本当に	回つ　て居るか居らぬか分らない様ですが肉眼では見
	回	029	03	見えないがよく調べると何かのグルリを	回つ　て居る様に見ゆるといふ場合が有りますから此
	回	029	04	の色々の星は皆太陽で其のグルリに多分	回つ　て居る惑星があると云ふことが察せられます．
	回	156	08	言はれない．地が円いのだから地の方で	回つ　て，いくのださうでござす．其れが今では小学校
	回	156	12	言はれない．地が一昼夜の間にグルリと	回つ　て而して猫の眼では無いテ．実に大変革でござす
	回	197	09	我々の地球と同じことで太陽のグルリを	回つ　て居る，太陽は夥しいもので地球や其の外の惑
	回	197	13	るので其の間を取つて，太陽のマハリを	回つ　て居ります．コンナ塩梅にして回つて居ること
	回	197	14	リを回つて居ります．コンナ塩梅にして	回つ　て居ることの知れたのは学術の話しにはイツも
	回	199	14	た．さうするとグリツト太陽のマハリを	回つ　て見えなくなつてしまつた彗星が再び帰つて来
	回	202	03	人が出まして彗星が太陽を離れて方々を	回つ　て居るうちに木星からどの位後らかされ其の他
	回	026	07	せぬ．こんな長い距離は地球をグルッと	回つ　ても有りませぬ．して見ると云ふと此の一番近
まわら	回	157	13	すやうに，なりましたが実は地が回るか	回ら　ないか私には保証が出来ませんが其れから，ま
まわり	回	157	10	て「申しませんことは申しませんが地は	回り　ます」と言つた．実に度胸の大きな奴さネ．こ
	回	028	13	つ方を回つて居ます．丁度地球が太陽を	回り　，月が地球を回る様に見えます．して見ると一
まわり	周	135	08	なされたで御坐りませう．即ち「万国を	周り　て万民に此の教をのべ伝へよ」といふことで御
	周	091	16	海にも陸にも旅をして二回ばかり地球を	周り　ましたが耶蘇基督に係はらず彼の恐ろしい罪悪
まわる	回	157	13	がし回すやうに，なりましたが実は地が	回る　か回らないか私には保証が出来ませんが其れか
	回	025	17	．今度の物さしは地球の太陽のグルリを	回る　軌道の半径即ち地球と太陽の距離を取りませう
	回	157	08	ナつまらないことを言つたからだ，地の	回る　ことは決して言ひますまいと言つてきゝません
	回	156	10	んだと云ふことを知つて居るが前に地が	回る　と聞いては，みんな驚いたネ．地が回ると聞い
	回	156	10	回ると聞いては，みんな驚いたネ．地が	回る　と聞いてはヂットして居られない，血の道がお
	回	156	11	い，血の道がおこるテネ．いよいよ地が	回る　と決着したが，をかしい．地が回るとなると天
	回	156	12	地が回ると決着したが，をかしい．地が	回る　となると天が円いだの天が回るのとは言はれな
	回	157	04	も今ではカタが変りましたが）若し地が	回る　となると羅馬法皇の，仏教で申したら法華経と
	回	156	12	い．地が回るとなると天が円いだの天が	回る　のとは言はれない．地が一昼夜の間にグルリと
	回	156	16	学問，究理に究理を積んでトウトウ地が	回る　のだと言ひ出した．其の時はみんな驚いたネ．

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（まわる）	回	028	13	す．丁度地球が太陽を回り，月が地球を	回る	様に見えます．して見ると一つが親分で，あと
	回	156	09	僧がたでも天球儀，地球儀，を見て地が	回る	んだと云ふことを知つて居るが前に地が回ると
まん	万	061	09	は十五万七千十八個となり現今では二十	万	余となつて居りませう．所で，この人力車がドウ
	万	148	09	本に備つて居るか知りませぬが例へば五	万	以上の市街は日本にイクツあるといふことを西洋
	万	148	12	ければならぬといふときに市街の人員五	万	以上のは独立させるといふことになると至つて少
	万	174	03	一月には日本国の総人数は三千八百十五	万	一千二百十七人で大約毎年三十六万人づゝ殖える
	万	174	08	あります．さて現今の人数三千八百十五	万	一千二百十七人の端数を除いて仮りに三千八百万
	万	229	04	は五万九千三百八十ありまして合せて七	万	一千五百九十七の町村と云ふものが有ります．其
	万	145	14	で思ひの外，金のダシテが有つて私も一	万	円私も二万円を出しませうとてモハヤ十五六万円
	万	145	14	，金のダシテが有つて私も一万円私も二	万	円を出しませうとてモハヤ十五六万円あるさうで
	万	145	14	も二万円を出しませうとてモハヤ十五六	万	円あるさうで二三年の中には大きな煉瓦の芝居も
	万	174	10	食の費用ばかりでも一箇年に十一億四千	万	円になりませう．ドウでありませう，其の「三八
	万	174	14	其の衣食の費用は二倍して二十二億八千	万	円となりませう．チョイと考へると百年は遠いや
	万	260	01	と．これは最も必要なことで，例へば一	万	円と定むるか或ひは二万円と定むるか何にしても
	万	260	02	とで，例へば一万円と定むるか或ひは二	万	円と定むるか何にしても救助費の額を定めて置き
	万	260	06	これも亦，最も必要なことで，例へば一	万	円の年額を要する為めに三十万円の資本が備はつ
	万	260	06	例へば一万円の年額を要する為めに三十	万	円の資本が備はつた上は其の上の資本は無益なる
	万	026	06	里ばかりの所へ置きまして此の星をば一	万	九千九百里ばかりの所に置かなければなりませぬ
	万	070	09	いますが孛漏生の人口は二千七百二十七	万	九千百十一人，日本の人口は三千七百四十五万千
	万	229	03	居るとのことです．其れから村の数は五	万	九千三百八十ありまして合せて七万一千五百九十
	万	274	02	方税支弁にて明治十七年度は三百四十六	万	九千四百五十五円となりまする．而して其れを監
	万	269	03	所が男子部で有りまする．此の所には一	万	五千七百〇六人の囚徒がありました．矯正院即ち
	万	063	07	の割合，一千八百八十年に於ては四十六	万	三千個にして一千人に付き十五個の割合です．之
	万	026	03	の中で一番近いのが今の物さしの二十二	万	千八百倍で有ります．地球から太陽までの距離が
	万	070	09	百十一人，日本の人口は三千七百四十五	万	千七百六十四人で御坐います．この統計により日
	万	148	15	いといふと折角だが用を為しませぬ．五	万	でイヤなら勝手にしろと言ふなら，さうなるかも
	万	171	04	，おしまひだらうと思ひます．迚も何十	万	といふ人を欧羅巴に移住して仕事を取り金を取る
	万	267	11	部の仕事が行き届きませぬと常に何千何	万	と云ふ将来の犯罪人を絶えず世間に出すと云ふ結
	万	026	04	きな物さしを工夫して見ましても二十二	万	などといふ大きな数が出ます．さつきの雛形を用
	万	061	09	百七十二でありましたが十三年には十五	万	七千十八個となり現今では二十万余となつて居り
	万	063	04	と申す証拠には日本の人力車は大約二十	万	にして之を全国の人員に比例して見ると人民百八
	万	157	12	ゃべり出したとネ．今，日本大中小で三	万	に近い学問所で天球儀，地球儀をころがし回すや
	万	017	09	い．現に勘定して見ますと直径は三十五	万	二千六百二十三里で地球の直径の百八倍半ほど有
	万	061	08	す．則ち明治十一年には人力車の数十四	万	二千五百七十二でありましたが十三年には十五万
	万	174	02	等の増人数を四箇年に平均すると三十六	万	二千七百七十四人になります．昨明治十九年一月
	万	174	05	六年たらずで其の二倍即ち七千六百三十	万	二千四百三十四人の日本国人となりませう．一体
	万	229	02	ければならないと思ひます．町の数は一	万	二千二百十七あるです．東京の町の数は俗に八百
	万	274	01	これ等を合しますると在監人の総数は七	万	二千二百五十二人となりまする．今，其の費用を
	万	013	05	の周囲を測つて見ますと長い所が僅か一	万	二百五里ほかない．私は僅かだと申しました．な
	万	005	07	ャン坊主の毛をきり支那から留学生の一	万	人も二万人も西洋へ行く様にしたい．この間の戦
	万	005	07	の毛をきり支那から留学生の一万人も二	万	人も西洋へ行く様にしたい．この間の戦争に誰か
	万	070	10	御坐います．この統計により日本では千	万	人以上多い所によつて見れば余程の数を要せねば
	万	102	11	西洋で日本の実際の有様を知つてる人は	万	人に一人も無いは勿論，日本はドウいふ国やら日
	万	148	13	るには独立させなければなりませぬ．五	万	人以上とか壱万人以上とかを市街といふ風にした
	万	148	13	なければなりませぬ．五万人以上とか壱	万	人以上とかを市街といふ風にしたいが人員調査の
	万	174	04	十五万一千二百十七人で大約毎年三十六	万	人づゝ殖えるとしますと百六年たらずで其の二倍
	万	174	08	百十七人の端数を除いて仮りに三千八百	万	人として一箇年一人前の衣食の費用を三十円とし
	万	182	11	より我が日本国の風で妾を持つ者は真の	万	人に一人か，千人に一人に過ぎないといふ人があ
	万	182	14	御坐りませうか．上等にも中等にも矢張	万	人に一人の割合だといふことが出来ませうか．上
	万	028	05	様です．こんな星から出立した明りは一	万	年から三万年ばかりも，かゝらなければ地球まで
	万	028	05	んな星から出立した明りは一万年から三	万	年ばかりも，かゝらなければ地球まで来ない．三
	万	028	06	も，かゝらなければ地球まで来ない．三	万	年の昔こんな星が無くなつて居ても我々は今に有
	万	159	14	ると地球は一度に造つたものでは無く十	万	年位かゝつた証跡があると言ひます．そこで天主
	万	064	15	御覧なされ人力車を業として居る二十余	万	の人は犬馬の如き業を廃し国益となるべき立派な
	万	064	16	営むことも出来ませう．又従つて二十余	万	の人の健康を害することも大いに減じませう．さ
	万	274	10	ことを一言いたしませう．監獄は実に数	万	の囚徒を取り扱ふ所で前に述べましたる如く一種
	万	028	04	ります．今のαＣｅｎｔａｕｒｉより一	万	倍乃至三万倍位の距離に居る星が確に有る様です
	万	028	04	のαＣｅｎｔａｕｒｉより一万倍乃至三	万	倍位の距離に居る星が確に有る様です．こんな星
	万	271	06	上の諸監獄の在監人を合計しますると四	万	八千八百五十六人となりまする．さて，これより
	万	274	05	用を以て兵卒を養ふ者と致しますると三	万	八千人を殖すことはイト易いでありませう．これ
	万	211	03	何でも無いことだ，地球に彗星が何十何	まん	遍突き当つても何とも無い」と言ふ者も有りま
	万	271	03	の数は三百八十二箇所，其の在監人は二	万	四千六百九十九人でありまする．尤も此の在監人
	万	273	14	の在監人の数を見まするに，未決者は一	万	四千二百二十二人，已決囚は五万六千〇四十二人

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（まん）	万	017	07	りませぬ．今日の所でも三千七百八十五	万	里余といふことは知れて居ます．箇様に夥しい距
	万	022	06	遠方に居るのが海王星で十一億三千七百	万	里で有ります．そんな大きな数を持ち出しても例
	万	023	12	地球は誠に小さいものだ．周囲が僅か一	万	里ばかりと申しましたのはこゝです．私は大きな
	万	023	13	です．私は大きなことが言ひたいから一	万	里を小さいと言つたのでは無い，海王星の距離な
	万	026	03	球から太陽までの距離が三千七百八十五	万	里で随分大きなものですが，こんな大きな物さし
	万	027	07	来る位な間に来ます，僅か一秒時間に七	万	六千里ほど走りますから地球のかたつ方の端から
	万	273	14	者は一万四千二百二十二人，已決囚は五	万	六千〇四十二人，懲治者は百二十一人ありまして
まん	満	068	11	於て学生となることの出来るものは年令	満	十八歳にして中学の予備科を卒業し其れより大学
	満	069	03	難いことが想ひやられます．箇様に年令	満	十八歳にて中学校を卒業し其れより高等司法官吏
	満	251	12	良少年の中には種類が三通り有りまして	満	二十歳以下でも二十歳以上の者と同様の悪事を働
まんえん	蔓	043	15	ことぢゃ．野蛮未開の時には禽獣などが	蔓延	し人間の力は無かりたが人間の智慧が出来て害
まんがん	万	167	12	経をひつくりかへして見ても漢土の本を	万巻	読んで見ても分りますまい．ヤッパリ新しい問
まんげつ	満	020	07	なる上に丁度太陽の光をマトモに受けて	満月	の様に見ゆるので余程よく其の表面を観測する
まんしゅう	満	170	12	たらドコを好んで行きませうか．朝鮮か	満州	か又は支那を好んで行きませうか．さうであり
	満	170	12	ませうか．さうでありますまい．朝鮮や	満州	や支那には移住を為すものが多くありますまい
まんじょう	満	067	11	強とによつて得られたる栄誉は只今この	満場	に於て喝采を得られたる諸君の身辺に充満して
まんぞく	満	144	13	たりして参りましたがタカが少数で中々	満足	いたされません．小説を書く人が多数の中には
	満	088	12	して家を立ることを知らねども其の儘で	満足	して居ります．モウ多年米国の政府が骨折つて
	満	021	13	す．今日理学や其の外の学問をする人が	満足	する有様に至らないので追々開化が進んだら黄
	満	088	09	ませぬ．己れが不足なる有りの儘にして	満足	するならば進歩することが出来ませぬ．米国の
	満	099	02	の罪を鳴らしたからとても其れで我々が	満足	するといふことは出来まい．我々は何故斯くの
	満	012	02	でいつたら，我々の物知りたがりも暫く	満足	せねばならないです．「地球は何の中か」とい
	満	065	09	力めて之を奨励し以て我が国民の健康を	満足	せしめむとするは則ち先覚者の義務です．実に
	満	104	11	あることなれば啻に殺人罪の告訴を以て	満足	せず啻に義捐金にのみ熱心せず其の根本に注意
	満	060	09	ハヤお恥かしき次第にて仮名つき新聞も	満足	には読み下すことも出来ぬくせに忽ち学者ぶり
	満	197	16	nは惑星の運動のことを発明したのみで	満足	をしないで，総ての学者の苦しんで居る所の彗
まんなか	真	016	09	地球のグルリを回つて居ります．地球が	真中	にチャンとして居つて月が其グルリを旋つて居
	真	024	08	を見ますとドンナけちな望遠鏡でも星の	真中	の所に筋の様なものが見えます，丸に一文字の
まんよう	万	126	04	ロハを知らざる中に，かの貴い古事記，	万葉	集などを批評し且非難せむとするが如きもので
み	み	179	12	仰せられましたが千八百年以来の歴史を	み	て此の言の決して偽りで無いことが知れます．元
	み	179	10	く嶮しきは易くせられ人々みな神の救を	み	ん」とあり，またキリストも此の預言者の語を引
	み	053	15	れば「はな」とはこんなものだと教へ「	み	」と「る」で「みる」，其の間に「を」を加へて
み	ミ	087	08	を造り且之をつかさどりたまふ造物主の	ミ	コゝロに逆らひ之に合はざるものなりと云ふ返答
	ミミ	087	11	即ち人に進歩するの能力を与へたる神の	ミ	コゝロに合ひたるものなりと云ふ返答が出来ます
	ミミ	087	13	督の総ての高尚なる仰せを書き載せ神の	ミ	コゝロを顕はす所の聖書なりと云ふ明らかな返答
	ミミ	089	17	この教は即ち万物を造りたまふ造物主の	ミ	コゝロに基づいた宗教なれば，これより上と申す
	ミ	090	08	も有ります．なぜなれば所謂聖書は神の	ミ	コゝロを教ゆるもので御坐ります．基督教を用ひ
みる	看	197	01	では無いかと思ひましても，其の帽子を	看	て大学の学生だと云ふことが知れゝばモウこはく
みみ	観	067	07	人の諸君が卒業証書を得られましたのを	観	まして大いに感ずる所が御坐いました．其れ故に
	観	069	16	なことで御坐いますが一国政府の上から	観	ますれば供給者益々増しました時には政府に取つ
	観	070	03	を転して我が国の裁判官代言人の有様を	観	ますれば従前判事と唱へる奏任以上の者は僅に三
みみ	見	099	10	が我々日本人民を西洋人と同等の人間と	見	しならば斯くの如き事件は起り得べきや．私はあ
	見	241	16	或る人の邸を見に行つて其の邸の全体を	見	ずに，ただ溝の端の竹が一本曲つて居るとか折れ
	見	014	13	のも有れば小さくて近いのも有るから唯	見	た計りでは大きい小さいの論は立ちませぬから先
	見	019	04	此の母が長庚星が懐に這入ると云ふ夢を	見	たので生れた子の名を白とつけ字は太白と言つて
	見	099	11	得べきや．私はあまり船乗につきあつて	見	たことは無いが其の最も義侠の心に富むで居るも
	見	099	17	てた放擲したウッチャッタといふ所から	見	たときには如何にしても彼等は我々を軽蔑したも
	見	102	02	支那人は豚であるから苟くも利があると	見	たなれば必ずそれを外さない．糞汁も厭はない芋
	見	133	12	を聞いたことは御坐りませぬ，けれども	見	たことは御坐りまする」と答へました．大きに宣
	見	134	02	に任せて置きます．そこで私が基督教を	見	たので有ります」と答へました．只今説きまする
	見	156	14	が考へたので其の人は天文を骨を折つて	見	たが日蝕や月蝕が算盤に合はないことがあると云
	見	167	01	ミストリーで見ると，よく分りませう．	見	たばかりでは事実も道理も分りませぬ．さて，昔
	見	174	13	の通りになりますが経済学者は之を何と	見	たか聞きたいものと存じます．さて今，申したや
	見	207	05	く御坐りました．私は日本で此の流星を	見	たと云ふ人は知りませず，私は其の頃はまだ気を
	見	216	08	所が牡鹿が牝鹿に云ふには「昨夜，夢を	見	たが霜が多く降つて私のカラダを覆つたが何か訳
	見	240	02	の命，又は依頼を受けて其の人の為めに	見	たことは其の注文者の所有物で有りますから私が
	見	241	17	か折れて居るとか云ふやうなことばかり	見	たとて参考になるものでは有りませぬ．固より諸
	見	143	14	本ならば之を見て男なら丹治郎になつて	見	たい女なら米八になつて見たいと云ふ心が生じま
	見	143	14	治郎になつて見たい女なら米八になつて	見	たいと云ふ心が生じませう．然らば斯様なものは
	見	147	06	二三回で済むやうに）御一所に講究して	見	たいといふことで，あります．諸君がお分りにな
	見	154	03	ックを要するといふことを併せて述べて	見	たいと思ひます．行政法とスタチスチックと合は
	見	190	17	地方行政を終りましたときに申し上げて	見	たいといふ考へです．この儀に付きまして仏国の
	見	254	03	から外へ出ると直きに妓楼へでも上つて	見	たいと云ふ考へを起しまして忽ち其の資金を無く

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（み）	見	188	08	ますから其れを今日チョット申し上げて	見	たう御坐います．凡そ人間が集まつて社会を為す
	見	007	07	有りませう．だが実際裸にしてふるつて	見	たら字を書くことの外は知らざる者が多いで有り
	見	161	07	ことをする人で孕み女の腹を剖いて胎を	見	たり，聖人には七つの竅が有るといふがドウだと
	見	161	08	がドウだとかと云つて比干の心を剖いて	見	たりしたが，これ等は畢竟，酒を飲むといふこと
	見	240	05	之を視察したるもので有りますから私の	見	たるところは私の目を通つて内務大臣の目の中に
	見	240	11	を巡閲して帰れば其れは○○君に代つて	見	たるものであるから，其の性質如何を知ると云ふ
	見	008	04	ればならないのに．されどウチワばかり	見	て居れば安心高枕で得意になつて居るのも無理は
	見	014	07	遠鏡で月を見ると中々妙なもので肉眼で	見	ては唯ボンヤリして何だか分らず俗に兎が餅を搗
	見	025	09	余り小さいと言ひます．小さいとは眼で	見	て小さいので眼で見て小さいのが果して小さいの
	見	025	09	す．小さいとは眼で見て小さいので眼で	見	て小さいのが果して小さいので有るかドウか分ら
	見	029	11	諸君御存じで有りませうが秋の頃に天を	見	てお出でなさると真つ白なものが有りませう，雲
	見	031	03	て又其れと類似したもので矢張り肉眼で	見	ては見えず望遠鏡で見ると云つても雲の様に見え
	見	031	05	此の星雲の中にはチョットした望遠鏡で	見	ては唯雲の様に見えても少し強い眼鏡で見ると星
	見	034	11	ぬか．かういふ所から私共も説を立てて	見	て世間で酒を飲む人はどんな人が多いかと歴史な
	見	062	03	思つて徒歩にて市中に出るときは人之を	見	て某はこの暑いのに人力にも乗らないで，あるい
	見	120	09	て此の節は私の居る神保町近辺を通つて	見	ても麦酒屋が沢山に出来ました．昔は私の居る近
	見	121	01	た通り西洋の学者は西洋の飲酒の弊害を	見	て説いたことで有りますが私はドウも日本でも論
	見	134	05	と言へる世の人をして爾等の善き行ひを	見	て神を崇めしめむ為めなり」また耶蘇基督御自分
	見	134	09	耀かせ，さすれば人々爾等の善き行ひを	見	て天に在す爾等の父を崇むべし」と．この言葉は
	見	138	04	とが出来ませんでしたが其の時，医者に	見	て貰ひました処，其の医者先生の申すには貴君に
	見	138	10	話しに連れ後はドウなるかと先き先きを	見	て夜る二時でも三時でも構はずトウトウ夜を明か
	見	138	15	た西洋の著作中にも其の善きものは之を	見	て自ら反省することもあれば随つて社会の道徳を
	見	143	14	す．たとへば米八丹治郎の本ならば之を	見	て男なら丹治郎になつて見たい女なら米八になつ
	見	148	01	何れの土地の季候は何度であると調べて	見	てこれはナルホド必要であると言へば測候所とい
	見	152	11	政法は附属物であります．併し珊瑚珠を	見	て，これは動物か植物かと言ふと同じく憲法と行
	見	156	09	カリの小僧がたでも天球儀，地球儀，を	見	て地が回るんだと云ふことを知つて居るが前に地
	見	166	16	土瓶や茶碗は土瓶や茶碗だといふことは	見	て分りませうがドウして出来たものか，たゞ一見
	見	168	05	れは当り前なことで若し古いものばかり	見	て，いゝ気になつて居るやうでは日本もモウ其れ
	見	172	15	るがコッチにもあるから先づ五分五分と	見	てよからう．前に申した箇条箇条がタシカで間違
	見	174	11	ャレ骨にたゞ一つ銭といふ皮肉を附けて	見	て篤と考へたらば活きますまいか感じますまいか
	見	193	14	ふことをするといふのは外国の例などを	見	てこれをも参照して細則をきめるだけで人民の自
	見	201	11	れより少しドウかした人はたゞチョット	見	てくれます位で，威張つた人になるとテンデ見向
	見	208	08	る時に時計を見，汽車の止る時に時計を	見	て，ミチノリの書いたものと見合せれば，何時間
	見	240	09	で「何某の所に娘が有るによつて行つて	見	て来て貰ひたい」と云ふので私が其の娘を見に参
	見	026	01	ませう．此の物さしの両端から測量して	見	ても大かたの星の距離は大き過ぎて測量すること
	見	031	07	り，又今日世の中にある極上の望遠鏡で	見	ても矢張り雲の様に見ゆるのも有ります．其れと
	見	031	14	ハの中にも大分瓦斯体であつて望遠鏡で	見	ても矢張り雲の様に見える部分も有ります．こゝ
	見	076	11	の様に研究された方が何の学科であつて	見	ても各々立身の道を得て積極的の結果を得て参り
	見	092	01	所の種々のことに由つて見ればドコから	見	ても基督教は人間の完全なる進歩を成就せむとす
	見	100	03	の平常，義侠に富むの商売柄から考へて	見	ても決して彼の様な事件は起らぬ筈であらう，否
	見	103	12	るゝに相違なし．而して日蓮記を読んで	見	ても昔しの人が物事を深く信じて疑はざるところ
	見	110	09	に違ひ無い．これ等のことに付て考へて	見	ても疑はしいことである．また外国の例に保険附
	見	113	08	とで，これには利も有り害も有るがドウ	見	ても害の方が余計に見ゆる．して見れば酒といふ
	見	142	15	ます．春水の梅暦が先づお手本でドレを	見	ても一つこと．初めに情夫が有つて其れに女がほ
	見	167	12	くにはイクラ一切経をひつくりかへして	見	ても漢土の本を万巻読んで見ても分りますまい．
	見	167	13	りかへして見ても漢土の本を万巻読んで	見	ても分りますまい．ヤッパリ新しい問題は新しい
	見	174	06	ませう．一体，数字はシャレ骨のやうで	見	ても面白くない，イヤなものですが之に銭といふ
	見	270	12	良の者が多いと云ふことは此の事実から	見	ても尤もで，また道理からしても，さうあるべき
	見	006	12	て一枚一枚に一字づゝ講釈をする，本を	見	なくては講釈をすることが出来ない．今日は物理
	見	003	04	ば其の方便と真の智識との関係を考へて	見	なければならない．一体，人には時の際限が有つ
	見	196	07	屈が有るものか，無いものか，たゞして	見	なければなりません．一体，この彗星をこはがる
	見	202	14	は霧がかゝつて見えないでイタリヤまで	見	に行つた人が有りました．果してＨａｌｌｅｙの
	見	240	10	来て貰ひたい」と云ふので私が其の娘を	見	に参つて性質が温良か然らざるかを巡閲して帰れ
	見	241	16	役に立ちますまい．例へば或る人の邸を	見	に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝の端の竹
	見	020	05	から距離が遠い時である上にまぼしくて	見	にくいですが之と替つて地球が此の星と太陽との
	見	060	04	猫も杓子も（と云つて杓子の絹衣はまだ	見	ぬけれども）着て居ります．しかのみならず人力
	見	019	12	から大層此の星を珍重しました．肉眼で	見	ましては木星に少し小さい位ですが望遠鏡で見ま
	見	026	04	ですが，こんな大きな物さしを工夫して	見	ましても二十二万などといふ大きな数が出ます．
	見	034	15	の人は余り酒を用ひませぬ．歴史などを	見	ましても酒を飲まない人は古へより功を成し国家
	見	076	10	と言ひませうが一個人の上に付て言つて	見	ましたら，さうで無く法律も経済もドチラでも諸
	見	163	08	ことは日本外史には書いて無いが何かで	見	ました）そこで信長は光秀を押し伏せて其の項に
	見	191	08	でも無い．モンテスキューの説を読んで	見	ましても裁判をするは法律を執行するに止まる．
	見	239	12	三箇所でありまして，其の外，参考上に	見	ました所は小学校，高等小学校，中学校，師範学

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（み）	見	013	04	ことが出来ませう．地球の周囲を測つて	見	ますと長い所が僅か一万二百五里ほがない．私は
	見	016	06	そこでザット地球と月との位置を比べて	見	ますと直径一寸の玉を拵へまして其れを地球の雛
	見	017	09	に大きいものに違ひない．現に勘定して	見	ますと直径は三十五万二千六百二十三里で地球の
	見	018	01	に明るい非常に熱いもので，よく調べて	見	ますと凡そ地球の上にあらゆる光りと熱は直接に
	見	018	16	螢＊惑星とも火星とも言ひます．肉眼で	見	ますと赤い星で時としては同し所にヂッとして時
	見	019	12	ては木星に少し小さい位ですが望遠鏡で	見	ますと其のグルリに鍔が有ります，丁度鉛の玉の
	見	020	11	は無いと云ふことを申しましたが火星を	見	ますと陸も有れば海も有る，海が有れば蒸発気が
	見	024	07	ものが四つついて居る．望遠鏡で木星を	見	ますとドンナけちな望遠鏡でも星の真中の所に筋
	見	025	14	．星の距離は月の距離を測りますのから	見	ますと余ほどむつかしくなります．第一今度は物
	見	026	10	て参ります．現に此の割り合ひによつて	見	ますと我々に見ゆる星は中には太陽よりは小さい
	見	026	17	いふ所の六十一号の星で今申した星から	見	ますと三倍ばかりも距離が遠い．此の様に遠い距
	見	028	11	す．先づ二つかたまつて居る星は肉眼で	見	ますと唯一つの星の様に見えますが望遠鏡で見ま
	見	028	12	と唯一つの星の様に見えますが望遠鏡で	見	ますと二つに分れて見え，多くは一つは大きく今
	見	029	01	な運動をして居ますのが有ります．して	見	ますと果して我々の太陽系は外にツレがあるので
	見	029	17	のだかよく知れなかつたですが望遠鏡で	見	ますとアマノガハは全く星のかたまりです．濃い
	見	030	05	て此のアマノガハと云ふものは地球から	見	ますと帯の様にして天をグルツと取りまいて居ま
	見	030	06	て天をグルツと取りまいて居ます．して	見	ますと其の中に我々がはいつて居るに違ひない．
	見	030	12	居る様に見ゆる筈で有ります．そこから	見	ますとアマノガハは星のかたまりで太陽も地球の
	見	031	01	ない星のかたまりが有ります．望遠鏡で	見	ますと星のいくつとはなく簇つて居る者が沢山あ
	見	034	12	どんな人が多いかと歴史などから考へて	見	ますと酒を飲む人は無欲の人であつて多慾の人は
	見	053	17	ばないで文適が出来やう．田舎の様子を	見	ますに漁村僻邑と言ふと漢語ですが田舎の百姓な
	見	054	08	種は慰みの為めの本，それを類を分けて	見	ますと御国より始めてモロコシ西洋の歴史，理学
	見	076	14	しましたので御坐んす．さて私が考へて	見	ますに利を興すといふことと害を除くといふこと
	見	077	04	ふ様にも参りませぬ．浅近の例を挙げて	見	ますと勉強して金を拵へましても窃盗だとか詐偽
	見	109	16	坐りませぬか．また諸新聞紙等に拠つて	見	ますと尚ほ一層怪しむべき事実が有る．只今申し
	見	120	12	スのスタチスチック，ジョルナルなどを	見	ますと麦酒などを飲む為めに費す所の金高は大層
	見	121	17	で警視庁の懲役場の罪人の上から調べて	見	ますと酒から罪を犯した者が随分に多い．尤もこ
	見	152	06	ませぬ．其れで憲法との関係を一言して	見	ますと憲法では一国の公法の基礎となる原則を定
	見	152	15	しいことであります．けれど実地に就て	見	ますと仏蘭西の例で言へば国体の変るに従ひ憲法
	見	193	11	やうに見えまするが天子の勅詔を段々と	見	ますとこれ皆な王政復古といふことを度々述べら
	見	199	09	毎日の観測を以て其の軌道を取り出して	見	ますと皆な抛物線で有つて楕円では有りません．
	見	203	08	中で僅か三日の違ひで有りました．して	見	ますと，この彗星と云ふものは先づ惑星と同種類
	見	211	10	のアタリハヅレを研究する学問によつて	見	ますと彗星の突き当る前には地球は老病で死んで
	見	228	06	有様で御坐います．其れで地方の区別を	見	ますと大名の下に今の郡長のやうなものを置き，
	見	230	11	のが有るさうです．其れを近ごろ調べて	見	ますと例へば十五の町村が有つて一郡を組成し其
	見	057	11	は実に有り難いことで此の近県の様子を	見	まするに此の埼玉県下は最も衛生が盛んにして浦
	見	075	16	と経済学と其の学科の性質上より論じて	見	まると法律は消極的の価値を得るといふもので
	見	101	12	よく分つて居ります．西洋各国の歴史を	見	まするに何れの国にても一事の改革をはかるとき
	見	269	09	千四百十四人の幼年者の罪質を区別して	見	まると謀殺，故殺，放火，強姦，窃盗，強盗，
	見	269	15	，即ち一割一分八厘で有りまする．して	見	まると十二歳より十六歳までの間が一番，間違
	見	270	05	度合ひを其の入院の時に調べましたのを	見	まると一丁字をも知らざる者が四千四百七十二
	見	270	11	を受けたる者は一人もありませぬ．して	見	まると教育の一番少ない者に不良の者が多いと
	見	273	14	となりまする．而して其の在監人の数を	見	まると，未決者は一万四千二百二十二人，已決
	見	274	02	五十二人となりまする．今，其の費用を	見	まると国庫支出，及び地方税支弁にて明治十七
	見	136	01	が表の口にはいり裏へ出まして其の庭を	見	ますれば誠に面白くも無く，また分らぬやうに見
	見	093	12	罰があるやといふことを研究したものを	見	ませぬ．故に已むを得ず私が一言，諸君に陳べむ
	見	169	12	の人数，年齢，職業などを書いたものを	見	ませぬから委しいことは知りませぬが先づ亜米利
	見	226	15	に致します．先づ第一部から申し上げて	見	ませう．即ち行政官権及び行政議会のことで御坐
	見	002	07	考へも無く，昔の通りに仮名違ひをして	見	ようといふ仮名組だからといつて左袒したといふ
	見	033	07	二だけの賛成いたした趣意を申し上げて	見	ようと思ひます．酒のことに付ては古人も辛苦さ
	見	061	01	るか又東京に於ても支那の公使館の門を	見	られたならば必ず古代未開時の風たるを覚らるゝ
	見	208	07	人が時計を持つて汽車の出る時に時計を	見	，汽車の止る時に時計を見て，ミチノリの書いた
み	御	089	06	す．第二．また種々の進歩をせむとする	御	方は必ず賤き有様を免れて貴い有様へ進むの志が
	御	130	04	は御坐りませぬ．基督教は則ち造物主の	御	心と人間の天然の性質に基いたもので有ります．
	御	130	06	が常に調べ且説く所の万物は同じく神の	御	心と御手より出て来るものだから学術が基督教の
	御	131	02	では無い．ドチラも神の変ることの無い	御	心に本づいたものなるが故で御坐ります．これま
	御	132	12	た方，世の色々の迷ひの中にて造物主の	御	心に本づいたる道理を固く立てるならば，すべて
	御	090	06	ば迚も進歩することが出来ませぬ．神の	御	言葉と云ふ聖書の極古い所に申して御坐ります．
	御	130	07	調べ且説く所の万物は同じく神の御心と	御	手より出て来るものだから学術が基督教の敵にな
み	身	201	09	から居つた者で有りますが其の頃，私は	身	が軽くつてイツもスタスタあるきましたが途中で
	身	095	03	徳上の義務で御坐りませう．況んや其の	身	船長であれば斯の如き場合に在つては必ず乗組人
	身	163	14	と論語にもあるが信長などは大望の有る	身	でありながら箇様になつたのを見れば酒の為めに
	身	092	11	銘々が耶蘇基督の高尚なる教を心に得て	身	に行ふに由つて能く己れを進歩させる時は兼ねて

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（み）	身	132	16	いものが御坐ります．即ち卒業生が己が	身	に基督教を行ふの仕方で御坐ります．人が，まの
	身	175	01	体」と言ひますから義務が何も彼も我が	身	にかゝつて来ます．若し義務を欠くと人が人とせ
	身	175	12	の職業でも，共争ひに争ふやうになつて	身	に着，口に食ふことも出来ず，出来ぬからとて食
	身	237	16	無い．其れだから今日の学生は昔し厄を	身	に引き請けながら学問を勉強した人のことを考へ
	身	060	12	煙草を喫し無益の美服を飾り放蕩を極め	身	を過まり家を亡ぼし遂には獄内に籠城するか又は
	身	095	01	ます．今道徳上の原理より言ひますれば	身	を殺しても仁を為すといふことがありまして尋常
	身	161	05	いふものは大変な悪いもので其の為めに	身	を亡ぼし家を亡ぼし国を亡ぼすものが有る．殷の
	身	164	01	相手にしたといふことだが，酒の為めに	身	を立て家を興したといふ者は一人も無し，亡国廃
	身	237	06	ぶので無くて西洋のことを学べば自分の	身	を害することは有つても利することは到底，望み
	身	251	09	を受くるだけで通常の良民と同様に其の	身	を立つることが出来まることになつて居ります
	身	164	12	む．夜闌にして客始めて謝し去り且云く	身	，重寄にあたり敢て延擱せず即時に以て縷を解く
み	未	061	02	鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のときは又	未	開化人の用ゆるものたるを知られませう．故に概
	未	250	01	るまで（即ち二十歳に至るまで）は之を	未	丁年者と唱へまして専ら之に教育を施すべき時で
	未	250	02	ら之に教育を施すべき時で御座います．	未	丁年者の教育は智慧の教育，心の教育，身体の教
	未	251	11	然れば右のお疑ひは晴れませう．今度は	未	丁年の不良者でありまして此の者を不良少年と名
	未	252	11	すると云ふのが趣意で有りまする．此の	未	丁年の不良少年は監獄に入れまることは宜しく
	未	252	15	と通り終つた筈の者であります．然るに	未	丁年の者はまだ教育最中であつたのですから此奴
	未	252	16	は教育も与へなければならない．よつて	未	丁年の不良少年には教育を与へ教誨を施し，これ
	未	253	03	なつて居ります．この矯正院と言ふのは	未	丁年者の監獄と云ふ意味で之を矯正院と言はうが
	未	272	02	は親族等より願ひ出でたる出[illegible]懲治者（	未	丁年）を懲治する所でありまする．第四，已決監
みあげる	見	166	13	い，事実を穿鑿して事実の上から道理を	見上げる	仕方だからモノゴトの道理がタシカで「ハ
	見	166	14	るやうになつて来ます．事実から道理を	見上げる	のだから誰も駁つことは出来ますまい．世
みあたり	見	144	08	のは私の眼力が無く眼界が狭くつてまだ	見当り	ませんが只今の所では十銭か十五銭で買へる
みあらはさ	見	200	15	すが，丁度そんなもので，彗星の正体を	見顕はさ	うと思へば必ず其の道によつて考へて来な
みあわす	見	262	12	をおきまして，夜も昼も他の[illegible]生と面を	見合す	ことも，話しをさせることも有りませぬ．此
みあわせれ	見	208	08	に時計を見て，ミチノリの書いたものと	見合せれ	ば，何時間にどの位，走ると云ふことが分
みいけ	三	273	10	はれます．此の外，東京，兵庫，宮城，	三池	の四箇所に仮留監と申しまするものが一箇所づ
	三	273	04	，集治監，即ち中央監獄は東京，宮城，	三池	，樺戸，空知の五箇所でありまする．また，其
みいだし	見	205	17	象台の門番のＰｏｎｓと云ふ人が肉眼で	見出し	て名高くなつてベルリンのＥｎｃｋｅと云ふ
みいだす	見	003	15	前に坐つて字を習ひ，コレラ病の原因を	見出す	こともお留守にして字を習はなければならな
みうけ	見	144	07	すまいが其れにしてはタント好い小説を	見受け	ませぬ．今，申す通り古人の糟粕を嘗めずに
みえ	見	205	13	来るもので有ります．諸君は其れならば	見え	さうなものだと，おつしゃるでせうが見えるこ
	見	030	11	居るとしますと或る向には星が少しほか	見え	ず或る別の所には星が沢山見えませう．而して
	見	031	03	れと類似したもので矢張り肉眼で見ては	見え	ず望遠鏡で見ると云つても雲の様に見えて粒々
	見	013	10	る場所は円いものでタカの知れたハヾの	見え	たもので我々の住つて居る所で無いものは何と
	見	181	10	ふべきことは色々あつて既に規則書にも	見え	た通り飲酒喫煙を禁ずるのもまた大事な改良で
	見	217	13	に俊蔭の巻とか吹上の巻とか云ふ標目の	見え	たのは此の書が始めで有りますが此の名はドウ
	見	136	04	の庭に敷て御座ります．こゝには九州が	見え	次ぎに四国が見えます．彼所には白妙の富士が
	見	025	12	ウでせう．遠い所に居るのだから小さく	見え	ても実は非常に大きいかも知れない，大きい小
	見	031	03	見えず望遠鏡で見ると云つても雲の様に	見え	て粒々とした星のかたまりの様に見えないのが
	見	033	09	のことに付ては古人も辛苦されたことと	見え	て或は「後世酒を以て国を亡ぼす者あらむ」と
	見	033	17	か大変な愉快であつたとか，いふことが	見え	て居ります．また日本ばかりでなく西洋でも総
	見	162	01	れる．武王はふかく其れに感じたものと	見え	て殷を亡ぼして後，弟の康叔を衛に封じたとき
	見	227	11	で将軍になつたと云ふことが歴史などに	見え	て居ります．大名は何であるかと云ふと，テも
	見	014	13	間は分りませぬ．総て物は同じ大きさに	見え	ても大きくて遠いものも有れば小さくて近いの
	見	017	13	まはすことは出来ませぬ．同じ大きさに	見え	ても月と太陽は非常な違ひで月は地球より小さ
	見	026	09	ては余程明るいもので，あんなに小さく	見え	ても実は非常に大きく無ければならないと云ふ
	見	031	06	チョットした望遠鏡で見ては唯雲の様に	見え	ても少し強い眼鏡で見ると星のかたまりの様に
	見	027	15	位な星です．此の外に望遠鏡で無ければ	見え	ない星が沢山ありますが其れは小さいから見え
	見	027	15	い星が沢山ありますが其れは小さいから	見え	ないのか遠いから見えないのかといふと其の問
	見	027	16	其れは小さいから見えないのか遠いから	見え	ないのかといふと其の問題は本当には解けない
	見	029	03	るか居らぬか分らない様ですが肉眼では	見え	ないがよく調べると何かのグルリを回つて居る
	見	030	01	すと夥しく星があります．一体，肉眼で	見え	ない星が沢山ありますが其の中で此のアマノガ
	見	031	04	に見えて粒々とした星のかたまりの様に	見え	ないのが有ります．其れは星雲と言ひまして近
	見	155	10	学問の献立をならべなければ学者らしく	見え	ない．先づ学問といふものは御存じの御方には
	見	169	07	海外貿易の利は東に益があつて西に利が	見え	ないやうだのに我が国の人心は西に向つて貿易
	見	202	14	ランスやイギリスなどでは霧がかゝつて	見え	ないでイタリヤまで見に行つた人が有りました
	見	013	15	が非常に近眼で五里か十里先きのものが	見え	なかつたら地球の外にドンナものが有るか一向
	見	029	13	，併しながら少し月が出たり何かすると	見え	なくなります．これはアマノカハと言ひます．
	見	199	14	うするとグリット太陽のマハリを回つて	見え	なくなつてしまつた彗星が再び帰つて来るかも
	見	206	14	で親子づれで段々遠方にいつてトウトウ	見え	なくなりました．其の後に天文学者がモウ戻つ
	見	207	01	た，けれどもドコへいつたか今度は全く	見え	なくなりました．其の後も待つて居りましたが
	見	014	08	を掩くのだと言ひます処が余程はつきり	見え	まして全く高い山や深い谷などで有ります．山

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（みえ）	見	140	13	書いた物の中に其の不平を訴へたことが	見え	ましたから確かなることと思ひますが此の愍れ
	見	195	06	つて出ましたので，ドコの国からもよく	見え	ました．当時私はこゝからチト遠方のアメリカ
	見	202	12	ひませう．ところが果して其れが肉眼で	見え	ました．しかしドコからでも見ゆると云ふ訳に
	見	204	14	べきですが其の頃は非常に驚いたものと	見え	まして，ローマ法皇は「毎日正午には鍾を鳴ら
	見	209	10	いもので，ムヤミに長いもので三年前に	見え	ましたのも御存じの通り随分長う御坐りました
	見	270	03	有無に関係することが最も甚しいものと	見え	まして，前に申した八千四百十四人の者の教育
	見	017	08	様に夥しい距離に居ながら月と同じ位に	見え	ます．して見ると非常に大きいものに違ひない
	見	024	08	遠鏡でも星の真中の所に筋の様なものが	見え	ます，丸に一文字の紋所とでもいふべき形に見
	見	024	09	，丸に一文字の紋所とでもいふべき形に	見え	ます．此の筋と同じ向に彼の四つの衛星が時と
	見	024	10	しては玉を並べた様に四つとも一直線に	見え	ます．其の次ぎには土星これは余程贅沢な星で
	見	028	11	る星は肉眼で見ますと唯一つの星の様に	見え	ますが望遠鏡で見ますと二つに分れて見え，多
	見	028	13	地球が太陽を回り，月が地球を回る様に	見え	ます．して見ると一つが親分で，あとが子で有
	見	136	02	ば誠に面白くも無く，また分らぬやうに	見え	ます．けれども遂に二階に上つて，かの庭の景
	見	136	04	ます．こゝには九州が見え次ぎに四国が	見え	ます．彼所には白妙の富士が眼に立つ如くに見
	見	136	05	．彼所には白妙の富士が眼に立つ如くに	見え	ます．誠に面白いもので御坐ります．下から見
	見	140	02	ものですから其の筆先きの勝れたものと	見え	ます．またイギリスの故宰相ジスレリーなども
	見	158	11	と朱子先生も雷のことは知らなかつたと	見え	ます．サスガの孔子様まで萌黄の蚊帳をつつて
	見	169	02	とは形ちばかりで何の道理も無いものと	見え	ます．丁度この時分に我が国の人心が印度や支
	見	169	08	に向つて貿易の利とは反対を示すやうに	見え	ます．これには色々な訳もありませうが今日の
	見	169	11	米利加へ行く者が年々に多くなるやうに	見え	ます．亜米利加に行く者と欧羅巴に行く者との
	見	169	14	行くのとは其の目的が違つて居るやうに	見え	ます．欧羅巴に行く者の方は学術研究の為めで
	見	170	01	い富を求めやうといふ考への者のやうに	見え	ます．其の亜米利加に行く者の中には随分下等
	見	179	05	婦人の品位を開進するにありと規則書に	見え	ますが凡て社会の弊風を改良すること取り分け
	見	185	13	とにはドチミチ更に頓着せぬ者のやうに	見え	ます．兎に角に，これより此の悪習を洗滌する
	見	189	05	権者が行ふといふ主義に違ひ無いやうに	見え	ます．其れで立法権といふものは執行権と相対
	見	204	10	エウロッパでは非常に大きかつたものと	見え	ます．万国史をお読みになつたお方は御承知で
	見	205	09	に災が有ると云つて，こはがつたものと	見え	ます．さて，前に申した通りに立ち戻つて来る
	見	205	13	だと，おつしゃるでせうが見えることは	見え	ます．しかし肉眼では見えません．この十一二
	見	207	17	のでは無く，化けて流星になつたものと	見え	ます．このごろでは段々と流星と彗星との関係
	見	209	03	は尾を透して，どのやうな小さい星でも	見え	ます．尾をすかして大きな星が見ゆるなら宜う
	見	209	04	ら宜う御坐りますが小さな星までも能く	見え	ます．頭の所はドウで有るかと云ひますに頭は
	見	209	08	も稀薄なもので何れ瓦斯体で有りさうに	見え	ます．中には心の所だけは堅まつたもので，あ
	見	217	10	めて此の空中楼閣の話しを作つたものと	見え	ます．しかしながら天に昇つてしまつたなどと
	見	218	10	を知らせやうと云ふ心組で作つたものと	見え	ます．其の時分には男は漢文で書き，仮名文は
	見	219	13	と昔の風俗は自由結婚に近かつたものと	見え	ます．此の時分は上等社会さへ，さうで有つた
	見	221	01	社会のものに向くのを目途としたものと	見え	ます．しかし其の時代の人情風俗を知るにはよ
	見	221	11	て我が国の小説は全く地に墜ちたものと	見え	ます．其の時分，京伝は元来，洒落本，草双紙
	見	222	04	り学問が有つたから了簡がついたことと	見え	ます．箇様な訳で有るから我が国の小説は却つ
	見	269	16	一番，間違の出来やすい時で有るものと	見え	ます，故に人の父母たる者は専ら十二歳より十
	見	193	11	巴の新主義をもつて来て採用するやうに	見え	まするが天子の勅詔を段々と見ますとこれ皆な
	見	019	16	といふまでで今一つは望遠鏡で無ければ	見え	ませぬ．此の外にもまだ有りますが此の位でお
	見	024	12	ませうが天王星に四つ海王星に一つしか	見え	ませぬ．太陽は親父で惑星は子，衛星は孫であ
	見	026	13	で有るかといふに不幸にして東京からは	見え	ませぬ．其れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ星で
	見	030	11	少しほか見えず或る別の所には星が沢山	見え	ませう．而して星の沢山見ゆる部分は帯の形し
	見	031	02	簇つて居る者が沢山ある．併し肉眼では	見え	ませぬ．其れからして又其れと類似したもので
	見	205	14	見えることは見えます．しかし肉眼では	見え	ません．この十一二の彗星の歴史はナカナカ面
	見	207	02	其の後も待つて居りましたがドウしても	見え	ません．無くなつたか知りませんが全く迷ひ子
	見	028	12	えますが望遠鏡で見ますと二つに分れて	見え	，多くは一つは大きく今一つは小さく，かたつ
	見	196	09	は東洋よりも甚しく，こはがつたものと	見え	「箇様箇様の彗星が出たときは人が夥しく死ん
みえる	見	205	13	えさうなものだと，おつしゃるでせうが	見える	ことは見えます．しかし肉眼では見えません
	見	019	15	ましたが其れの中に一つはヤット肉眼で	見える	といふまでで今一つは望遠鏡で無ければ見え
	見	202	10	よ天文学で竟にこれまで無かつたことが	見える	と云ふので皆な面白がつてエウロッパ中で待
	見	031	14	であつて望遠鏡で見ても矢張り雲の様に	見える	部分も有ります．こゝに至つて説が二た通り
	見	019	13	グルリに剣術の竹刀の鍔でもつけた様に	見える	もので有ります．これだけが昔し五星と言つ
	見	081	13	せぬ．人の内部から起らずしてたゞ目に	見える	様な外部の進歩は根なくしてアサハカなもの
	見	025	11	あるくのを見れば，まるで蟻のはふ様に	見える	，其れだから人は小さいと言つたらドウでせ
	見	040	01	くてはならぬと云ふことになりて居たと	見える	．今いふ徳義にかなふた人でも其の時分には
	見	040	02	じことで何でも強いのが徳義で有りたと	見える	．そこで事柄が一つぢゃから随ふて字が一つ
	見	041	01	風習になり道徳の様になりて来たものと	見える	．前に申したのは風習を比較する近頃の学者
	見	162	16	其の当時に在つては已むを得ないものと	見える	．今申した酒誥の原文は大凡六百字あまりも
	見	163	07	が飲めないから七合入の盃には驚いたと	見える	（七合入の盃といふことは日本外史には書い
みお	三	123	03	人が参つて話しましたが其の人は木曽の	三尾	と云ふところに教員をして居る人でありますが
みおろす	見	166	11	ない．たゞ考への上の道理を以て事実を	見下す	仕方だからモノゴトに，あてはむることは出

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（みおろす）	見	136	02	れども遂に二階に上つて，かの庭の景を	見下す　ならば誠に面白いもので有ります．此の帝国
みかい	未	061	01	の公使館の門を見られたならば必ず古代	未開　時の風たるを覚らるゝでありませう．又緋緘の
	未	043	14	けた道理とは違ふて居ることぢゃ．野蛮	未開　の時には禽獣などが蔓延し人間の力は無かりた
みがい	研	035	16	が皆酒を慎んで身体を丈夫にして智慧を	研い　たからで御坐りませう，報国をしようとか大事
みがき	研	034	07	ふことが分つて来ます．また今日智慧を	研き　身体を丈夫にしようといふ様な総てのこととい
	研	035	01	深い人で今日の行ひをよく省みて智慧を	研き　身体を丈夫にし財を惜む欲の深い人だと思はれ
	研	036	08	々諸君のお力を以て益々盛大にし智慧を	研き　身体を丈夫にし財を貯へる様に致したいものと
みかど	帝	203	17	ｕｉｓｌｅＤéｂｏｎｎａｉｒｅと云ふ	帝　がありましたが，このＤéｂｏｎｎａｉｒｅと云
	帝	204	01	ことで有ります．其のオヒトヨシと云ふ	帝　の時には天文学の代りに星占学と云ふものが有り
みぎ	右	253	08	します．尤も其の不良の度合ひに応じて	右　各科目の多少をきめることで有りまする．また，
	右	275	01	するけれどもナカナカ費用がかゝるので	右　から左へと云ふやうに総体を変へる訳には参りま
	右	242	07	だ欠くる所も有り，また一方から申せば	右　心得方を充分に敷衍するに於ても利益が有らうと
	右	232	06	は無い全く府県固有の用で有るものでも	右　事項の外は知事が勝手に決定して行ふことが出来
	右	143	15	非排斥してしまはなければなりません．	右　等は未だ甚だしき猥褻でもありませんが随分人の
	右	074	11	が，これは世の中に快楽幸福が少なくて	右　に向いても左に向いても艱難辛苦の類のみ多きも
	右	076	04	違ふといふ訳では御坐んせぬ．其の訳は	右　の如く申して参りますと経済学はドウいふものか
	右	076	08	部類に属することで御坐んせう．さて又	右　の如く消極的の学科即ち法律学の如きは直接に物
	右	076	12	個の学科の学術上の性質から論じまして	右　の通りになるといふことを申しましたので御坐ん
	右	076	17	坐んせうが其の間，髪を容れぬのです．	右　のＭａｃｌｅｏｄ氏の如く積極消極と限界された
	右	148	05	のであるとかきめるので土地ばかりでも	右　の通りですが人員の部に付ても人員調査のことな
	右	224	14	れると云ふばかりでは御坐いますまい．	右　のやうな次第で，これまで小説と演劇とは実に兄
	右	230	15	へものです．府県，郡区，町村の三つは	右　の如く無形人ですから議政，施政，行政裁判を各
	右	232	13	のが学問上の精神で有らうと考へます．	右　の次第ですから行政官権及び行政議会と云ふこと
	右	237	07	ども左様なる利害を顧みず志を堅くして	右　の二大難事を遂げて来たのは実に感服の外ありま
	右	240	14	何を申し上げる訳には参りませぬ．尤も	右　の如きことでも中には他人に漏らしても不都合は
	右	243	05	望みを表はすものを立法権と云ひ，また	右　の望みを執行するものを執行権と申しまする．こ
	右	248	12	渡すものでありまして，裁判所に於ては	右　の犯罪人及び嫌疑者の判断を下し，果して罪ある
	右	251	10	まることになつて居りまする．然れば	右　のお疑ひは晴れませう．今度は未丁年の不良者で
	右	260	16	は最も必要で有ると思ひまする．其れは	右　の行政官に於てはコレコレまでは全国の利益にな
	右	177	13	のを読んで，この演説をしまひませう．	右　は一席の演説にて一大事の方法を述べたれば学理
	右	230	17	を各々やらなければならないものです．	右　は行政区画のお話しで有りますが其れから行政上
	右	237	10	御一新後，今日になつて学問をする人は	右　二つの大難事が全く消滅しました．先生もあり，
	右	041	14	なれどもこれは大いに誤りた説で道徳は	右　申した如く野蛮の時に在りては今日の道徳と全く
	右	247	03	監獄に入れたと御覧なさい．其の母親は	右　等のことに無頓着で有りますから「おれが子をお
みぎよう	右	234	09	とが有りましたが，則ち此の専修学校は	右様　なる先生が嘗て学び得たる学理を脳髄から練り
	右	044	03	から教法者も其れを矯めようと云ふので	右様　の教を起したのぢゃ．曲りたものを真直にしよ
みくださ	見	214	06	学者の目からは何でもないもののやうに	見下さ　れました．馬琴や種彦でさへ，さうだから，
みけつ	未	249	01	湮滅するおそれが有る為めに已むを得ず	未決　監と申すところに留め置くので有りまする．よ
	未	249	07	も拘引して警察署の留置場，又は監獄の	未決　監に入れて置くと云ふことが起りますから人民
	未	266	17	の事業は警察署の留置場，及び各地方の	未決　監則ち監倉と申しまする所に於て之を執行いた
	未	271	16	を拘禁して置く所であります．故に之を	未決　監とも申しまする．第三，懲治場．こゝには刑
	未	273	06	まする．また，其の中を区別しますると	未決　監は百七十五，已決監は百六十一，懲治監は百
	未	248	14	する．また，刑事上の被告人，即ち俗に	未決　者と申しまする者は裁判の済むまでは監獄に預
	未	248	15	監獄に預つて居りまする．然れども此の	未決　者は未だ法律上，罪人と定まりたる者では有り
	未	249	01	ころに留め置くので有りまする．よつて	未決　者は至つて丁寧に取り扱はなければなりませぬ
	未	264	08	に称する所の監獄で有りまする．第三は	未決　者監禁部と申しまして，此の部に於ては未決者
	未	264	08	者監禁部と申しまして，此の部に於ては	未決　者を一時監禁しておくので有りまする．第四は
	未	266	17	は仮出獄を許すことで有ります．第三の	未決　者監禁部の事業は警察署の留置場，及び各地方
	未	267	02	分房法を適用いたしまする．其の趣意は	未決　者はまだ罪人では有りませぬ故に監獄に入れて
	未	267	04	する．故に分房法に致しませぬと，他の	未決　者から証拠を押し隠すの教授を受くるやうなこ
	未	271	04	も此の在監人の中，六千七百五十三人は	未決　者と控訴上告中の者とで有りまする．以上の諸
	未	271	13	は裁判所，及び警察署に属するもので，	未決　者を一時留め置く所でありまする．但し時宜に
	未	271	16	こともありまする．第二，監倉．これは	未決　者を拘禁して置く所であります．故に之を未決
	未	273	14	．而して其の在監人の数を見まする と，	未決　者は一万四千二百二十二人，已決囚は五万六千
	未	275	06	牢屋に入れまする と牛馬同様に取り扱ひ	未決　中の者でも少し面倒な者には毒をたべさして殺
みごと	ミ	195	08	に出て参りましたが，其の時，相手と「	ミゴト　な彗星ですネ」と言つて互に挨拶を致したこ
	ミ	204	13	云ふべき時で有りました．今日ならば「	ミゴト　な彗星で有ります」と言ふべきですが其の頃
みことのり	詔	192	09	民に代つて事を議せしむるといふことの	詔　もありましたしまた元老院といふものもあります
みこみ	ミ	126	14	様な豪傑はよく「我が思ふには」「我が	ミコミ　に拠れば」などと申されます．而してたゞ自
	ミ	126	14	」などと申されます．而してたゞ自分の	ミコミ　を以てＤａｒｗｉｎ氏Ｓｐｅｎｃｅｒ氏など
みこみ	見	002	03	だが見込を聞きたいとの仰せ．私は別に	見込　は無いと申したら，一体お前は元の「かなのと
	見	007	01	てしまつた．なかなか世間の人にそんな	見込　は無い．今日の有様は反対した方にばかり流れ
	見	002	02	無い，お前は仮名の会の会員ださうだが	見込　を聞きたいとの仰せ．私は別に見込は無いと申

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（みこみ）	見	086	07	すか，これに付て若し世の人々の自分の	見込み ，また一般の輿論に問ふならば明らかな返答
みじかい	短	008	17	そして傍ら仮名か羅馬字で綴つたものを	短い 言葉より始め，次第に長い言葉に移り，言葉よ
	短	009	01	始め，次第に長い言葉に移り，言葉より	短い 文章に移り，短い文章より次第に長い文章に移
	短	009	01	言葉に移り，言葉より短い文章に移り，	短い 文章より次第に長い文章に移る様にして教へこ
	短	053	08	が有ると思はれます．私は漸進家で気の	短い 様な気の長い様な性質で気を長くしなければな
みじかく	短	053	09	ならぬ所は気を長くすることも有り気を	短く しなければならぬ所は気を短くする所も有りま
	短	053	09	有り気を短くしなければならぬ所は気を	短く する所も有ります．たゞ気を長くばかりしては
	短	121	11	条と云ふのは酒を多く飲む人は「寿命が	短く なる」「病死することが増す」「自殺が殖える
みしま	三	119	10	．其れは外では無い矢張り酒の事で今も	三島 先生のお話しの有つた通り酒は多く飲んでは宜
みじゅく	未	127	08	ので御坐ります．けれども卒業生が其の	未熟 な論を以て彼の専門家のよく熟したる論を駁つ
みじん	微	211	01	い．また「地球が彗星に突き当るとコナ	微塵 になる」と言ふ人も有れば「ズツト膨脹して大
みず	水	016	15	記臆して居らるゝで有りませうが空気と	水 が無くては人間の生活は出来ませぬ．月には空気
	水	021	04	植物の生活の出来るのは空気が有つたり	水 が有つたり其の外の色々のものが有つたりするか
	水	208	04	．いよいよ彗星は地球のやうに堅くつて	水 が有り草が有り人が有ると云ふやうなものか，ソ
	水	058	14	気があつた所が其の都府で下水を改良し	水 の通利を良くしてから其のチフス先生（先生では
	水	132	06	ましたけれども，かの敵の色々の働きは	水 の外面に文字を書き或は刀を抜いて空気を切るが
	水	016	11	．月の上には山も有り谷も有りますから	水 も有り空気も有り海も有り川も有りますかと云ふ
	水	016	16	の生活は出来ませぬ．月には空気も無く	水 も無い以上は人間は居る気づかいは無い．尤も全
	水	075	05	ふなら土工家を雇ひ或ひは水口をつけて	水 を去るなどといふ様なこと実に挙げて算ふべから
みずかがみ	水	218	03	物語が顕はれ後には栄花物語，続世継，	水鏡 などのやうな実事を書いたものにも巻々の標目
みずかけ	水	021	16	んだとか消したとか消さないとか子供の	水懸 論の様なことをして果は大戦争に及ぶと云ふ様
みずの	水	214	10	やうに言ひ習はされ，天保年中の老中，	水野 越前守が大層政事を改正した時に「楽屋に出入
みすみす	ミ	109	17	多の事実によつて考へて見れば日本人は	ミスミス 溺れることを知りながらドウなつても構は
みずもぐり	水	097	04	たが此の頃或る新聞社の人の発起で漸く	水潜り 器械で探すことになつたといふことでありま
	水	097	02	かして言はせることは出来ませぬ．併し	水潜り 器機もあれば証拠を尋ねるのは敢て難いこと
みせ	見	121	03	見せる様なものだからよく事実を挙げて	見せ た方が宜からうと思はれます．事実を見せたら
	見	121	03	せた方が宜からうと思はれます．事実を	見せ たら其れからして論も起らうし，また弊害が有
	見	250	14	から何か道具じかけの懲らしめを与へて	見せ なければならないと云ふので，監獄と云ふもの
みせもの	見	171	03	どに書いてある日本村落とかいふものの	見世物 になる位では，おしまひだらうと思ひます．
みせる	見	213	10	説は文章で書くもの，演劇は立ち働いて	見せる ものと云ふ差別が有りますがドチラが多く人
	見	214	16	た演劇に至つてはナホサラ真の理をして	見せる ものゆゑ文筆の業では及ばない所の人情の極
	見	121	02	ことが，むづかしくて盲人に七色の色を	見せる 様なものだからよく事実を挙げて見せた方が
みそ	味	149	13	ないものは無くスタチスチックは台所の	味噌 のことまで関係して居るといふのですが先づ世
みぞ	溝	241	16	見に行つて其の邸の全体を見ずに，ただ	溝 の端の竹が一本曲つて居るとか折れて居るとか云
みそめる	み	219	03	の如き媒妁人と云ふものは無くて婦人を	みそめる と先づ便りを求めて公然と文をやり其の返
みだし	乱	116	09	思ふことも無く，また酒の為めに品行を	乱し たといふ覚えも無い．されども二三年前の春二
みたて	見	029	15	那では「銀河」と言ひます，銀に其れを	見立て たのは奇麗だからで有ります，併し銀よりは
みたやう	み	197	08	の時はザツトしたことで，申さば人別を	みたやう なものだけで，委しいことは言ひませんで
	み	214	08	ことばかり専としたものだから自ら幇間	みたやう になり人に尊ばれるなどと云ふことは有り
みたよう	み	016	13	ないです．其れでは月の世界には．人間	みた様 なものは有るであらうかドウであらう．其れ
	み	017	01	位は居るかも知れませぬ．けれども我々	みた様 なものは居ない．して見ると我々の家来の月
	み	017	03	々の党類は住つて居ない，申さば明き家	みた様 なもので有ります．先づ此の位で月のお話し
	み	024	05	には二つほど眷属が有る，二つほど月を	みた様 なものが有る，其れは衛星と言ひます．これ
	み	029	06	同士は非常に沢山あるのですから太陽系	みた様 なものは天の中に沢山あります．段々先きへ
	み	031	08	有ります．其れとても矢張りアマノガハ	みた様 な星のかたまりで望遠鏡のモットよいのを用
	み	031	17	れず，或はアマノガハの外にアマノガハ	みた様 なものが沢山散らけて居て其れが彼の所謂る
みだり	漫	225	06	のことにトント勝手を知らぬ我輩などが	漫り に喙を容れる所では無いと思ひますれば其の辺
みだり	乱	213	16	新の初めには小説と云ふものは人の心を	乱り 風俗を害するなどと云ふ説も有りました．其れ
みだり	濫	259	13	数を時節によつて定限すること．これは	濫り に誰でも来いと云ふやうに救助しては惰民を製
	濫	260	08	故に相当の資本が備はりたる上は最早，	濫り に寄附を受けないと云ふことに致したい．また
みだる	乱	163	13	とは無い．「小，忍びざれば則ち大謀を	乱る 」と論語にもあるが信長などは大望の有る身で
みだれ	乱	082	10	機械が賑かになつても若し道徳のことが	乱れ て不道徳盛んならば本当な進歩がキット出来ま
	乱	122	11	狂したり夫婦の間に不和を生じたり家の	乱れ を醸したりするのも酒から起ることが余程多い
みち	道	095	10	の道を尽さぬものである．尚ほ尽すべき	道 があるべきのに，たゞ陳述のみを以て其の裁判を
	道	156	11	と聞いてはヂットして居られない，血の	道 がおこるテネ．いよいよ地が回ると決着したが，
	道	198	15	じもので有りますなら是非，其のあるく	道 が此の二つの線の中でなければならない．モウ一
	道	185	03	したが，これが即ちキリスト教の結婚の	道 で御坐ります．キリスト教に於ては一旦夫婦にな
	道	198	09	，惑星即ち木星土星などのあるいて居る	道 で太陽に近いも有れば遠いのも有ります．しかし
	道	042	06	，進歩は大いに有ることぢゃ．さて法と	道 とは先刻も申した如くモトは分れなんだが開ける
	道	042	07	て来たことぢゃが如何なる違ひに由りて	道 と法とが分れたかと申すに道は他を利し法は己を
	道	042	08	己を利すると云ふことで分れたのぢゃ．	道 と云ふものは何でも人の為めにしなくてはならぬ
	道	042	12	と云ふことが本趣意になりて居る．丁度	道 と云ふものは親類同士の寄り合ひで，法と云ふも
	道	042	14	日でもさうはなりて居らぬ．希臘羅馬で	道 と法とが始めて分れて来た．政治上のことは法律

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（みち）	道	040	07	し一人の夫が一人の女房をもつと却りて	道	に背くことになりて居る．箇様なることが総て野
	道	069	13	過ぎて居る，物好きなら兎も角も生計の	道	にはいけぬから他の業を修むる様にせよ，父兄た
	道	082	17	らず偶像を拝し本当な道徳を知らず一体	道	に疎いものであつたに由つてツマリ恥かしく衰微
	道	200	03	るが形ちから大きさまで昔し出た彗星の	道	に違はない．昔し千六百〇七年にＫｅｐｌｅｒの
	道	200	15	星の正体を見顕はさうと思へば必ず其の	道	によつて考へて来なければいけません．随分厄介
	道	250	10	時としては此の本街道を外れて他の悪い	道	に飛び込むことが有りまする．此の悪い道に飛び
	道	250	10	に飛び込むことが有りまする．此の悪い	道	に飛び込みまする者を年齢を以て二つに区分いた
	道	061	12	合にのみ使用せずして事の緩急に拘らず	道	の遠近を論ぜず乗り回る様になり甚しきに至つて
	道	199	06	居るかドウかと彗星の軌道，即ちあるく	道	の勘定をしました．勘定してドウして分ると云ふ
	道	042	07	ひに由りて道と法とが分れたかと申すに	道	は他を利し法は己を利すると云ふことで分れたの
	道	044	09	て居るから背けば罰することが出来るが	道	は開けた国では政府が構はぬものぢゃから罰する
	道	054	13	を待つて居ります．さて又今まで修身の	道	は我が国では孝経をたのみにして居るのですが漢
	道	200	02	つてＨａｌｌｅｙが調べましたれば其の	道	は抛物線では有るが形ちから大きさまで昔し出た
	道	076	11	方が何の学科であつて見ても各々立身の	道	を得て積極的の結果を得て参りますゆゑ其の違ひ
	道	090	07	．即ち「神の御言葉はこの浮世の旅人の	道	を照す光りの如し」と云ふ明文が御坐ります．ま
	道	095	09	を審問して無罪を言ひ渡したるは審理の	道	を尽さぬものである．尚ほ尽すべき道があるべき
	道	141	09	問が無くつて品行が悪くて之を改良する	道	を知らぬ．斯様なことで有れば卑しめらるゝも当
	道	171	16	となつたこと我が国，の第二海外貿易の	道	を開いたこと我が国人に阿片の禁を勧めたこと（
	道	183	08	別なく神の前に在つて真実に一夫一婦の	道	を守ることで御坐ります．一夫一婦と申しても此
	道	206	02	きます．）其の彗星のあるいて居ります	道	を勘定しましたが抛物線では有りません．其れな
	道	206	05	千八百十五年に出ましたのが其れと同じ	道	をあるいて居りました．これは一番始めに発見さ
	道	206	07	す．Ｈａｌｌｅｙが今日まで一番大きな	道	をあるいて居るので有ります．其の後発見しまし
	道	216	15	めいたことも有りますが，これは僧徒が	道	を弘める為めのもので小説とは少し性質が違ふこ
	道	239	06	出立いたし，福島，宮城，岩手，青森に	道	を取り，其れより秋田を経て山形に参り，山形よ
	道	239	07	新潟より長岡，高田を経て信州長野へと	道	を取り，其れから信州上田追分等より有名なる碓
	道	064	04	起し婦人に在てはヒステリ症（俗に血の	道	）を発することを論じましたが乗車する人ですら
みち	満	014	05	いもので時としては虧けたり時としては	満ち	たりするもので有ると云ふことは知れて居まし
みちぐさ	ミ	201	06	ます．一体，彗星は長の旅をする間には	ミチグサ	をくつて来ます．ミチグサをくふと云つて
	ミ	201	06	をする間にはミチグサをくつて来ます．	ミチグサ	をくふと云つても小学校の子供がミチグサ
	ミ	201	07	チグサをくふと云つても小学校の子供が	ミチグサ	をくふのとは少し違つて，これは天地間の
みちづれ	道	021	01	外を回つて居ます．これが我々の第二の	道づれ	で有ります．道づれどこでは無い今言つた通
	道	021	02	これが我々の第二の道づれで有ります．	道づれ	どこでは無い今言つた通り火星は全く地球に
みちのり	ミ	208	08	時計を見，汽車の止る時に時計を見て，	ミチノリ	の書いたものと見合せれば，何時間にどの
みちひ	満	215	06	き，さびれてしまひませう．世の風潮の	満ち干	と云ふものは実に面白いもので御坐います．
みちび	ミ	161	09	のは丁度，鉄炮におそろしい音をさせる	ミチビ	の様なもので其れからして怒りを起すとか放
みちびか	導	161	09	これ等は畢竟，酒を飲むといふことから	導か	れたものと見ゆる．酒といふものは丁度，鉄炮
みちびき	導	090	04	．第四．また人の進歩を助くるには人の	導き	になる教，色々の教訓が余程大事なもので御坐
みっか	三	203	07	に来ました，丁度七十五六年の中で僅か	三日	の違ひで有りました．して見ますと，この彗星
	三	008	05	の競馬会社の開業式は一日ならず二日も	三日	も大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は星の如く褒美
みづから	み	192	13	いふことです．其の議決したことは天子	みづから	御親裁といふことて，これが立法権は天子
	み	081	11	す．イヽエ人の進歩と云ふものは必ず人	みづから	の進歩で無ければなりませぬ．人が勝手に
みつき	見	061	04	物品を撰ぶと同じことで，たゞチョット	見つき	の良きものを悦ぶのみで衛生上のことなどは
みつける	見	201	02	百五十八年の終りか五十九年の初めには	見つける	であらう」と断言しました．ところが，こ
みっせつ	密	151	16	なつて居ります．ツマリ行政法は憲法と	密接	して居るものです．故に行政法の原則を調べる
	密	152	13	言つてもチョイと分りますが併し憲法と	密接	して居りますから憲法の範囲内はドコで終る行
みっつ	三	253	17	免囚即ち監獄を出ました者の中で種類が	三つ	有りまする．其の第一は資金を多少有する者，
	三	191	05	じて申したのにイギリスには力の種類が	三つ	ある．即ち法律を制定するの力其れから政を行
	三	191	07	う申したので権力即ち大権といふものが	三つ	あるとも，また二つあるとも云ふことを論定し
	三	028	17	全く太陽系と同じ様な世界で有ります．	三つ	以上組み合つて居る星も矢張り同じ様な運動を
	三	208	14	心或ひは核と云ふものが有ります．この	三つ	が同じやうなものと云ふ証拠は無い，反対にそ
	三	232	13	と云ふことを研究しますには，また之を	三つ	即ち第一には中央行政，第二には府県行政，第
	三	085	16	の善きモノゴトを添へ加へること．此の	三つ	で御坐ります．それから，また完全なる進歩を
	三	250	03	は智慧の教育，心の教育，身体の教育の	三つ	で有りまする．而して智慧の教育，即ち智育と
	三	266	05	れ等に施す方法は教育と教誨と懲戒との	三つ	で有りまするけれども専ら教育を主と致します
	三	249	08	よつて警察と裁判と監獄とは相鼎立して	三つ	共によく整頓しなければならないもので有りま
	三	016	05	三，即ち地球の直径を十一に割つて其の	三つ	にほか当りませぬ．そこでザット地球と月との
	三	147	06	が先づ全国行政，地方行政，町村行政の	三つ	に分つて（二三回で済むやうに）御一所に講究
	三	152	04	，府県，町村を所有者，負債主，債主の	三つ	に分けて研究しなければなりませぬ．其れで憲
	三	154	02	日本の全国行政，地方行政，町村行政の	三つ	に付て講究しやうと思ひます．それに付てはこ
	三	253	06	，この矯正院に於ては其の中の仕切りを	三つ	に分けまして出願懲治者の部，不論罪懲治者の
	三	080	10	，其の発達の仕様，其の方法等を見れば	三つ	の明らかな手続きが御坐ります．総ての改正改
	三	080	11	総ての改正改革と云ふものに付ても此の	三つ	の手続きが御坐ります．一つの仕方は人の総て
	三	080	16	い原素をつくる仕方で御坐ります．此の	三つ	の仕方は一個人に付ても，また社会に付ても適

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（みっつ）	三	085	11	それから続いて改良と進歩とに付て必ず	三つ	の段或は三つの仕方が御坐ります．其の一は人
	三	085	11	て改良と進歩とに付て必ず三つの段或は	三つ	の仕方が御坐ります．其の一は人の悪しき性質
	三	131	04	で御坐ります．これまで説きました所の	三つ	の仕方は皆な誤つた仕方で御坐ります．されば
	三	186	15	坐りますが細かいことは挙げんでも以上	三つ	の教，即ち一夫一婦の教，聖結婚の教，男女同
	三	190	01	て執行権者は一人で御坐んすが其の中に	三つ	の者があるのです．即ち第一には政府といふも
	三	226	07	行政官権並びに行政議会及び行政裁判の	三つ	のことに取りかゝりまするが，行政のことと行
	三	250	06	学校に於て之を行ひまする．付ては此の	三つ	の教育を終りまして並の人間になりましたのを
	三	252	17	るがゆゑ，また懲戒を与へると云ふ此の	三つ	の方法を要しまする．則ち監獄よりも教育だけ
	三	230	15	やは考へものです．府県，郡区，町村の	三つ	は右の如く無形人ですから議政，施政，行政裁
	三	028	09	見ると中には面白い星が有る，一つ二つ	三つ	四つなどとかたまつて居る星が有る．多くは散
みつひで	光	163	02	もよく兵威も益々盛んになつたから明智	光秀	に弑されなかつたら大閤様も其の天下を取るこ
	光	163	06	して柴田勝家に酒を飲ませ其れから明智	光秀	にも飲めと言つたが光秀は飲めないと言つた．
	光	163	10	が無いから七合入の盃で飲んだら信長は	光秀	の頭をおこして，これはよい頭だ丁度鼓によい
	光	163	06	せ其れから明智光秀にも飲めと言つたが	光秀	は飲めないと言つた．光秀は飲めれば喜ぶだら
	光	163	06	めと言つたが光秀は飲めないと言つた．	光秀	は飲めれば喜ぶだらうが飲めないから七合入の
	光	163	10	言つて刀を抜いて其の口にあてがつた．	光秀	は仕方が無いから七合入の盃で飲んだら信長は
	光	163	11	度鼓によいと言つてポンポンと叩いた．	光秀	は且つ慙ぢ且つ怒り，これからして自から疑ひ
	光	163	08	て無いが何かで見ました）そこで信長は	光秀	を押し伏せて其の項に騎りかゝりサー飲め酒を
みつれ	満	114	04	の動物は却つて自然のものを食して腹が	満つれ	ば其の上には欲は無いが人類は人類の手で食
みて	観	145	17	た此の演劇を改良したら面白くなくなり	観者	が無からうと言ひますが兎に角，小説を改良す
みとむる	認	230	08	々あります．其の外，行政上で無形人と	認むる	ものは全国，府県，町村であつて郡は此の中
みとめ	看	139	17	を御覧になつたら面白いと言ふことをお	看認め	になるで有りませう．其の効力と言ふものは
	看	266	14	而して感化も其の効があらはれましたと	看認め	らるゝときに至りましては雑居法を用ひまし
みとめ	認	145	06	撰り出して委員と致し其の委員が好いと	認め	た新著を出版しまた手本になるべき西洋小説を
	認	099	12	に富むで居るものなることは世間の既に	認め	たる事柄である．而して人といふものは災難の
	認	110	15	の英国領事は既に一旦船長を怠慢なしと	認め	たるものであれば幾分か公平の裁判を為さざる
	認	139	05	れ故今日の小説中に之は害の有るものと	認め	たるときは之を改良しなければならぬものと思
みな	み	179	09	曲りたるは直く嶮しきは易くせられ人々	みな	神の救をみん」とあり，またキリストも此の預
	み	175	08	額に汗を流して骨も折る．家族でも子が	みな	死ぬと親も先きの望みもなくなつてしまふと同
みな	皆	261	06	めて申しまするとと学校と慈恵と監獄とは	皆な	相共に連絡しまするゆゑ各々其の釣合を宜しく
	皆	032	06	随つて知ることを得る限りのものは総て	皆	アマノガハの中にあるものでは無からうかとも思
	皆	131	04	．これまで説きました所の三つの仕方は	皆な	誤つた仕方で御坐ります．されば学術に本づい
	皆	065	11	の窮屈髷や長袖広帯のナマケ服など共に	皆	改むべきの最も急務なるものです．今にして之を
	皆	273	07	の監舎となりまする．五箇所の集治監は	皆な	已決監でありまするから已決監の総数は百六十
	皆	255	14	ますまい．これ等の為めに今日の華族は	皆な	瞭しむべきもので有るから華族の門前を通つて
	皆	135	08	の弟子たちに仰せ置かれた所は多分諸君	皆	お聞きなされたで御坐りませう．即ち「万国を周
	皆	193	12	するが天子の勅詔を段々と見ますとこれ	皆な	王政復古といふことを度々述べられてあります
	皆	202	10	れまで無かつたことが見えると云ふので	皆な	面白がつてエウロッパ中で待つて居つたです．
	皆	059	08	ので兵士の病気が減じたと云ふも，これ	皆	開化の効能でありますが，これは開化のづつと進
	皆	144	06	なものが流行して居る．今日の小説家は	皆な	学問あり才識あり品行端正なりと云ふには違ひ
	皆	074	07	賃を取るなどと申すことなど，これ等は	皆な	金を出しまするとと丁度快楽なるものか，便利な
	皆	018	02	光りと熱は直接に太陽から来ないまでで	皆	間接に太陽から来て居るので有ります，こゝに燭
	皆	180	07	自主なる者或は奴隷なる者の差別なし，	皆	兄弟たり」との聖書の教では御坐りませんか．殊
	皆	186	09	奴隷或は自主或は男或は女の別なしそは	皆	キリストに在つて一体なればなり」と御坐ります
	皆	129	06	れて居ります．箇様な人は世俗の学問を	皆な	基督教の大敵とするもので御坐ります．これ等
	皆	135	11	ふのに人間のこれ等の大事なもの多くは	皆な	基督教に係はるもので御坐ります．イゝエ，基
	皆	128	11	だ一向分りませぬ．若し遂に各国の学者	皆な	近来の色々の論を承知するときは此の論が我が
	皆	275	17	．此の一つを取り違へまするとと，あとは	皆な	狂つて参りまする．さて此の一つと云ふのは何
	皆	083	02	帝国が其の通りに成り果てたことは諸君	皆な	御存じで御坐りませう．欧羅巴中古の例を申し
	皆	030	16	」と言ふことが出来ます．あらゆる星は	皆	悉くアマノガハの中であらうか或はアマノガハの
	皆	031	16	てあるとあらゆるものは星でも星雲でも	皆	この中にはいつて居るものであるかも知れず，或
	皆	034	08	ようといふ様な総てのことといふものは	皆	このシビリザションの道理によつて分るもので有
	皆	131	17	なります．古今に有名なる説教師は大概	皆な	此の仕方を用ふるもので御坐ります．卒業生若
	皆	229	03	に八百八町あるとか云ひますが，これも	皆な	此の数の中に籠つて居るとのことです．其れか
	皆	152	03	とか宗教上の自由とか民事上の権理とか	皆	これを制限し規定する所の行政法律規則を研究し
	皆	063	10	ョンに於ても五分も待つて居るときは人	皆な	之を笑ふ位の忙しき所にて日本にては五分はオ
	皆	035	16	ますが独逸や仏蘭西や英吉利などの人が	皆	酒を慎んで身体を丈夫にして智慧を研いたからで
	皆	156	03	つ，むつかしいことの話しをしませう．	皆	さま御存じのことだが昔は天が円くつて地が四角
	皆	036	11	誰もトガメテの無いことでせう．どうか	皆	様のお骨折りを以て大悠の社会になることを希ひ
	皆	055	09	流して漢字をやらして居ります．ドウゾ	皆	様のお骨折りを以て全く仮名の世界にしてしまひ
	皆	165	05	演説今日は総集会で御坐りますが祝詞は	皆	さんのでモウ充分だから私は別に述べませぬ．私
	皆	082	03	は皆んな其の通りで御坐ります．これ等	皆な	至極善きもの至極有益なるもので御坐りますけ
	皆	103	09	百折不撓の精神が出るのでありませう．	皆な	宗教信仰の深き故であります．また弘法大師の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（みな）	皆	134	09	等の父を崇むべし」と．この言葉は人々	皆　承知する所の道理に善く適ひたるものでは御坐り
	皆	196	11	らで有つて，他の惑星や太陽や月なとは	皆な　性質を知らなくつても知つた積りで「朝，太陽
	皆	087	10	るものかと基督教に問はばこれ等のもの	皆な　全知全能の神にして即ち人に進歩するの能力を
	皆	126	17	．西洋の高名なる学者といふものは大抵	皆な　専門家で御坐ります．今漸く世に出て来た所の
	皆	163	16	今川は歌舞を好み相摸の北条は酒を好み	皆　其の国を亡ぼした．福島正則などといふ人は勇気
	皆	018	03	プも，そこでたいてありますストーヴも	皆　太陽がたいてくれるので有ります．又我々が手を
	皆	018	04	す．又我々が手を動かすも足を動かすも	皆　太陽が動かしてくれるので有ります．此のことは
	皆	024	02	がいづれも自分で熱や光りを持たない，	皆　太陽から仕送りをして貰つて居るのです．例へば
	皆	029	04	いふ場合が有りますから此の色々の星は	皆　太陽で其のグルリに多分回つて居る惑星があると
	皆	124	05	りますが，いづれの学校の生徒たる者も	皆　多年勉強して終に卒業する積りである故に，これ
	皆	022	15	のが火星の雛形で有ります．これまでは	皆　地球よりは小さいか大凡同し位の球で同し親類と
	皆	087	08	かと基督教に問ふならば，これ等のもの	皆な　天地万物を造り且之をつかさどりたまふ造物主
	皆	243	07	陛下でありまするから立法権も執行権も	皆な　天皇陛下に在りまする．けれども一方に於ては
	皆	252	09	出願懲治者にあれ，脅迫懲治者にあれ，	皆な　当人の心を改良するが目的で有りまして，また
	皆	124	15	坐ります．けれども若い伝道師の仕事は	皆　残らず順風に助けられて楽の出来るものでは御坐
	皆	084	04	るかも知れませぬ．進歩の種々の種類が	皆な　一所に並んで進み行くならば全国民の総体の進
	皆	199	09	測を以て其の軌道を取り出して見ますと	皆な　抛物線で有つて楕円では有りません．抛物線を
	皆	272	10	したので北海道の集治監も通常の監獄も	皆な　北海道庁監獄署と云ふ部に這入つてしまへまし
	皆	136	03	有ります．此の帝国の本州と諸々の島は	皆な　眼の前に，この庭に敷て御座ります．こゝには
	皆	054	05	前に申した秦の始皇の話しの様に書物を	皆な　焼いてしまつても英仏の本を知らないでも何で
	皆	143	04	野派其の他種々の流派も有れど，これは	皆な　有形上のことで人の思想即ち無形の人情を写す
	皆	128	08	が宜しう御坐りませう．即ち各国の学者	皆　よく互に同意して近来の色々の新論を承知するま
	皆	263	12	の用ひ方を異にして居りまするけれども	皆な　四つの中の一つを用ふるだけに止ります．さて
	皆	134	01	は出来なかつたれど今，我が家の事一切	皆な　喜んでこの人に任せて置きます．そこで私が基
	皆	023	11	実に此の世界は広いもの（此の世界とは	皆な　を概した世界で）其れに比べると地球は誠に小
	皆	124	13	葉によつて見れば伝道の為めに働く者は	皆　，神と共に働くもので御坐ります．なんと全智全
みなくち	水	075	05	が出来ぬといふなら土工家を雇ひ或ひは	水口　をつけて水を去るなどといふ様なこと実に挙げ
みなさ	看	105	13	英国領事の裁判を以て至当なるものとは	看做さ　ず実に疎漏にして且偏頗なる裁判であると思
みなし	看	076	06	ふ様にすることを講究することの学問と	看做し　ますときは経済学も消極的の用を為すもので
	看	012	13	どいふことは諸君が既に御存じのことと	看做し　ませう．私は唯其れから先きのことをお話し
みなし	見	012	10	りませぬから，地理学の初歩は御存じと	見做し　て別に今日は地理学のことは御話し申しませ
みなす	看	022	15	か大凡同し位の球で同し親類と看做せば	看做す　ことの出来るもので有ります．火星から木星
みなせ	看	022	15	は小さいか大凡同し位の球で同し親類と	看做せ　ば看做すことの出来るもので有ります．火星
	看	096	09	上のことで御坐りまして充分の証拠とは	看做せ　ませぬ．既に我が治罪法にも情況の裁判は禁
みなもと	源	217	12	次に古いのは宇津保物語で，此の作者は	源　の順だと云ひますが能く分りませぬ．物語に俊蔭
みならい	見	068	07	一回試験の及第から第二回の試験までは	見習　生となつて実務を見習はなければなりませぬ．
	見	068	08	て実務を見習はなければなりませぬ．（	見習　生はＲｅｆｅｒｅｎｄａｒと申します）これを
	見	068	12	法律学科を専修し第一回の試験を受けて	見習　生となり少くも四年間実務の練習を致します．
	見	069	08	試験を願つた者が御坐いました．随つて	見習　生即ちＲｅｆｅｒｅｎｄａｒの数も千八百七十
みならは	見	068	07	二回の試験までは見習生となつて実務を	見習は　なければなりませぬ．（見習生はＲｅｆｅｒ
みのうえ	身	201	13	ましたが，丁度其の通りのことが彗星の	身の上　にも有るので有ります．彗星が太陽のソバを
	身	204	04	占つて，もらつた所が「これは天子の御	身の上　に宜しからんことが有るから功徳の為めに寺
みぶり	身	222	16	刀を使つたり又はヲカシイことを言つて	身ぶり　をするもので有りましたが北条時代には田楽
みぶん	身	201	10	てイツもスタスタあるきましたが途中で	身分　の重い人に遇ひますと丁寧にジットしてお辞儀
みまひ	見	180	03	せ裸なりし時，我に衣せ病みし時，我を	見まひ　獄にありし時，我に来ればなり，此の兄弟の
みみ	耳	125	09	本づいたもので有りませうか．傍聴人の	耳　を塞ぎ，よく其の心を奪ふものは何で御坐りませ
	耳	146	08	つて貰ひたいと思ひまして聊か諸君のお	耳　を煩はしたことで御坐ります．行政法大意第一回
	耳	225	07	たゞ古るめかしいことを述べて諸君のお	耳　を煩はしました．行政法大意第三回明治二十年五
みむき	見	201	12	れます位で，威張つた人になるとテンデ	見向き　もしないことが有りましたが，丁度其の通り
みやぎ	宮	239	04	川盛三郎君講演私は本年六月，福島県，	宮城　県，岩手県，青森県，秋田県，山形県，新潟県
	宮	241	05	る途中で福島県の道路が善かつたとか，	宮城　県の旅宿の取扱が丁寧で有つたとか，岩手県の
	宮	239	06	発の汽車にて東京を出立いたし，福島，	宮城　，岩手，青森に道を取り，其れより秋田を経て
	宮	273	04	まして，集治監，即ち中央監獄は東京，	宮城　，三池，樺戸，空知の五箇所でありまする．ま
	宮	273	10	うに思はれます．此の外，東京，兵庫，	宮城　，三池の四箇所に仮留監と申しまするものが一
みやこ	都	216	16	が違ふことと思ひます．其れから山城に	都　を遷されてから仮名文章と云ふものが起り，物語
みやさま	宮	157	01	握つて居るんだが，日本では此の間まで	宮様　が教法の親方だつたが今は其れも無いが，モト
みやま	深	103	11	に上ることあらむに心中に於て「かゝる	深山　に分け入りて，この山を開きしは，さぞ困難な
みゆる	見	199	13	有るから彗星の軌道も抛物線のやうには	見ゆる　が事によつたら楕円の長いのでは無からうか
	見	026	08	箇様に遠くに居ながら，あの通りによく	見ゆる　からしては余程明るいもので，あんなに小さ
	見	120	01	ふ色々なものが有りますが其れ等は表に	見ゆる　から予防をすることも，かなへますが酒疫の
	見	027	14	れませぬ．今まで申しました星は肉眼で	見ゆる　位な星です．此の外に望遠鏡で無ければ見え
	見	212	12	星の戻つて来る時で立派な彗星が肉眼で	見ゆる　であらうと思ひます．お互に長生きをして其
	見	029	03	調べると何かのグルリを回つて居る様に	見ゆる　といふ場合が有りますから此の色々の星は皆

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（みゆる）	見	202	13	肉眼で見えました．しかしドコからでも	見ゆる	と云ふ訳にはいけませんでフランスやイギリ
	見	209	03	でも見えます．尾をすかして大きな星が	見ゆる	なら宜う御坐りますが小さな星までも能く見
	見	028	01	ならして言つたら数多の星の中で大きく	見ゆる	のは近いので，小さく見ゆるのは遠いのだと
	見	028	02	中で大きく見ゆるのは近いので，小さく	見ゆる	のは遠いのだと思へば平均の上では大違ひは
	見	031	06	し強い眼鏡で見ると星のかたまりの様に	見ゆる	のも有り，又今日世の中にある極上の望遠鏡
	見	031	07	る極上の望遠鏡で見ても矢張り雲の様に	見ゆる	のも有ります．其れとても矢張りアマノガハ
	見	031	13	有り或はアマノガハと方角の違つた様に	見ゆる	のも有ります．そこで又アマノガハの中にも
	見	020	07	度太陽の光をマトモに受けて満月の様に	見ゆる	ので余程よく其の表面を観測することが出来
	見	030	12	分は帯の形して天を取りまいて居る様に	見ゆる	筈で有ります．そこから見ますとアマノガハ
	見	030	11	は星が沢山見えませう．而して星の沢山	見ゆる	部分は帯の形して天を取りまいて居る様に見
	見	026	10	に此の割り合ひによつて見ますと我々に	見ゆる	星は中には太陽よりは小さいのも有りませう
	見	026	14	りますが其れは鹿児島辺か高知辺からは	見ゆる	星で八月の頃，宵の中にチョイと出て，やが
	見	027	17	本当には解けない．いくらかの大きさに	見ゆる	星は小さいものが近所に居るのか，大きなも
	見	029	10	は少ないといふことからして我々の眼に	見ゆる	星は何かの部分を為して居るといふことが粗
	見	002	16	うが抑々智識には真の智識と智識の様に	見ゆる	も実は真の智識の方便に過ぎざる智識が有り
	見	020	04	の方に此の星が居る時には太陽のソバに	見ゆる	もので有りますから距離が遠い時である上に
	見	031	08	望遠鏡のモットよいのを用ひたら粒々と	見ゆる	もので有るまいかと云ふ疑ひが起りますが此
	見	030	08	ので有るさうです．其れだけは幾ど確に	見ゆる	様で有ります．其れには譬へを取らないとい
	見	029	12	う，雲かと思へば雲で無い晴天の時にも	見ゆる	，併しながら少し月が出たり何かすると見え
	見	036	07	は大いなる欲」といふ方に御賛成の様に	見ゆる	，誠に面白いことです．どうか此の会も大い
	見	113	09	り害も有るがドウ見ても害の方が余計に	見ゆる	．して見れば酒といふものは先づ悪い方に勘
	見	161	09	酒を飲むといふことから導かれたものと	見ゆる	．酒といふものは丁度，鉄炮におそろしい音
みょう	妙	014	07	です．其れから望遠鏡で月を見ると中々	妙	なもので肉眼で見ては唯ボンヤリして何だか分ら
	妙	123	06	先刻始めて其の話しを聞きましたが実に	妙	な慣はしではありませぬか，日本も広いことだか
	妙	137	04	校構内講義室に於て関直彦君演説小生は	妙	な問題を持ち出して諸君のお聞きを煩はすは小説
	妙	138	07	ページ読みたまへと申されました．私も	妙	な医者だと思ひましたが其の意に随ひ其の本を読
	妙	122	04	が有るのはチョイと考へると其の関係が	妙	に思はれませう．また其の為めに最も恐るべき徴
	妙	221	15	どは今日の言葉を用ゐて滑稽を述るのに	妙	を得，為永春水なども日用の言葉を以て一家の人
みょうじょう	明	019	01	て恐れたもので有ります．其れから宵の	明星	或は明の明星とも云ふ星で有ります．これは太
	明	196	13	つこんだから風が吹きはしないか，宵の	明星	が出たによつて饑饉でも有りはしないか」など
	明	022	10	水星の雛形になります．其の次ぎは宵の	明星	即ち金星で有ります．これは距離は二丁と二十
	明	019	02	で有ります．其れから宵の明星或は明の	明星	とも云ふ星で有ります．これは太白星とも長庚
みょうだい	名	045	03	が有りて上院は貴族が占め下院は人民の	名代	人が出るのぢゃが，さうして見れば貴族一般が
みょうにち	明	023	02	くつも発見されますから今日申した数が	明日	はウソになりますかも知れませぬ．其れから木
	明	210	02	説も今日はすたり，今日，可とせし説も	明日	は否となるかも知れません．これも説を述べら
みょうり	名	140	07	ことで，スコットが其の筆先きで儲けた	名利	と言ふものは大層なもので恰も諸侯の如き領地
みよし	三	067	03	校卒業証書授与式東京両国中村楼に於て	三好	退蔵君演説諸君．私はこの専修学校の始めての
みらい	未	177	15	て箇様なることならば世間に有り来りの	未来	記にも及ばず戸長の仕事同様なることを言ふ愚
みる	み	053	15	こんなものだと教へ「み」と「る」で「	みる	」，其の間に「を」を加へて「はなをみる」と
	み	053	15	る」，其の間に「を」を加へて「はなを	みる	」といふ様に教へ其れで年始暑寒用の手紙とい
みる	ミ	137	16	梅暦の方が面白い．西洋のスペンサーや	ミル	，ベンサム等の本を読みましたときには上下を
みる	看	224	17	でと違つて立派な人の仕事となりまして	看る	人の意も，これまでとは格別で有りますから数
みる	見	061	01	諸君が田舎に於て真赤に塗りたる寺院を	見る	か又東京に於ても支那の公使館の門を見られた
	見	006	03	り合はない．兎角，人は一方より外には	見る	ことを知らぬもの．併し考へて見れば外の方も
	見	032	05	ぬ．ことによれば第一の説の如く我々の	見る	ことを得るだけ随つて知ることを得る限りのも
	見	177	04	有様もありませうし，また変つた有様を	見る	ことも出来ませう．其の年々の大数を得るに従
	見	182	02	きに適はなければ決して真の文明社会を	見る	ことは出来ません．ナゼなれば夫婦の関係は人
	見	214	02	子供の見るもので士分の者などは表向き	見る	ことを憚つたもので有りました．また従前小説
	見	225	01	ら数年ならずして必ず目ざましい改良を	見る	ことが出来ませうが演劇の方はまだ見物の了簡
	見	008	07	ボンボン．また夜になつて鹿鳴館に往て	見る	と賑で押し返されぬ程の騒ぎ．其れは豆粒の中
	見	014	06	の位なものです．其れから望遠鏡で月を	見る	と中々妙なもので肉眼で見ては唯ボンヤリして
	見	016	10	て月が其グルリを旋つて居ります．して	見る	と月は分明に地球の眷属，地球の家来に違ひ無
	見	017	01	れども我々みた様なものは居ない．して	見る	と我々の家来の月は形から大きさもよく地球に
	見	017	08	に居ながら月と同じ位に見えます．して	見る	と非常に大きいものに違ひない．現に勘定して
	見	018	08	したことと同じ趣意で御坐います．して	見る	と太陽は我々の為めの生活の根元で有りまして
	見	021	12	るかも知れない．段々と想像を回らして	見る	とハテシが無い位で有ります．今日理学や其の
	見	025	07	もと云ふことで有ります）学者の眼から	見る	と惑星が地球の党類で有ると同様に星が太陽の
	見	026	07	球をグルッと回つても有りませぬ．して	見る	と云ふと此の一番近い星まで往くには非常な距
	見	028	09	が有ります．そこで此等の星を観測して	見る	と中には面白い星が有る，一つ二つ三つ四つな
	見	028	13	り，月が地球を回る様に見えます．して	見る	と一つが親分で，あとが子で有りませう．併し
	見	030	03	ガハの外にある星の中でも精しく調べて	見る	とアマノガハの近所が一番多くて其れから次第
	見	031	03	ので矢張り肉眼で見ては見えず望遠鏡で	見る	と云つても雲の様に見えて粒々とした星のかた
	見	031	06	ては唯雲の様に見えても少し強い眼鏡で	見る	と星のかたまりの様に見ゆるのも有り，又今日

代表形	判	ページ	行			
（みる）	見	041	02	較する近頃の学者の考へであるが其れで	見る	と「天然に定まりた道徳と云ふものを野蛮の人
	見	047	16	はれる．さりながら今日，世界の有様を	見る	と各国の有様が昔と事違ひ商売が開け工業が開
	見	048	04	公法と言ふものが有るなれど己の利これ	見る	と云ふ有様でやりて居る．併し国と国との間に
	見	053	03	日本の言葉になりました．さういふ訳で	見る	と言葉は漢字を知らなければ分らない．「しゅ
	見	053	06	言ふとカラウタの会だと思つて其の字を	見る	と「斯文」と言つた様な理屈で仮名にすると口
	見	059	09	ざる所謂半開化のときはドウかと云つて	見る	と色々な害が有るものです．さて其の半開化の
	見	063	04	二十万にして之を全国の人員に比例して	見る	と人民百八十五人に付き人力車一つの割合にし
	見	114	17	ふやうなことは犬猫には分らない．して	見る	と本当に命の惜いといふことを知つて居るもの
	見	116	11	つたことが有りましたが，あとで考へて	見る	と両度とも二三日も続いて酒を過したあとで，
	見	119	17	た酒疫なり」と述べました．之を解して	見る	と人心に伝染する内密の流行病を生ずるもので
	見	147	09	行政法との関係に付て直ちに例を挙げて	見る	とスタチスチックで日本帝国の境界を調べると
	見	148	10	いふことを西洋のヤール，ブックに就て	見る	と先づ東京とか大坂とか京都とかは無論で，そ
	見	152	09	らへます．故に憲法と行政法とを例へて	見る	と憲法はアタマで行政法は手足であります．ま
	見	158	11	を書いた時分に天の怒りだと書いたのを	見る	と朱子先生も雷のことは知らなかつたと見えま
	見	159	13	ナゼならばドウしても地質学で実験して	見る	と地球は一度に造つたものでは無く十万年位か
	見	167	01	まい．併し之をこはしてケミストリーで	見る	と，よく分りませう．見たばかりでは事実も道
	見	172	11	糸などの大得意先きで，これは貿易表を	見る	と，よく分ります．たゞ北亜米利加人が我が金
	見	174	06	なものですが之に銭といふ皮肉を附けて	見る	と其のシャレ骨が活き活きして感じるやうにな
	見	175	02	せぬやうになりはしませぬか．さうして	見る	と今の人は後の世の人に義務が無ければなりま
	見	189	04	決すといふことがありますが之を考へて	見る	と事をきめるには二つ以上の頭を以てし，きめ
	見	206	15	一つで子はつれて居りません，よくよく	見る	とヤハリ子も居るが大分，親とは離れて居つた
	見	207	17	した流星と同じことと思はれます．して	見る	とＢｉｅｌａの彗星は失せてしまつたのでは無
	見	216	12	尤も此のやうなことは支那の昔の書物を	見る	と随分ありますから小説の起原はドコでも，さ
	見	218	17	のことは夢にも無い．しかし能く味つて	見る	と，云ふに云はれない面白みの有るのは今の学
	見	219	12	ることにツマリ論が落着しました．して	見る	と昔の風俗は自由結婚に近かつたものと見えま
	見	238	06	ぬが杉田先生の蘭学事始と云ふ書などを	見る	とオランダの医術を伝へた難儀などのことは一
	見	238	06	などのことは一々出て居ります．今から	見る	と意外な難儀が書いて有ります．呉々も諸君，
	見	075	16	害を除く方は消極的のものであるとして	見る	ときは法律学と経済学と其の学科の性質上より
	見	031	16	す．或はアマノガハと云ふものは我々の	見る	所の限りで総てあるとあらゆるものは星でも星
	見	086	16	し基督教の基本になつて居る聖書を開き	見る	ならば，これ等の事柄がサッパリ分らぬと云ふ
	見	003	10	れきつたこと．それで今我が国の有様を	見る	にドコへ時が一番かゝつて居るかといふと肝腎
	見	141	01	且然り況や其の流派を酌んで居るものは	見る	に忍びぬ程で有つたと申します．また日本の小
	見	223	14	のやうなもので其の時分の演劇の有様を	見る	に足るもので御坐います．そこで操人形と云ふ
	見	057	14	ある様ですが斯く衛生の盛んなる有様を	見る	のは必竟当路者の尽力多きに居るものと思ひま
	見	147	08	ックと行政法との関係より始めて並べて	見る	のも一つの順序でありませう．さて，スタチス
	見	222	08	のモテアソビモノに過ぎなくて士君子は	見る	のを恥るやうな様子が有りました．小説の来歴
	見	201	01	同じのが出て来るに相違ない，自分では	見る	望みは無いが後の人が千七百五十八年の終りか
	見	178	01	セの市中をハダカにて，かけまはりしも	見る	人はをかしかりけん．コロンボスがアトランチ
	見	178	02	物のコワレをさがせしも木ひろひなりと	見る	人は通り過ぎしならん．ネウトンのつむりに林
	見	164	16	り．此に由て之を観れば酒の事を誤るを	見る	可き也．我が日本帝国人民の将来を前知するの
	見	103	10	た弘法大師の如き日蓮上人の如きものを	見る	も其の通りである．今試みに諸君が森林鬱蒼た
	見	213	13	なりませぬが演劇の方は下等社会までも	見る	ものだから第一に世間の流行を追つて時の好み
	見	214	01	ふものは維新前よりしてホンノ女子供の	見る	もので士分の者などは表向き見ることを憚つた
	見	224	07	強盗だののことを仕組み根が下等の人の	見る	もので有るから猥雑なことで無ければ面白がら
	見	200	13	た女になつて出て来るので始めて芝居を	見る	者などには同じ団十郎でも見分けは出来ないほ
	見	219	17	平家物語などは文章も面白くて目の前に	見る	やうに書いたもので有るが文章の飾りが有るだ
	見	164	15	す．至れば則，果して英機の已に樹つを	見る	．懊悔頓に生す，機を失して贖ふ莫し祇に徒手
みれ	観	136	09	ながら神の御眼を借りて世の中の有様を	観れ	ば面白いことは言はれぬ程にて覚ることは実に
	観	164	16	に徒手して帰るを得たり．此に由て之を	観れ	ば酒の事を誤るを見る可き也．我が日本帝国人
みれ	見	006	03	には見ることを知らぬもの．併し考へて	見れ	ば外の方も分る，考へても分らないでは無から
	見	008	07	の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外を	見れ	ば盛でも何でも無い．他国の有様を見れば気違
	見	008	08	見れば盛でも何でも無い．他国の有様を	見れ	ば気違ひにでもならなければならない位の違ひ
	見	013	08	で地球を一周することが出来ます．して	見れ	ば地球は実に小さいものと言はなければならな
	見	021	11	の世界にも人民のある事が知れた．して	見れ	ば外の世界にはどれだけ人間世界より進んだも
	見	023	09	ばかりの玉より三丁と十四間ほど離すと	見れ	ば海王星は本郷よりも王子よりもズット遠くの
	見	025	10	分らない．家根の上から下をあるく人を	見れ	ば小さい，山の上から人のあるくのを見れば，
	見	025	11	れば小さい，山の上から人のあるくのを	見れ	ば，まるで蟻のはふ様に見える，其れだから人
	見	028	16	属が多分有るだらうと思はれます．して	見れ	ば全く太陽系と同じ様な世界で有ります．三つ
	見	040	15	要ぢゃ．其れゆゑ今申した様に今日から	見れ	ば悪人とも云ふべき者が却りて賞められ貴ばれ
	見	040	16	られ貴ばれたので其れに反して今日から	見れ	ば善人とも云ふべき者は却りて擯斥される風習
	見	042	04	きは支那などとは大層違ふて居る，して	見れ	ば支那よりは西洋の方が進んで居ると思はれる
	見	045	04	人民の名代人が出るのぢゃが，さうして	見れ	ば貴族一般が人民の害を為してあるに違ひ無い
	見	045	10	りて出来ると出来ぬの違ひが有る．して	見れ	ば只今でも権を得たものは権を得ぬものに向ふ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（みれ）	見	046	05	ば政府の為めに害せられるのぢゃ．して	見れ	ば他を害することを行ふてはならぬと云ふ主義
	見	063	08	千人に付き十五個の割合です．之を以て	見れ	ば欧米に在て車の比例は日本より素より多いな
	見	070	10	より日本では千万人以上多い所によつて	見れ	ば余程の数を要せねばなりませぬ．然るに前陳
	見	080	02	かた人間社会の種々の進歩に気をつけて	見れ	ば其の中に種々の大切な事実，面白い事柄また
	見	080	10	働き方，其の発達の仕様，其の方法等を	見れ	ば三つの明らかな手続きが御坐ります．総てのば
	見	087	17	ぬ．其れ故にまた箇様な論じ方に由つて	見れ	ば社会進歩の為め基督教の必要は必ず明らかに
	見	092	01	せぬ．今弁じた所の種々のことに由つて	見れ	ばドコから見ても基督教は人間の完全なる進歩
	見	109	12	て居つたといふことで御坐ります．して	見れ	ば，この人等は端艇の効用を知つて居つたに違
	見	109	17	．只今申した数多の事実によつて考へて	見れ	ば日本人はミスミス溺れることを知りながらド
	見	113	09	ドウ見ても害の方が余計に見ゆる．して	見れ	ば酒といふものは先づ悪い方に勘定をしなけれ
	見	116	13	ば去年も今年も腸胃痛が起らなかつたを	見れ	ば全く酒を節した効能だらうと思はれます．か
	見	120	04	は「酒を飲むことが世界に流行する所を	見れ	ば各の住民は，ほとんど飲酒家の鑑札を持つて
	見	124	12	いふに使徒Ｐａｕｒｏの御言葉によつて	見れ	ば伝道の為めに働く者は皆，神と共に働くもの
	見	135	14	書に説く所の高い所より世の中の有様を	見れ	ば天地の間の限り無き道理が実に明かになりま
	見	136	05	．誠に面白いもので御坐ります．下から	見れ	ば面白いことも無く分ることも御坐りませぬ．
	見	136	06	ことも御坐りませぬ．二階の高い所から	見れ	ば面白いこと覚ること誠に感心の訳で御坐りま
	見	136	07	らば人が下い所からして世の中の有様を	見れ	ば面白いことも少なく覚ることも浅う御坐りま
	見	143	03	美術で御坐ります．これを画にたとへて	見れ	ば森羅万象日月星辰山水の現象を写すが如きも
	見	162	04	しいから私が其の大意をひらたく申して	見れ	ば汝の皇考文王方伯と為り西国に在られしとき
	見	163	14	の有る身でありながら箇様になつたのを	見れ	ば酒の為めに天下を執ることも出来ずにしまつ
	見	170	09	自発の方には限りはありますまい，して	見れ	ば，これは我が国の大勢に関係することで後日
	見	182	15	割合が多くなるではありませんか．シテ	見れ	ば今の一夫一婦の風はこれが真理だから守ると
	見	199	04	円のカタッパウが開いてしまつたものと	見れ	ば宜しう御坐ります．さて，このやうな考へを
	見	204	16	し」と触れを出しました．あとで調べて	見れ	ば，これは全くハレーの彗星がイツモの日限に
	見	215	04	車に乗りあるくと云ふは実に昔に比べて	見れ	ば月鼈雲泥の違ひでは御坐いませぬか．しかし
	見	217	02	の作者は分りませぬが文体の古雅な所を	見れ	ば延喜以前のもので有りませう．竹取物語の大
	見	237	14	を折つて勉強されても昔の人のと比べて	見れ	ば何でも無いことで骨の折りよい所へ骨を折つ
みわけ	見	200	14	て芝居を見る者などには同じ団十郎でも	見分け	は出来ないほどで有りますが，丁度そんなも
みわける	見	031	10	総ての物体が瓦斯か固体かと云ふことを	見分ける	ことが出来る様になりまして此の純粋の星
みわたす	見	135	13	狭いものでは御坐りませぬ．却つて其の	見渡す	所が広く且遠くなります．聖書を手に持つて
みん	民	250	12	民，所謂る罪人となりまする．此の不良	民	は其の儘にして置く訳には参りませぬから再たび
	民	250	11	即ち丁年以上の者が悪い事をすると不良	民	，所謂る罪人となりまする．此の不良民は其の儘
みん	明	157	14	其のお弟子のガリレオ，これは支那では	明	の時分で日本では足利時代の人だが其の前は天と
	明	159	05	が東洋の方へ来ると，さうはいけない．	明	の頃に天主教が渡りまして今日は繁昌になりまし
みんかん	民	172	04	に尽力して，くれたこと耶蘇正教を我が	民間	に（大層な金を使つて）布いてくれたこと下の
	民	172	03	酒類の輸入を予防せしめたこと我が国の	民間	の教育に尽力して，くれたこと耶蘇正教を我が
	民	173	04	などと嘲けり罵つて交りを絶つのが今日	民間	の常であります．我が国の人はこの恩といふ教
みんけん	民	045	06	い．例へば亜米利加の共和政治と云ふて	民権	家は喜ぶが其れでも男と女とは大分違ひが有る
みんじ	民	152	03	へば政事上の権理とか宗教上の自由とか	民事	上の権理とか皆これを制限し規定する所の行政
	民	152	07	を定むる，即ち人民の政事上，宗教上，	民事	上，等の権理を保護するものであり行政法では
みんな	み	156	10	知つて居るが前に地が回ると聞いては，	みんな	驚いたネ．地が回ると聞いてはヂットして居
	み	156	16	ウ地が回るのだと言ひ出した．其の時は	みんな	驚いたネ．たゞの者が驚いたところでは無い
みんな	皆	085	17	徳の進歩は必要であるなどのことは既に	皆んな	お話し申したで御坐ります．さて，これ等の
	皆	082	03	坐ります．政事の進歩経済の進歩などは	皆んな	其の通りで御坐ります．これ等皆な至極善き
	皆	080	07	社会の中に含まれたる一個人たるものが	皆んな	銘々に能く進歩するならば其の全体の社会が
	皆	080	08	ゆく筈で御坐ります．一個人たるものが	皆んな	油断をして滞るならば即ち箇様な人間を含む
	皆	088	03	らば遠からず基督教の必要に付て疑ひが	皆んな	立派に晴れて来ませうと心得ます．けれども
みんぽう	民	190	16	上に関する事を掌り司法裁判では刑法と	民法	に関する事を掌るといふ区別です．この行政裁
	民	152	10	アタマで行政法は手足であります．また	民法	は本で訴訟法は附属物であると同じく憲法が本
	民	150	03	と一個人との関係を規定して，たとへば	民法	，商法，訴訟法の如き人民と人民間の事を規定
	民	243	15	律の執行を掌ることで有りまするが単に	民法	，刑法だけの執行，又は適用を掌ることとなつ
む	む	075	01	病に罹ると医者を頼むとか権利を伸張せ	む	が為め法律家を頼むとか又内乱とか暴行等があつ
	む	046	06	ふ主義は立たぬでは無いか．人間の有ら	む	限りは刑罰の無くなる時は無からう．世の中が開
	む	007	04	に毛氈と唐紙を持つて来て名筆を揮はれ	む	ことを請ふを競ふ世の中．なかなか漢字の貴いこ
	む	067	15	に経済に従事せられ赫々の光華を得られ	む	ことを望みます．而して私は法律科卒業の諸君に
	む	071	03	業に利用せられ明裁判官明代言人となら	む	ことを望み未だ卒業に至らざる諸君は益々刻苦勉
	む	071	06	の基礎となるべき機関を製造陶冶せられ	む	ことを望みまする．又我が国に於て新聞記者が「
	む	071	08	る」と云ふ如き盛時に遭遇するの栄を得	む	ことを諸君と共に熱心希望することで御坐います
	む	074	14	要なことで御坐んす．其れを務めて除か	む	ことを欲しまするには人を雇はんければならぬ．
	む	077	12	利を興し害を除き蒼生の幸福を進められ	む	ことを切に希望いたします．基督教は社会進歩の
	む	097	09	充分なる証拠を蒐集することに尽力され	む	ことを願ひます．私の演説は此に止めませう．尚
	む	106	13	族の怨みを晴すべき公平正当の裁判あら	む	ことを冀望する場所は則ち今回神戸領事庁に於て
	む	110	14	理を尽し以て公平至当なる裁判を下され	む	ことを冀望いたします．然れども神戸在留の英国

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（む）	む	111	08	．而して将来再たび斯の如き事のなから	む	ことを熱望いたします．人類的の欲をして動物的
	む	235	08	安んずるとイケヌから益々進歩を謀られ	む	ことを希望しますると云ふことを一言いたします
	む	134	05	して爾等の善き行ひを見て神を崇めしめ	む	為めなり」また耶蘇基督御自分にも明かに申され
	む	038	16	ぬ．故に野蛮の社会などで誰も斯く為さ	む	と思ふたのでは無からうが自然其れに相応した術
	む	065	09	奨励し以て我が国民の健康を満足せしめ	む	とするは則ち先覚者の義務です．実に我が邦は内
	む	065	13	すに至りませう．古語に曰く「木静なら	む	と欲して風未だ止まず」とやら改良の必要蓋し今
	む	075	11	モトの身体にするのである．権利を失は	む	とする故に法律家に頼んで権利を伸張するのはた
	む	089	06	と存じます．第二．また種々の進歩をせ	む	とする御方は必ず賤き有様を免れて貴い有様へ進
	む	092	02	も基督教は人間の完全なる進歩を成就せ	む	とするに必要なるもので御坐ります．基督教は即
	む	093	13	．故に已むを得ず私が一言，諸君に陳べ	む	と欲することになりました．今日我が国には治外
	む	126	02	学術と云ふ貴い名によつて基督教を破ら	む	とする者の中には一向学術を知らず，また基督教
	む	126	05	い古事記，万葉集などを批評し且非難せ	む	とするが如きもので有りまする．けれども基督教
	む	103	11	君が森林鬱蒼たる高野山に上ることあら	む	に心中に於て「かゝる深山に分け入りて，この山
	む	134	15	ねばなりませぬ．基督教の反対論に答へ	む	には其の外にまだ色々の仕方が御坐りませうけれ
	む	244	15	安寧のことが著しきもので，之を維持せ	む	には陸軍，又は海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，
	む	033	10	て或は「後世酒を以て国を亡ぼす者あら	む	」と言はれ又「酒は百薬の長」とも言はれまして
	む	103	12	を開きしは，さぞ困難なことなりしなら	む	」と弘法大師の非凡なるを感ぜらるゝに相違なし
む	無	128	03	ば西洋の学者の色々の新らしい論の中に	無	証拠な設理即ち後の穿鑿を助ける為めに学者が仮
	無	129	01	りませぬ．国政家の中にも喜んで色々の	無	証拠な設理を受け容るものが御坐ります．さのみ
	無	132	01	ので御坐ります．卒業生若しよく謹んで	無	証拠な設理を避けて学術のよく定まつた事実を斯
	無	247	03	と御覧なさい．其の母親は右等のことに	無	頓着で有りますから「おれが子をおれが殺すのに
むい	向	224	01	璃作者が出て世間の人気が人形座の方に	向い	たから狂言座の方でも其の浄瑠璃を語つて俳優
	向	201	11	致します．すると極丁寧な人はコッチへ	向い	て答礼をしてくれますし，其れより少しドウか
	向	074	11	これは世の中に快楽幸福が少なくて右に	向い	ても左に向いても艱難辛苦の類のみ多きもので
	向	074	11	に快楽幸福が少なくて右に向いても左に	向い	ても艱難辛苦の類のみ多きもので天気でさへ暑
むいつ	無	162	13	るといふことだがこの酒詰だの洛詰だの	無逸	だのは正銘なもので決して間違ひの無いものと
むえき	無	124	06	積りである故に，これ等の為めにも全く	無益	で有るまいと希望いたします．併しまた若し図
	無	260	07	円の資本が備はつた上は其の上の資本は	無益	なるもので有りまするから，これは他の有益な
	無	060	12	ことをも用ひずして酒を呑み煙草を喫し	無益	の美服を飾り放蕩を極め身を過まり家を亡ぼし
むかし	々	215	15	原とも云ふ昔話しの一番古いところは昔	々	隠岐の国に一疋の兎があつた所が其の兎が内地の
むかし	昔	207	10	あんなでは実に大変で有りますが，現に	昔し	雨のやうにふつたと云ふことで「春秋」に「星
	昔	177	16	し是れ等の人ありとせば，よき例あり．	昔	アリスメデスが入浴の内より俄かに飛びだして我
	昔	019	03	長庚星とも言ひ或は金星とも言ひます．	昔し	或る唐人が母の胎内に居るとき此の母が長庚星
	昔	004	15	そチャンチャンをかしい．さて日本人は	昔	から支那を貴んで其の字を用ひて居るから支那を
	昔	113	15	て居る通り飲食を節用するといふことは	昔	から今日まで，むつかしいことになつて居ります
	昔	117	15	身体の為めによく有るまいと思ひます．	昔	から禁酒をしたり，また願酒とて神様に祈らなけ
	昔	133	02	で御坐りませぬ．この仕方のよいことは	昔	から明かで御坐りました．元来，基督教が起りま
	昔	192	02	ことが出来るといふのが今日の有様即ち	昔	からの有様であるのです．立法権は誰に在るかと
	昔	238	01	ィことを知つて昔の二大難事を知らぬと	昔	から当り前だと思つて骨折り方もいゝ加減にして
	昔	019	14	様に見えるもので有ります．これだけが	昔し	五星と言つたもので有ります．其の後ち天王星
	昔	028	06	ゝらなければ地球まで来ない．三万年の	昔	こんな星が無くなつて居ても我々は今に有ると思
	昔	200	03	きさまで昔し出た彗星の道に違はない．	昔し	千六百〇七年にＫｅｐｌｅｒの観測しました彗
	昔	251	04	ども決してさういふ訳では有りませぬ．	昔	では人を殺したとか云ふやうな者は直ちに首を斬
	昔	200	03	は抛物線では有るが形ちから大きさまで	昔し	出た彗星の道に違はない．昔し千六百〇七年に
	昔	156	06	たが近来は法外な違ひになりましたネ．	昔	でも今でも日が出ると言ひます．勿論天文者でも
	昔	047	17	今日，世界の有様を見ると各国の有様が	昔	と事違ひ商売が開け工業が開け世界の痛痒相感ず
	昔	237	13	ぬと云ふ有様になつて来ました．マルデ	昔	とウラヘラになつた．今日の学生が骨を折つて勉
	昔	019	09	が，これは歳星とも唱へます．支那では	昔し	貴まれたもので，正月元日の或る時刻に此の星
	昔	215	04	玉の輿イヤ車に乗りあるくと云ふは実に	昔	に比べて見れば月鼈雲泥の違ひでは御坐いませぬ
	昔	238	08	やうに力を尽されて勉強されたときには	昔	に百倍する功績の有るのは当然で有りますから，
	昔	002	07	ふに私は別にこれぞといふ考へも無く，	昔	の通りに仮名遣ひをして見ようといふ仮名組だか
	昔	014	06	ので有ると云ふことは知れて居ましたが	昔	の人の知つて居つたのは先づ其の位なものです．
	昔	037	09	比したことは昔より有りたことなれども	昔	の説は有機物に似て居ると云ふ様なことで有りた
	昔	038	10	で其の様に表裏反対して居るかと云へば	昔	の支那流で言ふと開けぬ者は智慧が有らぬゆゑ天
	昔	043	05	は今日まで存する主義ぢゃが其れは全く	昔	の主義ぢゃ．其れ故政府の上でも矢張り道徳のこ
	昔	082	12	山ありまして甚だ明らかで御坐ります．	昔	の例を挙ぐればエジプトとペルシヤの国が御坐り
	昔	103	13	相違なし．而して日蓮記を読んで見ても	昔し	の人が物事を深く信じて疑はざるところは明治
	昔	166	11	を調子よく今日まで開いて参りました．	昔	の学風といふものは事実の穿鑿をしない．たゞ考
	昔	167	02	りでは事実も道理も分りませぬ．さて，	昔	のは事実と道理とハナレバナレになつて段々人が
	昔	216	12	居ります．尤も此のやうなことは支那の	昔	の書物を見ると随分ありますから小説の起原はド
	昔	219	12	にツマリ論が落着しました．して見ると	昔	の風俗は自由結婚に近かつたものと見えます．此
	昔	235	09	を一言いたします．其れに付て序ながら	昔	の学者は多く骨を折つて，さうして幸福を得るこ
	昔	235	11	の外，多いに就ては今の学問をする人は	昔	の人の難儀をしたことを十分に考へるやうにした

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（むかし）	昔	235	12	うにしたいと云ふことをお話ししたい．	昔	の西洋のことを学ぶと云ふのは蘭学で，ワザは医
	昔	237	04	年ばかり前で丁度御一新から十年ばかり	昔	のことで有つたが其の時分でさへも開けぬ藩では
	昔	237	05	様で有つた．さう云ふ有様で有つたから	昔	の学者は決して自分の利を図る為めに西洋学を学
	昔	237	14	．今日の学生が骨を折つて勉強されても	昔	の人のと比べて見れば何でも無いことで骨の折り
	昔	238	01	せう．ただ今日のヤサシイことを知つて	昔	の二大難事を知らぬと昔から当り前だと思つて骨
	昔	238	03	基にならうと思はれます．諸君は何卒，	昔	の人の二大難事に耐へて其の時分の学者と云はれ
	昔	255	01	けると云ふ風も有りまするが其の原因は	昔	の牢番人が悪かつたので，監獄が悪いのでは決し
	昔	255	03	と考ふる者もあるさうですが，これ等は	昔	の人の為めに我々の受ける迷惑で有らうと考へま
	昔	255	09	とまで探すものでは有りませぬ．されば	昔	のオカッピキは悪かつたから今の警察官は賤しむ
	昔	255	11	し，かういふことを以て尊卑を定めると	昔	の大名の中には随分宜しくないことをして大名に
	昔	013	06	僅かの間に通ることの出来るものです．	昔	はさうでは有りませぬが今日ではまごついて二三
	昔	029	16	迚も銀などの及ぶことでは無い．其れも	昔	は銀河はどんなものだかよく知れなかつたですが
	昔	120	09	つて見ても麦酒屋が沢山に出来ました．	昔	は私の居る近辺は大抵，旗下屋敷で有つて神保町
	昔	133	17	に，まるで変つて来ましたので御坐る．	昔	は極軽い事柄をも，かの人に任せることは出来な
	昔	156	03	しをしませう．皆さま御存じのことだが	昔	は天が円くつて地が四角だといひました．其れは
	昔	158	15	変なことになれば，なるものでごすネ．	昔	は仏教のお寺の前には雷門と云つて大層な勢ひで
	昔	214	09	た．また演劇の俳優は誰も御存じの通り	昔	は河原者と呼ばれ穢多非人のやうに言ひ習はされ
	昔	242	09	て申し上げることと致しませう．監獄は	昔	は牢屋と申しました．フランスではプリゾンと申
	昔	245	17	する．就ては刑とは何かと申しますると	昔	は悪い事をした者が有れば之を罰するに刑を以て
	昔	246	17	々ねぢくれるもので御坐います．例へば	昔	は北の方の或る地方に於ては母親が子を生むと「
	昔	041	08	けぬ道徳の有るのは当り前のことぢゃ．	昔	開けぬ時分には道徳も法律も別に区分が付ては居
	昔	215	15	の原とも云ふ昔話しの一番古いところは	昔	々隠岐の国に一疋の兎があつた所が其の兎が内地
	昔	234	13	るので無ければならない．エウロッパの	昔	もギリシャローマが盛んで有つたから近世に至つ
	昔	222	05	様な訳で有るから我が国の小説は却つて	昔	物語の中で源氏などは今云ふ人情の真理と云ふも
	昔	237	16	申し分は無い．其れだから今日の学生は	昔し	厄を身に引き請けながら学問を勉強した人のこ
	昔	037	09	会を動植物の如き有機物に比したことは	昔	より有りたことなれども昔の説は有機物に似て居
	昔	080	02	段々と進んで行くことを申します．抑も	昔	よりこのかた人間社会の種々の進歩に気をつけて
	昔	083	06	御坐ります．諸君御案内の通り支那では	昔	より儒学が能く開けて居りました．支那人決して
	昔	132	05	色々の反対論に答ふることが出来ます．	昔	より今に至るまで此の聖書の効力を滅ぼさうと思
	昔	133	06	は歴史に明かに記して御坐ります．故に	昔	より，かういふ格言が御坐りました．「基督教の
	昔	167	15	ぬのは勿論でありませう．我が日本には	昔	より東漸といふことがあり支那印度などの文物制
	昔	185	16	に於ては儒道仏道の行はれた結果として	昔	より男を尊び女を卑しむ風が御坐りますがキリス
	昔	039	15	善くないことの様になりて居るのぢゃ．	昔	羅馬の初めに「剛勇」と云ふ字と「徳義」と云ふ
	昔	100	05	と考へまする．つらつら歴史を案ずるに	昔し	羅馬の盛んなる時代には「朕は王なり」といふ
むかしばなし	昔	215	14	に付て申しませう．先づ我が国の小説は	昔話し	から出たもので小説の原とも云ふ昔話しの一
	昔	215	14	昔話しから出たもので小説の原とも云ふ	昔話し	の一番古いところは昔々隠岐の国に一疋の兎
むかつ	向	057	06	しを致さうと思ひますが其の前に諸君に	向つ	て祝し且会頭及び幹事諸君に厚くお礼を陳べな
	向	057	16	ひますが其の演説の前にモウ一つ諸君に	向つ	てお断り申すことがあります．其れは外でもあ
	向	058	05	す．併しあまり俗語すぎて高貴の諸君に	向つ	ては不敬に存じますから此の段は何卒御海容を
	向	067	12	辺に充満して居ること故更に私が諸君に	向つ	て言ふことは御坐いませぬ．たゞ「御目出たう
	向	074	15	雇はんければならぬ．而じて其の労力に	向つ	て報酬の金を払ふ其の労力を供給してくれる人
	向	108	17	に気を付けて必ず其の人の避ける方向に	向つ	て避けるに違ひ無い．また船が沈没しきらぬう
	向	110	13	が如くでありますから我輩は英国領事に	向つ	て充分なる審理を尽し以て公平至当なる裁判を
	向	114	14	から動物的の欲と言ふぢゃ．今，犬猫に	向つ	て棒をふり上ぐれば，すぐに逃げるのは，これ
	向	138	16	は其れに連れて政治を改良することにも	向つ	て参ります．また其のキヽメの深浅を云ひまし
	向	169	08	見えないやうだのに我が国の人心は西に	向つ	て貿易の利とは反対を示すやうに見えます．こ
	向	171	13	せう．また我が国の人民は北亜米利加に	向つ	て行く因縁があります．其れはナゼかといふこ
	向	242	03	監獄に於て副典獄，福島武司氏より私に	向つ	て司獄官吏の心得を演説して貰ひたいと云ふお
	向	247	05	つて居るで有りませう．此れ等の人物に	向つ	ては其の悪いと云ふことの理由を能く述べませ
むかは	向	169	01	の心は西の方へばかり向ひて東の方には	向は	ない．これは人の自由心と物理と関係の無い証
むかひ	迎	217	05	たが其れも否んで八月の十五夜に天人の	迎ひ	に応じて天に昇つたと云ふ趣向で至つて澹泊で
むかひ	向	240	13	ぬ．故に○○君の許可なくしては他人に	向ひ	其の性質の如何を申し上げる訳には参りませぬ
	向	169	01	ところが我が国人の心は西の方へばかり	向ひ	て東の方には向はない．これは人の自由心と物
むかふ	向	043	11	耶蘇教では仮令敵でも愛せねばならぬ，	向ふ	から打ちかヽりて来れば黙りて打たせておけと
	向	045	10	只今でも権を得たものは権を得ぬものに	向ふ	て害を為して居るに違ひ無い．女に参政の権を
	向	170	17	羅巴は人民が多くなつて土地が狭い位で	向ふ	でもモウ，チット広ければよいと思つて居る位
	向	177	06	明かに調べた上は将来，我が国の人心の	向ふ	所は何の国を好み何の政体を貴び何の風俗を喜
	向	084	08	つた日どりと時間と知れてあつたならば	向ふ	に到着の時節も亦知れぬことで御坐りませぬ．
	向	020	04	つて太陽を綾つて居ますから若し太陽の	向ふ	の方に此の星が居る時には太陽のソバに見ゆる
	向	156	17	いたところでは無い，智慧の有る者まで	向ふ	鉢巻で驚いた．さうすると西洋には羅馬法皇と
むかへ	迎	133	10	て存外其の村の戸長の如き役人に深切に	迎へ	られました．かの宣教師が「アヽこの役人は既
むき	向	159	10	でを製造するが西洋の教へ方で東洋には	向き	が悪い．天地を天主がこしらへたことは言はれ
	向	024	09	もいふべき形に見えます．此の筋と同じ	向	に彼の四つの衛星が時としては玉を並べた様に四

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（むき）	向	030	10	の太陽系がはいつて居るとしますと或る	向　には星が少しほか見えず或る別の所には星が沢山
むきょく	無	199	11	た次第に遠くなつてトウトウしまひには	無極　な遠い所にいつて再び帰つて来ません．しかし
むく	向	169	10	るに此の両三年以来我が国の人心の東に	向く　シルシがあるやうで，其の訳は亜米利加へ行く
	向	221	01	から趣向の立て方まで下等社会のものに	向く　のを目途としたものと見えます．しかし其の時
むけ	向	198	11	早いテダテが有ります．其れは石を空に	向け　て斜に抛りますと真直で無く抛物線の形ちにあ
むげ	無	089	11	進歩するの志を起すもので御坐ります．	無下　に賤い人でも若し基督教を用ひるならば進歩す
むけい	無	067	10	述べようと思ひます．諸君は我が天父の	無形　なる愛護と教師諸君の深切なる尽力と又諸君が
	無	151	11	則で行はれるやうにするのです．第三は	無形　人即ちモーラル，ペルソンヌでこれは財産を所
	無	151	12	を所有し負債を起すことの出来るものが	無形　人であります．即ち日本では府県，町村等でこ
	無	230	08	区など色々あります．其の外，行政上で	無形　人と認むるものは全国，府県，町村であつて郡
	無	230	13	所有財産と云ふやうなものが有れば郡を	無形　人とすべきや否やは考へものです．府県，郡区
	無	230	15	す．府県，郡区，町村の三つは右の如く	無形　人ですから議政，施政，行政裁判を各々やらな
	無	099	07	ことには隠然たる原因が無ければならぬ	無形　の原因が無ければなるまいと考へまする．私の
	無	143	05	これは皆な有形上のことで人の思想即ち	無形　の人情を写すは筆より外は無い．即ち小説の管
むこう	無	249	04	の宜しきを得ませぬければ警察も裁判も	無効　になりまする．また，警察と監獄が何ほど宜し
	無	249	05	ど宜しくとも裁判が悪いと警察と監獄が	無効　になりまする．また，裁判と監獄が何ほどよく
むざい	無	096	16	とで御坐ります．其の証拠が充分なるに	無罪　と決するなら充分駁撃するが宜しい．故に全国
	無	105	09	にも神戸在留の英国領事は之を判決して	無罪　としたのは実以て言語同断の次第である」と言
	無	106	10	に基いて為したるもので其の有罪なるや	無罪　なるやを判決するに非ずして免状を取り上ぐべ
	無	095	12	無ければ輿論は何と言つても已むを得ず	無罪　にせぬければなりますまい．而して今新聞紙上
	無	271	02	中に監獄に送つてしまひまするか，又は	無罪　放免になりまするからのことで有りまする．今
	無	095	09	領事裁判所に於て被告人のみを審問して	無罪　を言ひ渡したるは審理の道を尽さぬものである
むさしぼう	武	103	04	．古への日本人には非常の豪傑があつて	武蔵坊　弁慶の如き人もあれば加藤清正の如き人もあ
むさぼる	貪	161	10	か放逸に流れるとか色欲に耽るとか物を	貪る　とかいふことが起り，また我慢といつて他人の
むし	虫	006	08	も偏がドウだとか傍がドウだとか言つて	虫　の講釈をするにも虫の訳は説かないで字の講釈を
	虫	006	08	がドウだとか言つて虫の講釈をするにも	虫　の訳は説かないで字の講釈をするのが多い．動物
むしょう	無	102	03	も嫌はない．日本人は清潔を好んで矢鱈	無性　に威張りたがるが獅子の様な勇もなければ虎の
むしろ	寧	106	11	めである．故に刑事上の裁判に非ずして	寧ろ　行政上の処分のものと考へます．さればノルマ
	寧	206	12	りましたが，これは分れたと云ふよりは	寧ろ　子を生んだと云ふ方が宜しう御坐りませう．其
	寧	110	16	為さざるかの疑ひ無きを得ませぬ．故に	寧ろ　其の管轄を横浜に移し以て世人の嫌疑を避くる
	寧	247	08	だから早く死んだつて構ふことは無い，	寧ろ　余計に苦しめて彼奴を早く殺してしまふ方が刑
むすこ	ム	153	13	に変ることを禁じます．またお前の所の	ムスコ　は気違ひなら外に出してはいけないなどとい
むすぶ	結	134	07	られました．または「悪き木は善き実を	結ぶ　こと能はず」などと仰せられましたことも御坐
	結	060	13	に籠城するか又はモルヒネ往生等に極を	結ぶ　者多くあります．是れ則ち半開化の害でありま
むすめ	ム	217	03	と云ふ人が竹を割つた所が中から奇麗な	ムスメ　が出たから其れを養つた所が段々と美人の聞
	ム	220	13	鉢かつぎの草紙と云つて継母に悪まれた	ムスメ　の話しや，文正の草紙と云つて常陸の国に居
むすめ	娘	219	06	入れば女に勧めても返書を書かせ，また	娘　が文を受け取つても親が不承知なら，よさせると
	娘	240	09	無い．ところで私に頼んで「何某の所に	娘　が有るによつて行つて見て来て貰ひたい」と云ふ
	娘	240	16	で有ります．然れども前に申した「某の	娘　は温良である」と他人に言ふときには良い評判を
	娘	255	03	も「あれは監獄の役人で有る故におれの	娘　は嫁にやれない」などと考ふる者もあるさうです
	娘	240	10	見て来て貰ひたい」と云ふので私が其の	娘　を見に参つて性質が温良か然らざるかを巡閲して
むすめせつよう	娘	143	11	と云ふ米八丹治郎の梅暦，小三金五郎の	娘節用　の如きものもたゞ男女の痴情を書いたものだ
むすん	結	181	15	ん．もし其の根本を取り除けば其の枝に	結ん　だ様々の悪弊は自ら消滅する道理で御坐ります
むせき	無	269	10	謀殺，故殺，放火，強姦，窃盗，強盗，	無籍　乞食，親不孝，其の他のもので有りまして其の
	無	263	16	に於ては不良の少年を教育感化し，また	無籍　の幼年者を教育感化し，また幼年犯罪者を教育
むだ	む	013	07	せぬが今日ではまごついて二三千里位の	むだ　足はしても僅か八十日間か百日で地球を一周す
むだ	ム	009	05	ります．さればこの演説も時勢に適せぬ	ムダ　な空論とは知れど社会には随分ムダのことも有
	ム	009	06	せぬムダな空論とは知れど社会には随分	ムダ　のことも有る故ムダのことを一言演るまでで有
	ム	009	06	知れど社会には随分ムダのことも有る故	ムダ　のことを一言演るまでで有りまする．地球の位
むちゅう	夢	006	01	の会の凝り固まりは外のことには構はず	夢中　になつて居るから羅馬字のことを言つても取り
むちゅう	霧	065	06	多く文明の何たるを知らずして所謂五里	霧中　にさまよひ居るときですから之をして進ましめ
むつかしい	む	015	07	の距離を測り出します．随分此の測量は	むつかしい　が天文学の測量の中ではこれが最も精密
	む	208	06	むつかしい．ソンナことを調べるのは，	むつかしい　が運動を調べるのはヨホド易い．大抵の
	む	052	14	は漢文で書くことになりましたが漢文は	むつかしい　から已むことを得ず漢文に似たものを書
	む	054	01	学校へ往つても天文地理だとか何だとか	むつかしい　ことを知つても用事を弁ずることを知ら
	む	058	04	しむ者に如かず」と申しました位で仮令	むつかしい　ことを陳べても脳髄に這入らぬときは何
	む	113	14	欲が熾んに有るから之を節するのは甚だ	むつかしい　ことで誰でも知つて居る通り飲食を節用
	む	113	15	節用するといふことは昔から今日まで，	むつかしい　ことになつて居ります．併し之を節しな
	む	116	02	では何とでも言へるが実際には至つて，	むつかしい　ことで誰でも理屈の半分も行ふことは出
	む	123	02	なことを気を付ける様にしたら，さまで	むつかしい　ことでも有りますまい．先刻も人が参つ
	む	156	03	い．其れだからむつかしい．先づ一つ，	むつかしい　ことの話しをしませう．皆さま御存じの
	む	201	05	もの」とお疑ひになりませうが，そこに	むつかしい　ことが有るので，ヨホド骨の折れるもの
	む	236	02	第で有つたことゆゑ，蘭語の稽古も実に	むつかしい　ことで一つの言葉を知るにも容易なこと

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（むつかしい）	む	208	15	ます．これをそれぞれに調べますのは，	むつかしい	と云ひますが，知れて居りますだけに止
	む	138	11	とも有りました．なるほど経書や哲学や	むつかしい	ものには効能が有るには違ひないが，し
	む	141	14	るが話しを作つて旨く聞かせるのは甚だ	むつかしい	もので御坐ります．彼奴は学者にはなれ
	む	208	11	ナものか瓦斯体か固形体かと云ふ調べは	むつかしい	もので有ります．また彗星は惑星と違つ
	む	113	12	あるから之を節するといふことは至つて	むつかしい	．抑々飲食は人類ばかりで無く広く動物
	む	156	02	意を言はなければならない．其れだから	むつかしい	．先づ一つ，むつかしいことの話しをし
	む	208	06	は無いか，ドンナものかと調べるのは，	むつかしい	．ソンナことを調べるのは，むつかしい
むつかしい	ム	233	11	るが私立学校では左様に致さず成りたけ	ムツカシイ	所へは行かずに稍々程度を下くして日本
むづかしい	む	162	03	其の酒詰は至極面白い文章では有るが，	むづかしい	から私が其の大意をひらたく申して見れ
	む	008	16	覚えられる．漢字もやらせるがよいが，	むづかしい	漢字はよして貰ひたい．そして傍ら仮名
	む	019	05	世に知られた人で有ります．併しコンナ	むづかしい	ことを言はなくつても諸君が御承知の山
	む	152	12	じく憲法と行政法との詳細の分界は甚だ	むづかしい	ことも有ります．ツマリ行政法は被治者
	む	152	14	行政法の範囲はドコで終るといふことは	むづかしい	ことであります．けれど実地に就て見ま
	む	165	11	といふのに将来を前知するといふのは，	むづかしい	ことで之を説くといふのも亦むづかしい
	む	175	07	無い．滅らぬからこそお互に勉強して，	むづかしい	ことも，やりとげやうと，いふので額に
	む	209	11	尾が出来るかと言ひますと，これは随分	むづかしい	ことで有ります．私は先年フランスのF
	む	008	15	には今から子供に教ふるに一つには字も	むづかしい	のは成るたけ教へず，また一つには仮名
	む	171	02	なして富を求めやうといふことはドウも	むづかしい	やうに思はれます．たとひ出かけて行つ
	む	037	05	云ふことは一つのきまりたる解は至りて	むづかしい	．世界の全人類は一つの社会であると云
	む	165	11	むづかしいことで之を説くといふのも亦	むづかしい	．また，この題は一人一己の事を説くも
むづかしかつ	む	163	03	かつたら大閤様も其の天下を取ることも	むづかしかつ	たらう．信長の大業を成就することの
むづかしから	む	171	05	して仕事を取り金を取るといふことは，	むづかしから	うと存じます．其れならドコの国に行
むつかしき	む	104	03	変ずるといふことは他国にありては最も	むつかしき	ことなれども日本に之を実行するは，さ
	む	104	03	なれども日本に之を実行するは，さまで	むつかしき	ことではありますまい．設令全国を挙げ
	む	104	04	設令全国を挙げて英語を談ぜしむるは，	むつかしき	こととした所で上流社会に英語を談ぜし
	む	104	05	上流社会に英語を談ぜしむるは，さまで	むつかしき	ことではなし．而して西洋人と交際し西
むつかしく	む	025	14	の距離を測りますのから見ますと余ほど	むつかしく	なります．第一今度は物さしが地球の直
	む	025	01	いふ答へが出来ました．これから先きが	むつかしく	なる．「太陽系は何の中か」と言ひます
むつかしく	ム	201	08	れは天地間の自然にあるのです．これは	ムツカシク	言へばキリは有りませんが，譬へて言ひ
むづかしく	む	121	02	も論ばかりでは人に感じさすることが，	むづかしく	て盲人に七色の色を見せる様なものだか
	む	167	04	してゆくのだから事実を求めることが，	むづかしく	なり金も大層にかかるやうになり骨も大
	む	011	15	の中」「物質とは何だ」と言ふとこゝで	むづかしく	なる．物質とはドンナものと言ふことは
むなしく	空	106	17	二名が船長等の為めにステゴロシにされ	空しく	海底の藻屑となりたるの一事は実に悲むべく
むへん	無	013	11	天と言ひます．さて天と言ふものは広大	無辺	なもので地球をグルリと取りまはして居て其の
	無	027	02	り大きい数になりますから星学者は広大	無辺	の物さしを作ります．其れは何で有るかと云ふ
むほん	謀	237	02	べきことで有ると思つても口出しすれば	謀叛	人同様に思はれることで有つた．私などが西洋
むやみ	ム	151	09	へば人民は言論の自由があると言つても	ムヤミ	なことを言ふことが出来ないといふ制限をし
	ム	161	06	造つたといふが，一体，紂王といふ人は	ムヤミ	なことをする人で孕み女の腹を剖いて胎を見
	ム	060	05	ます．しかのみならず人力車が出来れば	ムヤミ	に乗り散らし，日曜日と云つては休み，盆だ
	ム	153	13	法では符牒が無いと分らないから名前を	ムヤミ	に変ることを禁じます．またお前の所のムス
	ム	203	12	らは，ナニソレの前表で有るとか言つて	ムヤミ	にこはがるやうなことは有りませんやうに，
	ム	209	10	す．尾と云ふものは大変に長いもので，	ムヤミ	に長いもので三年前に見えましたのも御存じ
	ム	210	13	いとも言へません．なぜなれば両方とも	ムヤミ	にあるいて居るものですから．学者は各々持
	ム	228	05	居りましたから，ツマリ日本の行政法は	ムヤミ	に数が多く有つたやうな有様で御坐います．
	ム	246	15	所行の善いか悪いかは言はずして，たゞ	ムヤミ	に強役，強役と名づけて之を懲らしめること
	ム	247	04	に何の構つたことが有るものか，其れを	ムヤミ	におれをいぢめるのは訳の分らないことだ」
	ム	247	07	て「終身懲役と有るから何でも此の女は	ムヤミ	に懲役せろ，ドウセ終身のことだから早く死
	ム	249	06	何ほどよく整頓しましても警察が悪いと	ムヤミ	に誰でも拘引して警察署の留置場，又は監獄
	ム	255	05	川時代にはオカッピキと申す者が有つて	ムヤミ	に人の道徳内の悪事までも探索して之を持ち
	ム	260	02	しても救助費の額を定めて置きませぬと	ムヤミ	に慈恵，慈恵と申して一方にばかり偏したと
	ム	260	12	ゾレ平均を得たるもので有らうか或ひは	ムヤミ	に一方にばかり偏すると云ふやうなことが有
	ム	062	15	来り三助でもオサンドンでもダルマでも	ムヤミ	ヤタラに乗りあるき，殊に甚だしき濫用と申
むよく	無	035	07	ことで有りませう．それで酒を飲む者は	無欲	だといふことがよく分りませう．己れの大切な
	無	035	09	慧までも徳利の中へ質物にするとは何と	無欲	なものでは御坐りますまいか．さて其のことに
	無	034	12	史などから考へて見ますと酒を飲む人は	無欲	の人であつて多慾の人は酒を飲まぬものだらう
むら	村	229	01	耕作地の方が過半を占めるときには之を	村	と名づけるとでも区別しなければならないと思ひ
	村	230	02	の郡の如きものが三十六あります．また	村	と，村のやうな島が五百八十九あります．現今で
	村	133	09	人の宣教師は支那のズット内国の偏僻な	村	に至りまして存外其の村の戸長の如き役人に深切
	村	228	06	下に今の郡長のやうなものを置き，また	村	には名主と云つて名誉戸長と云ふやうなものが有
	村	133	09	ト内国の偏僻な村に至りまして存外其の	村	の戸長の如き役人に深切に迎へられました．かの
	村	229	03	中に籠つて居るとのことです．其れから	村	の数は五万九千三百八十ありまして合せて七万一
	村	230	02	如きものが三十六あります．また村と，	村	のやうな島が五百八十九あります．現今では行政
むらがつ	群	210	15	言ひ「彗星が地球に突き当たつたら嫌の	群つ	て居る中に熱湯をこぼすやうな有様だらう」と

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
むらがつ	簇	031	02	．望遠鏡で見ますと星のいくつとはなく	簇つ	て居る者が沢山ある．併し肉眼では見えませぬ
むらかみ	村	223	07	人から始まつたもので其の上人は朱雀，	村上	の朝の人で古いものサ．これまでが演劇の成り
むらさき	紫	141	02	日本の小説家の品格を申さば源氏物語の	紫	式部や枕の草子の清少納言などは固より雲の上の
むらた	村	214	05	用の時は当時有名の雑学者の喜多静廬や	村田	了阿などの所へ買ひ出しに行きました．さう云
むり	無	179	13	ます．元来キリスト教は三理自由の友で	無理	圧制の敵で御坐ります．故にキリスト教は何処
	無	184	03	だか知れません．キリスト教は即ち此の	無理	圧制を取り除かんとするもので御坐ります．第
	無	024	14	て私が親子眷属に譬へましたのは決して	無理	では無い他人が太陽系と付けましたのも私の言
	無	048	12	たら一つの国は有機物の一部分ぢゃから	無理	なことをしても国威を輝かさなければならぬと
	無	183	17	つて悪いことになつて居ました．ナント	無理	な教では御坐りませんか．ナント不都合なこと
	無	062	06	習ふは古今の通例なれば中以下のものは	無理	にも乗車して上等社会をまねる様になつたので
	無	063	02	生に害ある囲碁等にワザと時間を空費し	無理	に人力に乗るとは実にハヤ濫用の極と云はなけ
	無	207	15	ナ関係が有ることか知りませんが何だか	無理	に分らなくしてしまつたやうに思はれます．其
	無	102	14	トン号の船長が不取扱なしたのは固より	無理	のないことであります．斯くの如く一方に於て
	無	008	04	居れば安心高枕で得意になつて居るのも	無理	はない．この間の競馬会社の開業式は一日なら
	無	059	01	云ふ（居候が無くなつて先生のこまるも	無理	はない）位なことで今では其の居候ではないチ
	無	102	13	分らず国の名さへも知らぬ様では軽蔑も	無理	はない．ノルマントン号の船長が不取扱なした
むるい	無	155	09	ネ．極点といふのは日本の言葉では極上	無類	飛切といふのだから，ざつとマア学問の献立を
むれ	群	162	11	以て天倫の楽みを全くすべし若し故なく	群	を成し相聚り酒を飲む者あれば其れを縦すことな
むろん	無	048	11	たら先刻申した法律の主義と云ふものは	無論	行はれる様になるであらう．さうすれば世界が
	無	148	10	見ると先づ東京とか大坂とか京都とかは	無論	で，それから尾張の名古屋とかいふことが有り
	無	104	06	本の国情を議らしむるの地位にある者は	無論	，上流社会なれば，この社会のみ英語を話し英
	無	193	06	れることである．其れから裁判のことも	無論	，天子がなされるといふことは前にも申し上げ
	無	241	04	ければなりませぬ．所有権の点に於ては	無論	，言ふを得られぬものと存ぜられます．尤も私
	無	262	04	スに於て大革命以前には監獄には罪人は	無論	，罪人にあらざる者にても国王の気に入らなか
め	メ	044	07	居ることぢゃ．然るに法は大いにヒカヘ	メ	なるもので唯人を害しさへせねば其れで許すのぢ
め	眼	013	14	か同士は有るまいかと云ふことに自然と	眼	が着きます．併し若しも我々が非常に近眼で五里
	眼	013	16	一向分らないで有りませうが幸に我々は	眼	が随分遠くきゝます．殊に物理学の進歩してから
	眼	014	01	くきゝます．殊に物理学の進歩してから	眼	が益々遠ぎゝする様になりまして我々の世界の外
	眼	025	07	学者でもと云ふことで有ります）学者の	眼	から見ると惑星が地球の党類で有ると同様に星が
	眼	025	09	星は余り小さいと言ひます．小さいとは	眼	で見て小さいので眼で見て小さいのが果して小さ
	眼	025	09	ひます．小さいとは眼で見て小さいので	眼	で見て小さいのが果して小さいので有るかドウか
	眼	156	13	一昼夜の間にグルリと回つて而して猫の	眼	では無いテ．実に大変革でごす．三百年このかた
	眼	014	03	致しませう．天の中にありて一番我々の	眼	に着くものは大陽，月，星，アマノガハなどで有
	眼	029	10	辺には少ないといふことからして我々の	眼	に見ゆる星は何かの部分を為して居るといふこと
	眼	136	04	四国が見えます．彼所には白妙の富士が	眼	に立つ如くに見えます．誠に面白いもので御坐り
	眼	136	03	ます．此の帝国の本州と諸々の島は皆な	眼	の前に，この庭に敷て御座ります．こゝには九州
	眼	070	03	漏生国の有様は斯の如くで御坐いますが	眼	を転して我が国の裁判官代言人の有様を観ますれ
	眼	136	09	聖書の高い所からして憚りながら神の御	眼	を借りて世の中の有様を観れば面白いことは言は
め	牝	216	07	云ふ所に鹿が二疋居りました所が牡鹿が	牝	鹿に云ふには「昨夜，夢を見たが霜が多く降つて
め	牝	216	09	が何か訳が有るだらうか」と云つた所が	牝	鹿の云ふに「それは大かた出てあるくときに人に
	目	214	05	た．さう云ふ訳で有るから上等の学者の	目	からは何でもないもののやうに見下されました．
	目	247	01	ては母親が子を生むと「これはモウ何人	目	だから元へお戻し申さう」と云つて直ちに其の膝
	目	004	12	つて居るに違ひは無い．其れでもそんな	目	にあふ訳なれば其れにも及ばない日本人が西洋人
	目	017	05	ものが有るか知らんと言ひますと我々の	目	につくものは太陽で有ります．太陽は距離を精密
	目	081	13	りませぬ．人の内部から起らずしてたゞ	目	に見える様な外部の進歩は根なくしてアサハカな
	目	099	04	か二十五名の人は何故斯くの如く不幸な	目	に逢ふたかといふことを沈思黙慮するが必要のこ
	目	133	03	基督教信徒が苦しめられて色々のひどい	目	にあはされたことは実に甚しう御坐りました．け
	目	133	04	た．けれども其の時に基督信徒をひどい	目	にあはせた所の残酷な者さへも信者の愛信の厚い
	目	202	01	其れでHalleyの彗星も七十五六年	目	に戻つては来ますが，どの位後れるかが分りませ
	目	206	10	の彗星と云ふて，この人がイツも六七年	目	には戻つて来ると言ひましたが，しかし其れが突
	目	004	11	な足で踏みつける様なものだが其の蟻も	目	のさめたのでは無い眠つて居る蟻である．だが其
	目	032	02	なものであるかも知れませぬ．此の二番	目	の説にすれば最初の問題に続けて「太陽系はアマ
	目	089	13	た人の種々の進歩を励ます為めには人の	目	の前にある貴い目的，高尚なるゆくアテのあるの
	目	219	17	盛衰記，平家物語などは文章も面白くて	目	の前に見るやうに書いたもので有るが文章の飾り
	目	240	06	たるところは私の目を通つて内務大臣の	目	の中に這入つたもので有りまするゆゑ，該景況は
	目	240	05	で有りますから私の見たるところは私の	目	を通つて内務大臣の目の中に這入つたもので有り
	目	254	02	る者は長い間，監獄に居りまして窮屈な	目	を致しましたから外へ出ると直きに妓楼へでも上
めあて	メ	089	14	アテのあるのは大切で御坐ります．人は	メアテ	とする所ないならば進歩を成就することが出
めい	め	216	15	の霊験を書物に著したものの中には小説	めい	たことも有りますが，これは僧徒が道を弘める
めい	名	106	16	ントン号に乗り組んで居つた同胞二十五	名	及び印度人の火夫十二名が船長等の為めにステゴ
	名	100	14	とすれば我々今の際に当りて啻に二十五	名	がウタカタの泡と消え海底の藻屑と化したる不幸
	名	106	16	つた同胞二十五名及び印度人の火夫十二	名	が船長等の為めにステゴロシにされ空しく海底の
	名	093	08	が紀州沖に於て沈没し我が日本人二十五	名	といふものが助からずして船長並に他の乗組人等

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（めい）	名	259	15	つて例へば東京の養育院ならば当分三百	名	とか二百五十名とか限らなければなりませぬ．尤
	名	259	15	の養育院ならば当分三百名とか二百五十	名	とか限らなければなりませぬ．尤も此の限り方に
	名	098	10	りますまい．然るに今や我々同胞二十五	名	の人はウタカタの泡と消え海底の藻屑と化し而し
	名	098	16	とである．斯くの如く尽力すれば二十五	名	の魂魄は定めて地下に瞑するに違ひなし．併しな
	名	099	01	ン号のことに付て我々が共同して二十五	名	の人の不幸を悲しみ又外国人の不道徳なるを怒つ
	名	099	04	の如く乗客につらきことをしたか二十五	名	の人は何故斯くの如く不幸な目に逢ふたかといふ
	名	099	16	達するものなることを考へ而して二十五	名	の我が同胞を棄てた放擲したウッチャッタといふ
	名	100	09	らうと思はれます．畢竟するに二十有余	名	の同胞は羅馬人の如く尊敬されざるは勿論，英人
	名	100	12	ならぬ蓋しこれが為めに我々同胞二十五	名	の人が斯くの如き非命の死を遂げたものであらう
	名	105	08	キ以下乗組海員に対して我々同胞二十五	名	の霊魂を慰め遺族の怨みを晴らすべき判決が有り
	名	106	12	紀海の魚腹に葬られたる我が同胞二十五	名	の霊魂を慰め其の遺族の怨みを晴すべき公平正当
	名	242	05	獄，看守長，書記，看守，等凡そ四五十	名	の前に於て一場の演説を致しました．其の演説の
	名	109	13	端艇の効用を知つて居つたら他の二十二	名	は必ず其の人より伝聞して其の効用を知るであら
	名	057	13	らず今日の如きも来会せらるゝ者一千余	名	もある様ですが斯く衛生の盛んなる有様を見るの
	名	105	07	決に付て或る論者は「我々の同胞二十五	名	を彼の一件に付て失つた，此の事に付ては船長ド
めい	命	276	09	まりますると，例へば囚徒にして獄吏の	命	に従はない者があつたとしますると，獄吏は其の
めい	明	071	03	諸君益々進んで学識を実業に利用せられ	明	裁判官明代言人とならむことを望み未だ卒業に至
	明	071	03	進んで学識を実業に利用せられ明裁判官	明	代言人とならむことを望み未だ卒業に至らざる諸
	明	019	06	も諸君が御承知の山陽の詩に「太白当舟	明	似月」と云ふのが此の星のことで御坐います．其
めいあん	名	097	03	はありますまい．海底を探ね，また他に	名案	を施したらば罪跡が現はれないことはあります
めいか	名	233	16	ばならぬが其れを起すには今より西洋の	名家	の書いた本を翻訳して其れを教科書にする支度
めいぎ	名	190	09	本では使ひませぬが外国では皇帝陛下の	名義	を以て判決すといふ言葉を使ふ所があります．
	名	193	05	び内閣大臣より成り立つて居る．政府の	名義	を以てやることは天皇陛下のなされることであ
めいげん	名	058	03	」と云ふことですが，これは実に千古の	名言	で支那の孔子ですら「之を好む者は之を楽しむ
めいし	銘	255	16	．よつて獄吏は此の趣意を最もよく心に	銘し	て監獄の賤しからざることを知り，監獄の大切
めいじ	明	193	10	は古代の事に暗い．古代の事に暗いから	明治	以後は極新しいことであり，欧羅巴の新主義を
	明	192	03	は誰に在るかといふと天皇陛下に在る．	明治	元年に五箇条の御公論に決すといふことを言は
	明	103	13	人が物事を深く信じて疑はざるところは	明治	今日の我々が及ぶところで無きことが明瞭であ
	明	001	02	漢字やぶり	明治	十七年十一月四日仮名の会員の臨時懇親会東京
	明	011	02	一言演るまでで有りまする．地球の位置	明治	十八年三月二十一日理医学講談会東京神田区錦
	明	033	02	し申しました．節酒会を賛成するの趣意	明治	十八年三月二十二日大日本節酒会の第一総集会
	明	037	02	お話し申しますまで．社会外に道徳なし	明治	十九年四月二十日哲学会東京本郷帝国大学に於
	明	051	02	て了ることで御坐らう．仮名世界の準備	明治	十八年一月二十五日仮名の会員の総集会東京神
	明	057	02	ますので御坐ります．半開化は衛生の害	明治	十九年六月十三日大日本私立衛生会埼玉支会の
	明	061	08	位で其の数は実に夥しきものです．則ち	明治	十一年には人力車の数十四万二千五百七十二で
	明	067	02	孛国の司法制度を説き併せて所感を述ぶ	明治	十九年七月十一日専修学校卒業証書授与式東京
	明	073	02	ことで御坐います．法律と経済との関係	明治	十九年七月十一日専修学校卒業証書授与式東京
	明	079	02	す．基督教は社会進歩の為めに必要なり	明治	十九年九月十一日本郷青年奨励会東京本郷区春
	明	093	03	とせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし	明治	十九年十一月十八日「ノルマントン号沈没事件
	明	098	02	照して論ぜられませうから．真正の改良	明治	十九年十一月十八日「ノルマントン号沈没事件
	明	105	02	まする．ノルマントン号沈没事件を論す	明治	十九年十一月十八日「ノルマントン号沈没事件
	明	113	02	的の欲をして動物的の欲を制せしむべし	明治	十八年六月二十七日大日本節酒会の第一小集会
	明	119	02	より生ずる弊害を調査するの方法を論ず	明治	十八年十二月二十日大日本節酒会の第三小集会
	明	119	05	門構内講義室に於て杉亨二君演説今日は	明治	十八年十二月二十日で大日本節酒会の納会で有
	明	124	02	致したう御坐います．神学卒業生の心得	明治	十九年六月二十二日神学校生徒卒業式場東京京
	明	155	02	やめませう．学問と宗教との極点を論ず	明治	十八年十月十日梅檀社員大演説会東京浅草井生
	明	161	02	に帰してしまふもので，ござす．飲酒の害	明治	十九年三月二十一日大日本節酒会の第二総集会
	明	174	01	いから分りませぬが戸籍の調べで積ると	明治	十五年から同十八年まで毎年の生れた数から死
	明	174	03	十六万二千七百七十四人になります．昨	明治	十九年一月には日本国の総人数は三千八百十五
	明	195	02	申し上げて，おきますのです．彗星の話	明治	十八年十月十六日理医学講談会東京神田区錦町
	明	228	13	が無い所を云ふのです．郡と云ふものは	明治	十八年十二月三十一日の調べに拠れば八百〇二
	明	233	04	のお話しの有つた通りに此の専修学校は	明治	十三年に開かれてアシカケ八年になり其の間，
	明	268	17	ろで，今仏国に於ける千八百八十一年（	明治	十四年）十二月三十一日の監獄に関する実例を
	明	273	01	まるのでありまする．さて，これよりは	明治	十七年十二月三十一日の監獄に関する実例を申
	明	274	02	まると国庫支出，及び地方税支弁にて	明治	十七年度は三百四十六万九千四百五十五円とな
	明	275	08	革と共に監獄も非常の改良を受けまして	明治	十四年九月十九日の太政官達第八十一号を以て
	明	277	15	獄の種類仏国に於ける千八百八十一年（	明治	十四年）十二月三十一日の監獄に関する実例日
	明	277	17	日の監獄に関する実例日本の監獄の種類	明治	十七年十二月三十一日の監獄に関する実例監獄
	明	120	08	界に移住すると同じ様なもので日本へも	明治	二三年頃から麦酒などが移住して来まして此の
	明	192	08	いで輿論といふことには違ひ無い．また	明治	二三年に公議所を開いたのも其の通り，其れか
	明	137	02	実に明かで御坐ります．日本小説改良論	明治	二十年一月九日大日本教育会の常集会東京神田
	明	147	02	たことで御坐ります．行政法大意第一回	明治	二十年二月十二日スタチスチック社の定期講談
	明	165	02	人民の将来を前知するの説及び其の方法	明治	二十年一月十六日スタチスチック社の第一総集

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（めいじ）	明	179	02	とを切望に堪へず．基督教と婦人の地位	明治	二十年三月五日東京婦人矯風会の大会東京京橋
	明	188	02	ちこれで御坐ります．行政法大意第二回	明治	二十年三月十二日スタチスチック社の定期講談
	明	213	02	にしておきませう．小説と演劇との関係	明治	二十年二月二十日東洋学会東京神田区錦町第一
	明	226	02	お耳を煩はしました．行政法大意第三回	明治	二十年五月十四日スタチスチック社の定期講談
	明	233	02	て置きませう．専修学校生徒卒業式祝辞	明治	二十年七月十三日専修学校生徒卒業式場東京浅
	明	239	02	だけのことを御忠告いたします．監獄論	明治	二十年十月十五日宇川盛三郎君講演私は本年六
	明	228	09	ーと云ふことは有りませんでした．漸く	明治	の四年頃になりまして日本全国を一定するに付
	明	008	13	ふると国会設立の様にしたいといふなら	明治	百年か千年になつたら仮名か羅馬字になるだら
	明	239	14	京しまするとと，スタチスチック社社員，	明治	法律学校校員生徒，其の他の諸友人知人等が屢
めいしょ	名	220	16	て寛文，天和の頃より浅井了意が東海道	名所	記などを作り，井原西鶴が一代男や一代女など
めいしょう	名	223	10	止せられて承応年中に物真似狂言尽しと	名称	を改め，京と江戸とに狂言座を立てました．其
めいじん	名	224	01	ゐ近松門左衛門だの竹田出雲だのと云ふ	名人	の浄瑠璃作者が出て世間の人気が人形座の方に
めいする	瞑	098	16	力すれば二十五名の魂魄は定めて地下に	瞑する	に違ひなし．併しながら私の考へまするには
めいぜ	命	240	04	監獄実際の有様を巡閲して来れ」と私に	命ぜ	られたときには該景況は則ち内務大臣に代つて
めいせつ	名	213	04	な演題を掲げると定めてシッカリとした	名説	でも有るやうに諸君が思はれませうが其れなら
めいはく	明	187	01	勢力ある者で殊に婦人の良友たることは	明白	で御坐りませう．今より大凡一千八百八十年前
	明	086	15	かになります．若し基督教に問ふならば	明白	な返答が決して出来ぬと云ふことが無い．若し
めいひつ	名	007	16	ら人力車夫までやるがよい．若し茶道や	名筆	では外国と競争が出来ないといふ訳ならば唐紙
	名	007	11	りませぬが歎はしいことは大臣や参議に	名筆	のお方があるので少輔も大輔も字を習ふ様にな
	名	007	03	回に出ると直に毛氈と唐紙を持つて来て	名筆	を揮はれむことを請ふを競ふ世の中．なかなか
めいぶん	明	090	07	世の旅人の道を照す光りの如し」と云ふ	明文	が御坐ります．また耶蘇基督御自分に「我れは
	明	134	03	した．只今説きまする仕方に就て聖書の	明文	が御坐ります．例へばＰｅｔｅｒｏが仰せられ
	明	132	04	卒業生は常に研究する所の新旧約聖書の	明文	を以て基督教の色々の反対論に答ふることが出
めいぼ	名	051	13	の用ひが殖る様の実があがりませぬでは	名簿	ばかりでは盛大と私に於ては思へない．そんな
めいめい	銘	092	11	つて居る諸君においてをや．若し諸君御	銘々	が耶蘇基督の高尚なる教を心に得て身に行ふに
	銘	158	13	生が今日では電信局の使ひ野郎になつて	銘々	どもが「京都へ電信をお頼み申します」といふ
	銘	080	07	中に含まれたる一個人たるものが皆んな	銘々	に能く進歩するならば其の全体の社会が必ず善
	銘	092	13	ます故にこの大日本帝国に対して諸君御	銘々	の義務は明らかで御坐りませう．ノルマントン
	銘	122	14	今私の申したことを調べたら宜からうか	銘々	最寄最寄ででも調べることにしたらドウであら
めいよ	名	228	07	なものを置き，また村には名主と云つて	名誉	戸長と云ふやうなものが有り，また町には町年
めいりょう	明	103	14	治今日の我々が及ぶところで無きことが	明瞭	であります．斯くの如く昔時の人は宗教を信ず
	明	103	16	の手段は宗教を盛んにするにあることは	明瞭	でありませう．次ぎに日本の国情を外国に知ら
	明	267	13	へになれば監獄に於て執行すべき事業は	明瞭	にお分りになるで有りませう．前に申した方法
めいれい	命	107	12	殺即ち正当に人を殺すこと或ひは上官の	命令	に依つて人を殺すことなどであります．第二種
	命	241	06	有つたとか云ふやうなことは内務大臣の	命令	外のことで有るから申しても構へませぬ．また
	命	164	04	丁韋良といふ人が二三年前，支那政府の	命令	を承け学事視察の為めに欧羅巴亜米利加を巡回
めいわ	明	221	06	八文字屋本と云ふものが流行し其れから	明和	，天明の時分には一変して洒落本となり恋川春
めいわく	迷	074	12	か寒いとかいふ様なことで其の他種々の	迷惑	が御坐んして身体には疾病が有るとか或ひは油
	迷	255	04	，これ等は昔の人の為めに我々の受ける	迷惑	で有らうと考へます．コンナことを申すと警察
	迷	045	17	が其れは悪い事をした人の為めには実に	迷惑	の訳ぢゃ．悪い事をしたから刑罰に処するが当
めーとる	メ	048	06	の官報に出て居た様に日本でも欧羅巴の	メートル	条約に加入したが又子午線のことにも加入
めかけ	妾	183	03	蓄ることを何とも思はず婦人もまた人の	妾	となることを何とも思はず甚しきは妾を置き妾と
	妾	183	04	ることを何とも思はず甚しきは妾を置き	妾	となることを却つて栄誉のやうに思ふものが御坐
	妾	255	13	はれますまい．或ひは自分の妻を将軍へ	妾	同様に売り付けて其の禄高を増して貰つたと云ふ
	妾	183	02	また我々の最も不思議に思ふのは世間で	妾	や権妻といふ者を何とも思はぬことで御坐ります
	妾	181	09	にして一人以上の妻を有つことを許さず	妾	を蓄るごときことは決して許さぬことで御坐りま
	妾	182	10	一夫一婦は即ち古より我が日本国の風で	妾	を持つ者は真の万人に一人か，千人に一人に過ぎ
	妾	182	13	を上中下の三等に区別して其の中執れに	妾	を蓄る者が最も多数であるかと尋ねたら如何で御
	妾	182	17	せん．若し今，日本中の人に各二三人の	妾	を蓄る力があつたらドウで御坐りませう．其の結
	妾	183	03	何とも思はぬことで御坐ります．男子は	妾	を蓄ることを何とも思はず婦人もまた人の妾とな
	妾	183	04	の妾となることを何とも思はず甚しきは	妾	を置き妾となることを却つて栄誉のやうに思ふも
	妾	183	16	別されるけれども夫が放蕩をしたり或は	妾	を蓄ひても妻は何ともいふことが出来ず，たゞ出
	妾	184	07	すが，たとひ一人で多くの妻を持ち又は	妾	を置くことはせんでも若し何時でも勝手次第に妻
めかし	め	218	04	書いたものにも巻々の標目を立てゝ小説	めかし	たのは同体の仮名文だからで有りませう．さ
めがね	眼	031	06	鏡で見ては唯雲の様に見えても少し強い	眼鏡	で見ると星のかたまりの様に見ゆるのも有り，
めぐつ	旋	016	10	中にチャンとして居つて月が其グルリを	旋つ	て居ります．して見ると月は分明に地球の眷属
めぐつ	繞	020	04	此の星は地球の軌道の外を通つて太陽を	繞つ	て居ますから若し太陽の向ふの方に此の星が居
めぐらし	回	021	12	ものが有るかも知れない．段々と想像を	回らし	て見るとハテシが無い位で有ります．今日理
めぐらす	め	100	17	づね遠く慮り遂に軽蔑されぬ様な計画を	めぐらす	が最も必要であらうと考へる．然らば何故
めぐらす	運	177	08	る我が日本帝国を広く大きくする手段を	運らす	に至つて便利であつて，また予じめ国人増殖
めざましい	目	225	01	格別で有りますから数年ならずして必ず	目ざましい	改良を見ることが出来ませうが演劇の方
めし	飯	061	07	歳々増加して現今では津々浦々実に米の	飯	は食はない所があつても人力車の無き所は無い位
	飯	138	02	読めば寝ることを忘るゝ様なことも有り	飯	を喰ふのが面倒な思ひも有りまする．私が或ると

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
めずらしい	奇	218	14	かし折々は天人が出たり妖怪が出る位の	奇らしい	ことも交ぜて有りますが源氏物語などは五
めずらしい	珍	128	15	と存じまする．併しながらこゝに一つの	珍らしい	ことが御坐ります．頻りに色々の新らしい
	珍	235	06	卒業されたことを祝するので，尤も別に	珍らしい	言葉を以て祝することは出来ませぬが諸君
	珍	206	09	にイクラも有ると言ひましたが其の中で	珍らしい	のはＢｉｅｌａの彗星と云ふて，この人が
	珍	126	11	弁じませう．第一．年若き卒業生の中に	珍らしい	勇者が御坐ります．この者は一向疑ひを起
めった	滅	007	13	る．其れですから親王様や大臣参議方は	滅多	にお書きなさらぬ様に願ひたい．大臣参議が碁
	滅	019	07	まだ辰星と申しまして太陽のソバに居て	滅多	に離れない太陽の秘蔵子，太陽のおそばさらず
	滅	090	14	信者の中にも耶蘇基督を直接に誹る者が	滅多	に御坐りませぬ．人を完全なる所へ進ませる模
	滅	127	03	のものを論ずる間は間違ひに陥ることは	滅多	に御坐りませぬ．一般にはこれ等の人は随分タ
	滅	131	13	々の激しき論の為めに不安心なることは	滅多	に御坐りませぬ．第五．また善い仕方が御坐り
	滅	212	10	れません．しかし其の様な結構なことは	滅多	に無いかも知れません．あまり長くなりますか
めでたう	目	067	12	つて言ふことは御坐いませぬ．たゞ「御	目出たう	御坐います，御愉快で御坐いませう」と申
めでたし	め	142	16	から困難をする後に団く理まるめでたし	めでたし	と云ふ其の範囲を出ることは有りません．
	め	142	16	喰ふ其れから困難をする後に団く理まる	めでたし	めでたしと云ふ其の範囲を出ることは有り
めどおり	目	002	01	．一面識もないお方では有りますが，お	目通り	を致した所，別のことでも無い，お前は仮名
めとる	娶	184	08	何時でも勝手次第に妻を出して他の女を	娶る	ことが出来ては一夫一婦の教も何の役にも立ち
	娶	185	01	姦淫の故でなくして妻を出して他の女を	娶る	者は姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶る者も
	娶	185	02	る者は姦淫を行ふ者で其の出された婦を	娶る	者も亦，姦淫を行ふ者である」と仰せられまし
めんかい	面	058	10	，私が今日数時間に東京より来て諸君に	面会	しお話しを致すことも出来，また諸君が東京よ
めんきょ	免	157	03	さネ．西洋各国の天子様が羅馬法皇の御	免許	を受けないと天子様になれないと云ふ位な勢ひ
めんしき	面	002	01	川健といふお方がお出になりました．一	面識	もないお方では有りますが，お目通りを致した
めんじょう	免	106	08	於ては其の海員の業務を停止し又は其の	免状	を没収するの処分を為すべし」といふことがあ
	免	106	10	なるや無罪なるやを判決するに非ずして	免状	を取り上ぐべきや否やを調べる為めである．故
めんすろーたー	メ	107	15	人を殺すなどの類であります．第三種は	メンスローター	で，これは世間で「殺人」と言ひま
	メ	108	06	．然るに其の所為はマーダーに当るか又	メンスローター	に当るかといふに当時の実況は我々
	メ	108	08	止まることで果してマーダーになるか，	メンスローター	になるか事実を確かめなければなら
	メ	110	01	といつて現に居つたに違ひ無い．然らば	メンスローター	は逃るゝことが出来ますまい．また
	メ	107	17	に出るのもあつて其の区域頗る広く同じ	メンスローター	を犯したものでも或ひは一日の拘留
めんどう	面	138	03	とを忘るゝ様なことも有り飯を喰ふのが	面倒	な思ひも有りまする．私が或るとき病気にて眠
	面	200	09	の形ちを比べれば直に分る筈ぢゃ，何も	面倒	な勘定をして其の軌道を調べなくても，よささ
	面	275	06	牛馬同様に取り扱ひ未決中の者でも少し	面倒	な者には毒をたべさして殺すと云ふやうなこと
めんぼく	面	145	07	すがよからう．其の中には段々小説の真	面目	を顕はす様にもなり段々其の事業を拡張したな
めんみつ	綿	256	03	ませぬ．犯罪人と貧民との関係はヨホド	綿密	なるもので有りまするから貧民救助のことを簡
も	も	145	04	説に志す人々は日本流の人も西洋流の人	も	敢て論ぜず多く集めて一つの小説改良会を組み立
	も	134	05	しめむ為めなり」また耶蘇基督御自分に	も	明かに申されましたことが御坐ります「人の善悪
	も	136	08	様を見れば面白いことも少なく覚ること	も	浅う御坐ります．けれども聖書の高い所からして
	も	018	04	れるので有ります．又我々が手を動かす	も	足を動かすも皆太陽が動かしてくれるので有りま
	も	252	15	育最中であつたのですから此奴には教育	も	与へなければならない．よつて末丁年の不良少年
	も	107	05	結婚の約が整つて喜んで旅だちした花嫁	も	あつたといふことであるが，これ等男女の父母た
	も	107	17	は故意に出るもあり或ひは怠慢に出るの	も	あつて其の区域頗る広く同じメンスローターを犯
	も	166	02	から精神も之に添つて出来たといふ学派	も	あつて其の学派学派の道理はいづれも奥の深きこ
	も	193	02	ざるが為めで，外国でも執行権者が幾人	も	あつたことがありましたが事を行ふ者が多いと船
	も	218	07	ルマル無いことを有つたやうに作つたの	も	有つて一様で有りませぬが，ツマリ物語を作つた
	も	037	14	物の生理心理は矢張り社会の生理心理に	も	あてはまることぢゃ．有機物は総てＣｅｌｌ（即
	も	215	02	か又は自分で著述するやうになり，俳優	も	編笠どころでは無く勅任官の冠るやうな帽子を頂
	も	045	08	女には其れが無い．又議員を選挙する権	も	亜米利加のは州によりて普通選挙の国も有るが又
	も	030	16	であらうか或はアマノガハの外に有る星	も	あらうか，あらかた先づアマノガハの中で無けれ
	も	124	16	では御坐りませぬ．逆風に妨げられる所	も	あらう．卒業生の助けになるものが多けれども其
	も	177	16	ることを言ふ愚かなることなりと笑ふ人	も	あらん．若し是れ等の人ありとせば，よき例あり
	も	046	01	たから刑罰に処するが当然ぢゃと云ふ説	も	有らうが悪い事をしたとて同じ人間同士で有りな
	も	086	02	の間違ひ無いことを充分証拠だてること	も	有らうと存じます．なぜと云ふならば人の悪しき
	も	008	06	く提燈は星の如く褒美は五六百円のもの	も	あり，花火を打ち揚げてヒュウヒュウボンボン．
	も	051	06	は不便であるといふことは諸君のお話し	も	あり殊に外山君の御演説は尤もで何も彼もふるつ
	も	061	11	合に於ては随分大いなる利益の有ること	も	ありませうが現今に至つては非常に濫用の弊を生
	も	105	11	再審を為すものである」と報道するもの	も	あります．然れどもこれ等は総て誤謬たるを免れ
	も	107	04	郷の両親に会はうといつて出立した学生	も	あり或ひは結婚の約が整つて喜んで旅だちした花
	も	107	17	いと思ふ．此の犯罪は或ひは故意に出る	も	あり或ひは怠慢に出るのもあつて其の区域頗る広
	も	108	01	拘留で済むのもあれば或ひは終身徒刑の	も	あります．第四種はマーダー即ち謀殺であります
	も	137	05	たしまして現に只今も書き方改良の説明	も	ありましたが演劇改良其の他家屋の改良，衣服の
	も	143	16	なりません．右等は未だ甚だしき猥褻で	も	ありませんが随分人の前で読むことの出来ぬ奴が
	も	153	15	の憲法のきまり塩梅で色々に，きまる点	も	あります．故に憲法は行政法に大いなる勢力を及
	も	154	04	出来ないといふことに付ては色々の奇談	も	ありますが其れは先づやめませう．学問と宗教と
	も	165	16	由や同等権利など一偏の道理を説く学派	も	あり，神は造物内にもあれば人も神の一だといふ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（も）	も	165	17	物内にもあれば人も神の一だといふ学派	も	あり，考へがあるから物もある，考へは本だ物は
	も	166	01	もある，考へは本だ物は末だといふ学派	も	あり，精神があるから身体の様なる物質もある訳
	も	166	02	身体の様なる物質もある訳だといふ学派	も	あり，また身体の様なる物質があるから精神も之
	も	169	08	示すやうに見えます．これには色々な訳	も	ありませうが今日の題の外だから言ふのはよしま
	も	170	01	米利加に行く者の中には随分下等の人物	も	ありませうが云はゞ先づ玉石混淆の雑種人であり
	も	172	13	子供を，すかしたやうな所為だと譏る人	も	ありますが，この類のことは我が国人同士でもあ
	も	173	11	付いて居るやうで口へ通りもよく，滋養	も	ありさうな心持ちがします．諸君はドウいふ味が
	も	177	03	なつたと其の地，其の地で定まつた有様	も	ありませうし，また変つた有様を見ることも出来
	も	189	15	議員から出るといふことになつて居る国	も	あり其の他，色々ありませう．其れで，この執行
	も	192	09	に代つて事を議せしむるといふことの詔	も	ありましたしまた元老院といふものもありますし
	も	192	10	詔もありましたしまた元老院といふもの	も	ありますし，今に国会も立てられますが，ツマリ
	も	192	12	とは直言しろ肺肝を吐露しろといふこと	も	ありましたが，これも公議輿論に従ふといふこと
	も	237	11	二つの大難事が全く消滅しました．先生	も	あり，本もあり，西洋語でやらうと，日本語でや
	も	237	11	事が全く消滅しました．先生もあり，本	も	あり，西洋語でやらうと，日本語でやらうと何で
	も	270	11	，小学教育より以上を受けたる者は一人	も	ありませぬ．して見まするに教育の一番少ない者
	も	271	14	留の刑に処せられたる者を留め置くこと	も	ありまする．第二，監倉．これは未決者を拘禁し
	も	003	06	四時間働らけるものでは無い．寝る時間	も	有り遊ぶ時間も無ければならぬ．そこで内八時間
	も	011	13	知りたいのは欲心で唯今久原君の講談に	も	有りました通り「砂糖と云ふものは何の中だ」と
	も	016	11	球の家来に違ひ無いです．月の上には山	も	有り谷も有りますから水も有り空気も有り海も有
	も	016	11	に違ひ無いです．月の上には山も有り谷	も	有りますから水も有り空気も有り海も有り川も有
	も	016	11	月の上には山も有り谷も有りますから水	も	有り空気も有り海も有り川も有りますかと云ふに
	も	016	11	山も有り谷も有りますから水も有り空気	も	有り海も有り川も有りますかと云ふに不幸にして
	も	016	11	谷も有りますから水も有り空気も有り海	も	有り川も有りますかと云ふに不幸にして其れは有
	も	016	11	ますから水も有り空気も有り海も有り川	も	有りますかと云ふに不幸にして其れは有りませぬ
	も	018	14	者は其れを惑星と名づけまする．いくら	も	有りますが最も名高くて諸君の御存じのは西郷星
	も	020	10	ふに月の様に精密には知れない．併し海	も	有り陸も有ることは確に知れて居るです．月の観
	も	022	04	すと地球より遠いものも有れば近いもの	も	有り，内の方を通つて居るものも有り外の方を通
	も	022	05	いものも有り，内の方を通つて居るもの	も	有り外の方を通つて居るものも有る．一番遠方に
	も	026	11	に見ゆる星は中には太陽よりは小さいの	も	有りませうが太陽より大きいのも有りますか知れ
	も	026	11	さいのも有りませうが太陽より大きいの	も	有りますか知れませぬ．此の一番太陽に近い星は
	も	031	06	鏡で見ると星のかたまりの様に見ゆるの	も	有り，又今日世の中にある極上の望遠鏡で見ても
	も	031	07	望遠鏡で見ても矢張り雲の様に見ゆるの	も	有ります．其れとても矢張りアマノガハみた様な
	も	031	13	アマノガハと方角の違つた様に見ゆるの	も	有ります．そこで又アマノガハの中にも大分瓦斯
	も	031	15	遠鏡で見ても矢張り雲の様に見える部分	も	有ります．こゝに至つて説が二た通りつけられま
	も	053	09	しなければならぬ所は気を長くすること	も	有り気を短くしなければならぬ所は気を短くする
	も	053	09	くしなければならぬ所は気を短くする所	も	有ります．たゞ気を長くばかりしては，いつまで
	も	090	08	は世の光りなり」と仰せられましたこと	も	有ります．なぜなれば所謂聖書は神のミコゝロを
	も	113	08	話しの有つた通りのことで，これには利	も	有り害も有るがドウ見ても害の方が余計に見ゆる
	も	138	01	を着た人に小言を頂戴いたす様な心持ち	も	有りませうがリットンやスコットのドラマやノベ
	も	138	02	ベルを読めば寝ることを忘るゝ様なこと	も	有り飯を喰ふのが面倒な思ひも有りまする．私が
	も	138	03	様なことも有り飯を喰ふのが面倒な思ひ	も	有りまする．私が或るとき病気にて眠ることが出
	も	138	11	構はずトウトウ夜を明かしてしまふこと	も	有りました．なるほど経書や哲学やむつかしいも
	も	140	15	国と違ひ文学がサホド進んで居らぬ故で	も	有りませうが多くは作者自ら為したことと思はれ
	も	141	08	．尤も馬琴，三馬，京伝などは少々学問	も	有りましたらうが甚しきに至りては四書，五経も
	も	141	17	つても其れを運用することの出来ぬもの	も	有ります．斯る先生では本当の小説の仕組は出来
	も	152	12	法との詳細の分界は甚だむづかしいこと	も	有ります．ツマリ行政法は被治者と治者との関係
	も	198	09	いて居る道で太陽に近いも有れば遠いの	も	有ります．しかしソンナことは，この前に言ひま
	も	209	09	の尾や他の部分は瓦斯体で有ると云ふ者	も	有ります．其れからして尾の長さのことで有りま
	も	210	08	き当らなくて，アトで大こまりをした者	も	有りました．少したつと今度はまた山師が「ベル
	も	210	16	い所に持つて行かれて寒える」と言ふ人	も	有りました．ゆでられるのも寒えさせられるのも
	も	210	17	でられるのも寒えさせられるのもドツチ	も	有り難くない．また「地球が彗星に突き当るとコ
	も	211	03	から其れほどに恐ろしく無い」と言ふ者	も	有りました．また「何でも無いことだ，地球に彗
	も	211	04	ん遁突き当つても何とも無い」と言ふ者	も	有りました．しかし両方とも極端に走つた説で有
	も	213	16	人の心を乱り風俗を害するなどと云ふ説	も	有りました．其れから演劇と云ふものは維新前よ
	も	216	15	物に著したものの中には小説めいたこと	も	有りますが，これは僧徒が道を弘める為めのもの
	も	218	02	るにも必要なもので有ることは云ふまで	も	有りませぬ．次に狭衣，取替へバヤ，住吉などの
	も	218	06	ゝカ有つたことを本にして作り広めたの	も	有り，またマルマル無いことを有つたやうに作つ
	も	219	01	学者の云ふ真の理と云ふものに近い訳で	も	有りませうか．さて，其れに付てチト話しが横道
	も	225	03	ぬ．其れに劇場は金主が有つて儲けづく	も	有りますから多くの年月を重ねなければ迚も改良
	も	227	16	れた姿では無かつたかとも存じられる所	も	有ります．其れなら徳川のやうな将軍は何である
	も	231	16	同数のときは議長之を決すると云ふこと	も	有り，また府県知事が自ら議会へ出て討論をする
	も	240	14	人に漏らしても不都合は無いと云ふこと	も	有ります．例へば人のことを褒めると云ふことな
	も	242	02	は監獄全体のことを御熟知なされたる方	も	有りませうが，中には監獄の如何をも知らない方

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（も）	も	242	06	の時の諸新聞に出ましたが甚だ欠くる所	も 有り，また一方から申せば右心得方を充分に敷衍
	も	245	02	尤も監獄には国事犯等の者を入れること	も ありますが，これは通常の悪人とは全く変つたる
	も	255	01	と家へ帰つて門前で塩をかけると云ふ風	も ありまするが其の原因は昔の牢番人が悪かつたの
	も	255	06	，又は国事に関係する者は探索すること	も ありまするけれども，道徳上の範囲に属する所業
	も	257	14	貧民救助の中にも単に救助に止まるもの	も 有り，又は救助と犯罪人予防との両性質を有する
	も	257	15	助と犯罪人予防との両性質を有するもの	も ありまする．よつて貧民救助の目的は次に述ぶる
	も	260	09	とに致したい．また救助の種類もイクツ	も ありまして例へば訓盲唖院，養育院即ち乞食院，
	も	262	12	と面を見合すことも，話しをさせること	も ありませぬ．此の方法は悔悟遷善の利益は有りま
	も	263	04	ります．尤も中には少しは区別を致すの	も ありますが其れとても年令，罪質，犯数，等の区
	も	268	12	日の拘留の刑はこゝに於て執行すること	も ありまする．第二は地方監獄で有りまして，こゝ
	も	057	13	ず今日の如きも来会せらるゝ者一千余名	も ある様ですが斯く衛生の盛んなる有様を見るのは
	も	102	09	に優らずとも劣ることなきものがイクラ	も ある．日本は野蛮の国では無い．二千年来特別の
	も	103	05	弁慶の如き人もあれば加藤清正の如き人	も ある．なるほど弁慶は腕力があつたかも知れない
	も	110	09	といふからには現に大金を持つて居る人	も あるに違ひ無い．これ等のことに付て考へて見て
	も	110	10	きの船を沈めて保険料を取うといふこと	も ある．我々は公平な考へからして実に不思議と思
	も	163	13	，忍びざれば則ち大謀を乱る」と論語に	も あるが信長などは大望の有る身でありながら箇様
	も	165	17	だといふ学派もあり，考へがあるから物	も ある，考へは本だ物は末だといふ学派もあり，精
	も	166	01	あり，精神があるから身体の様なる物質	も ある訳だといふ学派もあり，また身体の様なる物
	も	172	15	なことが無ければ責められるがコッチに	も あるから先づ五分五分と見てよからう．前に申し
	も	218	15	ぜて有りますが源氏物語などは五十四帖	も ある大部の物だが大かたは源氏の君や其の他の人
	も	255	03	れの娘は嫁にやれない」などと考ふる者	も あるさうですが，これ等は昔の人の為めに我々の
	も	009	06	空論とは知れど社会には随分ムダのこと	も 有る故ムダのことを一言演るまでで有りまする．
	も	014	13	きくて遠いものも有れば小さくて近いの	も 有るから唯見た計りでは大きい小さいの論は立ち
	も	020	10	様に精密には知れない．併し海も有り陸	も 有ることは確に知れて居るです．月の観測の時に
	も	020	11	しましたが火星を見ますと陸も有れば海	も 有る，海が有れば蒸発気が有るから雲も有る訳で
	も	020	12	も有る，海が有れば蒸発気が有るから雲	も 有る訳です，又現に有るです．雲が有る位だから
	も	020	12	又現に有るです．雲が有る位だから空気	も 有る．又地球に似て南極北極と云ふものが有り此
	も	022	05	居るものも有り外の方を通つて居るもの	も 有る．一番遠方に居るのが海王星で十一億三千七
	も	025	15	直径ではいけなくなります．三千二百里	も 有る物さしが最早間に合はなくなつて来ますから
	も	037	06	界の全人類は一つの社会であると云ふ説	も 有るがこゝに云ふのは若干の人民が共に合して一
	も	039	03	いたり強盗などをする者を貴ぶ社会さへ	も 有る．其の様な社会では強盗をする者が一番貴ば
	も	044	02	り残忍のことも沢山あるし殺伐なること	も 有るから教法者も其れを矯めようと云ふので右様
	も	045	08	も亜米利加のは州によりて普通選挙の国	も 有るが又制限を立てて丁年の男子は誰でも選挙に
	も	046	07	開けて来ると黄金世界になるとか言ふ者	も 有るが其の様なことは実に夢の様な話しで国が有
	も	047	05	れは黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎く人	も 有るが成るほど一応は尤もで，さうなりたいこと
	も	049	03	費して最早五時にもなり猶ほあとの演説	も 有ることであれば甚だ不完全ながら今日はこれに
	も	113	08	つた通りのことで，これには利も有り害	も 有るがドウ見ても害の方が余計に見ゆる．して見
	も	122	13	は此の節酒会の会員も四百五十人ばかり	も 有ることだからドウいふ塩梅に只今私の申したこ
	も	139	12	れて居ますが西洋では其の名を知らぬ人	も 有るとか申します．素より大家のことなれば高尚
	も	141	16	鈍才の者が思ひの外，学者になつたもの	も 有る．併し是等はたとひ学問は有つても其れを運
	も	144	01	とチゝクリあつて居るところを画くもの	も 有る甚だしきに至つては禁ぜられて今は無けれど
	も	144	02	は禁ぜられて今は無けれども春画の如き	も 有る．斯様な画が有るからとて画と言ふものは全
	も	144	15	でも其の中には西洋の書物を読まない者	も 有る．また西洋の小説を読んだ者は筆先が鈍し．
	も	146	02	しらへて利益が有るかと言ふと随分利益	も 有る．また能く売れます．千部売れゝば大いなる
	も	146	04	金を集めることはイヤだ．この方は利益	も 有ることで資本も多くかゝらないことだから十軒
	も	162	17	今申した酒誥の原文は大凡六百字あまり	も 有るが今のは私がアラマシを書いたのだ．また酒
	も	163	04	成就することの出来なかつたのは色々訳	も 有るだらうが論より証拠，酒を嗜んで狂乱の様子
	も	201	13	，丁度其の通りのことが彗星の身の上に	も 有るので有ります．彗星が太陽のソバを離れて来
	も	203	11	て居ましたが今度は楕円を書いて居るの	も 有ると云ふことまでが分りました．このやうな発
	も	206	04	ならば是非戻つて来る．其れならば前に	も 有るだらうと段々穿鑿をしました所，其の前に千
	も	206	09	ります．其れからして，この外にイクラ	も 有ると言ひましたが其の中で珍らしいのはＢｉｅ
	も	004	09	を始めたといはぬを分らぬことと思ふ者	も あれど実はまだイクサにならない．小さな蟻を大
	も	055	02	様だが大困難の至りで御坐ります．何に	も あれ新しいことを起すは大困難のことで御坐りま
	も	097	02	せることは出来ませぬ．併し水潜り器機	も あれば証拠を尋ねるのは敢て難いことではありま
	も	103	05	非常の豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き人	も あれば加藤清正の如き人もある．なるほど弁慶は
	も	108	01	したものでも或ひは一日の拘留で済むの	も あれば或ひは終身徒刑のもあります．第四種はマ
	も	117	13	イツソのことに禁酒の方がよいと言ふ者	も あれど其れは左様な会が有つたらば其れも宜しか
	も	138	15	の善きものは之を見て自ら反省すること	も あれば随つて社会の道徳を改良することも出来ま
	も	165	17	の道理を説く学派もあり，神は造物内に	も あれば人も神の一だといふ学派もあり，考へがあ
	も	014	13	同じ大きさに見えても大きくて遠いもの	も 有れば小さくて近いのも有るから唯見た計りでは
	も	020	11	ふことを申しましたが火星を見ますと陸	も 有れば海も有る，海が有れば蒸発気が有るから雲
	も	022	04	中太陽から測りますと地球より遠いもの	も 有れば近いものも有り，内の方を通つて居るもの
	も	143	04	も南北宗或ひは狩野派其の他種々の流派	も 有れど，これは皆な有形上のことで人の思想即ち

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（も）	も	144	01	の山水の美景或ひは武人の像を画くもの	も 有れば男と女とチヽクリあつて居るところを画く
	も	145	12	無い．尤も依田先生の吉野拾遺と云ふ作	も 有れど今の所ではこればかり．其れでも貴顕の人
	も	198	09	土星などのあるいて居る道で太陽に近い	も 有れば遠いのも有ります．しかしソンナことは，
	も	211	01	に突き当るとコナ微塵になる」と言ふ人	も 有れば「ズット膨脹して大きくなつて自分が彗星
	も	070	16	る十七日には英吉利法律学校の卒業式に	も 案内を受けて居りますが又何人か卒業生が出来る
	も	238	02	らぬと昔から当り前だと思つて骨折り方	も いヽ加減にしてしまふと云ふやうになる．左様に
	も	115	07	するやうにしなければ他の動物に対して	も 言訳が無いで有るまいか．今，言つたのは身体に
	も	137	10	れたる自分の勝手なことを本会にて申す	も 如何と存じ何か教育上に関係したことは無いかと
	も	260	09	と云ふことに致したい．また救助の種類	も イクツも有りまして例へば訓盲唖院，養育院即ち
	も	177	03	とか何々は箇様になつた何の国では往来	も 移住も多い何々はドウなつたと其の地，其の地で
	も	258	10	また将来，就業の準備として仕事の教育	も 致させなければなりませぬ．此の不良少年の種類
	も	178	03	らん．ネウトンのつむりに林檎の落ちし	も 痛みしならんと笑ふの類に止まるは面白からず．
	も	145	14	ふので思ひの外，金のダシテが有つて私	も 一万円私も二万円を出しませうとてモハヤ十五六
	も	205	06	頃，望遠鏡の発明が有りましてから少く	も 一年三度位，彗星の出ない時は有りません，チョ
	も	205	07	たとか其の外，人間社会に災の有ること	も 一年に三度位はキット有りませう．丁度同じ位な
	も	200	10	ぢゃ」とおつしゃるに違ひ無い．如何に	も 一応は御尤もで有りますが，しかし彗星はイヤに
	も	101	12	洋各国の歴史を見まするに何れの国にて	も 一事の改革をはかるときには必ず二三の反対のあ
	も	257	11	ります．之と同じく貧病人を救助するの	も 一時の資本前貸しで有ります．而して壮健なる貧
	も	083	12	国民の為め，また世界中の人類の為めに	も 一様に必要で御坐ります．ドコにか智慧の進歩学
	も	205	08	有りませう．丁度同じ位なもの故，イツ	も イツも彗星の出る度ごとに災が有ると云つて，こ
	も	189	10	成り立つて居ります．併しながらドチラ	も 一国の政治に関係のありまするものですから立法
	も	102	03	と見たなれば必ずそれを外さない．糞汁	も 厭はない芋のシッポも嫌はない．日本人は清潔を
	も	217	05	がキサキにしやうとおつしやつたが其れ	も 否んで八月の十五夜に天人の迎ひに応じて天に昇
	も	033	10	あらむ」と言はれ又「酒は百薬の長」と	も 言はれまして説が両端になつて居ります．さて酒
	も	047	15	さういふ大きなことになると少しも何と	も 言はぬことぢゃが其れが自然今日にありては已む
	も	123	08	節酒と云ふことは先刻湯本さんの演説に	も 言はれた通り教育上にも余程な関係のあることだ
	も	018	16	とは一時の名で実は螢＊惑星とも火星と	も 言ひます．肉眼で見ますと赤い星で時としては同
	も	019	02	で有ります．これは太白星とも長庚星と	も 言ひ或は金星とも言ひます．昔し或る唐人が母の
	も	019	02	は太白星とも長庚星とも言ひ或は金星と	も 言ひます．昔し或る唐人が母の胎内に居るとき此
	も	020	16	径が地球の半分よりは大きいです．前に	も 言ひました通り此の星も同しく太陽のまはりを回
	も	159	08	其の時分には老子の学問とも老子の教と	も 言ひ，孔子の学問とも孔子の教とも言ひ，仏学と
	も	159	08	教とも言ひ，孔子の学問とも孔子の教と	も 言ひ，仏学とも仏教とも言ひました．西洋の教へ
	も	159	09	とも孔子の教とも言ひ，仏学とも仏教と	も 言ひました．西洋の教へ方は天で，天主を立て天
	も	183	16	放蕩をしたり或は妾を蓄ひても妻は何と	も いふことが出来ず，たゞ出来ぬのみか，彼れ是れ
	も	019	02	ます．其れから宵の明星或は明の明星と	も 云ふ星で有ります．これは太白星とも長庚星とも
	も	040	15	ゆゑ今申した様に今日から見れば悪人と	も 云ふべき者が却りて賞められ貴ばれたので其れに
	も	040	16	ので其れに反して今日から見れば善人と	も 云ふべき者は却りて擯斥される風習になり盗賊を
	も	191	07	ふものが三つあるとも，また二つあると	も 云ふことを論定したのでも無い．モンテスキュー
	も	215	14	小説は昔話しから出たもので小説の原と	も 云ふ昔話しの一番古いところは昔々隠岐の国に一
	も	223	01	こととなりました．これが演劇の濫觴と	も 云ふべきもので有りませう．足利の始めに観世氏
	も	223	07	いものサ．これまでが演劇の成り立ちと	も 云ふべきもので有ります．其の後，女歌舞伎，若
	も	234	02	れは甚だヲカシイことで有る専門学校と	も 云ふ学校が翻訳した本で教へると云ふやうでは迚
	も	247	10	」などと考へるやうなことが起らないと	も 云へませぬ．よつて監獄に於ては二つの方法を以
	も	210	13	しかし彗星が地球に必ず突き当らないと	も 言へません．なぜなれば両方ともムヤミにあるい
	も	236	12	士が自分の志を堅く立てて人に嫌はれて	も 忌まれても，やり遂げやうと云ふので其の大難事
	も	186	05	となればキリスト教に於ては女を男より	も 卑しい者ともせず尊い者ともせず全く同等な者と
	も	224	09	も不都合のことは禁ぜられ，また世上に	も 色々と風評が有つて俳優や作者も気が付て来まし
	も	110	04	着手して居りますが同胞二十五人の死骸	も 印度人十二人の死が乗つた端艇は漕いで来たのか
	も	157	16	ガリレオから後は天を動かしたいとして	も 動かなくなりました．この間まで，あの佐田介石
	も	101	14	も改良といひ仮りにも改革といへば一人	も 疑ふものもなければ反対を試みるものもなくて直
	も	166	15	す．事実から道理を見上げるのだから誰	も 駁つことは出来ますまい．世間に「百聞一見に如
	も	047	12	て其の土地を奪ふてしまひ，開けた印度	も 奪ふてしまひ，近頃は朝鮮の領分の巨文島を勝手
	も	215	15	所が其の兎が内地の方へ渡らうと思つて	も 海を渡ることが出来ない．ソコデ計略を考へて或
	も	221	17	思はれます．さて京伝以来，三馬も種彦	も 画入読本と云ふものを作りましたが奇怪なことは
	も	003	15	字を習ひ，コレラ病の原因を見出すこと	も お留守にして字を習はなければならない様になつ
	も	238	08	有るのは当然で有りますから，此の上に	も 御勉強なさるやうに致したいと思ひまして祝辞を
	も	206	11	ちで一つは大きく一つは小さくなつて頭	も 尾も同じやうで有りましたが，これは分れたと云
	も	236	13	も，やり遂げやうと云ふので其の大難事	も 追々に減つては来ましたが，ヤハリ御一新前まで
	も	023	09	四間ほど離すと見れば海王星は本郷より	も 王子よりもズット遠くの処に置かなければならな
	も	003	09	方を智識の方便の方に使ひ過ればイヤで	も オーでも真の智識を得る為めの時は少なくなる．
	も	138	14	が主眼なれば面白いに連れて其のキヽメ	も 多い．また社会を諷刺する小説の如きも大いに効
	も	177	03	々は箇様になつた何の国では往来も移住	も 多い何々はドウなつたと其の地，其の地で定まつ
	も	036	07	る，誠に面白いことです．どうか此の会	も 大いなる欲の仲間にはいつて段々諸君のお力を以

代表形	判	ページ	行			
（も）	も	048	14	別も漸々に薄くなりて来て，そこで道徳	も	大いに行はれることとなるであらう．尤も其れは
	も	064	17	従つて二十余万の人の健康を害すること	も	大いに減じませう．されば人力車を廃して馬車に
	も	138	14	も多い．また社会を諷刺する小説の如き	も	大いに効能が御坐ります．また西洋の著作中にも
	も	127	05	に面白いことも，また有益有用なること	も	多う御坐ります．故に若い卒業生が迚も，たやす
	も	217	04	と美人の聞えが高くなつて言ひ寄つた人	も	多かつたけれど，なびかず．しまひには帝王がキ
	も	177	13	を述べたれば学理上には不都合なること	も	多かるべし．殊に初めての趣向なれば胡乱に思は
	も	165	13	に関係することを説くのだから論ずる所	も	大きくなります．この人間の組み合つて居る社会
	も	146	04	イヤだ．この方は利益も有ることで資本	も	多くかゝらないことだから十軒ばかりの本屋が集
	も	233	07	先刻幹事さんのお話しのやうに生徒の数	も	多くなり，また卒業生も多くなり誠に祝すべきこ
	も	233	07	やうに生徒の数も多くなり，また卒業生	も	多くなり誠に祝すべきことで有ります．実に此の
	も	008	05	馬会社の開業式は一日ならず二日も三日	も	大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は星の如く褒美は五
	も	211	15	る者は知らずに寝て居り，起きて居る者	も	起きて居りまして少しも何も変つたことは有りま
	も	166	03	派もあつて其の学派学派の道理はいづれ	も	奥の深きことにて，この様なるアサハカな話しで
	も	052	13	御坐りますが，いろいろまた困難のこと	も	起つて来る．其の訳は全体この御国はもと古事記
	も	045	01	道徳が行はれぬのみならず法律の本趣意	も	行はれて居らぬぢゃ．僕の考へでは今日行はれぬ
	も	116	03	て，むつかしいことで誰でも理屈の半分	も	行ふことは出来ない．併し其れが出来ないといふ
	も	121	04	れます．事実を見せたら其れからして論	も	起らうし，また弊害が有ると云ふことが分れば自
	も	121	09	よく事実を穿鑿したらば弥々節酒の効能	も	起らうかと思はれます．其れに就ては酒の弊害の
	も	122	12	ます．かういふ様なことは外のことから	も	起りませうが多くは酒の上から来るもので有りま
	も	102	01	人はヤマアラシであるから支那人の豚に	も	劣ることがある．支那人は豚であるから苟くも利
	も	206	11	一つは大きく一つは小さくなつて頭も尾	も	同じやうで有りましたが，これは分れたと云ふよ
	も	020	17	きいです．前にも言ひました通り此の星	も	同しく太陽のまはりを回つて居りまして地球が内
	も	252	04	するから斯くの如き両親に任して置いて	も	覚束なく，両親が無いときはナホあぶないと云ふ
	も	219	17	物語，源平盛衰記，平家物語などは文章	も	面白くて目の前に見るやうに書いたもので有るが
	も	032	06	ノガハの中にあるものでは無からうかと	も	思はれます．若しも其の通りで有ると始めにお話
	も	092	09	ります．花の様な智慧分別だに無きもの	も	思はず知らず斯の如き立派な結果が御坐りますな
	も	183	02	思ふのは世間で妾や権妻といふ者を何と	も	思はぬことで御坐ります．男子は妾を蓄ることを
	も	183	03	御坐ります．男子は妾を蓄ることを何と	も	思はず婦人もまた人の妾となることを何とも思は
	も	183	03	はず婦人もまた人の妾となることを何と	も	思はず甚しきは妾を置き妾となることを却つて栄
	も	219	05	風聞によつて，ゆかしくも，きらはしく	も	思ひ，また其の親も其の文が気に入れば女に勧め
	も	047	13	も構はぬ．又耶蘇教師までも其れを何と	も	思ふて居ぬ様ぢゃ．耶蘇教師などは小さき事には
	も	236	08	には無いことゆゑ如何ほど志が厚くつて	も	思ふ半分も出来なかつた．其れが一つの大難事で
	も	003	12	費すことになつて居る．今喋々といふに	も	及ばない，考ふれば直に分ること，考へなければ
	も	004	13	其れでもそんな目にあふ訳なれば其れに	も	及ばない日本人が西洋人と競争せんなどとは，こ
	も	177	15	ることならば世間に有り来りの未来記に	も	及ばず戸長の仕事同様なることを言ふ愚かなるこ
	も	190	07	るけれども，さう手が届かない．また力	も	及ばぬといふよりして裁判所に委託してやらせる
	も	206	15	て居りません，よくよく見るとヤハリ子	も	居るが大分，親とは離れて居つたので，先づスダ
	も	175	07	とげやうと，いふので額に汗を流して骨	も	折る．家族でも子がみな死ぬと親も先きの望みも
	も	101	14	日本は然らず．苟くも改良といひ仮りに	も	改革といへば一人も疑ふものもなければ反対を試
	も	224	16	さて当今，演劇は申すに及ばず小説とて	も	改良論が盛で有りますから共に体面を改めるやう
	も	234	05	は無い．其れよりか今少したつと留学生	も	帰つて来るし日本の大学の卒業生も出来るから，
	も	187	03	救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の卑賤を	も	眷顧たまふが故なり今より後，万世まで人々我を
	も	069	05	多年学科上及び実地上の研究を要するに	も	係はらず宇漏生には司法官及び代言人たるを望む
	も	077	08	法律と経済との学科の性質に相違あるに	も	係はらず諸君が各々学び得たる所を以て社会の為
	も	063	11	け待つて居る位の緩慢なる人物が多きに	も	拘らず一千人に付き五個の人力車あるときは非常
	も	064	11	でありませう．併し斯の如く有害なるに	も	拘はらず日に月に多きを加ふるに至りし所以のも
	も	137	05	ふことは甚だ流行いたしまして現に只今	も	書き方改良の説明もありましたが演劇改良其の他
	も	038	16	らねばならぬ．故に野蛮の社会などで誰	も	斯く為さむと思ふたのでは無からうが自然其れに
	も	177	11	ことが出来ませう．先づ箇様な訳で先日	も	学士会院で演説しましたが其の時，其のあとに附
	も	128	04	ける所の色々の論，未だ学者たちでさへ	も	学術の事実とせぬことが多う御坐ります．近来盛
	も	018	16	．西郷星とは一時の名で実は螢＊惑星と	も	火星とも言ひます．肉眼で見ますと赤い星で時と
	も	002	15	ふはまた如何なる訳ぞといふに，いづれ	も	方にも定めし御存じで御坐りませうが抑々智識に
	も	004	06	もので病の為めに人口が減らさるゝ間に	も	各国と共に競争をやつて居なくてはならない．そ
	も	054	09	学，化学，最も入り用なのは算術，算術	も	仮名ばかりで書いた本が入り用で御坐ります．内
	も	054	10	ばしいことでドウか幾何から三角術まで	も	仮名で書いた本がほしい．其の外，天文，地理，
	も	048	07	トル条約に加入したが又子午線のことに	も	加入する様になるだらう．さすれば国と国とが段
	も	212	09	古物学者などに取つては金剛石や金銀に	も	かへられない程の品物を得ることが出来るかも知
	も	047	13	でも勝手のことをして実に道徳にも何に	も	構はぬ．又耶蘇教師までも其れを何とも思ふて居
	も	131	02	よつて容易に変るものでは無い．ドチラ	も	神の変ることの無い御心に本づいたものなるが故
	も	165	17	く学派もあり，神は造物内にもあれば人	も	神の一だといふ学派もあり，考へがあるから物も
	も	158	09	雷風烈には必ず変ず」とあるから孔子様	も	雷の鳴るときには青くか黄いろくか，なつてビッ
	も	158	11	天の怒りだと書いたのを見ると朱子先生	も	雷のことは知らなかつたと見えます．サスガの孔
	も	051	06	しもあり殊に外山君の御演説は尤もで何	も	彼もふるつて支那文字の不便なこと仮名の便利な

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（も）	も	148	16	さうなるかも知れないが人間のことは何	も	彼も学問に関係するものでは無いからソコに気を
	も	175	01	人は義務の体」と言ひますから義務が何	も	彼も我が身にかゝつて来ます．若し義務を欠くと
	も	129	02	御坐ります．さのみならず学術家の中に	も	箇様なものが無いと言はれませぬ．けれども君子
	も	108	15	に従ふより外はありますまい．然れば誰	も	彼も端艇に乗うといふ考へはあつたらうと考へる
	も	211	15	きて居る者も起きて居りまして少しも何	も	変つたことは有りませんだつたが其の時にヒトリ
	も	005	15	がよい．かたつぽうが替ればかたつぱう	も	替らなければならない．併し，そこに人の気は付
	も	060	11	地があつても桑を植ゑ蚕を養ふの利益を	も	考へず，たゞ権利とか自由とか聞きかぢりの不理
	も	061	05	のを悦ぶのみで衛生上のことなどは夢に	も	考へませぬ．我が邦に行はるゝ人力車の如きも其
	も	114	01	刻からお話しの有つた通り身体や品行に	も	関係するものだからドウしても節しなければなら
	も	224	10	死の仕組は止みませぬ．これ等は風俗に	も	関係することで有りますが此の頃，貴顕の方々を
	も	005	05	まではお世話になつたがこれからはお前	も	漢字を廃するがよい，廃さなければクルベーだぞ
	も	009	02	に移る様にして教へこんだなら遂には誰	も	漢字廃すべからずの論を唱へる人も無からう．こ
	も	151	07	一般の利益に関するものは官と言ひ戸長	も	官吏であれば戸長役場の書記も官吏です．併しこ
	も	151	07	言ひ戸長も官吏であれば戸長役場の書記	も	官吏です．併しこれは文字の定義のお話しです．
	も	224	09	世上にも色々と風評が有つて俳優や作者	も	気が付て来ましたが，まだ兎角，強盗や情死の仕
	も	178	02	の海浜にて古き器物のコワレをさがせし	も	木ひろひなりと見る人は通り過ぎしならん．ネウ
	も	254	13	，六犯と云ふやうな者が随分あるやうに	も	聞きまする．前に申しました如き次第で有ります
	も	168	02	しいものが，はいつて来ましたから何事	も	競ひ出し医者でも本草でも鉄砲でも競ひ出して段
	も	008	09	なければならない位の違ひ．余輩の如き	も	気違ひにならぬのは此の違ひが本当に分らぬから
	も	060	06	極な結構な世の中になりましたが併し私	も	絹衣を着し休日に休むといふことを強ち悪く言ふ
	も	209	07	が怪しいやうで有ります．大方は頭も心	も	稀薄なもので何れ瓦斯体で有りさうに見えます．
	も	192	01	改むることが出来る．また新たに何事を	も	きめることが出来るといふのが今日の有様即ち昔
	も	145	01	様にしたら宜しからうと思ひます．其れ	も	急激に致したとて間に合ふ訳でも無いから徐々と
	も	142	09	良が必要だとてお前達は品行も直せ学問	も	急に上達せよと云ふ訳にも参らず，これは徐々と
	も	067	14	むの欲を抛つことが出来ませぬから諸君	も	今日の卒業を以て足れりとせず益々法律に経済に
	も	207	09	にふると云ふことは少ない．雨と云つて	も	今日の雨などはヨホドひどかつたあんなでは実に
	も	210	01	ないのも其の辺で有ります．昨日の定説	も	今日はすたり，今日，可とせし説も明日は否とな
	も	252	17	三つの方法を要しまする．則ち監獄より	も	教育だけ余計の用が有りまする．付てはこれ等の
	も	248	03	ホドおれのしたことは悪かつた，如何に	も	教誨師の言はるゝ通りで有るから斯くの如く現在
	も	138	05	君にはモルヒネを上げたい処なれども体	も	虚弱であり一滴や二滴のモルヒネを上げるより，
	も	026	17	星で今申した星から見ますと三倍ばかり	も	距離が遠い．此の様に遠い距離になりますと雛形
	も	102	03	を外さない．糞汁も厭はない芋のシッポ	も	嫌はない．日本人は清潔を好んで矢鱈無性に威張
	も	204	12	ンチノプルを取つて三年と云ふ時で今に	も	キリシタン宗門破滅の時節になると云ふ有様で「
	も	234	13	ので無ければならない．エウロッパの昔	も	ギリシャローマが盛んで有つたから近世に至つて
	も	182	09	す．然し左様申せば「一夫一婦の教は何	も	キリスト教に限ることでない．儒道や仏道の教は
	も	186	08	蒙るべきものと致します．故に新約書に	も	キリストを信ずる者の中に在つては「或は奴隷或
	も	187	07	御坐ります．然らば，これより我が邦に	も	キリスト教が漸々行はれんとする時に当つて日本
	も	125	17	ｎｄａｌｌ氏が何々と示した故に私とて	も	基督教を承諾することが出来ぬと．これ等の色々
	も	131	11	方の論のみを読みまするお方はドコまで	も	基督教と学術との関係の本当の道理は分ることが
	も	176	02	した訳であらうと思はれます．我が国人	も	近来，海外出稼ぎのキザシがありますから追々勇
	も	183	07	つて居れば内証ではドウいふことをして	も	苦しくないといふことでは御坐りません．陰陽内
	も	030	03	多い．又アマノガハの外にある星の中で	も	精しく調べて見るとアマノガハの近所が一番多く
	も	230	09	ランスの例でも外れて居りますが日本で	も	郡には郡有財産と云ふものは無いさうで有ります
	も	271	09	本の監獄の種類から申しませう．これに	も	軍事の監獄と普通の監獄との区別が有りまするが
	も	076	10	付て言つて見ましたら，さうで無く法律	も	経済もドチラでも諸君方の様に研究された方が何
	も	242	11	る所でありまする．只今では監獄のこと	も	警察学と同様にエウロッパに於ては一つの学問と
	も	219	11	ことを論じた所が妻とすべき女は容儀に	も	芸能にもよらず，たゞ心が落ち付いて深切で夫の
	も	098	13	りては我々の悲しみは変じて憤怒となる	も	蓋し当然のことであります．全体我が日本人は友
	も	114	05	しらふると，いふことが有るから飲食に	も	結構なものが出来る．結構なものが出来ると其れ
	も	218	01	物語は非凡の大筆で今以て和文を作るに	も	言語の学問をするにも必要なもので有ることは云
	も	116	06	む者も少なく飲むやうになり随つて身体	も	健康になり品行もよくなるに違ひ無い．私も昨年
	も	024	04	眷属で太陽の孫で有ります．地球の外に	も	眷属を持つた惑星が有るかと云ふに随分有る．先
	も	024	11	て居ります．次ぎに天王星海王星これに	も	眷属が沢山ありませうが天王星に四つ海王星に一
	も	001	09	い．併し仮名の会の懇親会に付て参議方	も	御臨席になるとのことなれば此の機会失ふべから
	も	119	09	御相談で有つて演説では無いから諸君に	も	御賛成で有るなら何分お骨折を願ひたい．其れは
	も	209	10	ヤミに長いもので三年前に見えましたの	も	御存じの通り随分長う御坐りました．ドウして彗
	も	214	09	有りませんだつた．また演劇の俳優は誰	も	御存じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多非人のやう
	も	236	16	者も沢山有りました．尤も左様なる有様	も	御一新前になつてはヨホド減つては来たが，まだ
	も	192	12	露しろといふこともありましたが，これ	も	公議輿論に従ふといふことです．其の議決したこ
	も	004	02	なければならない．ドコの国のハテとで	も	交際し競争しなければならない，トルピドで敵の
	も	159	08	問とも老子の教とも言ひ，孔子の学問と	も	孔子の教とも言ひ，仏学とも仏教とも言ひました
	も	175	17	ぎし移住して居るから大胆にもなり仕事	も	巧者になり商売も上手になり運動も自在なのによ
	も	223	13	五番続きの狂言の趣きを版にしたのを今	も	好事家は持つて居ます．これは今云ふ筋書のやう

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（も）	も	１０５	０９	べき判決が有りさうなものだのに不当に	も	神戸在留の英国領事は之を判決して無罪としたの
	も	０２０	１３	南極北極には時候の如何に拘はらずいつ	も	氷がはりつめて居ます．これなぞは全く地球と同
	も	０４５	０２	では今日行はれぬのみで無く，いつまで	も	極十分には行はれぬであらうと思ふ．例へば英国
	も	１８３	０９	ることで御坐ります．一夫一婦と申して	も	此処に雲泥の違ひが御坐ります．儒者の教にも妻
	も	２１０	１７	」と言ふ人も有りました．ゆでられるの	も	寒えさせられるのもドツチも有り難くない．また
	も	２０９	０７	ふ方が怪しいやうで有ります．大方は頭	も	心も稀薄なもので何れ瓦斯体で有りさうに見えま
	も	０６８	０４	ようと思ひます．諸君の中に御承知の方	も	御坐いませうが孛漏生国では裁判官たるの能力を
	も	０７９	０９	どの様なものには進歩と云ふことが聊か	も	御坐りませぬ．其の進歩すると云ふことは実にひ
	も	０７９	１０	の中に行き渡つたもので，たゞ一個人に	も	御坐りまするし又多くの人より成り立つ社会の中
	も	０７９	１１	るし又多くの人より成り立つ社会の中に	も	御坐ります．又世界中の人類にも御坐りますけれ
	も	０７９	１１	の中にも御坐ります．又世界中の人類に	も	御坐りますけれども一番有り難いことは諸君各々
	も	０８４	０２	御坐りませぬ．或る時は進歩の盛んな時	も	御坐りまするし或る時は殆んど無い位なことも御
	も	０８４	０２	りまするし或る時は殆んど無い位なこと	も	御坐ります．たとへて申すならば或る国の人が機
	も	０８８	１３	の政府が骨折つて教訓いたしましたこと	も	御坐りまして器械をやつたこと学校を建て教師を
	も	０８８	１４	つたこと学校を建て教師を遣はしたこと	も	御坐りましたがドウもいけませぬ．ニュージーラ
	も	０９１	１７	しい罪悪を免れた人に遇ふたことは一度	も	御坐りませぬ．今弁じた所の種々のことに由つて
	も	１２６	０１	知を言ふお方の中に，よく熟したる学者	も	御坐りませう．けれども，こゝに一つの不審なこ
	も	１２６	０９	が御坐りまするが其の中に至極よいもの	も	御坐ります．また大きに誤つたものも御坐ります
	も	１２６	０９	のも御坐ります．また大きに誤つたもの	も	御坐ります．今から私は其の色々の仕方を順に従
	も	１２８	０５	中に追々と学術のかたい事実となるもの	も	御坐ります．また遠からずず全く聞えなくなるべ
	も	１２８	０６	た遠からずず全く聞えなくなるべきもの	も	御坐ります．学術の歴史を調ぶれば暫くの間，盛
	も	１３４	０７	こと能はず」などと仰せられましたこと	も	御坐ります．尚ほ明かな所はこれで御坐ります．
	も	１３６	０５	下から見れば面白いことも無く分ること	も	御坐りませぬ．二階の高い所から見れば面白いこ
	も	０７３	０８	述いたしたう御坐んすが格別の思ひ付き	も	御坐んせぬから甚だお聞き苦しう御坐んせう．先
	も	０７６	１６	てハッキリとして限界の立てらるゝこと	も	御坐んせうが其の間，髪を容れぬのです．右のＭ
	も	１４９	０１	兵年齢とか学校年齢とかいふ必要な年齢	も	御坐んせうがたゞスタチスチック学ばかりのを調
	も	０１１	０４	かけましたら「造作もない問題だ，誰で	も	答へが出来る」と言はるゝで御坐いませう．成る
	も	２７４	１３	五年五月五日の法律を以て府県監獄費を	も	国庫より支弁することと致し全国の監獄は総て中
	も	２２８	０４	で租税を異にし裁判を異にし法律規則を	も	異にして居りましたから，ツマリ日本の行政法は
	も	０５３	１０	．たゞ気を長くばかりしては，いつまで	も	事は出来ませぬ．また，せいてもいけませぬ．と
	も	１１６	１３	さういふことをせぬやうにしたれば去年	も	今年も腸胃痛が起らなかつたを見れば全く酒を節
	も	２２７	１３	有つて其の領分内に於ては殆んど天子と	も	異なる所は無かつた位の様で有ります．其れなら
	も	２４４	１４	とを総て執行いたしまする．其の中にて	も	殊に秩序安寧のことが著しきもので，之を維持せ
	も	１５６	０５	支那以来のおキマリになつて居て私など	も	子供のとき孔子様の学問をした時分には天が円い
	も	１２７	１１	難し易いものでは御坐りませぬ．故に私	も	この若い勇者の仕方をよしとすることは出来ませ
	も	００３	１７	り彼より大切なことになつてあるが其れ	も	此の国独りで居れば今日の様でも宜しいが今日は
	も	０３２	１３	だけでは実は余り面白くない．これより	も	此の世界は始めドンナであつて今にドンナことに
	も	０８０	１１	ます．総ての改正改革と云ふものに付て	も	此の三つの手続きが御坐ります．一つの仕方は人
	も	１７９	１０	な神の救をみん」とあり，またキリスト	も	此の預言者の語を引て「我は貧しき者に福音を宣
	も	２２０	１５	桃太郎，カチカチ山，舌切雀などの話し	も	此の頃に出来たものかと思はれます．其れから徳
	も	２０３	１４	戻つて来るのと同じことで有るから，何	も	こはい因縁が有りません．このＨａｌｌｅｙの彗
	も	１９５	１１	な彗星だ」と言つて済みましたが，若し	も	これが天保年間ででも有りましたら，たゞ「立派
	も	１６６	０２	，また身体の様なる物質があるから精神	も	之に添つて出来たといふ学派もあつて其の学派学
	も	１８４	１３	御坐ります．されば此の悪風を改むるの	も	今日の一大急務で之を改むるには矢張キリスト教
	も	２１２	１４	白いことで有りませう．其の時こそ学問	も	今日より進んで彗星の物理学上，何物たるかと云
	も	１９０	０６	す．裁判権の性質は執行権者がドコまで	も	裁判するといふので御座んするけれども，さう手
	も	１９３	０４	．其れで執行権力が天子に在れば行政権	も	裁判権も天子に属して居ります．政府は天皇陛下
	も	２４９	０４	監獄が其の宜しきを得ませぬければ警察	も	裁判も無効になりまする．また，警察と監獄が何
	も	０１５	０２	地球上で測量をしますにも十里も二十里	も	先きを一々間縄を打つたり足ぶみをして調べはし
	も	１７５	０８	て骨も折る．家族でも子がみな死ぬと親	も	先きの望みもなくなつてしまふと同じ道理であり
	も	１１６	０７	康になり品行もよくなるに違ひ無い．私	も	昨年から此の会にはいつては居るが元来，私は大
	も	０３３	１３	賛成者が多い．我が邦では子が生れるに	も	酒，縁組をするにも酒，祭礼にも酒，祝賀でも酒
	も	０３３	１３	邦では子が生れるにも酒，縁組をするに	も	酒，祭礼にも酒，祝賀でも酒，喪礼でも酒といふ
	も	０３３	１３	れるにも酒，縁組をするにも酒，祭礼に	も	酒，祝賀でも酒，喪礼でも酒といふ様に総て酒を
	も	０３３	１３	縁組をするにも酒，祭礼にも酒，祝賀で	も	酒，喪礼でも酒といふ様に総て酒を飲むことが慣
	も	０３３	１３	も酒，祭礼にも酒，祝賀でも酒，喪礼で	も	酒といふ様に総て酒を飲むことが慣習になつて居
	も	０３３	１６	会の大事業を企つる時などには，いつで	も	酒が媒になりまして新聞紙などにも，いつ何会が
	も	０３４	１６	り酒を用ひませぬ．歴史などを見まして	も	酒を飲まない人は古へより功を成し国家の為めに
	も	０３４	１７	ふ人は無い．大事業を仕遂げた人は何れ	も	酒を慎んで欲の深い人で今日の行ひをよく省みて
	も	１２２	１１	和を生じたり家の乱れを醸したりするの	も	酒から起ることが余程多い様に思はれます．かう
	も	１６１	１４	たことが有つた．其の後，旗下ぐらゐで	も	酒の上で家来などを斬つたことが有つた．実に悪
	も	１６１	１６	基かないものは無いくらゐだ．夏の桀王	も	酒を飲んだに違ひ無からうが酒池肉林で国を亡ぼ
	も	０３３	０６	すが節酒のことに付ては諸君の高論卓説	も	さぞかし多く御坐りませうが発起人諸君から亨二

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（も）	も	002	15	た如何なる訳ぞといふに，いづれも方に	も	定めし御存じで御坐りませうが抑々智識には真の
	も	094	14	であります．これは我輩のみならず諸君	も	定めて御同感で御坐りませう．啻に諸君のみなら
	も	195	09	挨拶を致したことが御坐いました．諸君	も	定めてネムサをこらへて彗星を御覧になつて「立
	も	005	01	カンと長い毛の筆で偏冠りを正し二時間	も	三時間も手習ひなどをして居るものでは無い．ド
	も	193	14	るといふのは外国の例などを見てこれを	も	参照して細則をきめるだけで人民の自由とか所有
	も	017	07	出来ないことは有りませぬ．今日の所で	も	三千七百八十五万里余といふことは知れて居ます
	も	201	12	位で，威張つた人になるとテンデ見向き	も	しないことが有りましたが，丁度其の通りのこと
	も	264	04	て，さうして，この家族長が教育の世話	も	し，また感化にも尽力し，且職業の教育をも施し
	も	007	11	参議に名筆のお方があるので少輔も大輔	も	字を習ふ様になる．すると書記官も仕方が無いか
	も	007	11	大輔も字を習ふ様になる．すると書記官	も	仕方が無いから習ふと属官までが小癪に手習ひし
	も	254	07	第三の仕事を知らざる者も，これもドウ	も	仕方が無いから，また盗賊を始めると云ふ次第で
	も	142	02	た宴会室には斯様と其の他軍艦を造るに	も	仕組と言ふものは大切なものなれども，たゞ柱を
	も	220	02	ぬかと思はれる．既に先日，学士会院で	も	重野先生が太平記と云ふものは児島某と云ふ小説
	も	175	17	仕事も巧者になり商売も上手になり運動	も	自在なのによつて今日の英国を為した訳であらう
	も	009	05	天下の輿論で有ります．さればこの演説	も	時勢に適せぬムダな空論とは知れど社会には随分
	も	202	01	後れるです．其れでHalleyの彗星	も	七十五六年目に戻つては来ますが，どの位後れる
	も	002	16	々智識には真の智識と智識の様に見ゆる	も	実は真の智識の方便に過ぎざる智識が有りまする
	も	025	12	う．遠い所に居るのだから小さく見えて	も	実は非常に大きいかも知れない，大きい小さいの
	も	095	16	から，この間に助けられるだらうといふ	も	実は推測に過ぎないことで御坐りませう．これを
	も	131	09	独逸国などに毎年出版になる所の書籍類	も	実に夥しう御坐ります．今日も其の色々の書名を
	も	236	02	様の次第で有つたことゆゑ，蘭語の稽古	も	実にむつかしいことで一つの言葉を知るにも容易
	も	189	11	関係のありまするものですから立法権に	も	執行権が関係することがあります．例へば法律の
	も	189	14	て布告するといふやうに立法権の事柄に	も	執行権で干渉することがあり，また執行権の方に
	も	190	10	葉を使ふ所があります．また裁判の中に	も	執行権者が自分でする裁判といふものがある．例
	も	192	16	て居られる．其の下に文武百官を使つて	も	執行権は天子が持つて居られる．其れで今日まで
	も	193	02	に政令二途に出でざるが為めで，外国で	も	執行権者が幾人もあつたことがありましたが事を
	も	243	06	権者は天皇陛下でありまするから立法権	も	執行権も皆な天皇陛下に在りまする．けれども一
	も	182	10	ることでない．儒道や仏道の教は兎も角	も	実際一夫一婦は即ち古より我が日本国の風で妾を
	も	215	11	ませう．しかし之を申すには西洋の小説	も	支那の小説も並べてお話しをしなければ面白くな
	も	012	02	其れまでいつたら，我々の物知りたがり	も	暫く満足せねばならないです．「地球は何の中か
	も	024	01	く或は遅く或は早く運動しますがいづれ	も	自分で熱や光りを持たない，皆太陽から仕送りを
	も	236	11	れぬのみならず始終，人に悪まれて少し	も	自分の利益になることは無かつた．豪傑の士が自
	も	048	15	思はれる．其れまでの間は各国が何分に	も	社会を異にして，居るから其の間に道徳の十分行
	も	181	03	御坐ります．また近来は教外の先生等に	も	社会を改良するには是非ともキリスト教の力を借
	も	060	04	るものが無かつたが此の節は開化して猫	も	杓子も（と云つて杓子の絹衣はまだ見ぬけれども
	も	038	12	頃の説では野蛮の国と文明の国とは善悪	も	邪正も顚倒して道徳は其の時の社会を維持し且進
	も	221	16	を以て一家の人情本を作りましたは何れ	も	洒落本の口調から変化したものと思はれます．さ
	も	015	02	なら分ります．地球上で測量をしますに	も	十里も二十里も先きを一々間縄を打つたり足ぶみ
	も	070	14	かれまして出席いたしましたがアチラで	も	十一人ほど卒業生が御坐いました．今日はこの専
	も	202	07	を廃する位にして勘定をしました．其れ	も	充分の計算にはゆきませんが多分千七百五十九年
	も	261	12	のの管轄と致し，生れて未だ身体の動作	も	充分ならざる子供の部分に属しまする貧民，例へ
	も	212	07	ならうか測り知れません．観測をしたく	も	十分に観測が出来ず，行かうと云つても行くこと
	も	235	01	本の言葉で高尚な学問も出来，また先生	も	十分に出来ると云ふやうになつて来ることは望ま
	も	236	07	たなれども，しかし御一新頃までは先生	も	十分には無く本も十分には無いことゆゑ如何ほど
	も	236	08	し御一新頃までは先生も十分には無く本	も	十分には無いことゆゑ如何ほど志が厚くつても思
	も	218	01	伊勢物語，其れから源氏物語で段々文章	も	趣向も巧みになり殊に源氏物語は非凡の大筆で今
	も	088	15	其の通りで御坐ります．英吉利の政府で	も	種々世話を致しましたがヤハリいけませぬ．立派
	も	061	10	がドウいふ利益があるかと云ふに如何に	も	商業上其の他のことで至急を要する場合に於ては
	も	096	09	拠とは看做せませぬ．既に我が治罪法に	も	情況の裁判は禁じて御坐ります．徳川の頃は情況
	も	075	08	Macleod氏の説が御坐んすがドウ	も	消極的の価値は其れだけの金を使つても新たなる
	も	076	06	ることの学問と看做しますときは経済学	も	消極的の用を為すもので御坐んして殊に之を講究
	も	062	07	古今の通例なれば中以下のものは無理に	も	乗車して上等社会をまねる様になつたのです．第
	も	171	01	いと思つて居る位で，また仕事をする者	も	上手になつて居ますから欧羅巴に行つて衣食をな
	も	175	17	から大胆にもなり仕事も巧者になり商売	も	上手になり運動も自在なのによつて今日の英国を
	も	037	12	動物植物の様に生きて居て生滅すること	も	消長することも盛衰することも総て有機物の規則
	も	201	03	lleyが言ひませんだつたのは，これ	も	諸君の疑団の一つになつて「其の様に分ることな
	も	238	07	ると意外な難儀が書いて有ります．呉々	も	諸君，さう云ふやうに力を尽されて勉強されたと
	も	039	06	を殺す風習の有る社会が有るが其の中に	も	女子を殺すのが多いことで其れが善いことになり
	も	196	10	国が亡びた」のなどと云ふことがイクラ	も	書物などに書いて有ります．其の様にこはがりま
	も	038	11	然に定まりた道徳と云ふものも善悪邪正	も	知らぬが智慧が開けて来ると漸々に其れを知る様
	も	041	15	羅巴と支那とは大いに違ふて居る．諸君	も	知らるゝ通り支那の君臣父子夫婦と云ふことなど
	も	088	02	直に，この論じ方を善しと致しませぬか	も	知らぬけれども，この御方若し追々と怠ること無
	も	102	13	あります．国の実況が分らず国の名さへ	も	知らぬ様では軽蔑も無理はない．ノルマントン号

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（も）	も	105	17	を開く訳は御坐りますまい．然るに諸君	も	知らるゝ如く英国領事は兵庫県知事の請求を容れ
	も	234	03	ない．タカダカ中学ぐらいなら出来るか	も	知らぬが中学でもソンナことでは十分なことは出
	も	242	02	方も有りませうが，中には監獄の如何を	も	知らない方が無いとは云はれますまい．曾て旅行
	も	270	05	時に調べましたのを見まするど一丁字を	も	知らざる者が四千四百七十二人ありまして丁度五
	も	191	14	ふことはスタチスチック上でフランスで	も	調べて居るです．日本でも調べたら色々面白いこ
	も	191	15	でフランスでも調べて居るです．日本で	も	調べたら色々面白いことがありませう．其れで立
	も	214	15	あつて，かの高尚な哲学の及ばない所を	も	識り得ると云ふトテツも無いことになり，また演
	も	012	01	人は恐らく有りますまい．実に其れまで	も	知りたい訳ですが中々今の有様では知れないから
	も	011	08	と言つたら車屋位では答へは出来ないか	も	知れない．小学校へでも参つたことの有るものな
	も	011	11	分るものが半分，知らないものが半分か	も	知れませぬ．さりながら人間の物知りたがりには
	も	016	17	尤も全く無い訳ではなく少し位は有るか	も	知れませぬから事によつたら下等の動物位は居る
	も	017	01	から事によつたら下等の動物位は居るか	も	知れませぬ．けれども我々みた様なものは居ない
	も	021	12	れだけ人間世界より進んだものが有るか	も	知れない．段々と想像を回らして見るとハテシが
	も	021	15	の黄金世界に既になつて居る所が有るか	も	知れない．条約書に一筆加へたとか加へなんだと
	も	021	17	なことなぞは火星の表面の上には無いか	も	知れない．併し事によつたら火星の住民はズット
	も	022	01	つたら火星の住民はズット野蛮で有るか	も	知れませぬが，さうしたら金星か其の外にズット
	も	023	02	今日申した数が明日はウソになりますか	も	知れませぬ．其れから木星は十七丁の距離に在り
	も	024	13	其の中で地球は第何番の子だと云ふこと	も	知れました．此の家内のことを総称して太陽系と
	も	025	13	から小さく見えても実は非常に大きいか	も	知れない，大きい小さいの争ひは例の距離の知れ
	も	031	17	も皆この中にはいつて居るものであるか	も	知れず，或はアマノガハの外にアマノガハみた様
	も	032	02	から脇の太陽系に移る様なものであるか	も	知れませぬ．此の二番目の説にすれば最初の問題
	も	032	08	は，これまでといふ所までこぎつけたか	も	知れませぬ．いづれにしても私の最初に持ち出し
	も	084	04	くの間止まつて居るか或は後れてあるか	も	知れませぬ．進歩の種々の種類が皆な一所に並ん
	も	089	15	ことが出来ませぬ．少しづゝ進歩するか	も	知れませぬが遂にまた退く様になります．併しな
	も	101	09	い頑固でないといふかとの疑ひがあるか	も	知れぬが，これは直ちに分ることで日本人民は忽
	も	103	05	もある．なるほど弁慶は腕力があつたか	も	知れないが併しながら弁慶があの様な豪傑なのは
	も	109	09	が有るか暗礁に乗りかけることが有るか	も	知れぬゆゑ其の時の為めに備へるものなることは
	も	110	03	い．また一層考へるとマーダーになるか	も	知れない事実がある．現今取り調べに着手して居
	も	110	07	ひは船室から我々同胞を出さぬかつたか	も	知れない．啻に其れのみで無い．今日の新聞で船
	も	126	16	ます．箇様な者の勇気は感心なものだか	も	知れぬけれども其の用ふる所の方法は決して，よ
	も	135	02	承知を言ふお方は神学卒業生で御坐るか	も	知れませぬ．若し私ども専らに基督教をのみ研究
	も	148	15	なら勝手にしろと言ふなら，さうなるか	も	知れないが人間のことは何も彼も学問に関係する
	も	155	11	ヒョットすると御存じの無い方が有るか	も	知れないからオシが強いやうだが言ひませうが文
	も	182	11	千人に一人に過ぎないといふ人があるか	も	知れません．成る程それに違ひありませんが今若
	も	195	12	星だ」と言つただけでは済まなかつたか	も	知れません．「ドウも凄い彗星だ，大風でも吹き
	も	195	14	，戦争でも起りはすまいか」と言つたか	も	知れません．尤も，この三年前の彗星にしろ「戦
	も	196	02	」とか云ふ位の考へは起した人が有るか	も	知れません．婦人方などは「イヤな彗星だ」と言
	も	196	02	方などは「イヤな彗星だ」と言はれたか	も	知れません，（尤も婦人方と云ふのは一般の婦人
	も	199	15	なつてしまつた彗星が再び帰つて来るか	も	知れない．さういふことが出来やうかと云ふのが
	も	202	08	，尤も三十日前か三十日後位にはなるか	も	知れないと云つて其の結果を世間に出しました．
	も	210	02	，今日，可とせし説も明日は否となるか	も	知れません．これも説を述べられぬ一つの理由で
	も	210	06	，マルデ訳が分らないから騒がないのか	も	知れません．方々で「今度は世界のシマヒだから
	も	211	06	ばロンドンが無くなる位なことは有るか	も	知れません．彗星が我々の所へ這入つて来ると丁
	も	211	08	るやうになつて地球に疫病でも流行るか	も	知れません．しかし尾の中に我々が這入りこむこ
	も	212	05	ことですが，其れも地球の一部分だけか	も	知れません．其のぶつつかる所の人たちの為めに
	も	212	08	ます．また金や銀や宝石を持つて来るか	も	知れませんが，古物学者などに取つては金剛石や
	も	212	10	られない程の品物を得ることが出来るか	も	知れません．しかし其の様な結構なことは滅多に
	も	212	10	かし其の様な結構なことは滅多に無いか	も	知れません．あまり長くなりますから今一言して
	も	216	05	神は医薬を始めた神だから療治をしたか	も	知れませぬが，これは子供などに話す為めに拵へ
	も	003	09	の方便の方に使ひ過ればイヤでもオーで	も	真の智識を得る為めの時は少なくなる．三時間方
	も	041	10	にならぬものは悪いこととなりた．其れ	も	進化した国では分れて来るのが当然ぢゃが進化せ
	も	033	09	ようと思ひます．酒のことに付ては古人	も	辛苦されたことと見えて或は「後世酒を以て国を
	も	209	13	，あれまでで有ります．が，しかし其れ	も	信じなければ，また其れまでのことで有ります．
	も	133	05	をひどい目にあはせた所の残酷な者さへ	も	信者の愛信の厚いこと，また其の行義の正しいこ
	も	057	09	ｉｎｅｓｓと云ふ語がありますが如何に	も	身体が健康でなければ幸福は得られぬもので其の
	も	021	11	と思つて居りましたが今では外の世界に	も	人民のある事が知れた．して見れば外の世界には
	も	229	13	，戸長を人民で撰挙するときには，区長	も	人民で撰挙しなければなりませぬ．して郡長は区
	も	264	05	の家族長が教育の世話もし，また感化に	も	尽力し，且職業の教育をも施しますことになつて
	も	114	14	欲と言つて，飲食の欲の方は他の動物に	も	人類にも通じて有るから動物的の欲と言ふぢゃ．
	も	003	14	と文字を習ふヒマの為めに稲を植るヒマ	も	水車改正の時もへづられて電信機の改正もせずに
	も	016	08	きましたのが月の雛形になります．距離	も	随分遠く大きさも大分違ひますが兎も角も月は地
	も	083	07	決して愚人では御坐りませぬ．其の智慧	も	随分明らかに御坐りますけれども本当の道徳を知
	も	212	13	生きをして其の頃また彗星の話をするの	も	随分面白いことで有りませう．其の時こそ学問も

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（も）	も	２２９	０７	と云ふ意味で，所によると，また其れを	も	数区に分つと云ふやうな意味で有ります．して区
	も	１２２	０２	酒の為めに犯罪人の殖えることはドコで	も	少いことでは有るまいと思はれます．其の外に売
	も	０５８	１３	た通り英吉利は衛生が進んで人民の死亡	も	少なくなつたと云ふのも即ち開化の為めで，又独
	も	１１６	０６	け酒を飲まないやうになり，多く飲む者	も	少なく飲むやうになり随つて身体も健康になり品
	も	１３６	０８	らして世の中の有様を見れば面白いこと	も	少なく覚ることも浅う御坐ります．けれども聖書
	も	１１９	１５	を論じたことは色々有りますが其の中に	も	Ｚｓｃｈｏｋｋｅと云ふ人は酒の害の及ぶ所を簡
	も	２０１	０９	りますが其の頃，私は身が軽くつてイツ	も	スタスタあるきましたが途中で身分の重い人に遇
	も	０２３	０９	すと見れば海王星は本郷よりも王子より	も	ズット遠くの処に置かなければならない，其れだ
	も	００１	０７	一向仮名のことに付ては不案内で私より	も	既に委しく説の有る方がゐらつしゃることなれば
	も	０６４	０７	う．現に人力車夫に頓死者の多きは諸君	も	既に御承知のことでせうが是れ必竟努力疾行する
	も	０５８	１３	んで人民の死亡も少なくなつたと云ふの	も	即ち開化の為めで，又独逸の或る都府に於てはこ
	も	１８７	１０	ます．私が婦人矯風会の会員方に望む所	も	即ちこれで御坐ります．行政法大意第二回明治二
	も	０３４	０１	居ります．また日本ばかりでなく西洋で	も	総て酒は人間の食物の様になつて居るのは西洋の
	も	０３７	１３	することも消長することも盛衰すること	も	総て有機物の規則に随ふものぢゃと云ふことが分
	も	１０１	０３	つの原因である．即ち日本人は怒ること	も	するが併しながら長く怒ることは出来ない．奮発
	も	１０１	０３	長く怒ることは出来ない．奮発すること	も	するが長く奮発することが出来ない．我々日本人
	も	１１５	１３	よくしたいと思つても酒を飲むと，やゝ	も	すれば酒の為めに品行を破る．酒の為めに品行を
	も	００３	１４	水車改正の時もへづられて電信機の改正	も	せずに机の前に坐つて字を習ひ，コレラ病の原因
	も	１８６	０５	スト教に於ては女を男よりも卑しい者と	も	せず尊い者ともせず全く同等な者と致します．若
	も	１８６	０５	女を男よりも卑しい者ともせず尊い者と	も	せず全く同等な者と致します．若し女が神の前に
	も	２３２	１０	は学問上，決して御坐いますまい．諮問	も	せずに，きめると云ふことは間違つて居るので，
	も	０６９	１３	は需要に過ぎて居る，物好きなら兎も角	も	生計の道にはいけぬから他の業を修むる様にせよ
	も	０３７	１３	生きて居て生滅することも消長すること	も	盛衰することも総て有機物の規則に随ふものぢゃ
	も	１４９	０８	タチスチック課長をして居られたときに	も	政表といふ字を使つて居ました．日本でいふマツ
	も	００５	０７	をきり支那から留学生の一万人も二万人	も	西洋へ行く様にしたい．この間の戦争に誰か少し
	も	１４５	０３	先づ現今の小説に志す人々は日本流の人	も	西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて一つの小説改
	も	２３６	１５	な人が有つた．高野長英や渡辺華山など	も	西洋学をした為めに災にかゝつたので有つた．其
	も	００１	０６	参議方の御臨席を願ふに付ては其の方に	も	席上の演説をせよとのこと．私は一向仮名のこと
	も	１８６	１０	の性を異にするものゆゑ随つて其の事業	も	責任も違ふことは教へますが其の品位に至つては
	も	０３５	０５	面白いことと思ひます．私どもの実験に	も	世間にさういふ連中があつて往来に酔ひ倒れて警
	も	０３４	１１	では有りませぬか．かういふ所から私共	も	説を立てて見て世間で酒を飲む人はどんな人が多
	も	２１０	０２	も明日は否となるかも知れません．これ	も	説を述べられぬ一つの理由で有ります．其れから
	も	１１４	０２	や品行にも関係するものだからドウして	も	節しなければならない．一体，動物といふものは
	も	０３３	０６	く御坐りませうが発起人諸君から亨二に	も	是非演説をしてくれとのお頼みゆゑ亨二は亨二だ
	も	０９６	０５	ぬから．又英国の如く怠務殺人となすに	も	せよ其の本務を怠りたること及び其の怠務に因り
	も	１５９	１７	居るけれどもたとひ天主，天国があるに	も	せよ，また極楽があるにもせよ，カラダが行くで
	も	１５９	１７	天国があるにもせよ，また極楽があるに	も	せよ，カラダが行くではあるまい．カラダは土に
	も	０６９	０８	て見習生即ちＲｅｆｅｒｅｎｄａｒの数	も	千八百七十五年七月一日の統計には千九百八十三
	も	１７０	０５	考へると官費で欧羅巴へ行く者の方は金	も	千両なら千両揃へて持つてゆきませうが亜米利加
	も	０３８	１１	らぬゆゑ天然に定まりた道徳と云ふもの	も	善悪邪正も知らぬが智慧が開けて来ると漸々に其
	も	２３３	０９	学校の一番の元祖で其れから近来イクラ	も	専門の学校が出来たことで有ります．そこで私立
	も	１０９	０９	の時の為めに備へるものなることは誰れ	も	想像することでありませう．決して端艇は何の為
	も	２２９	０６	ば東京市街を一つの区としてドコの郡に	も	属せぬと云ふやうにして有ります．故にこの区と
	も	０１５	０５	り次第に先へ進んでドンナに遠い所まで	も	測量致します．そこで地球と月とありますに地球
	も	０３０	１３	ガハは星のかたまりで太陽も地球の仲間	も	そこの中に居るに違ひない．其れですから，さつ
	も	０７３	０９	から甚だお聞き苦しう御坐んせう．先刻	も	卒業諸君の中で法律と経済との関係といふことで
	も	０２１	０６	表面に有るからしては必ず動物植物など	も	ソックリ有るに違ひない．其れに若しも無ければ
	も	０７３	０９	係といふことで御演説が御坐んしたが私	も	その法律と経済との関係に付て一つのお話しを致
	も	０３２	０６	のでは無からうかとも思はれます．若し	も	其の通りで有ると始めにお話しを申しました通り
	も	０４０	１７	をせなんだり老人や親などを殺すのさへ	も	其の時には善い事にもなりたので其れが風習にな
	も	０８４	１５	したのでありました．何れの国において	も	其の総体の進歩は速力の能く定まつたもので御坐
	も	０９５	１７	これを以て謀殺に当る故殺に当るといふ	も	其の説は取れませぬ．今法理上より言へば凡そ罪
	も	１０３	１０	法大師の如き日蓮上人の如きものを見る	も	其の通りである．今試みに諸君が森林鬱蒼たる高
	も	１２０	１３	大層なことで有るから今度の不景気など	も	其の一原因となつたことであらうと思はれます．
	も	１３１	１０	の書籍類も実に夥しう御坐ります．今日	も	其の色々の書名を挙げることが出来ませぬほどで
	も	１３８	１５	効能が御坐ります．また西洋の著作中に	も	其の善きものは之を見て自ら反省することもあれ
	も	１３９	１６	も長じたる所は小説で御坐ります．諸君	も	其の著作を御覧になつたら面白いと言ふことをお
	も	１６３	０３	から明智光秀に弑されなかつたら大閤様	も	其の天下を取ることもむづかしかつたらう．信長
	も	１８５	１２	とに相違御坐りますまいが儒者七去の教	も	其の一大原因であると申さねば，なりません．而
	も	１９２	０８	い．また明治二三年に公議所を開いたの	も	其の通り，其れから左院を置いたも其の通り，地
	も	１９２	０８	たのも其の通り，其れから左院を置いた	も	其の通り，地方官会議を開いて之に人民に代つて
	も	２０９	１７	せん．今日，天文学の駸々として進むの	も	其の辺ですが，進んで居ないのも其の辺で有りま
	も	２１０	０１	進むのも其の辺ですが，進んで居ないの	も	其の辺で有ります．昨日の定説も今日はすたり，

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（も）	も	219	06	しくも，きらはしくも思ひ，また其の親	も	其の文が気に入れば女に勧めても返書を書かせ，
	も	219	15	物語小説が有つたればこそ千年の後まで	も	其の風俗を知ることが出来て歴史編纂などの大い
	も	224	02	が人形座の方に向いたから狂言座の方で	も	其の浄瑠璃を語つて俳優が人形の代りに働くやう
	も	266	14	は専ら感化をつとめまする．而して感化	も	其の効があらはれましたと看認めらるゝときに至
	も	012	03	いです．「地球は何の中か」といふ問題	も	其れと同じ様に段々とおしつめてモウこれから先
	も	044	02	山あるし殺伐なることも有るから教法者	も	其れを矯めようと云ふので右様の教を起したのぢ
	も	047	13	道徳にも何にも構はぬ．又耶蘇教師まで	も	其れを何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．耶蘇教師などは
	も	061	05	ませぬ．我が邦に行はるゝ人力車の如き	も	其れと同じことでチョット便利なものですからヤ
	も	099	02	なるを怒つて其の罪を鳴らしたからとて	も	其れで我々が満足するといふことは出来まい．我
	も	233	14	やうな専門学校が有るなれどもイツまで	も	其ればかりでは仕方が無いから日本語を以て教ふ
	も	227	16	権を有つて居られた姿では無かつたかと	も	存じられる所も有ります．其れなら徳川のやうな
	も	234	03	学ぐらいなら出来るかも知らぬが中学で	も	ソンナことでは十分なことは出来ない．まして専
	も	114	06	構なものが出来ると其れだけに飲食の欲	も	他の動物より熾んになるのに其れを節することが
	も	205	15	と言ひますと天文学者だけは面白くつて	も	他の人にはサッパリ面白くないやうなことが有り
	も	262	11	これは一房に一囚をおきまして，夜も昼	も	他の囚徒と面を見合すことも，話しをさせること
	も	155	12	出た達しに三十七から有つたネ．この間	も	大学の総理先生は十七八，数へたネ．数学，星学
	も	167	04	事実を求めることが，むづかしくなり金	も	大層にかかるやうになり骨も大層に折れるやうに
	も	167	04	しくなり金も大層にかかるやうになり骨	も	大層に折れるやうになります．併し一たび事実と
	も	171	08	の地峡でもスッカリ開けたら渡航するに	も	大層な便利がありませう．また十日平均位に行く
	も	007	11	大臣や参議に名筆のお方があるので少輔	も	大輔も字を習ふ様になる．すると書記官も仕方が
	も	001	05	人の片山淳吉君がお出になつて仮名の会	も	大分盛大になつたに付き懇親会を催して参議方の
	も	016	08	雛形になります．距離も随分遠く大きさ	も	大分違ひますが兎も角も月は地球の党類には違ひ
	も	031	14	も有ります．そこで又アマノガハの中に	も	大分瓦斯体であつて望遠鏡で見ても矢張り雲の様
	も	035	15	変動と思はれまする殖民政略などのこと	も	大慾で有りますが独逸や仏蘭西や英吉利などの人
	も	130	09	所は一つのもので有る故に必ずドコまで	も	互に符合すべき筈のもので御坐ります．優勝劣敗
	も	044	02	起らぬであらう．併しあまり残忍のこと	も	沢山あるし殺伐なることも有るから教法者も其れ
	も	070	13	は，まだまだ遺憾と思ひます．この上に	も	沢山にお出来なさる様に願ひます．たゞ甚だ喜ぶ
	も	225	05	とに付ての可否討論などは世間に高論者	も	沢山ありますから其の辺のことにトント勝手を知
	も	236	16	為めに藩を逐はれ，また苦しめられた者	も	沢山有りました．尤も左様なる有様も御一新前に
	も	218	01	語，其れから源氏物語で段々文章も趣向	も	巧みになり殊に源氏物語は非凡の大筆で今以て和
	も	259	06	るから此の救助の方法は監獄上よりして	も	確にきめて貰はなければなりませぬ．私の考へま
	も	213	12	面白みも文字を読む者に限り，また作者	も	多少の学問が無ければなりませぬが演劇の方は下
	も	109	13	つて居つたに違ひ無い．然るに三人の人	も	助かつて居らない．三人の人が端艇の効用を知つ
	も	143	12	の梅暦，小三金五郎の娘節用の如きもの	も	たゞ男女の痴情を書いたものだと申しますが私は
	も	184	08	ことが出来ては一夫一婦の教も何の役に	も	立ちません．自分の気に入らぬと云つては妻を出
	も	145	15	さうで二三年の中には大きな煉瓦の芝居	も	立つさうです．私は金は出さねども此の演劇改良
	も	234	05	有つたからとて其の様な学校は何の益に	も	立つことでは無い．其れよりか今少したつと留学
	も	177	02	まとめ何年の調べとして五年も積み十年	も	たてば何の国は往来は繁けれども移住は少ないと
	も	192	10	老院といふものもありますし，今に国会	も	立てられますが，ツマリ二つ以上の頭を以て万事
	も	142	06	旨く出来ないもので御坐ります．小説家	も	たとひ其の文章が流暢なばかりではいけません．
	も	221	17	ものと思はれます．さて京伝以来，三馬	も	種彦も画入読本と云ふものを作りましたが奇怪な
	も	222	01	興行して居るホトトギスと云ふ狂言など	も	種彦が作つた読本から出たものだが殊に残酷なも
	も	091	15	も私は年たけて居りまして．海にも陸に	も	旅をして二回ばかり地球を周りましたが耶蘇基督
	も	203	15	ん．このＨａｌｌｅｙの彗星は其の前に	も	度々出たことが有ると云ふことがアトで知れまし
	も	257	14	ありまする．斯くの如く貧民救助の中に	も	単に救助に止まるものも有り，又は救助と犯罪人
	も	255	05	が有つてムヤミに人の道徳内の悪事まで	も	探索して之を持ち出しました．警察に於ては法律
	も	218	13	を専らとして書いたので有るからドレに	も	男女の間がらのことが多い．しかし折々は天人が
	も	034	02	間の食物の様になつて居るのは西洋の人	も	歎息して居ることで有ります．一体御承知の通り
	も	168	04	るべきことで丁度子供が成長したり智慧	も	段々と開けたりするのと同じやうなもので，これ
	も	108	15	ふより外はありますまい．然れば誰も彼	も	端艇に乗うといふ考へはあつたらうと考へる．ま
	も	206	08	大きな楕円を書いてＨａｌｌｅｙのより	も	小さいので有ります．其れからして，この外にイ
	も	186	11	異にするものゆゑ随つて其の事業も責任	も	違ふことは教へますが其の品位に至つては更に高
	も	021	09	の開けない時分には人間は高慢で日も月	も	地球のグルリを回つて居る．動物は地球の表面に
	も	022	03	ひ有りませぬ．そこで其の通りにイクラ	も	地球の仲間が有ると云ふことを申し上げましたが
	も	030	13	ますとアマノガハは星のかたまりで太陽	も	地球の仲間もそこの中に居るに違ひない．其れで
	も	212	04	かりはしないかと云ふことですが，其れ	も	地球の一部分だけかも知れません．其のぶつつか
	も	159	13	に不服を言ひます．ナゼならばドウして	も	地質学で実験して見ると地球は一度に造つたもの
	も	182	13	尋ねたら如何で御坐りませうか．上等に	も	中等にも矢張万人に一人の割合だといふことが出
	も	116	13	ふことをせぬやうにしたれば去年も今年	も	腸胃痛が起らなかつたを見れば全く酒を節した効
	も	140	02	．またイギリスの故宰相ジスレリーなど	も	長技は何で有ると言へば矢張り小説で御坐ります
	も	019	02	とも云ふ星で有ります．これは太白星と	も	長庚星とも言ひ或は金星とも言ひます．昔し或る
	も	252	05	ときはナホあぶないと云ふので，これ等	も	懲治しなければなりませぬ．之を二た通りに分ち
	も	168	13	大層騒いだことがあつたといふが日本で	も	丁度其れと同じやうに騒ぎ立て大抵古いものは押

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（も）	も	114	14	て，飲食の欲の方は他の動物にも人類に	も	通じて有るから動物的の欲と言ふぢゃ．今，犬猫
	も	272	09	獄署を置かれましたので北海道の集治監	も	通常の監獄も皆な北海道庁監獄署と云ふ部に這入
	も	113	12	抑々飲食は人類ばかりで無く広く動物に	も	通ずるもので至つて必要なものだと，いふことは
	も	016	08	随分遠く大きさも大分違ひますが兎も角	も	月は地球の党類には違ひないです．党類で有るの
	も	021	09	文学の開けない時分には人間は高慢で日	も	月も地球のグルリを回つて居る．動物は地球の表
	も	079	07	動物で御坐ります．世の中の動物は数へ	も	尽すことが出来ぬ程なれども進歩と云ふものは只
	も	220	06	経のことを書いた義経記などは事実より	も	作り事の方が沢山だらうと思はれます．しかしな
	も	116	11	が，あとで考へて見ると両度とも二三日	も	続いて酒を過したあとで，あつたから全く酒の為
	も	183	10	に雲泥の違ひが御坐ります．儒者の教に	も	妻が夫に対して貞操を守るべきことは随分喧しく
	も	183	12	す．然しキリスト教に於ては夫たるもの	も	妻たるものと同様に貞操を守るの義務あることを
	も	177	01	其の国々にまとめ何年の調べとして五年	も	積み十年もたてば何の国は往来は繁けれども移住
	も	043	17	たであらう．又今日文明開化になりたの	も	強い人種が弱い人種を打ち負かして勝を取りたか
	も	139	02	居る中に自然と感ずるものなれば其の感	も	強く且深くて誠に宜しきもので御坐ります．併し
	も	003	01	凌ぐことも出来れば暑さ寒さを防ぐこと	も	出来，船を造ることも出来れば敵の首を取ること
	も	039	08	が出来ぬ．殊に女子は身体も弱くて戦争	も	出来ぬから，なほさら殺さねばならぬ訳ぢゃ．又
	も	058	10	より来て諸君に面会しお話しを致すこと	も	出来，また諸君が東京より奏楽者を聘して奏楽を
	も	060	09	て仮名つき新聞も満足には読み下すこと	も	出来ぬくせに忽ち学者ぶりて働くことを嫌ひ，田
	も	064	16	国益となるべき立派な他の業を営むこと	も	出来ませう．又従つて二十余万の人の健康を害す
	も	130	16	．実に面白いお話しで御坐ります．数へ	も	出来ぬ日月星を含む所の大空が人の色々の新論，
	も	138	16	あれば随つて社会の道徳を改良すること	も	出来まする．政治小説には其れに連れて政治を改
	も	145	11	費と云ふ金のいることが有る．併しこれ	も	出来ないことは有るまい．彼の演劇改良会では金
	も	146	07	て出来たなら間接に風俗を改良すること	も	出来，道徳の腐敗を防ぎ社会を改良することも出
	も	146	07	，道徳の腐敗を防ぎ社会を改良すること	も	出来やうと思ひますれば此のことは是非やつて貰
	も	148	17	からソコに気を付けなければ要用な調べ	も	出来ませぬ．また年齢のことにしましても徴兵年
	も	163	15	たのを見れば酒の為めに天下を執ること	も	出来ずにしまつた．酒の為めに物事に失敗すると
	も	171	09	ありませう．また十日平均位に行くこと	も	出来ませう．一昨日，亜米利加に行つて居る私の
	も	175	10	．人があり余ると人力ではドウすること	も	出来ませぬ．外国に出て外国に慣れるやうにしな
	も	175	12	争ふやうになつて身に着，口に食ふこと	も	出来ず，出来ぬからとて食はずには居られぬので
	も	177	04	りませうし，また変つた有様を見ること	も	出来ませう．其の年々の大数を得るに従つて其の
	も	177	09	予じめ国人増殖の後難を防ぎ止むること	も	出来，益々日本帝国を繁昌させることが出来ませ
	も	212	15	学上，何物たるかと云ふことを言ふこと	も	出来ませう．先づ其れまではお預かりにしておき
	も	223	11	古事を取り込み，また狂言作者と云ふ者	も	出来て続き狂言を作り元禄，宝永の時分になつて
	も	223	15	時分から有つたもので追々遣ふ者の上手	も	出来，浄瑠璃と云ふものが段々流行して其れに合
	も	231	17	が自ら議会へ出て討論をすると云ふこと	も	出来まする．此の如く干渉することは有りますが
	も	235	01	日本でも後には日本の言葉で高尚な学問	も	出来，また先生も十分に出来ると云ふやうになつ
	も	236	08	とゆゑ如何ほど志が厚くつても思ふ半分	も	出来なかつた．其れが一つの大難事で有つた．モ
	も	003	02	を造ることも出来れば敵の首を取ること	も	出来るけれども方便の方はたゞ之を知つて居ても
	も	058	11	奏楽者を聘して奏楽をお聞きなさること	も	出来ると云ふのは何でありませう．必竟我が邦が
	も	121	05	言ふ人間の品位と云ふものを上げること	も	出来る様になりませう．「酒を飲む為めに人間の
	も	139	04	壊してしまふことも風俗を紊乱すること	も	出来る．之を害用するときは甚だ深い害が出て参
	も	142	03	，たゞ柱を削り塀を塗るは普通の職人に	も	出来る．小説家は其の仕組をこしらへたる上に仕
	も	146	01	良すれば其れが手本になつて面白いこと	も	出来る．また其の小説をこしらへて利益が有るか
	も	234	06	学生も帰つて来るし日本の大学の卒業生	も	出来るから，さう云ふ人が後に日本語の専門学校
	も	003	01	の智識をこちらへ得れば風雨を凌ぐこと	も	出来れば暑さ寒さを防ぐことも出来，船を造るこ
	も	003	02	さ寒さを防ぐことも出来，船を造ること	も	出来れば敵の首を取ることも出来るけれども方便
	も	005	01	い毛の筆で偏冠りを正し二時間も三時間	も	手習ひなどをして居るものでは無い．ドシドシと
	も	193	04	執行権力が天子に在れば行政権も裁判権	も	天子に属して居ります．政府は天皇陛下及び内閣
	も	193	07	た通りのことです．其れから行政のこと	も	天子がなされるですが行政府のことは今日の講談
	も	038	12	では野蛮の国と文明の国とは善悪も邪正	も	顚倒して道徳は其の時の社会を維持し且進歩を営
	も	254	07	まして第三の仕事を知らざる者も，これ	も	ドウも仕方が無いから，また盗賊を始めると云ふ
	も	190	15	，また司法裁判といふものにしろドチラ	も	同一の裁判であるのです．たゞ其の違ふ所は行政
	も	094	15	りませう．啻に諸君のみならず全国の人	も	同感で御坐りませう．実に同感ならざるを得ぬこ
	も	141	10	らぬ．斯様なことで有れば卑しめらるゝ	も	当然なることで有りませう．之を改良するには小
	も	115	01	て其の命の惜いといふ欲は飲食の欲より	も	貴い欲で有ります．一体，人類といふものは低い
	も	186	07	し男が神の恩恵を蒙るべきものならば女	も	同様に神の恩恵を蒙るべきものと致します．故に
	も	047	01	のみならず同じ開けた西洋の各国同士で	も	道理の立たぬ様なことをするのは互に社会を為さ
	も	167	01	，よく分りませう．見たばかりでは事実	も	道理も分りませぬ．さて，昔のは事実と道理とハ
	も	275	14	するの時機にまで到りましたから，これ	も	遠からずして其の効を奏することになりませうと
	も	036	11	よくつかふが宜う御坐ります，これは誰	も	トガメテの無いことでせう．どうか皆様のお骨折
	も	094	03	つても地理学上で言ふ土地では無く領海	も	土地にはいつて居るもので此の度の船の沈没した
	も	076	10	つて見ましたら，さうで無く法律も経済	も	ドチラでも諸君方の様に研究された方が何の学科
	も	035	08	く分りませう．己れの大切なる智慧まで	も	徳利の中へ質物にするとは何と無欲なものでは御
	も	210	17	した．ゆでられるのも寒えさせられるの	も	ドツチも有り難くない．また「地球が彗星に突き

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（も）	も	019	08	星と言ふ星が有りますが，これは歳星と	も	唱へます．支那では昔し貴まれたもので，正月元
	も	245	09	しなければなりませぬ．と申して私は何	も	土木，衛生，勧業，教育，等は一切，行政権で関
	も	006	02	になつて居るから羅馬字のことを言つて	も	取り合はない．兎角，人は一方より外には見るこ
	も	200	07	こゝで諸君がお疑ひなすつて「先の彗星	も	ドンナ形ちで尾の長さがどの位，心の大きさがど
	も	002	01	といふお方がお出になりました．一面識	も	ないお方では有りますが，お目通りを致した所，
	も	011	04	るかかういふ問題をかけましたら「造作	も	ない問題だ，誰でも答へが出来る」と言はるゝで
	も	030	04	少くなる．大きな粒々とした星はさうで	も	ないが小さな星がアマノガハの方に行く程多いで
	も	102	04	るが獅子の様な勇もなければ虎の様な威	も	ないと考へる．これが即ち軽蔑を受ける一つの原
	も	002	08	名組だからといつて左袒したといふ訳で	も	無い．たゞ月の部は人数が多い，雪の部や花の部
	も	008	08	粒の中の盛なので外を見れば盛でも何で	も	無い．他国の有様を見れば気違ひにでもならなけ
	も	016	16	生活は出来ませぬ．月には空気も無く水	も	無い以上は人間は居る気づかいは無い．尤も全く
	も	035	12	もは善いと思ひます．其れは外のことで	も	無い「大いなる社会は大いなる欲，大いなる欲は
	も	092	04	て完全なる進歩を成就したる人はドコに	も	無いと思はれます．あまり御話しが長くなります
	も	094	16	此の悲歎と此の憤怒の感情よりして証拠	も	無い者を以て有罪であるといふのは法理の許さな
	も	101	17	な威があるが日本人はヤマアラシの勇気	も	無い．即ちチョイとツッツクとプーと怒る．怒る
	も	102	11	の実際の有様を知つてる人は万人に一人	も	無いは勿論，日本はドウいふ国やら日本は支那の
	も	115	10	つ人類に必要のことが有る．其れは外で	も	無い，人類といふものは品行をよくしなければ，
	も	116	09	また酒の為めに品行を乱したといふ覚え	も	無い．されども二三年前の春二年ほど続いて腸胃
	も	145	02	．其れも急激に致したとて間に合ふ訳で	も	無いから徐々と叶らなければなりませぬ．併し一
	も	157	02	まで宮様が教法の親方だつたが今は其れ	も	無いが，モト羅馬法皇は天主の代理だといふから
	も	165	15	位まで開けてゆくか其の事を書いたもの	も	無いから誰にも分りませぬ．人間社会のことを説
	も	169	02	い証拠で東漸とは形ちばかりで何の道理	も	無いものと見えます．丁度この時分に我が国の人
	も	191	07	た二つあるとも云ふことを論定したので	も	無い．モンテスキューの説を読んで見ましても裁
	も	214	15	の及ばない所をも識り得ると云ふトテツ	も	無いことになり，また演劇に至つてはナホサラ真
	も	218	17	のやうに斬つたりはつたりのことは夢に	も	無い．しかし能く味つて見ると，云ふに云はれな
	も	235	17	た．先生と云ふものも無く本と云ふもの	も	無い．初めはオランダ通事に習つたのだが其のオ
	も	236	03	容易なことでは分らない．字を引く字引	も	無いし，読む本も無いと云ふ始末でヨホド骨が折
	も	236	03	らない．字を引く字引も無いし，読む本	も	無いと云ふ始末でヨホド骨が折れて今ならば一月
	も	252	06	願懲治者と申しまして，また出願人は誰	も	無いが例へば東京の日本橋のやうな所で掏児でも
	も	255	13	の禄高を増して貰つたと云ふやうなこと	も	無いではありますまい．これ等の為めに今日の華
	も	142	09	，小説の改良が必要だとてお前達は品行	も	直せ学問も急に上達せよと云ふ訳にも参らず，こ
	も	241	02	も申されませぬから善く言ふも悪く言ふ	も	ナカナカ軽忽には言はれませぬ．よつて他人の為
	も	251	05	しまひましたが今日では人を殺した者で	も	ナカナカ容易に死刑に処するやうなことは致しま
	も	009	02	は誰も漢字廃すべからずの論を唱へる人	も	無からう．この子供等がオトナになつて千年の後
	も	063	02	がら安閑として囲碁や将棋を弄び何の益	も	なきのみならず衛生に害ある囲碁等にワザと時間
	も	178	05	帝国の将来を知るの方法あらば何の仔細	も	なきことなれば有志の学者は講究あらんことを切
	も	232	07	定して行ふことが出来ると考へて居る者	も	無きにしもあらずとか．此の種類の事柄は府県会
	も	278	10	諸君を益したらば私の幸ひは実に此の上	も	無きことに御坐います．なほ，監獄の取締法，役
	も	101	14	も疑ふものもなければ反対を試みるもの	も	なくて直ちに之に雷同し，また直ちに之を打ち捨
	も	227	12	ります．大名は何であるかと云ふと，テ	も	なく一地方の君主の如きもので，フランス語で云
	も	002	07	つたといふに私は別にこれぞといふ考へ	も	無く，昔の通りに仮名遣ひをして見ようといふ仮
	も	016	16	は人間の生活は出来ませぬ．月には空気	も	無く水も無い以上は人間は居る気づかいは無い．
	も	048	13	国威を輝かさなければならぬと云ふこと	も	無く彼我の差別も漸々に薄くなりて来て，そこで
	も	073	11	に必要なる点に至りましては固より優劣	も	無く同一のもので御坐んす．而して其の必要の度
	も	089	03	りませぬ．基督教は決して人に諂ふこと	も	無く恐るゝことも無くして人の真の有様を示しま
	も	089	03	は決して人に諂ふことも無く恐るゝこと	も	無くして人の真の有様を示しまた人の種々の不足
	も	091	04	の勇気を御覧なされ，この人は怠ること	も	無く臆することも無く命にかけて天国の為めに常
	も	091	04	れ，この人は怠ることも無く臆すること	も	無く命にかけて天国の為めに常に骨折りしたこと
	も	116	09	為めに大いに身体を悪くしたと思ふこと	も	無く，また酒の為めに品行を乱したといふ覚えも
	も	132	09	したもので御坐りますれども聖書はキズ	も	無くカケメも無く盛んに世に生存するもので，有ります．この
	も	132	09	坐りますれども聖書はキズも無くカケメ	も	無く盛んに世に生存するもので，有ります．この
	も	136	01	出まして其の庭を見ますれば誠に面白く	も	無く，また分らぬやうに見えます．けれども遂に
	も	136	05	で御坐ります．下から見れば面白いこと	も	無く分ることも御坐りませぬ．二階の高い所から
	も	142	08	凡な人でなければなりませぬ．また見識	も	無くてはなりませぬ．併しながら今，小説の改良
	も	196	14	も有りはしないか」などと思ふ人は一人	も	無く，太陽は朝出て毎夕ひつこむのが当り前だと
	も	235	17	ことが容易で無かつた．先生と云ふもの	も	無く本と云ふものも無い．初めはオランダ通事に
	も	175	08	家族でも子がみな死ぬと親も先きの望み	も	なくなつてしまふと同じ道理であります．併し人
	も	197	02	だと云ふことが知れゝばモウこはくも何	も	なくなる．其れと同じことで有ります．天文学は
	も	083	14	ず道徳の進歩が無ければなりませぬ．さ	も	なければ完全なる進歩が迚も出来ませぬ．第五，
	も	101	14	ひ仮りにも改革といへば一人も疑ふもの	も	なければ反対を試みるものもなくて直ちに之に雷
	も	102	04	矢鱈無性に威張りたがるが獅子の様な勇	も	なければ虎の様な威もないと考へる．これが即ち
	も	003	06	ものでは無い．寝る時間も有り遊ぶ時間	も	無ければならぬ．そこで内八時間寝て八時間遊ん
	も	021	06	もソックリ有るに違ひない．其れに若し	も	無ければ其れの方が却つて解しにくい．そこで地

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（も）	も	075	02	等があつて，こはくてたまらぬから兵隊	も	無ければならず巡査も無ければならず又凡夫であ
	も	075	03	たまらぬから兵隊も無ければならず巡査	も	無ければならず又凡夫であれば僧侶に頼んで罪を
	も	164	02	めに身を立て家を興したといふ者は一人	も	無し，亡国廃家に至つた者は古来歴々としてある
	も	197	02	学生だと云ふことが知れゝばモウこはく	も	何もなくなる．其れと同じことで有ります．天文
	も	211	15	，起きて居る者も起きて居りまして少し	も	何も変つたことは有りませんだつたが其の時にヒ
	も	241	15	知らずしてカタッパシのことを聞かれて	も	何も役に立ちますまい．例へば或る人の邸を見に
	も	004	08	那人との競争と同じことで競争にも何に	も	ならない，其れこそアカンベーとやられてしまふ
	も	145	09	にもなり風俗を直し政治を改良する様に	も	ならうと思ひます．其れをするには困難するとこ
	も	215	11	し之を申すには西洋の小説も支那の小説	も	並べてお話しをしなければ面白くないが私は西洋
	も	040	17	などを殺すのさへも其の時には善い事に	も	なりたので其れが風習になり道徳の様になりて来
	も	049	03	なれども既に一時半を費して最早五時に	も	なり猶ほあとの演説も有ることであれば甚だ不完
	も	055	06	ならない様な訳で私どもも孫の頃は楽に	も	なりませうが今の所では漢字を読ませるのは惜い
	も	058	04	とを陳べても脳髄に這入らぬときは何に	も	なりませぬから私は極めて俗語で陳べます．併し
	も	145	08	の中には段々小説の真面目を顕はす様に	も	なり段々其の事業を拡張したなら遂に社会の道徳
	も	145	08	張したなら遂に社会の道徳を助ける様に	も	なり風俗を直し政治を改良する様にもならうと思
	も	175	17	へでも出稼ぎし移住して居るから大胆に	も	なり仕事も巧者になり商売も上手になり運動も自
	も	117	11	約したことが有ると自から奮発する心に	も	なるものだから成るたけ此の会を盛んにしたいも
	も	118	03	た方が固くなるわけゆゑ此の節酒会にて	も	成るたけ堅く約束を守る人の多く有るやうに致し
	も	004	08	ーと支那人との競争と同じことで競争に	も	何にもならない，其れこそアカンベーとやられて
	も	008	08	れは豆粒の中の盛なので外を見れば盛で	も	何でも無い．他国の有様を見れば気違ひにでもな
	も	047	13	も緬甸でも勝手のことをして実に道徳に	も	何にも構はぬ．又耶蘇教師までも其れを何とも思
	も	047	15	せに，さういふ大きなことになると少し	も	何とも言はぬことぢゃが其れが自然今日にありて
	も	184	08	の女を娶ることが出来ては一夫一婦の教	も	何の役にも立ちません．自分の気に入らぬと云つ
	も	211	04	，地球に彗星が何十何まん遍突き当つて	も	何とも無い」と言ふ者も有りました．しかし両方
	も	143	04	象を写すが如きもので有る．其の流派に	も	南北宗或ひは狩野派其の他種々の流派も有れど，
	も	005	07	坊主の毛をきり支那から留学生の一万人	も	二万人も西洋へ行く様にしたい．この間の戦争に
	も	027	08	時間はかゝりませぬ．月まで行きますに	も	二セコンドはかゝりませぬ．其れがαＣｅｎｔａ
	も	145	14	の外，金のダシテが有つて私も一万円私	も	二万円を出しませうとてモハヤ十五六万円あるさ
	も	005	11	日の通りになつたのは当り前．我が国に	も	二十年ほど前にさういふことが有りました．ドウ
	も	015	02	ります．地球上で測量をしますにも十里	も	二十里も先きを一々間縄を打つたり足ぶみをして
	も	236	05	二月かゝつて出来ることを十年かゝつて	も	二十年かゝつても出来ない位で有つたが，さう云
	も	221	15	て滑稽を述るのに妙を得，為永春水など	も	日用の言葉を以て一家の人情本を作りましたは何
	も	021	08	の住つて居ると同様に火星の表面の上に	も	人間か人間の様なものが住つて居るに違ひ無い．
	も	263	04	しは区別を致すのも有りますが其れとて	も	年令，罪質，犯数，等の区別によつて其の雑居の
	も	175	13	共食ひ同士倒れになり我が日本国の将来	も	望みの無いことになりませう．このことは吉事で
	も	235	01	分は飾りものになつて来ました．日本で	も	後には日本の言葉で高尚な学問も出来，また先生
	も	185	15	は男女同等の教で御坐ります．前の弁士	も	述べられた通り我が邦に於ては儒道仏道の行はれ
	も	163	06	田勝家に酒を飲ませ其れから明智光秀に	も	飲めと言つたが光秀は飲めないと言つた．光秀は
	も	062	04	きは人之を見て某はこの暑いのに人力に	も	乗らないで，あるいて居るケチなヤツだなどと評
	も	217	08	且は既に遊仙窟などと云ふ支那の小説文	も	舶来して人々の翫びとなつて居ましたからソコラ
	も	236	01	ダ通事に習つたのだが其のオランダ通事	も	初めは蘭字を習ふことは禁ぜられて蘭語を仮名で
	も	230	09	の中を外れて居ります．フランスの例で	も	外れて居りますが日本でも郡には郡有財産と云ふ
	も	065	07	きですから之をして進ましめやうとする	も	将た退かしめやうとするも偏に先覚者の方寸にあ
	も	023	02	，化学の元素よりは甚だしく毎年いくつ	も	発見されますから今日申した数が明日はウソにな
	も	262	17	所に集めて仕事をさせるときは如何して	も	話しをしない訳には参りませぬ．其れで話しをす
	も	052	12	いじやう」とやる様になり手紙を書くに	も	甚だ困る．其の外一旦に大決断をやるのは宜い様
	も	241	13	にお問ひなさることが，区々になつて私	も	甚だ惑ひます．といふものは例へば国事犯罪人の
	も	196	08	の方ばかりでは無く，西洋では東洋より	も	甚しく，こはがつたものと見え「箇様箇様の彗星
	も	091	15	が貴い血を流したので御坐ります．申す	も	憚り有る様なれども私は年たけて居りまして．海
	も	006	15	せぬか．さういふ訳で有るから私は一刻	も	早く漢字を無くなしたいと申した所が，さううま
	も	008	02	んじて漢字を用ひて居る人が多い．一刻	も	早く無くなすことに気を付けなければならないの
	も	275	07	は毒をたべさして殺すと云ふやうなこと	も	流行つたり，また拷問などを致しまするので，今
	も	017	14	球より小さいけれど太陽の方は地球より	も	遙に大きい．其れのみならず月が地球のグルリを
	も	151	15	転させる機関をいふもので定義は小さく	も	範囲は広いから此の学は一科の学問になつて居り
	も	166	06	いふとサー分りますまい．時といふこと	も	半分は分つて居る様なもののこれから後，幾年あ
	も	120	09	の節は私の居る神保町近辺を通つて見て	も	麦酒屋が沢山に出来ました．昔は私の居る近辺は
	も	197	14	ることの知れたのは学術の話しにはイツ	も	引き合ひに出るＮｅｗｔｏｎからで有ります．Ｎ
	も	199	02	抛物線に近くなります．最初は円い精円	も	引きのばすと其の一部分だけは殆んど抛物線に違
	も	275	08	りませぬ．然るに維新の改革と共に監獄	も	非常の改良を受けまして明治十四年九月十九日の
	も	218	02	以て和文を作るにも言語の学問をするに	も	必要なもので有ることは云ふまでも有りませぬ．
	も	118	01	が此の会はこれでよいと思ひます．若し	も	人に虚言をつくやうな人ならば節酒会にも，はい
	も	123	02	むつかしいことでも有りますまい．先刻	も	人が参つて話しましたが其の人は木曽の三尾と云
	も	131	01	た人間の心に植えられたる所の道徳の法	も	人の色々の浅ましい論によつて容易に変るもので

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（も）	も	175	06	ることが今申した通りであれば後々とて	も 人が殖えませう．若し人が減つて来たらモウ望み
	も	236	10	はれたので医者などが西洋医者になつて	も 人に信ぜられぬのみならず始終，人に悪まれて少
	も	147	08	行政法との関係より始めて並べて見るの	も 一つの順序でありませう．さて，スタチスチック
	も	113	06	ば学問を修業するなどといふことは少し	も 非難すべき廉は無いが其れですら節せずに余り度
	も	237	04	かり昔のことで有つたが其の時分でさへ	も 開けぬ藩では西洋のことを学ぶのは甚だ悪む有様
	も	262	11	て，これは一房に一囚をおきまして，夜	も 昼も他の囚徒と面を見合すことも，話しをさせる
	も	123	06	実に妙な慣はしではありませぬか，日本	も 広いことだから随分穿鑿をしましたら酒に付ては
	も	176	05	きくするので，あれば本国なる日本帝国	も 広く大きくなるに，つれて其れに相応して手段が
	も	224	09	なりました．其れゆゑ維新以来は官から	も 不都合のことは禁ぜられ，また世上にも色々と風
	も	252	16	年には教育を与へ教諭を施し，これにて	も 不充分なるがゆゑ，また懲戒を与へると云ふ此の
	も	139	03	ますと随分，道徳を破壊してしまふこと	も 風俗を紊乱することも出来る．之を害用するとき
	も	121	04	ると云ふことが分れば自然と節酒する人	も 殖えませうし随つて西洋人の言ふ人間の品位と云
	も	122	03	女などが殖えます．これは外のことから	も 殖えるで有りませうが酒の為めに殖えることが有
	も	270	14	る．俗に智識がひろまるほど不良の奸智	も 殖ると申す者が有りまするけれども，これは皮想
	も	120	16	ますが日本では此の事に就ては今まで誰	も 深く注意して論じた者は無くたゞ「随分飲んでも
	も	215	12	私は西洋の小説は勿論，支那の小説とて	も 深くは読みませぬ故にたゞ持ち前の我が国のこと
	も	168	12	戦ふとか何とかイヤモウ大変で何も，か	も 吹き倒さんずる有様でありました．西洋でも千百
	も	232	11	，たゞ法理ではコレコレのことは是非と	も 府県会の決議を経て行へ，但し諮問の場合に於て
	も	159	09	子の学問とも孔子の教とも言ひ，仏学と	も 仏教とも言ひました．西洋の教へ方は天で，天主
	も	220	04	どは作り物語だと云はれましたが如何に	も 文章の面白いだけにお負け話しが有ることで有り
	も	014	01	ゝする様になりまして我々の世界の外に	も 別に之に似たものが有るといふことが知れる様に
	も	041	08	ことぢゃ．昔開けぬ時分には道徳も法律	も 別に区分が付ては居らぬ．道徳と云ふても法律と
	も	003	14	マの為めに稲を植るヒマも水車改正の時	も へづられて電信機の改正もせずに机の前に坐つて
	も	006	07	るのが有る．諸県へお役で出た人の話に	も 偏がドウだとか傍がドウだとか言つて虫の講釈を
	も	065	07	めやうとするも将た退かしめやうとする	も 偏に先覚者の方寸にあることです．先覚者たる者
	も	205	08	せう．丁度同じ位なもの故，イツもイツ	も 彗星の出る度ごとに災が有ると云つて，こはがつ
	も	199	12	円と抛物線の関係が有るから彗星の軌道	も 抛物線のやうには見ゆるが事によつたら楕円の長
	も	041	08	り前のことぢゃ．昔開けぬ時分には道徳	も 法律も別に区分が付ては居らぬ．道徳と云ふても
	も	095	06	べからざるもので道徳上で責罰すること	も 法律上では責罰せぬことが御坐ります．故に道徳
	も	190	03	ものである．第二は行政府である．これ	も 法律規則の執行を為すので，行政府と政府の区別
	も	110	08	船長は四千弗の保釈金を出し其の外の者	も 保釈を許されたといふからには現に大金を持つて
	も	264	05	，また感化にも尽力し，且職業の教育を	も 施しますことになつて居りまする．第二は懲必*
	も	007	08	多いで有りませう．字が書けると地方で	も 賞められ書けぬと百姓町人までが馬鹿にする．其
	も	006	12	ウかと聞くとなかなか出来ない，いつで	も 本を持つて一枚一枚に一字づゝ講釈をする，本を
	も	055	08	漢字の本をやめて仮名の本を読ませたく	も 本が無いから涙を流して漢字をやらして居ります
	も	044	15	利して己の利益を顧みる勿れと云ふ主義	も 本当に行はれるもので無い．其れのみならず法律
	も	142	09	行も直せ学問も急に上達せよと云ふ訳に	も 参らず，これは徐々と計つて行かなければなりま
	も	077	04	経済は利を興すものであるとかいふ様に	も 参りませぬ．浅近の例を挙げて見ますと勉強して
	も	063	10	き所にて日本にては五分はオロカ一時間	も 前からステーションに詰めかけ待つて居る位の緩
	も	233	13	いことで有ります．丁度，今から十年余	も 前で有りましたらうが或る人が私に申しまするに
	も	179	14	坐ります．故にキリスト教は何処に往て	も 曲りたるは直くし嶮しきは易くし圧制らるゝ者は
	も	218	04	，水鏡などのやうな実事を書いたものに	も 巻々の標目を立てゝ小説めかしたのは同体の仮名
	も	055	06	を使はなければならない様な訳で私ども	も 孫の頃は楽にもなりませうが今の所では漢字を読
	も	132	10	といふのに人の色々の間違ひを駁つより	も 真の道理を設ける方が余程よいもので御坐ります
	も	132	14	の仕方で御坐りませぬ．僞りを倒すより	も 真を立てる方がよい仕方で御坐ります．第七．基
	も	163	02	充分に有つた人で随分場所柄もよく兵威	も 益々盛んになつたから明智光秀に弑されなかつた
	も	166	09	などの色々の学科の助けによつて世の中	も 益々開け行くこととなつて人間世界を調子よく今
	も	218	14	人が出たり妖怪が出る位の奇らしいこと	も 交ぜて有りますが源氏物語などは五十四帖もある
	も	145	16	には賛成の方で有るが此の演劇改良より	も また小説改良の方が区域が広からうと思ひます．
	も	181	11	則書にも見えた通り飲酒喫煙を禁ずるの	も また大事な改良で御坐りませう．酒の社会を害す
	も	181	12	に夥しいことで御坐りませう．煙草の害	も また随分少なからざることで御坐りませう．然し
	も	183	03	男子は妾を蓄ることを何とも思はず婦人	も また人の妾となることを何とも思はず甚しきは妾
	も	186	13	有の温柔謙遜の徳を貴ぶこと，其の他に	も またキリスト教が婦人の地位を高くし且，之に真
	も	058	08	ければならぬが併し物は一利一害で開化	も 亦開化の度に依つて種々のよしあしが御坐います
	も	059	13	瘡等の悪病より煙草，酒其の他の贅沢品	も 亦輸入いたしたでありませう．所で人間の性と云
	も	081	15	為す所また勉める所種々なれば人の進歩	も 亦たゞ一と筋のもので無く其の種類多く御坐りま
	も	082	01	付て人の進歩で御坐ります．学術の進歩	も 亦斯の如し学術が自分に進歩するもので御坐りま
	も	084	05	んで進み行くならば全国民の総体の進歩	も 亦川が流れる如くに進み行く筈で御坐りませう．
	も	084	08	と知れてあつたならば向ふに到着の時節	も 亦知れぬことで御坐りませぬ．さりながら人間社
	も	088	05	種々の必要なものが御坐ります．これ等	も 亦基督教の緊要なることを能く顕はす故に其の中
	も	088	14	いけませぬ．ニュージーランド島の土人	も 亦其の通りで御坐ります．英吉利の政府でも種々
	も	108	04	事を為すの結果，人を殺すに至つたもの	も 亦マーダーと為す如きものであります．そこで自
	も	125	01	が多けれども其の妨げと邪魔になるもの	も 亦少なからず．そこで私今専ら弁じたいと思ひま

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（も）	も	128	14	して御坐りませぬ．故に此の第二の仕方	も	亦よい仕方で御坐りませぬと存じまする．併しな
	も	135	05	狭いものと言はれるならば基督教の趣意	も	亦狭いもので御坐りませう．ナゼなれば基督教は
	も	165	11	は，むづかしいことで之を説くといふの	も	亦むづかしい．また，この題は一人一己の事を説
	も	185	02	姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶る者	も	亦，姦淫を行ふ者である」と仰せられましたが，
	も	186	04	免れません．而して此の不釣合を直すの	も	亦キリスト教で御坐ります．何となればキリスト
	も	191	08	は法律を執行するに止まる．政を行ふの	も	亦，法律を執行するに止まるものであるから行政
	も	260	05	たる上は更に寄附を受けざること．これ	も	亦，最も必要なことで，例へば一万円の年額を要
	も	019	16	望遠鏡で無ければ見えませぬ．此の外に	も	まだ有りますが此の位でおいて外のことに移りま
	も	063	09	を費び鉄道のステーションに於ても五分	も	待つて居るときは人皆な之を笑ふ位の忙しき所に
	も	207	02	今度は全く見えなくなりました．其の後	も	待つて居りましたがドウしても見えません．無く
	も	032	14	面白くなる．併しどの国の歴史を書くに	も	先づ其の国の地図から始めるが順序ですから私は
	も	124	06	業する積りである故に，これ等の為めに	も	全く無益で有るまいと希望いたします．併しまた
	も	187	08	行はれんとする時に当つて日本の婦人方	も	マリヤと共に「我心主を崇め我が霊，我が救主な
	も	060	09	にハヤお恥かしき次第にて仮名つき新聞	も	満足には読み下すことも出来ぬくせに忽ち学者ぶ
	も	181	10	加ふべきことは色々あつて既に規則書に	も	見えた通り飲酒喫煙を禁ずるのもまた大事な改良
	も	148	05	ものであるとかきめるので土地ばかりで	も	右の通りですが人員の部に付ても人員調査のこと
	も	119	10	い．其れは外では無い矢張り酒の事で今	も	三島先生のお話しの有つた通り酒は多く飲んでは
	も	008	05	間の競馬会社の開業式は一日ならず二日	も	三日も大騒ぎ，人は黒山の如く提燈は星の如く褒
	も	018	03	ムプも，そこでたいてありますストーヴ	も	皆太陽がたいてくれるので有ります．又我々が手
	も	018	04	ます．又我々が手を動かすも足を動かす	も	皆太陽が動かしてくれるので有ります．此のこと
	も	124	05	坐りますが，いづれの学校の生徒たる者	も	皆多年勉強して終に卒業する積りである故に，こ
	も	229	03	俗に八百八町あるとか云ひますが，これ	も	皆な此の数の中に籠つて居るとのことです．其れ
	も	243	07	皇陛下でありまするから立法権も執行権	も	皆な天皇陛下に在りまする．けれども一方に於て
	も	272	10	ましたので北海道の集治監も通常の監獄	も	皆な北海道庁監獄署と云ふ部に這入つてしまへま
	も	029	12	せう，雲かと思へば雲で無い晴天の時に	も	見ゆる，併しながら少し月が出たり何かすると見
	も	138	07	一ページ読みたまへと申されました．私	も	妙な医者だと思ひましたが其の意に随ひ其の本を
	も	210	02	定説も今日はすたり，今日，可とせし説	も	明日は否となるかも知れません．これも説を述べ
	も	178	01	キセの市中をハダカにて，かけまはりし	も	見る人はをかしかりけん．コロンボスがアトラン
	も	213	13	ばなりませぬが演劇の方は下等社会まで	も	見るものだから第一に世間の流行を追つて時の好
	も	029	16	，迚も銀などの及ぶことでは無い．其れ	も	昔は銀河はどんなものだかよく知れなかつたです
	も	138	16	には其れに連れて政治を改良することに	も	向つて参ります．また其のキヽメの深浅を云ひま
	も	249	04	其の宜しきを得ませぬければ警察も裁判	も	無効になりまする．また，警察と監獄が何ほど宜
	も	006	08	傍がドウだとか言つて虫の講釈をするに	も	虫の訳は説かないで字の講釈をするのが多い．勤
	も	008	15	意には今から子供に教ふるに一つには字	も	むづかしいのは成るたけ教へず，また一つには仮
	も	163	03	なかつたら大閤様も其の天下を取ること	も	むづかしかつたらう．信長の大業を成就すること
	も	008	04	て居れば安心高枕で得意になつて居るの	も	無理はない．この間の競馬会社の開業式は一日な
	も	059	01	と云ふ（居候が無くなつて先生のこまる	も	無理はない）位なことで今では其の居候ではない
	も	102	13	が分らず国の名さへも知らぬ様では軽蔑	も	無理はない．ノルマントン号の船長が不取扱なし
	も	193	06	されることである．其れから裁判のこと	も	無論，天子がなされるといふことは前にも申し上
	も	004	11	きな足で踏みつける様なものだが其の蟻	も	目のさめたのでは無い眠つて居る蟻である．だが
	も	120	08	世界に移住すると同じ様なもので日本へ	も	明治二三年頃から麦酒などが移住して来まして此
	も	200	09	其の形ちを比べれば直に分る筈ぢゃ，何	も	面倒な勘定をして其の軌道を調べなくても，よさ
	も	065	01	して馬車に代るは頗る緊要なことで日本	も	モウ少し文明が進歩し人智が開けて来たならば斯
	も	168	06	見て，いゝ気になつて居るやうでは日本	も	モウ其れきりに望みはありますまい．その新しい
	も	241	01	の配偶者となると云ふことが出来まいと	も	申されませぬから善く言ふも悪く言ふもナカナカ
	も	019	08	そばさらずが有ります．此の星を水星と	も	申します．次に木星と言ふ星が有りますが，これ
	も	042	06	いに有ることぢゃ．さて法と道とは先刻	も	申した如くモトは分れなんだが開けるに従ふて分
	も	104	01	英語を盛んにするのであります．前段に	も	申したるが如く日本人は浮薄の本性を備へ居りま
	も	261	17	の監獄の事を一言いたしませう．初めに	も	申しました通り，フランスにおきましては監獄の
	も	271	16	て置く所であります．故に之を未決監と	も	申しまする．第三，懲治場．こゝには刑法に於て
	も	278	03	と存じます．尤も此の講談に於ては前に	も	申しました通り陸軍海軍の監獄と国事犯のことは
	も	278	08	ゝには申し述ることは出来ませぬ．前に	も	申しました通り本論は専ら監獄全体に係る事柄を
	も	001	11	より参議方どころでは無く天子様にまで	も	申し上げたい位のことゆゑ此の機会失ふべからず
	も	193	06	無論，天子がなされるといふことは前に	も	申し上げた通りのことです．其れから行政のこと
	も	165	08	かつたと申すこと．然るに此のことは今	も	申す通り容易なことで無く共々に講究しなければ
	も	213	12	のは文字上のことで有るから其の面白み	も	文字を読む者に限り，また作者も多少の学問が無
	も	060	11	かぢりの不理屈を唱ひ父兄の言ふことを	も	用ひずして酒を呑み煙草を喫し無益の美服を飾り
	も	217	01	．其の中，竹取物語が始めで源氏物語に	も	物語の出来始の親と記して有ります．其の作者は
	も	176	15	其の地，其の人に網を張つたやうに一つ	も	漏らさぬやうに，しなければなりませぬ．箇様な
	も	241	15	ずしてカタッパシのことを聞かれても何	も	役に立ちますまい．例へば或る人の邸を見に行つ
	も	044	05	ぬことぢゃが其れと同じことぢゃ．仏法	も	耶蘇教も矢張り已むことを得ぬことをしたのぢゃ
	も	090	12	せぬ．仏蘭西のレナンと云ふ不信者さへ	も	耶蘇基督の性質と其の行状を頻りに称美いたしま
	も	090	13	たします．また近来様々の不信者の中に	も	耶蘇基督を直接に誹る者が滅多に御坐りませぬ．

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（も）	も	059	06	す．若しウソと思ふなら試みに二三年間	も やつて御覧なされ必ず無くなること請け合ひます
	も	224	15	やうなもので有りましたから此の後とて	も ヤハリ大いなる関係が有つて離れないことと思は
	も	028	17	で有ります．三つ以上組み合つて居る星	も 矢張り同じ様な運動をして居ますのが有ります．
	も	031	07	雲の様に見ゆるのも有ります．其れとて	も 矢張りアマノガハみた様な星のかたまりで望遠鏡
	も	044	05	ゃが其れと同じことぢゃ．仏法も耶蘇教	も 矢張り已むことを得ぬことをしたのぢゃ．併し極
	も	044	15	もので無い．其れのみならず法律の主義	も 矢張り主義通りには行はれぬことぢゃ．即ち己を
	も	044	17	なれども他を害してはならぬと云ふこと	も 矢張り今の文明と云ふ欧羅巴でも実際に十分行は
	も	182	14	如何で御坐りませうか．上等にも中等に	も 矢張万人に一人の割合だといふことが出来ませう
	も	186	06	し女が神の前に於て罪人であるならば男	も 矢張罪人であるし，若し男が神の恩恵を蒙るべき
	も	043	07	大層骨を折りて開いた．教法と云ふもの	も 野蛮の教法と開けた教法とは大いに違ふ．野蛮の
	も	014	10	地球の学問だと思つて居たに月の表面に	も 山だの谷だのが有るからは月が地球と似たもので
	も	020	09	ぎは火星で有ります．さて火星の表面に	も 山が有り谷が有るかと云ふに月の様に精密には知
	も	004	05	第に衰微する．交易上の競争は一日一刻	も 止む時の無きもので病の為めに人口が減らさるゝ
	も	008	16	少しづゝ時をかくれば覚えられる．漢字	も やらせるがよいが，むづかしい漢字はよして貰ひ
	も	245	08	から幸に之を利用して，これ等のことを	も やられる訳で万，已むを得ざるときは秩序安寧だ
	も	139	15	ます．フランスのビクトルヒューゴなど	も 有名な人ですが其の最も長じたる所は小説で御坐
	も	068	13	第一回の試験を受けて見習生となり少く	も 四年間実務の練習を致します．其れより第二回の
	も	181	14	の根本たる者があらうと存じます．若し	も 世の弊風を改めやうとならば先づ其の根本から改
	も	236	03	にむつかしいことで一つの言葉を知るに	も 容易なことでは分らない．字を引く字引も無いし
	も	253	11	ふまでには三月或ひは四月若しくは半年	も 要することで有りまするから濡れ手で粟を摑むと
	も	048	13	ればならぬと云ふことも無く彼我の差別	も 漸々に薄くなりて来て，そこで道徳も大いに行は
	も	012	07	ます．追々お話ししします中に問題の趣意	も よく分りませう．話しをあとに戻しまして日本は
	も	017	02	て見ると我々の家来の月は形から大きさ	も よく地球に似たもので有りますが其の表面に我々
	も	113	10	せねばならぬことぢゃといふことは誰に	も よく分ることで，ありませう．併しながら飲食と
	も	116	06	やうになり随つて身体も健康になり品行	も よくなるに違ひ無い．私も昨年から此の会にはい
	も	119	11	多く飲んでは宜しく無いと云ふことは誰	も よく承知して居ることで有りませう．酒の害が世
	も	163	02	だが才気は充分に有つた人で随分場所柄	も よく兵威も益々盛んになつたから明智光秀に弑さ
	も	163	15	．酒の為めに物事に失敗するといふこと	も よく知る．」また駿河の今川は歌舞を好み相摸
	も	173	11	ンはバタでも付いて居るやうで口へ通り	も よく，滋養もありさうな心持ちがします．諸君は
	も	195	05	東に当つて出ましたので，ドコの国から	も よく見えました．当時私はこゝからチト遠方のア
	も	081	06	御坐ります．若し其の内部の性質が何れ	も 能く完全して居るならば外部の有様は自らにして
	も	184	12	日我が邦に於て離縁の造作ないことは誰	も 能く知つて居ることで心ある者の常に憂へ且恥る
	も	209	04	ゆるなら宜う御坐りますが小さな星まで	も 能く見えます．頭の所はドウで有るかと云ひます
	も	117	03	た訳だから自分一人で節して居る時より	も 余計に慎まなければならない．この位は飲み過ぎ
	も	172	01	し勧めて，くれなからうものなら日本人	も ヨッポド阿片を飲むことになつて居ませう）外国
	も	116	15	束をすれば自分一人で，きめて居るより	も 余程よいといふは仲間で約束して虚言をつかない
	も	123	08	本さんの演説にも言はれた通り教育上に	も 余程な関係のあることだからドウか只今私の申し
	も	141	08	したらうが甚しきに至りては四書，五経	も 読めないものが有る．学問が無くつて品行が悪く
	も	001	04	今日この席に於て演説をすることは思ひ	も よらざることで御坐りました．然るに演説をする
	も	219	11	じた所が妻とすべき女は容儀にも芸能に	も よらず，たゞ心が落ち付いて深切で夫の相談相手
	も	185	10	め真正の幸福を得る等といふことは思ひ	も 寄らぬことで御坐ります．全体，日本にはドウし
	も	129	01	たものでは御坐りませぬ．国政家の中に	も 喜んで色々の無証拠な設理を受け容るものが御坐
	も	003	17	が其れも此の国独りで居れば今日の様で	も 宜しいが今日は我が国ばかりで成り立つことが出
	も	232	09	く諮問するだけの意味で，諮問しなくて	も 宜いと云ふのでは学問上，決して御坐いますまい
	も	128	12	係したるもので有るか無いかと問ふこと	も 宜う御坐りませう．卒業生が各国の学者たちの判
	も	117	14	あれど其れは左様な会が有つたらば其れ	も 宜しからうが私は其れには，はいらなくつてもよ
	も	117	17	とぢゃから此の類の人は禁酒会を設くる	も 宜しからう．其れは決して悪いといふでは無いが
	も	261	04	．其の方法は異名又は番号を以て行つて	も 宜からうと存じまする．前に段々と論じて参りま
	も	182	03	間柄が宜しきに適はなければ親子の間柄	も 宜しきに適ひませんし親子の間柄が宜しきに適は
	も	039	08	してはクラシが出来ぬ．殊に女子は身体	も 弱くて戦争も出来ぬから，なほさら殺さねばなら
	も	122	13	で有りませう．就ては此の節酒会の会員	も 四百五十人ばかりも有ることだからドウいふ塩梅
	も	057	13	衛生会の声を聞くのみならず今日の如き	も 来会せらるゝ者一千余名もある様ですが斯く衛生
	も	075	15	を加へぬ其の儘の説で御坐んす．兎も角	も 利を興す方のガハに使用するのは積極的のもので
	も	091	15	なれども私は年たけて居りまして．海に	も 陸にも旅をして二回ばかり地球を周りましたが耶
	も	237	06	を学べば自分の身を害することは有つて	も 利することは到底，望みは無かつた．けれども左
	も	090	11	で御坐ります．併しながら耶蘇基督より	も 立派な模範が御坐りませぬ．仏蘭西のレナンと云
	も	142	04	の仕組をこしらへたる上に仕上げまでを	も 立派にやらなければならぬから凡才では中々いけ
	も	189	14	干渉することがあり，また執行権の方に	も 立法権が干渉することがある．といふものは内閣
	も	215	01	に尊まれ其れから劇場に見物に行くのに	も 礼服を着けて見物に行くと云ふことで殊に近日西
	も	159	08	を三聖と唱ひ其の時分には老子の学問と	も 老子の教とも言ひ，孔子の学問とも孔子の教とも
	も	206	10	ｉｅｌａの彗星と云ふて，この人がイツ	も 六七年目には戻つて来ると言ひましたが，しかし
	も	006	03	併し考へて見れば外の方も分る，考へて	も 分らないでは無からう，考へさへすれば分るだら
	も	015	14	などと言つては，どの位の距離だか少し	も 分らない．だから寸や尺で間に合はない処は間で

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（も）	も	079	14	ませうか．先づ進歩と云ふ漢字の和訓で	も	分りませう．即ちスヽミユクと云ふことで御坐り
	も	165	15	くか其の事を書いたものも無いから誰に	も	分りませぬ．人間社会のことを説くのは今研究中
	も	167	01	分りませう．見たばかりでは事実も道理	も	分りませぬ．さて，昔のは事実と道理とハナレバ
	も	201	04	の様に分ることなら何月何日と云ふこと	も	分りさうなもの」とお疑ひになりませうが，そこ
	も	006	03	を知らぬもの．併し考へて見れば外の方	も	分る，考へても分らないでは無からう，考へさへ
	も	024	15	理では無い他人が太陽系と付けましたの	も	私の言つた通りの訳柄だからで有ります．」さて
	も	235	13	，其の後，砲術に移りました．尤も天文	も	渡りましたが其れは僅かで先づ一番は医術，其れ
	も	246	05	い事をした日から何十年の間，死ぬまで	も	悪い人と云ふ訳では決して無い．則ち其の所行が
	も	241	02	出来まいとも申されませぬから善く言ふ	も	悪く言ふもナカナカ軽忽には言はれませぬ．よつ
	も	013	14	ふことに自然と眼が着きます．併し若し	も	我々が非常に近眼で五里か十里先きのものが見え
	も	018	03	るので有ります，こヽに燭しますラムプ	も	，そこでたいてありますストーヴも皆太陽がたい
	も	028	05	出立した明りは一万年から三万年ばかり	も	，かヽらなければ地球まで来ない．三万年の昔こ
	も	033	16	つでも酒が媒になりまして新聞紙などに	も	，いつ何会が盛会であつたとか大変な愉快であつ
	も	045	15	悪いこととは申されぬぢゃ．又いつまで	も	，やまぬであらうと云ふことは政府が刑罰の権を
	も	059	08	せらるヽので兵士の病気が減じたと云ふ	も	，これ皆開化の効能でありますが，これは開化の
	も	096	08	のは恐らくは怠つたものであらうと言ふ	も	，これは情況上のことで御坐りまして充分の証拠
	も	116	12	く酒の為めだと思つて其れからは自分で	も	，さういふことをせぬやうにしたれば去年も今年
	も	118	02	人に虚言をつくやうな人ならば節酒会に	も	，はいらぬ方がよい．一体，一人で孤立して守る
	も	120	02	其れ等は表に見ゆるから予防をすること	も	，かなへますが酒疫の方は内心に起るもので有つ
	も	127	05	其の論はかたい論にして中に面白いこと	も	，また有益有用なることも多う御坐ります．故に
	も	133	17	来ましたので御坐る．昔は極軽い事柄を	も	，かの人に任せることは出来なかつたれど今，我
	も	139	15	みさんまでが其のクシャミの仕様までを	も	，うかゞつて居ます．フランスのビクトルヒユー
	も	153	14	ら外に出してはいけないなどといふこと	も	，きめます．この行政法といふものは一国の憲法
	も	166	05	最中で其の事実といふものが半は分つて	も	，まだ半は分りませぬ．たとへば引力の働きは分
	も	167	07	さつきの宇川さんの「離縁の話し」など	も	，まだよく分らぬことだが段々気が付て来たから
	も	168	12	しても戦ふとか何とかイヤモウ大変で何	も	，かも吹き倒さんずる有様でありました．西洋で
	も	175	07	らこそお互に勉強して，むづかしいこと	も	，やりとげやうと，いふので額に汗を流して骨も
	も	191	07	で権力即ち大権といふものが三つあると	も	，また二つあるとも云ふことを論定したのでも無
	も	197	01	驚いてドロボウでは無いかと思ひまして	も	，其の帽子を看て大学の学生だと云ふことが知れ
	も	219	05	も男の文の体や風聞によつて，ゆかしく	も	，きらはしくも思ひ，また其の親も其の文が気に
	も	222	02	残酷なものでは有りませぬか．馬琴の作	も	，始めは同じやうで有つたが晩年には注意して意
	も	224	17	立派な人の仕事となりまして看る人の意	も	，これまでとは格別で有りますから数年ならずし
	も	236	12	志を堅く立てて人に嫌はれても忌まれて	も	，やり遂げやうと云ふので其の大難事も追々に減
	も	254	07	様でありまして第三の仕事を知らざる者	も	，これもドウも仕方が無いから，また盗賊を始め
	も	262	12	て，夜も昼も他の囚徒と面を見合すこと	も	，話しをさせることも有りませぬ．此の方法は悔
	も	060	04	が無かつたが此の節は開化して猫も杓子	も	（と云つて杓子の絹衣はまだ見ぬけれども）着て
	も	035	03	べた様なことは致しませぬ．西洋の諺に	も	「酒が腹中に入れば，智慧は徳利の中に入る」と
	も	161	13	りには兎角喧嘩などをするもので荘子に	も	「陽に始りて陰に終る」とかいふて有るが実に其
	も	215	09	おき」と読ませましたが私の此のお話し	も	「アダシゴトは，さておき」と致して小説と演劇
	も	255	02	獄が悪いのでは決して有りませぬ．今で	も	「あれは監獄の役人で有る故におれの娘は嫁にや
	モ	142	10	行かなければなりません．これに付て，	モ	一つ小説の改良を計らねばなりませんが源氏物語
も もう	モ	017	16	ルグルと回つて居る．さうすると我々は	モウ	威張れない．今までは月を附属にして居つたが
	モ	207	03	まひました．ところが不思議なことには	モウ	大かたＢｉｅｌａの彗星が地球のソバに帰つて
	モ	197	02	看て大学の学生だと云ふことが知れヽば	モウ	こはくも何もなくなる．其れと同じことで有り
	モ	012	03	問題も其れと同じ様に段々とおしつめて	モウ	これから先きは今日の学問の有様では分らない
	モ	165	05	総集会で御坐りますが祝詞は皆さんのでし	モウ	充分だから私は別に述べませぬ．私が今日述べ
	モ	025	16	しが最早間に合はなくなつて来ますから	モウ	少し大きい物さしでなければなりませぬ．今度
	モ	029	08	てチットづヽ分りかねて参ります．併し	モウ	少し分るものが有る．其れは何で有りますかと
	モ	065	01	て馬車に代るは頗る緊要なことで日本も	モウ	少し文明が進歩し人智が開けて来たならば斯の
	モ	168	06	て，いヽ気になつて居るやうでは日本も	モウ	其れきりに望みはありますまい．その新しい物
	モ	168	11	日本を焦土としても戦ふとか何とかイヤ	モウ	大変で何も，かも吹き倒さんずる有様でありま
	モ	088	12	知らねども其の儘で満足して居ります．	モウ	多年米国の政府が骨折つて教訓いたしましたこ
	モ	247	01	地方に於ては母親が子を生むと「これは	モウ	何人目だから元へお戻し申さう」と云つて直ち
	モ	175	06	人が殖えませう．若し人が減つて来たら	モウ	望みは無い．減らぬからこそお互に勉強して，
	モ	026	16	で有りますが近いと云つても随分遠い．	モウ	一つは白鳥宮といふ所の六十一号の星で今申し
	モ	057	16	を陳べやうと思ひますが其の演説の前に	モウ	一つ諸君に向つてお断り申すことがあります．
	モ	115	09	，言つたのは身体に付て言つたことだが	モウ	一つ人類に必要のことが有る．其れは外でも無
	モ	158	08	めると段々に知れるやうになりませう．	モウ	一つ話しませうが其れは雷であの人は．あの人
	モ	198	16	此の二つの線の中でなければならない．	モウ	一つ双曲線と云ふものが有りますが其のことは
	モ	210	03	られぬ一つの理由で有ります．其れから	モウ	一つ世間にやかましい問題が有ります．其れは
	モ	236	09	かつた．其れが一つの大難事で有つた．	モウ	一つの大難事と云ふは西洋のことを学ぶと云ふ
	モ	206	14	えなくなりました．其の後に天文学者が	モウ	戻つて来さうなものだと待つて居りますと今度
	モ	170	17	民が多くなつて土地が狭い位で向ふでも	モウ	，チット広ければよいと思つて居る位で，また

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
もう	妄	105	14	の如く誤認せる論者に対しては一言其の	妄	を弁ぜねばなりませぬ．若し該言渡にして論者の
もうくる	設	253	03	る．付てはこれ等の者の為めに矯正院を	設くる	ことになつて居ります．この矯正院と言ふの
	設	260	14	べきもので有りまする．第六，監督者を	設くる	こと．これは相当の方法が立ちました上は或
	設	117	17	有ることぢゃから此の類の人は禁酒会を	設くる	も宜しからう．其れは決して悪いといふでは
もうけ	設	243	09	また一方に於ては政府即ち内閣大臣等を	設け	之に執行の事を掌らしめ．天皇陛下が此の二大
	設	117	10	に致したいもので有ります．すべて会を	設け	てすると一人でするのとは違ひますから会を立
	設	148	01	必要であると言へば測候所といふものを	設け	て其の費用は国庫より支弁するとか府県会で出
	設	243	07	けれども一方に於ては元老院等の議会を	設け	て国民全体の望みに適ふやうに事を議決せしめ
	設	244	01	る如く立法権事務は元老院，又は国会を	設け	て之を行ひ，執行権事務は政府と行政権と司法
	設	244	02	執行権事務は政府と行政権と司法権とを	設け	て之を執行しますれば，これだけにて天下のこ
	設	251	15	を論せずして，たゞ懲治場と云ふものを	設け	て，こゝでイクラかの間これが心を矯め直すこ
	設	254	10	由よりして放免者保護会社の如きものを	設け	て或ひは仕事を教へ或ひは通常の雇人に世話を
	設	272	08	るは俗に島地監獄と申しまして北海道に	設け	てありまする．然るところ昨年．官制の改革の
	設	250	15	ならないと云ふので，監獄と云ふものを	設け	まして，こゝに於て懲戒と教誨とを施して此の
	設	153	07	こと）を定めれば行政法では其の取締を	設け	ます．また人民は同等のものであるといふこと
	設	087	02	のに付て人の心を照す為めに万民の中に	設け	られたもので御坐ります．この故に聖書と云ふ
もうけ	儲	140	07	と同じことで，スコットが其の筆先きで	儲け	た名利と言ふものは大層なもので恰も諸侯の如
	儲	225	03	がりませぬ．其れに劇場は金主が有つて	儲け	づくも有りますから多くの年月を重ねなければ
もうける	設	151	13	日本では府県，町村等 ごれは如何して	設ける	か如何して運転させるかといふことを，きめ
	設	131	15	色々の面白い譬喩とし，また固い証拠を	設ける	ことが出来ます．さすれば学術といふものは
	設	153	10	ものといふことを憲法できめるが鉄道を	設ける	為めに土地を買ひ上げるとかいふことは行政
	設	128	03	ち後の穿鑿を助ける為めに学者が仮りに	設ける	所の色々の論，未だ学者たちでさへも学術の
	設	132	10	の色々の間違ひを駁つよりも真の道理を	設ける	方が余程よいもので御坐ります．若しあなた
	設	150	15	法の趣意を拡張する為めに法律，規則を	設ける	もので憲法で定まつて居るものの細密なる部
	設	268	09	は各警察署，又は憲兵署などの在る所に	設ける	もので有りまする．此の所に於ては拘引した
もうさ	申	247	01	と「これはモウ何人目だから元へお戻し	申さ	う」と云つて直ちに其の膝の下に，生れたばか
	申	182	16	はなく実は止むを得ざるに出でたことと	申さ	なければなりません．若し今，日本中の人に各
	申	082	04	すけれども進歩の様々の種類の中で未だ	申さ	ぬ一つの大切な種類が御坐ります．此の種類が
	申	183	06	千万なことで御坐ります．また，こゝに	申さ	ねばならぬことが御坐りますがキリスト教で申
	申	185	08	例としても実に驚くべく憂ふべきことと	申さ	ねばなりません．斯様に軽々しく妻を出す風が
	申	185	12	が儒者七去の教も其の一大原因であると	申さ	ねば，なりません．而して仏法や神道は此の如
	申	017	03	其の表面に我々の党類は住つて居ない，	申さ	ば明き家みた様なもので有ります．先づ此の位
	申	141	02	と申します．また日本の小説家の品格を	申さ	ば源氏物語の紫式部や枕の草子の清少納言など
	申	197	07	ましたが，あの時はザツトしたことで，	申さ	ば人別をみたやうなものだけで，委しいことは
	申	045	14	必要なことぢゃから決して悪いこととは	申さ	れぬぢゃ．又いつまでも，やまぬであらうと云
	申	125	15	．また或る人はＨｕｘｌｅｙ氏が何々と	申さ	れました故に基督教は素より全く間違つたもの
	申	126	14	ふには」「我がミコミに拠れば」などと	申さ	れます．而してたゞ自分のミコミを以てＤａｒ
	申	130	13	の有名なる哲学者Ｋａｎｔといふお人が	申さ	れましたことをお聞きなされ．「天地の間に二
	申	134	06	めなり」また耶蘇基督御自分にも明かに	申さ	れましたことが御坐ります「人の善悪は其の実
	申	138	07	呉れ之を寐しなに一ページ読みたまへと	申さ	れました．私も妙な医者だと思ひましたが其の
	申	241	01	配偶者となると云ふことが出来まいとも	申さ	れませぬから善く言ふも悪く言ふもナカナカ軽
	申	157	09	言つてきゝませんからネ）「向後キット	申さ	んか」「へー申しません」と誓ひを立てた．さ
もうし	申	006	15	ら私は一刻も早く漢字を無くなしたいと	申し	た所が，さううまくは参りませぬ．泉川君のお
	申	023	02	しく毎年いくつも発見されますから今日	申し	た数が明日はウソになりますかも知れませぬ．
	申	023	17	す．其れは跡でお話ししませう．今まで	申し	たことをつゞめて申しますと太陽は大きい熱い
	申	026	16	つは白鳥宮といふ所の六十一号の星で今	申し	た星から見ますと三倍ばかりも距離が遠い．此
	申	039	02	其れが出来ぬ社会は亡びたであらう．今	申し	た野蛮の有様に付て一例を挙れば盗賊を働いた
	申	040	14	を謀りてゆくには必要ぢゃ．其れゆゑ今	申し	た様に今日から見れば悪人とも云ふべき者が却
	申	041	02	徳の様になりて来たものと見える．前に	申し	たのは風習を比較する近頃の学者の考へである
	申	041	13	ものぢゃが道徳は其れに反して居る」と	申し	たなれどもこれは大いに誤りた説で道徳は右申
	申	041	14	れどもこれは大いに誤りた説で道徳は右	申し	た如く野蛮の時に在りては今日の道徳と全く違
	申	042	06	に有ることぢゃ．さて法と道とは先刻も	申し	た如くモトは分れなんだが開けるに従ふて分れ
	申	042	13	と云ふ様なものぢゃ．併しこれは極度を	申し	たことで本当は今日でもさうはなりて居らぬ．
	申	048	10	るであらうと思はれる．さうしたら先刻	申し	た法律の主義と云ふものは無論行はれる様にな
	申	054	05	思ひます．また後のことを考へると前に	申し	た秦の始皇の話しの様に書物を皆な焼いてしま
	申	055	01	へ骨が折れるもので御坐ります．今私の	申し	た目録だけの書物を拵へるのは口で言へば易い
	申	057	08	要なもので曾てウ／キルダーと云ふ人が	申し	た言葉に「健康は万福の基」之を英語で云へば
	申	064	12	を加ふるに至りし所以のものは必竟前に	申し	た通り人力車濫用の弊を生ぜしに因るものにし
	申	068	14	する順序で御座います．（この試補官と	申し	たのはＡｓｓｅｓｓｏｒと称するもので御座い
	申	075	01	前の方には大分利が多う御坐んすが只今	申し	た方のは疾病に罹ると医者を頼むとか権利を伸
	申	082	11	ット出来ませぬ．万国史を調ぶれば只今	申し	たことの証拠は真に沢山ありまして甚だ明らか
	申	083	16	に付てかう云ふことが御坐ります．只今	申し	た通り進歩の中には種類がありますに由つて社
	申	085	17	要であるなどのことは既に皆んなお話し	申し	たで御坐ります．さて，これ等の種々の事柄は

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もうし）	申	092	07	つて居る一個人たるものの進歩に因ると	申し	たが，これに付て面白いタトへが御坐ります．
	申	098	06	ず」といふ言葉はシェクスピーヤが曾て	申し	た言葉であります．さて世の中には随分おそろ
	申	109	16	と尚ほ一層怪しむべき事実が有る．只今	申し	た数多の事実によつて考へて見れば日本人はミ
	申	120	14	ることが割合に少なく思はれます．今，	申し	たのは西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を除かん
	申	120	17	」とか言ふ位なことで有りました．前に	申し	た通り西洋の学者は西洋の飲酒の弊害を見て説
	申	122	14	有ることだからドウいふ塩梅に只今私の	申し	たことを調べたら宜からうか銘々最寄最寄でで
	申	123	09	な関係のあることだからドウか只今私の	申し	たことを諸君がお調べ下さる訳にはいくまいか
	申	127	13	は総て学術の趣意を感心して，また前に	申し	た仕方の間違つて居ることをよく承知して学者
	申	150	06	のであります．色々ありますがツマリ今	申し	た二つに帰着するもので国と国との関係を規定
	申	155	06	とは有りませんが此の間からお請け合ひ	申し	たことだから，やることはやりますが演題がチ
	申	162	16	在つては已むを得ないものと見える．今	申し	た酒誥の原文は大凡六百字あまりも有るが今の
	申	167	11	実に面白いことではありませぬか．前に	申し	たやうな訳で新しい問題は古い学問では解くこ
	申	172	16	から先づ五分五分と見てよからう．前に	申し	た箇条箇条がタシカで間違ひが無ければ我が国
	申	174	13	たか聞きたいものと存じます．さて今，	申し	たやうな訳ゆゑ百年の後に其の衣食の費用は二
	申	175	05	難儀な年柄でさえ人数の殖ゆることが今	申し	た通りであれば後々とても人が殖えませう．若
	申	191	05	たので同氏がイギリス国の制度を論じて	申し	たのにイギリスには力の種類が三つある．即ち
	申	191	06	ふの力，其れから裁判をするの力とかう	申し	たので権力即ち大権といふものが三つあるとも
	申	205	10	こはがつたものと見えます．さて，前に	申し	た通りに立ち戻つて来る彗星が有ることが知れ
	申	224	07	なことで無ければ面白がらぬから，前に	申し	た小説と同じく士君子の見物するもので無いや
	申	240	16	も差支ない筈で有ります．然れども前に	申し	た「某の娘は温良である」と他人に言ふときに
	申	250	09	るまで良民を以て終わりまする．只今，	申し	たのは本街道で有りまするけれども，また時と
	申	251	01	のは裁判官で御坐います．さうして今，	申し	た罪人が学期を終りますと卒業してモトの良民
	申	253	09	をきめることで有りまする．また，只今	申し	た如き者の為めには農業をさせるのが宜しいと
	申	267	15	明瞭にお分りになるで有りませう．前に	申し	た方法は二百年以来エウロッパの有名なる学者
	申	267	16	ものを其の極宜しい所だけを引き抜いて	申し	たので有りまするから此の方法を参考して実際
	申	269	09	千四百十四人となりまする．さて，只今	申し	た八千四百十四人の幼年者の罪質を区別して見
	申	270	04	とが最も甚しいものと見えまして，前に	申し	た八千四百十四人の者の教育の度合ひを其の入
	申	092	05	ゝに擱きませうけれども，終りに一言を	申し	たう存じます．この演説の初めに社会総体の進
	申	002	03	きたいとの仰せ．私は別に見込は無いと	申し	たら，一体お前は元の「かなのとも」で有るか
	申	139	14	と申します．然るに小説家のサカレイと	申し	たら上はクエン陛下より下は裏店社会のおかみ
	申	157	05	し地が回るとなると羅馬法皇の，仏教で	申し	たら法華経とか三部経とかいふものに差支が起
	申	104	01	語を盛んにするのであります．前段にも	申し	たるが如く日本人は浮薄の本性を備へ居ります
	申	246	12	良を掌ると云ふもので有りまする．只今	申し	たる点は非常に大切なるところで若し此の目的
	申	076	04	ふ訳では御坐んせぬ．其の訳は右の如く	申し	て参りますと経済学はドウいふものかといふに
	申	090	06	ぬ．神の御言葉と云ふ聖書の極古い所に	申し	て御坐りまず．即ち「神の御言葉はこの浮世の
	申	138	06	を上げるより，もそつと善い薬が有ると	申し	てスペンサーのフ／ヒロソフ／ヒーを貸して呉
	申	162	04	むづかしいから私が其の大意をひらたく	申し	て見れば汝の皇考文王方伯と為り西国に在られ
	申	183	09	道を守ることで御坐ります．一夫一婦と	申し	ても此処に雲泥の違ひが御坐ります．儒者の教
	申	222	10	てア一云ふ風になりましたと先づ大要を	申し	て次に其の濫觴をザット述べませう．先づ我が
	申	245	09	だけを重もにしなければなりませぬ．と	申し	て私は何も土木，衛生，勧業，教育，等は一切
	申	249	12	せう．此のことに付ては次に図を示して	申	て上げませう．人生れて，丁年に至るまで（即ち
	申	260	03	めて置きませぬとムヤミに慈恵，慈恵と	申し	て一方にばかり偏したときには天下の財産を以
	申	041	08	が付ては居らぬ．道徳と云ふても法律と	申し	ても別にきまりては居らず，たゞ其の社会の風
	申	077	07	のであれば同一の業を為すものだとまで	申し	ても宜しう御坐んす．故に我輩が諸君に望みま
	申	102	08	であつて拠ろのない話し．日本だからと	申し	ても制度文物の外国に優らずとも劣ることなき
	申	241	07	とは内務大臣の命令外のことで有るから	申し	ても構へませぬ．また監獄のことにしましても
	申	012	06	置」と題をつけて致します演説は先づ今	申し	ました位を目的と致しますことで御座います．
	申	013	05	か一万二百五里ほかない．私は僅かだと	申し	ました．なぜだといふに此の位の距離は僅かの
	申	016	03	きさは地球よりは小さい．地球はさつき	申し	ました通り其の直径三千二百四十八里で有りま
	申	018	07	先生が講談になりました．其れが私の今	申し	ましたことと同じ趣意で御坐います．して見る
	申	019	07	ことで御坐います．其れからまだ辰星と	申し	まして太陽のソバに居て滅多に離れない太陽の
	申	020	11	月の観測の時には海は無いと云ふことを	申し	ましたが火星を見ますと陸も有れば海も有る，
	申	022	07	雛形を以て解き明しませう．先づさつき	申し	ました直径一寸の玉を地球の雛形とし一丈一尺
	申	023	12	さいものだ．周囲が僅か一万里ばかりと	申し	ましたのはこゝです．私は大きなことが言ひた
	申	027	14	遠いかと云ふことは知れませぬ．今まで	申し	ました星は肉眼で見ゆる位な星です．此の外に
	申	032	07	若しも其の通りで有ると始めにお話しを	申し	ました通りに段々推しつめて行つて丁度今日の
	申	032	15	と言ふ題で全世界の地理をザットお話し	申し	ました．節酒会を賛成するの趣意明治十八年三
	申	058	01	ぬ．彼の欧羅巴の学者スペンサーが曾て	申し	ましたに「何でも総ての事を能く覚え能く忘れ
	申	058	04	之を好む者は之を楽しむ者に如かず」と	申し	ました位で仮令むつかしいことを陳べても脳髄
	申	076	13	論じまして右の通りになるといふことを	申し	ましたので御坐んす．さて私が考へて見ますに
	申	085	08	立てることが出来やうと存じます．既に	申し	ましたことを取り撮んで其の大意を繰りかへし
	申	241	12	私が諸君にお話し致しまることは前に	申し	ました区別の趣意で致しまするが，諸君の私に
	申	242	09	ることと致しませう．監獄は昔は牢屋と	申し	ました．フランスではプリゾンと申しまして其

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もうし）	申	242	09	と申しました．フランスではプリゾンと	申し	まして其の字義はラテン語に基づきまするとツ
	申	247	12	るもので有ります．其の第一は懲戒法と	申し	まして罪人を懲らしめるもので，これは所謂，
	申	248	08	云ふことに基づくので有りませう．前に	申し	ました所が則ち監獄の目的及び方法で有ります
	申	252	06	は関係者から願ひ出る者を出願懲治者と	申し	まして，また出願人は誰も無いが例へば東京の
	申	254	14	者が随分あるやうにも聞きまする．前に	申し	ました如き次第で有りまするから監獄と云ふも
	申	256	10	志者から救助することで有ります．今，	申し	ました二つの種類の外に天災の救助と云ふもの
	申	258	12	る所の不良少年で有ります．これは前に	申し	ました所の矯正院に於て掌るもの即ち救助すべ
	申	261	17	監獄の事を一言いたしませう．初めにも	申し	ました通り，フランスにおきましては監獄のこ
	申	262	02	．イギリスの如きはペニテンシヤリーと	申し	まして其の意味は懲治する場所と云ふことで有
	申	263	07	なるもので有りまする．第四は階級法と	申し	まして，これは分房法と雑居法とを折衷してこ
	申	263	16	部となります．其の第一は犯罪予防部と	申し	まして，此の部に於ては不良の少年を教育感化
	申	264	06	つて居りまする．第二は懲必＊感化部と	申し	まして，此の部に於ては幼年犯罪者を除いて其
	申	264	08	獄で有りまする．第三は未決者監禁部と	申し	まして，此の部に於ては未決者を一時監禁して
	申	264	10	ので有りまする．第四は出獄人授業部と	申し	まして，此の部に於ては罪人の放免となりまし
	申	268	09	監獄を別ちますると其の第一は留置場と	申し	まして，これは各警察署，又は憲兵署などの在
	申	268	14	の罪人を入れて置き，第三は中央監獄と	申し	まして，こゝには刑期の長い者を入れて置き，
	申	272	08	地集治監と申しまするは俗に島地監獄と	申し	まして北海道に設けてありまする．然るところ
	申	278	03	存じます．尤も此の講談に於ては前にも	申し	ました通り陸軍海軍の監獄と国事犯のことは一
	申	278	08	には申し述ることは出来ませぬ．前にも	申し	ました通り本論は専ら監獄全体に係る事柄を述
	申	001	12	へまして，つまらないことなれども少し	申し	ます．この四五日前に私の所へ今日この席に居
	申	013	01	ものでは無い，至つて小さいものと私は	申し	ます．直径は一番大きい処で僅か日本の三千二
	申	019	08	ばさらずが有ります．此の星を水星とも	申し	ます．次に木星と言ふ星が有りますが，これは
	申	023	17	しませう．今まで申したことをつゞめて	申し	ますと太陽は大きい熱い明るい玉で其のグルリ
	申	036	12	す．賛成いたした趣意をちょつとお話し	申し	ますまで．社会外に道徳なし明治十九年四月二
	申	068	08	ぬ．（見習生はＲｅｆｅｒｅｎｄａｒと	申し	ます）これを四年いたしまして裁判官代言人検
	申	080	01	文明開化の方へ段々と進んで行くことを	申し	ます．抑も昔よりこのかた人間社会の種々の進
	申	083	02	存じで御坐りませう．欧羅巴中古の例を	申し	ますならばイスパニヤとポルトガルの二箇国が
	申	083	05	．また地理によつて諸君に近い国の例を	申し	ますならば隣りの支那で御坐ります．諸君御案
	申	083	09	毒千万で御坐ります．また時の近い例を	申し	ますならば彼の仏蘭西の国を御覧なされ仏国に
	申	126	03	く覚らざる者が多う御坐ります．例へて	申し	ますならば箇様な人は未だイロハを知らざる中
	申	139	12	が西洋では其の名を知らぬ人も有るとか	申し	ます．素より大家のことなれば高尚の学者社会
	申	139	13	て居りませうが，さほど人望家で無いと	申し	ます．然るに小説家のサカレイと申したら上は
	申	140	12	とか斯様な情けないクラシをして居たと	申し	ます．これは馬琴自ら書いた物の中に其の不平
	申	141	01	で居るものは見るに忍びぬ程で有つたと	申し	ます．また日本の小説家の品格を申さば源氏物
	申	143	12	ものもたゞ男女の痴情を書いたものだと	申し	ますが私は斯様なものを貴ぶのでは有りません
	申	158	14	なつて銘々どもが「京都へ電信をお頼み	申し	ます」といふと「オット承知でござす」といつて
	申	175	01	サホド遠いものではありませぬ．かねて	申し	ます通り「人は義務の体」と言ひますから義務
	申	198	17	有りますが其のことは長くなりますから	申し	ますまい．さて，楕円と抛物線とはドンナ関係
	申	228	11	の府と云ふことと県と云ふこととに付て	申し	ますと，府と云ふのは大いなる市街のある所を
	申	242	12	つて居りまする．此の学をペノロジーと	申し	ます．其の意味は刑の学，即ち刑を執行するの
	申	245	03	は全く変つたるもので有りまして数から	申し	ますと，有れども無きが如きもので有りまする
	申	251	16	とを図ります．此の者を不論罪懲治者と	申し	ます．また弁別心が有つて悪事を働いた者は已
	申	251	17	を得ず之を罰します．此の者を幼年囚と	申し	ます．此の二つの外に，まだ罪人とはなりませ
	申	256	06	で有ります．其れで第一の公けの救助と	申し	ますものは全国，又は府県，若しくは町村より
	申	256	08	することで有りまして第二の私の救助と	申し	ますものは一私人，又は数私人，若しくは有志
	申	262	01	におきましては監獄のことをプリゾンと	申し	ます．其の意味はツカマへておく場所と云ふこ
	申	262	03	於てもイギリス同様ペニテンシヤリーと	申し	ます．フランスに於て大革命以前には監獄には
	申	136	07	誠に感心の訳で御坐ります．之に擬へて	申し	まするならば人が下い所からして世の中の有様
	申	139	09	はと問はばナポレオンかセクスピヤだと	申し	まする．御承知の通りセクスピヤは彼の芝居を
	申	233	13	余も前で有りましたらうが或る人が私に	申し	まするには今，西洋語を以て教ふる大学と云ふ
	申	243	05	また右の望みを執行するものを執行権と	申し	まする．この立法権及び執行権を相合したるも
	申	244	01	執行することになつて居りまする．前に	申し	まする如く立法権事務は元老院，又は国会を設
	申	244	06	規則の制定及び執行で有ります．規則と	申し	まするものは法律の細目を定め，また時として
	申	245	17	る所で有りまする．就ては刑とは何かと	申し	まするとき昔は悪い事をした者が有れば之を罰す
	申	248	14	た，刑事上の被告人，即ち俗に未決者と	申し	まする者は裁判の済むまでは監獄に預つて居り
	申	250	03	まする．而して智慧の教育，即ち智育と	申し	まするものは学校に於て之を行ひ，心の教育，
	申	250	05	之を掌り，また身体の教育，即ち体育と	申し	まするものは或ひは家庭に於て或ひは学校に於
	申	250	06	して並の人間になりましたのを丁年者と	申し	まする．丁年者は則ち良民と唱へまして，終り
	申	256	04	ことを簡略に述べませう．貧民の救助と	申し	まするものは慈恵に係るもので有ります．而し
	申	257	01	になりまする．さて貧民の種類は何かと	申し	まするとき，これ亦，二種類しか有りませぬ．其
	申	261	05	々と論じて参りました所をひつくるめて	申し	まするとき学校と慈恵と監獄とは皆な相共に連絡
	申	264	02	ることになつて居ります．この家族法と	申し	まするは例へば百人の囚人あれば之を二十人づ
	申	266	10	第二の懲必＊感化部の事業は俗に監獄と	申し	まする所，即ち地方監獄，及び中央獄に於て執

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もうし）	申	266	17	留置場，及び各地方の未決監則ち監倉と	申し	まする所に於て之を執行いたしまする．さうし
	申	269	11	分で有りまする．また年令を以て割合を	申し	まますると十歳以下は百八十七人即ち二分二厘で
	申	271	16	置く所であります．故に之を未決監とも	申し	まする．第三，懲治場．こゝには刑法に於て不
	申	272	08	す所でありまする．さて，島地集治監と	申し	まするは俗に島地監獄と申しまして北海道に設
	申	273	08	六となりまする．此の所に於て懲治監と	申し	まするのは矯正院に当るものでありまするけれ
	申	273	10	，兵庫，宮城，三池の四箇所に仮留監と	申し	まするものが一箇所づゝ都合四箇所ありまする
	申	273	11	ゝ都合四箇所ありまする．此の仮留監と	申し	まするものは徒刑，流刑の者を一時，仮りに留
	申	171	14	があります．其れはナゼかといふことを	申し	ますれば北亜米利加合衆国人が我が国人に対し
	申	012	11	做して別に今日は地理学のことは御話し	申し	ませぬ．「亜細亜から欧羅巴へはドウ往く」「
	申	051	08	とを述べられましたから今日私はそこは	申し	ませぬ．たゞ愈々広く益々盛んに此の会の成り
	申	087	05	為めに少しばかりこの趣意の委しい所を	申し	ませう．たとへば彼の人の悪しき性質，人の害
	申	088	05	を能く顕はす故に其の中の重もなる所を	申し	ませう．第一．先づ種々の進歩を致さうと思ひ
	申	125	11	は即ち近来盛んに開けた学問学術なりと	申し	ませうか．イゝエ決してさうでは御坐りませぬ
	申	153	17	じた人が講究するでありませうから私は	申し	ませぬ．憲法と行政法との関係はこれ位にしま
	申	157	09	からネ）「向後キット申さんか」「へー	申し	ません」と誓ひを立てた．さうして「申しませ
	申	157	09	しません」と誓ひを立てた．さうして「	申し	ませんことは申しませんが地は回ります」と言
	申	157	10	を立てた．さうして「申しませんことは	申し	ませんが地は回ります」と言つた．実に度胸の
	申	215	09	き」と致して小説と演劇との成り立ちを	申し	ませう．先づ小説の成り立ちよりして来歴の次
	申	215	10	づ小説の成り立ちよりして来歴の次第を	申し	ませう．しかし之を申すには西洋の小説も支那
	申	215	13	たゞ持ち前の我が国のことばかりに付て	申し	ませう．先づ我が国の小説は昔話しから出たも
	申	271	07	．さて，これよりは日本の監獄のことを	申し	ませう．付ては先づ日本の監獄の種類から申し
	申	271	09	せう．付ては先づ日本の監獄の種類から	申し	ませう．これにも軍事の監獄と普通の監獄との
	申	107	10	りますと人命を断つことをホミサイドと	申し	，このホミサイドを分つて四種としてあります
もうし	孟	006	11	てやるので本につかないでは出来ない．	孟子	の主義はドウか會子の主義はドウかと聞くとな
もうしあげ	申	087	14	が出来るので御坐ります．この故に既に	申し上げ	た通りこの聖書を専らに己の信仰と品行と
	申	193	06	論，天子がなされるといふことは前にも	申し上げ	た通りのことです．其れから行政のことも
	申	001	11	り参議方どころでは無く天子様にまでも	申し上げ	たい位のことゆゑ此の機会失ふべからずと
	申	245	16	ることに致しませう．さて，監獄は前に	申し上げ	たる通り刑の執行を掌る所で有りまする．
	申	033	07	ゑ亨二は亨二だけの賛成いたした趣意を	申し上げ	て見ようと思ひます．酒のことに付ては古
	申	188	06	の釈義並に行政法と憲法との関係を一言	申し上げ	ておきました．就ては今日よりは全国行政
	申	188	08	大関係をしますから其れを今日チョット	申し上げ	て見たう御坐います．凡そ人間が集まつて
	申	190	17	りますから地方行政を終りましたときに	申し上げ	て見たいといふ考へです．この儀に付きま
	申	194	05	居ることではありましたが順序の為めに	申し上げ	て，おきますのです．彗星の話明治十八年
	申	226	15	究することに致します．先づ第一部から	申し上げ	て見ませう．即ち行政官権及び行政議会の
	申	232	16	る順序になります．今日は先づこれまで	申し上げ	て置きませう．専修学校生徒卒業式祝辞明
	申	022	03	イクラも地球の仲間が有ると云ふことを	申し上げ	ましたが其の中太陽から測りますと地球よ
	申	226	05	上で二大原則の区別を致しまることを	申し上げ	ました．今日よりは純粋の行政部類に這入
	申	188	07	御坐いますが主権に関係しましたことを	申し上げ	ませぬと行政法の原則に大関係をしますか
	申	227	02	なります．よつて第一部では両方一所に	申し上げ	ませう．先づ第一に行政上の土地の区画と
	申	250	11	する者を年齢を以て二つに区分いたして	申し上げ	ませう．即ち丁年以上の者が悪い事をする
	申	126	10	今から私は其の色々の仕方を順に従つて	申し上げ	，また兼ねて其の得失を弁じませう．第一
もうしあげる	申	240	03	文者の所有物で有りますから私が勝手に	申し上げる	ことは出来ませぬ．例へば内務大臣が「
	申	242	08	獄に於て演説いたしました趣意に従つて	申し上げる	ことと致しませう．監獄は昔は牢屋と申
	申	245	15	から，こゝに於て監獄の目的及び方法を	申し上げる	ことに致しませう．さて，監獄は前に申
	申	269	01	）十二月三十一日の監獄に関する実例を	申し上る	ことに致しませう．順序は前と違ひますが
	申	273	02	年十二月三十一日の監獄に関する実例を	申し上る	ことに致しませう．（これは内閣統計局編
	申	188	06	．就ては今日よりは全国行政といふ部を	申し上げる	順序で御坐いますが主権に関係しました
	申	150	01	はドウいふものであるといふことを一言	申し上げる	やうにしませう．凡そ法律は公法と私法
	申	240	13	なくしては他人に向ひ其の性質の如何を	申し上げる	訳には参りませぬ．尤も右の如きことで
もうしあわせ	申	116	05	だと思はれます．其の訳は節酒会といふ	申し合せ	が有ると，なるたけ酒を飲まないやうにな
もうしのべ	申	068	02	と供給の比較は如何と云ふことを簡短に	申し述べ	て諸君の御参考に供しようと思ひます．諸
	申	268	05	因つて軍事の監獄に関係しましたことは	申し述べ	ますまい．また監獄の目的及び方法などに
	申	271	10	て，普通の監獄に関係しましたことだけ	申し述べ	ませう．普通の監獄を別ちまするとと第一，
	申	067	08	を呈し併せて私の感ずる所を諸君の前に	申し述べ	ようと思ひます．諸君は我が天父の無形な
もうしのべる	申	278	07	範囲外でありまするによつて，こゝには	申し述る	ことは出来ませぬ．前にも申しました通り
もうしぶん	申	237	15	オマケに己れの大利益となることだから	申し分	は無い．其れだから今日の学生は昔し厄を身
もうしわけ	申	117	05	てしまふやうでは節酒会にはいつて居て	申し訳	が無い．信用を破つては済まないといふのが
もうじん	盲	121	02	は人に感じさすることが，むづかしくて	盲人	に七色の色を見せる様なものだからよく事実を
	盲	257	02	種類は天然の貧民で有りまして，例へば	盲人	，聾，唖，癈疾，不具者，等で第二の種類は社
	盲	257	06	で有ります．而して天然の貧民に属する	盲人	，聾，唖，癈疾，不具者は祖先父母等に於て之
	盲	258	01	これに二つの種類が有りまして第一種は	盲人	，聾，唖，癈疾，不具者にして親族の救助し能
	盲	261	11	の犯罪人となる恐れなき天然の貧民即ち	盲人	，聾，唖，癈疾，不具者の如きは訓盲唖院，又
もうす	申	183	06	ならぬことが御坐りますがキリスト教で	申す	一夫一婦といふことは公然さへ一人の妻をもつ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もうす）	申	140	08	領地を購ひ城郭の如き家に住んで居たと	申す	が其の著作はまた実に旨いもので筆先きのオモ
	申	057	16	演説の前にモウ一つ諸君に向つてお断り	申す	ことがあります．其れは外でもありませぬが凡
	申	074	07	地を買ひ貸家を建つて家賃を取るなどと	申す	ことなど，これ等は皆な金を出しまするど丁度
	申	165	08	お聴きなすつた方は至つて少なかつたと	申す	こと．然るに此のことは今も申す通り容易なこ
	申	254	17	監獄は決して賤しむべきものにあらずと	申す	ことに注意致さねばなりませぬ．古来，牢獄と
	申	274	09	ましたらうから，これより監獄の改良と	申す	ことを一言いたしませう．監獄は実に数万の囚
	申	213	04	村清矩君演説「小説と演劇との関係」と	申す	此のやうな演題を掲げると定めてシッカリとし
	申	245	10	等は一切，行政権で関係してはならぬと	申す	趣意では決して御坐いませぬ．たゞ其の性質が
	申	063	03	ればなりますまい．所で私が斯く濫用と	申す	証拠には日本の人力車は大約二十万にして之を
	申	245	10	．たゞ其の性質が第二段のもので有ると	申す	だけで有りまする．これにて監獄は行政上，如
	申	081	17	造の進歩経済の進歩学術の進歩等とよく	申す	で御坐りませう．併しながら商法の進歩と云ふ
	申	255	04	迷惑で有らうと考へます．コンナことを	申す	と警察に於ても徳川時代にはオカッピキと申す
	申	144	07	はタント好い小説を見受けませぬ．今，	申す	通り古人の糟粕を嘗めずに一機軸を出したと言
	申	165	08	つたと申すこと．然るに此のことは今も	申す	通り容易なことで無く共々に講究しなければな
	申	249	01	おそれが有る為めに已むを得ず未決監と	申す	ところに留め置くので有りまする．よつて未決
	申	266	03	の甲の場所は矯正院（則ち俗は感化院と	申す	ところ）で有りまして此の所に於ては放恣不良
	申	084	02	ど無い位なことも御坐ります．たとへて	申す	ならば或る国の人が機械のこと学術のことを専
	申	084	13	のことで御坐りました．或は貴国の上で	申す	ならば勿論御維新の頃に当りませう．欧羅巴各
	申	085	02	の進歩に付て種々の大事なものの概略を	申す	ならば以上の如きもので御坐ります．併しなが
	申	091	10	種々御坐りませうけれども，たゞ一言で	申す	ならば即ち罪で御坐ります．所謂罪悪で御坐り
	申	042	07	なる違ひに由りて道と法とが分れたかと	申す	に道は他を利し法は己を利すると云ふことで分
	申	138	04	者に見て貰ひました処，其の医者先生の	申す	には貴君にはモルヒネを上げたい処なれども体
	申	140	14	居たと申すは如何なる所以で有つたかと	申す	に一つは文明国と違ひ文学がサホド進んで居ら
	申	213	11	人の心を慰め面白がらせ楽しませるかと	申す	に小説と云ふものは文字上のことで有るから其
	申	215	10	て来歴の次第を申しませう．しかし之を	申す	には西洋の小説も支那の小説も並べてお話しを
	申	224	16	いことと思はれます．さて当今，演劇は	申す	に及ばず小説とても改良論が盛で有りますから
	申	046	10	併し全く十分には行はれぬに相違ないと	申す	のぢゃ．これから肝腎の話しになるのぢゃが今
	申	118	04	るやうに致したいと思ひます．私が今日	申す	のはただ其れだけのことで有ります．飲酒より
	申	245	04	は総て普通の罪人，即ち常事犯のことを	申す	ので有りまする．此の他，行政権に於て関係い
	申	062	16	タラに乗りあるき，殊に甚だしき濫用と	申す	は例へば茲に一の閑人あり今日の午后六時に番
	申	140	14	ますが此の愍れなクラシを致して居たと	申す	は如何なる所以で有つたかと申すに一つは文明
	申	091	15	己れが貴い血を流したので御坐ります．	申す	も憚り有る様なれども私は年たけて居りまして
	申	137	10	ひ慣れたる自分の勝手なことを本会にて	申す	も如何と存じ何か教育上に関係したことは無い
	申	034	02	ことで有ります．一体御承知の通り酒と	申す	ものはナルコチカと言つて麻酔の効の有るもの
	申	089	17	ロに基づいた宗教なれば，これより上と	申す	ものが御坐りませぬ．これより高尚なものが御
	申	137	15	其のお話しを致さうと存じます．小説と	申す	ものは面白いか面白く無いか言はずと知れたこ
	申	142	05	ら凡才では中々いけません．凡そ仕組と	申す	ものは家を建てるに致せ軍艦を造るに致せ小説
	申	143	06	ち小説の管内で御坐ります．凡そ人情と	申す	ものは極り無きもので種々雑多の情を起すに違
	申	033	05	神保園に於て杉亨二君演説私は杉亨二と	申す	者で節酒会賛成者の一人で御坐りますが節酒の
	申	069	10	して此のＡｓｓｅｓｓｏｒ即ち試補官と	申す	者は千八百八十五年即ち昨年の八月五日までに
	申	255	05	警察に於ても徳川時代にはオカッピキと	申す	者が有つてムヤミに人の道徳内の悪事までも探
	申	270	15	智識がひろまるほど不良の奸智も殖ると	申す	者が有りまするけれども，これは皮想の考へで
	申	273	15	十一人ありまして其の外，別房留置者と	申す	者が千八百六十七人あります．これは監獄にて
	申	067	13	御坐います，御愉快で御坐いませう」と	申す	より外は御坐いませぬ．併しながら我々は隴を
	申	245	07	りまする．然れども，これ等は行政権と	申す	立派な道具が有りまするから幸に之を利用して
	申	273	09	でありまするけれども未だ立派なものと	申す	訳には参りますまいかのやうに思はれます．此
もうせ	申	043	06	．其れぢゃからドウも本当に分れたとは	申せ	ぬことぢゃ．道徳は教法者が大層骨を折りて開
	申	037	07	を受けて居るものを云ふので他の言葉で	申せ	ばネーション即ち国民と云ふことぢゃ．そこで
	申	039	04	ふことになりて居る．其れはナゼぢゃと	申せ	ば強盗をするほどの者で無ければ社会を守るこ
	申	055	08	むことを得ず教へます．其れはナゼだと	申せ	ば漢字の本をやめて仮名の本を読ませたくも本
	申	141	06	てはならぬ．少し酷な様なれども一概に	申せ	ば作者に学問が無いと不品行とに因り且卓見が
	申	182	09	る勢力ある所以で御坐ります．然し左様	申せ	ば「一夫一婦の教は何もキリスト教に限ること
	申	242	06	たが甚だ欠くる所も有り，また一方から	申せ	ば右心得方を充分に敷衍するに於ても利益が有
	申	276	01	．さて此の一つと云ふのは何であるかと	申せ	ば維新前は罪人は棒罰すると云ふ主義で，棒で
	申	209	06	で無いと色々説が有りましてハッキリと	申せ	ませんが，しかし中に明りを通すと云ふ方が多
もうせん	毛	007	03	から役人などが地方へ巡回に出ると直に	毛氈	と唐紙を持つて来て名筆を揮はれむことを請ふ
もうろく	モ	155	05	か何とか云つていいのだらうが，こんな	モウロク	だから，しまひに出たかつて，いゝことは
もえぎ	萌	158	12	かつたと見えます．サスガの孔子様まで	萌黄	の蚊帳をつつて線香をたてゝ臍を隠したか，ド
もーらる	モ	151	12	るやうにするのです．第三は無形人即ち	モーラル	，ペルソンヌでこれは財産を所有し負債を
もくげき	目	109	01	海員の或る部分は端艇に乗つて居るのを	目撃	しながら乗客にして大船に残つて居ることを甘
もくし	黙	127	17	の様な教師が学者たちの色々の論を天の	黙示	，或は神の示現の如くに喜んで受け容れて而し
もくず	藻	098	11	十五名の人はウタカタの泡と消え海底の	藻屑	と化し而して其のウタカタの泡と消え海底の藻
	藻	098	11	し而して其のウタカタの泡と消え海底の	藻屑	と化したのは何の為めである即ち外国人が不注

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もくず）	藻	100	14	に二十五名がウタカタの泡と消え海底の	藻屑	と化したる不幸を悲しむのみならず啻に訴訟を
	藻	106	17	の為めにステゴロシにされ空しく海底の	藻屑	となりたるの一事は実に悲むべく憫むべく怒る
もくせい	木	201	16	をしてヒマがとれます．しかし木星なら	木星	が通る時には彗星がジットして居ると思つては
	木	202	03	が太陽を離れて方々を回つて居るうちに	木星	からどの位後らかされ其の他の惑星からは何日
	木	019	10	何とか唱へて賞翫したものです．これが	木星	で其の次ぎは塡星一名土星と言ひます．これは
	木	019	08	ます．此の星を水星とも申します．次に	木星	と言ふ星が有りますが，これは歳星とも唱へま
	木	198	08	うなものですが細長いもので，惑星即ち	木星	土星などのあるいて居る道で太陽に近いも有れ
	木	201	16	はお辞儀をしてヒマがとれます．しかし	木星	なら木星が通る時には彗星がジットして居ると
	木	019	12	の星を珍重しました．肉眼で見ましては	木星	に少し小さい位ですが望遠鏡で見ますと其のグ
	木	022	16	ことの出来るもので有ります．火星から	木星	に移る間に距離が離れて来ます．其の間に非常
	木	024	07	1と言ふ人が発見いたしました．次ぎに	木星	には月の様なものが四つついて居る．望遠鏡で
	木	023	03	ソになりますかも知れませぬ．其れから	木星	は十七丁の距離に在りまして太陽を一丈一尺と
	木	023	03	離に在りまして太陽を一丈一尺とすると	木星	は一尺一寸あります，直径が太陽の十分の一あ
	木	023	05	遠い．其の次ぎに土星は三十一丁の所で	木星	より小さい，幾ど九寸三分程で有ります．其の
	木	024	07	の様なものが四つついて居る．望遠鏡で	木星	を見ますとドンナけちな望遠鏡でも星の真中の
もくてき	目	245	14	なりましたらうから，こゝに於て監獄の	目的	及び方法を申し上げることに致しませう．さて
	目	248	08	ませう．前に申しました所が則ち監獄の	目的	及び方法で有りまする．さて，こゝで監獄と警
	目	268	06	たことは申し述べますまい．また監獄の	目的	及び方法などに至つては軍事のものにせよ，普
	目	277	02	説しまするに監獄の行政上の位置監獄の	目的	及び方法監獄と警察と裁判との関係監獄と教育
	目	090	02	りませぬ．基督教を能く心得たる人には	目的	が無く己れの貴いゆくさきを知らずと云ふこと
	目	169	14	巴に行くのと亜米利加に行くのとは其の	目的	が違つて居るやうに見えます．欧羅巴に行く者
	目	226	08	ひ行政裁判と云ひ何れにしましても其の	目的	たる行政上の法律規則を適用すると云ふことと
	目	012	10	大事な学問で有ります．併し其れは私の	目的	で有りませぬから，地理学の初歩は御存じと見
	目	193	08	れるですが行政府のことは今日の講談の	目的	でありませぬから後にします．それから追々憲
	目	193	17	いへば例へば家を建てて住ふといふのが	目的	であれば此の原則には開闢以来カハリは無い．
	目	226	10	国の利益との関係を規定すると云ふのが	目的	で御坐います．よつて此のことを講究しまする
	目	252	09	治者にあれ，皆な当人の心を改良するが	目的	で有りまして，また一方からするときは犯罪人
	目	012	06	て致します演説は先づ今申しました位を	目的	と致しますことで御座います．追々お話ししま
	目	126	03	術を知らず，また基督教の原因と趣意と	目的	と結果を全く覚らざる者が多う御坐ります．例
	目	261	13	きものの管轄と致すと云ふのが私の論の	目的	とする所で有りまする．これより欧米の監獄の
	目	104	07	以て著述し英語を以て演説すれば我々の	目的	は達するのであります．之を要するにノルマン
	目	179	04	館に於て井深梶之助君演説婦人矯風会の	目的	は社会の弊風を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し
	目	247	16	教誨法即ち心の教育法で有りまして其の	目的	は「汝の為したる所業は悪い，人間の行ひはコ
	目	257	16	るものも有りまする．よつて貧民救助の	目的	は次に述ぶる如くに定むべきものと考へられま
	目	262	06	ろ近世は段々と改良を加へまして監獄の	目的	は人心を改良すると云ふことに定まりました．
	目	267	02	有りませぬ故に監獄に入れて置きまする	目的	は逃走の虞れが有るのと証拠の湮滅する虞れが
	目	277	09	あらず犯罪人と貧民との関係貧民救助の	目的	貧民救助の方法欧米の監獄の事欧米の監獄の方
	目	089	16	た退く様になります．併しながら高尚な	目的	を示すものは何であるかと云へば基督教で御坐
	目	246	12	る点は非常に大切なるところで若し此の	目的	を存じませぬと枝葉に至つて大変な間違ひを来
	目	247	07	其の心は改まることは出来ませぬ．此の	目的	を知らずして「終身懲役と有るから何でも此の
	目	089	13	を励ます為めには人の目の前にある貴い	目的	，高尚なるゆくアテのあるのは大切で御坐りま
もくと	目	221	01	の立て方まで下等社会のものに向くのを	目途	としたものと見えます．しかし其の時代の人情
もくりょ	黙	099	05	く不幸な目に逢ふたかといふことを沈思	黙慮	するが必要のことであらうと考へる．諸君は如
もくろく	目	055	01	折れるもので御坐ります．今私の申した	目録	だけの書物を拵へるのは口で言へば易い様だが
もし	も	181	15	から改めてかゝらなければなりません．	もし	其の根本を取り除けば其の枝に結んだ様々の悪
もし	若	132	11	設ける方が余程よいもので御坐ります．	若し	あなた方，世の色々の迷ひの中にて造物主の御
	若	016	12	と云ふに不幸にして其れは有りませぬ．	若し	有りましても分量が甚だ少くて迚も我々の測量
	若	008	12	に今俄に廃さうといふことは出来ないが	若し	幾年から仮名か羅馬字を用ふると国会設立の様
	若	184	07	の妻を持ち又は妾を置くことはせんでも	若し	何時でも勝手次第に妻を出して他の女を娶るこ
	若	181	17	即ち其の根本で御坐ります．ナゼなれば	若し	一夫一婦の教が行はれなければ男女の関係が宜
	若	167	17	まで先づドウかカウか行はれて居ますが	若し	今すぐに此の文字を取られて御覧なさい，日本
	若	182	17	出でたことと申さなければなりません．	若し	今，日本中の人に各二三人の妾を蓄る力があつ
	若	059	05	チフスの居候が無くならうと思ひます．	若し	ウソと思ふなら試みに二三年間もやつて御覧な
	若	198	04	ました．この抛物線と楕円と云ふことは	若し	お分りの無い方があるといけませんから，話し
	若	088	02	しませぬかも知らぬけれども，この御方	若し	追々と怠ること無くして聖書を研究いたすなら
	若	186	07	人であるならば男も矢張罪人であるし，	若し	男が神の恩恵を蒙るべきものならば女も同様に
	若	089	04	を明らかに教ゆる宗教で御坐ります．人	若し	己れの真の有様を知りたいならば先づ新約書旧
	若	186	06	い者ともせず全く同等な者と致します．	若し	女が神の前に於て罪人であるならば男も矢張罪
	若	276	11	うな大間違ひを致すことになりませう．	若し	斯くの如き囚徒が有りましたときには其の自由
	若	021	03	から地球には人間などが居ると反対して	若し	火星の表面に動物が無かつたら其れの方が却つ
	若	209	15	す．なぜなれば説の間に誤りを生じ易く	若し	軽々しく言ふときは天文学者でも無いものがヤ
	若	100	02	本人を同等の人間と思はぬに相違なし．	若し	彼等にして我々を同等の人間と考へたるならば
	若	175	02	務が何も彼も我が身にかゝつて来ます．	若し	義務を欠くと人が人とせぬやうになりはしませ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もし）	若	086	14	れ等の質問に由つて明らかになります．	若し	基督教に問ふならば明白な返答が決して出来ぬ
	若	086	15	返答が決して出来ぬと云ふことが無い．	若し	基督教の基本になつて居る聖書を開き見るなら
	若	089	11	すもので御坐ります．無下に賤い人でも	若し	基督教を用ひるならば進歩するの志が必ず厚く
	若	117	14	には，はいらなくつてもよい．私などは	若し	禁酒会にはいつて全く酒を禁じたらば却つて身
	若	230	13	自らの所有と云ふものは無いさうです．	若し	郡の所有財産と云ふやうなものが有れば郡を無
	若	175	11	に慣れるやうにしなければなりませぬ．	若し	国内に蟄伏せしめるやうにすると土地は狭くな
	若	199	07	とは，こゝで一席には述べられません，	若し	こゝで一席で言ひ尽せます位なら失礼ながら予
	若	246	12	今申したる点は非常に大切なるところで	若し	此の目的を存じませぬと枝葉に至つて大変な間
	若	267	11	の事業は最も大切なることで有りまして	若し	此の部の仕事が行き届きませぬと常に何千何万
	若	269	17	付けて監督養育しなければなりませぬ．	若し	此の間に家庭教育を充分にしませぬと之が為め
	若	276	09	為すべきの事業であらうと信じまする．	若し	此の大原則を誤まりまするとと，例へば囚徒にし
	若	177	16	ふ愚かなることなりと笑ふ人もあらん．	若し	是れ等の人ありとせば，よき例あり．昔アリス
	若	180	09	のは全くキリスト教の力で御坐ります．	若し	之を疑ふものがあればキリスト降世前の世界に
	若	111	01	み我輩は一言すべきことが御坐ります．	若し	今回の事変にして単に今回の事変のみに止まら
	若	007	16	なら参議から人力車夫までやるがよい．	若し	茶道や名筆では外国と競争が出来ないといふ訳
	若	027	03	明りの行くのはいくらか時を費します，	若し	時間を費さないで行つたら不思議です．そこで
	若	005	04	人を相手にする気で無ければならない．	若し	支那人を相手にするといふ様なら支那の通りに
	若	088	07	を能く承知して居なければなりませぬ．	若し	自分が充分に完全して居ると思つて居るならば
	若	095	11	で御坐りませう．併し結局取り調べた上	若し	充分なる証拠の無い時はドウするか．証拠が無
	若	092	11	て道理を知つて居る諸君においてをや．	若し	諸君御銘々が耶蘇基督の高尚なる教を心に得て
	若	171	17	が国人に阿片の禁を勧めたこと（あれが	若し	勧めて，くれなからうものなら日本人もヨッポ
	若	215	05	せぬか．しかし，これとはアベコベで，	若し	西洋では小説や演劇はツマラヌものだと云つて
	若	135	04	不同意で御坐ります．之に答へますには	若し	世界が狭いものと言はれるならば基督教の趣意
	若	105	15	ては一言其の妄を弁ぜねばなりませぬ．	若し	該言渡にして論者の思惟さるゝ如く果して刑事
	若	040	11	で無ければ其の社会は立たぬことぢゃ．	若し	其のウラにゆけば其の社会は必ず亡びるに違ひ
	若	081	06	ことで無く霊魂上のことで御坐ります．	若し	其の内部の性質が何れも能く完全して居るなら
	若	007	15	づくのハテでも人情だから仕方が無いが	若し	其れがよいことと思ふなら参議から人力車夫ま
	若	008	09	は此の違ひが本当に分らぬからのこと，	若し	其れが分つたならばなかなか箇様に温かい褥の
	若	039	10	如何なる訳かと云ふと其の様な社会では	若し	他の社会から攻撃されたときに足手まとひが有
	若	020	04	道の外を通つて太陽を繞つて居ますから	若し	太陽の向ふの方に此の星が居る時には太陽のソ
	若	157	04	した（尤も今ではカタが変りましたが）	若し	地が回るとなると羅馬法皇の，仏教で申したら
	若	128	11	つたものであるか未だ一向分りませぬ．	若し	遂に各国の学者皆な近来の色々の論を承知する
	若	082	10	商法がさかえても機械が賑かになつても	若し	道徳のことが乱れて不道徳盛んならば本当な進
	若	182	12	せん．成る程それに違ひありませんが今	若し	日本国中の人を上中下の三等に区別して其の中
	若	135	09	伝へよ」といふことで御坐ります．また	若し	人間の色々の楽みと哀み人の色々の願ひと望み
	若	099	10	となりしに相違なし．諸君試みに思へ．	若し	ノルマントン号の船長が我々日本人民を西洋人
	若	124	06	で有るまいと希望いたします．併しまた	若し	図らず今度のお話しの序に僅でも其の他の聴衆
	若	043	16	て其れで開ける様になりて来たのぢゃ．	若し	初めより仏法の教が行はれたらば人類は亡びた
	若	044	01	種を打ち負かして勝を取りたからぢゃ．	若し	初めより耶蘇の教が行はれたらば文明は起らぬ
	若	100	13	命の死を遂げたものであらうと考へる．	若し	果して，さうだとすれば我々今の際に当りて啻
	若	102	17	き大原因となつたのであらうと考へる．	若し	果して然るなれば此の大原因たるところの弊を
	若	106	07	る場合に於ては一応其の事の審問を為し	若し	果して海員たるの任に堪へざるか若しくは怠慢
	若	278	10	益したることであらうと存ぜられます．	若し	果して幾分か諸君を益したらば私の幸ひは実に
	若	135	06	督教は則ち世界中の為めで御坐ります．	若し	万国万民が狭いものならば基督教の趣意は実に
	若	090	05	の教訓が余程大事なもので御坐ります．	若し	人が知識浅く天地の道理に疎いならば迚も進歩
	若	175	06	りであれば後々とても人が殖えませう．	若し	人が減つて来たらモウ望みは無い．減らぬから
	若	040	07	様な社会では男女共同の方が正しいので	若し	一人の夫が一人の女房をもつと却りて道に背く
	若	182	02	ぜなれば夫婦の関係は人間道徳の基礎で	若し	夫婦の間柄が宜しきに適はなければ親子の間柄
	若	109	08	は何の為めにおくものであるかといふに	若し	船が衝突することが有るか暗礁に乗りかけるこ
	若	168	05	じやうなもので，これは当り前なことで	若し	古いものばかり見て，いゝ気になつて居るやう
	若	013	14	と云ふことに自然と眼が着きます．併し	若し	も我々が非常に近眼で五里か十里先きのものが
	若	021	06	などもソックリ有るに違ひない．其れに	若し	も無ければ其れの方が却つて解しにくい．そこ
	若	032	06	るものでは無からうかとも思はれます．	若し	も其の通りで有ると始めにお話しを申しました
	若	118	01	無いが此の会はこれでよいと思ひます．	若し	も人に虚言をつくやうな人ならば節酒会にも，
	若	181	13	弊害の根本たる者があらうと存じます．	若し	も世の弊風を改めやうとならば先づ其の根本か
	若	195	11	立派な彗星だ」と言つて済みましたが，	若し	もこれが天保年間ででも有りましたら，たゞ「
	若	110	11	らして実に不思議と思ふより外は無い．	若し	や我輩の疑ふ所をして事実に違はざらしめば彼
	若	197	17	者の苦しんで居る所の彗星と云ふものは	若し	や惑星と同じ種類のものでは有るまいかと云ふ
	若	212	04	して知れませう．たゞ少し恐ろしいのは	若し	や彗星の心がぶつつかりはしないかと云ふこと
	若	162	11	歓を承けて以て天倫の楽みを全くすべし	若し	故なく群を成し相聚り酒を飲む者あれば其れを
	若	086	07	勢力は何処に御坐りますか，これに付て	若し	世の人々の自分の見込み，また一般の輿論に問
	若	132	01	仕方を用ふるもので御坐ります．卒業生	若し	よく謹んで無証拠な設理を避けて学術のよく定
	若	100	07	ノルマントン号の乗客なりしと考へよ．	若し	羅馬人にして彼のノルマントン号の乗客であり

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もし）	若	173	07	先づ無いやうになつたので知れませう．	若し	我が日本の国人と北亜米利加の人と親しんだな
	若	135	02	は神学卒業生で御坐るかも知れませぬ．	若し	私ども専らに基督教をのみ研究し且弁論するな
	若	028	07	に有ると思つて居るです．箇様な遠方に	若し	我々の親類が居ても便りといふは唯明り使ひば
	若	255	11	云つて賤しめるものでは有りますまい．	若し	，かういふことを以て尊卑を定めると昔の大名
	若	036	01	いなる欲は大いなる社会」と言ひますが	若し	「大いなる社会は大いなる酒好き，大いなる酒
もじ	文	213	11	楽しませるかと申すに小説と云ふものは	文字	上のことで有るから其の面白みも文字を読む者
	文	003	03	之を知つて居ても仕方が無い．言葉だの	文字	だのは智識の方便即ちテダテで其れを知つただ
	文	076	14	ふことと害を除くといふことは口で言ひ	文字	で書く様に判然と参るもので無い．利で無けれ
	文	167	16	，まるで自分の物のやうになりました．	文字	でも其の通り相互に智識交換の為めに書くもの
	文	006	09	い．動物学の講義でも植物学の講義でも	文字	の講釈に止つて居る．これはドウしても免れぬ
	文	024	08	の所に筋の様なものが見えます，丸に一	文字	の紋所とでもいふべき形に見えます．此の筋と
	文	051	07	の御演説は尤もで何も彼もふるつて支那	文字	の不便なこと仮名の便利なことを述べられまし
	文	051	13	を省いて書くといふ様に日又一日に仮名	文字	の用ひが殖る様の実があがりませぬでは名簿ば
	文	052	08	もモロコシの字を用ひたので無ければ横	文字	の書物より外は無いから英書か仏書の読める人
	文	151	08	戸長役場の書記も官吏です．併しこれは	文字	の定義のお話しです．第二は此の公法の原則，
	文	051	05	すが甚だ不調法で御坐ります．先づ仮名	文字	は便利でありモロコシ文字は不便であるといふ
	文	051	05	す．先づ仮名文字は便利でありモロコシ	文字	は不便であるといふことは諸君のお話しもあり
	文	003	13	ない．それで今我が国の有様で居ますと	文字	を習ふヒマの為めに稲を植るヒマも水車改正の
	文	051	12	集まりなされた方が使へるだけは仮名の	文字	を使ひ，成るたけモロコシ文字を省いて書くと
	文	051	12	は仮名の文字を使ひ，成るたけモロコシ	文字	を省いて書くといふ様に日又一日に仮名文字の
	文	051	14	んなら一旦に仮名のみを用ひてモロコシ	文字	を廃してしまつたらドウだといふに其れは順序
	文	132	06	ども，かの敵の色々の働きは水の外面に	文字	を書き或は刀を抜いて空気を切るが如くに一向
	文	167	17	ウか行はれて居ますが若し今すぐに此の	文字	を取られて御覧なさい，日本はヤミになりませ
	文	213	12	は文字上のことで有るから其の面白みも	文字	を読む者に限り，また作者も多少の学問が無け
もしくは	若	106	05	のボールド，ヲフ，トレード即ち商務局	若しくは	海事裁判所に於て船長又は其の他海員に不
	若	138	12	いものの方が間接に効能が著しい．馬琴	若しくは	其の流派を汲む人が書いた小説は重もに勧
	若	106	07	し若し果して海員たるの任に堪へざるか	若しくは	怠慢其の他不法の所為あるに於ては其の海
	若	256	06	救助と申しますものは全国，又は府県，	若しくは	町村よりして救助することで有りまして第
	若	253	11	を収むると云ふまでには三月或ひは四月	若しくは	半年も要することで有りまするから濡れ手
	若	256	08	と申しますものは一私人，又は数私人，	若しくは	有志者，特志者から救助することで有りま
もずめ	物	054	13	くつては困ります．手紙の書き方の本は	物集	先生の御著述を待つて居ります．さて又今まで
もそつと	も	138	05	り一滴や二滴のモルヒネを上げるより，	もそつと	善い薬が有ると申してスペンサーのフ／ヒ
もた	も	041	17	ふて居る．支那では上の方に十分，権を	もた	せて上の者は下の者を圧制するがよい，下の人
もた	持	020	02	て居る星で地球と同様に自分には明りを	持た	ないで太陽の明りを借りて照つて居ります．所
	持	021	10	居ない，智慧と言ものは人間よりほかは	持た	ない，人間の上は直に神だと思つて居りました
	持	024	02	運動しますがいづれも自分で熱や光りを	持た	ない，皆太陽から仕送りをして貰つて居るので
	持	028	15	二つは有りますが外に惑星の様に明りを	持た	ない眷属が多分有るだらうと思はれます．して
もち	も	044	08	ば其れで許すのぢゃ．且法は政府が権を	もち	て居るから背けば罰することが出来るが道は開
	も	045	15	であらうと云ふことは政府が刑罰の権を	もち	て居ることぢゃ．悪い事をした人を害するに首
もち	持	184	07	御坐りますが，たとひ一人で多くの妻を	持ち	又は妾を置くことはせんでも若し何時でも勝手
もち	餅	014	07	は唯ボンヤリして何だか分らず俗に兎が	餅	を搗くのだと言ひます処が余程はつきり見えまし
	餅	034	05	のの意味を尋ねますれば月の中には兎が	餅	を搗いて居るとか雷は大鼓をしょつて居るとか言
	餅	034	06	いふものは，かういふもので決して兎が	餅	を搗いて居るでは無く，又雷は大鼓をしょつて居
もちこま	持	143	07	説と云ふ美術で有るから是非勧善懲悪を	持ちこま	ねばならぬものとすれば真正の小説は出来
もちださ	持	137	13	育に関する事柄の改良を教育会の外から	持ち出さ	れては済まないことと思ひまして今日其の
もちだし	持	137	04	室に於て関直彦君演説小生は妙な問題を	持ち出し	て諸君のお聞きを煩はすは小説改良論で御
	持	022	06	七百万里で有ります．そんな大きな数を	持ち出し	ても例の通り見当が分り兼ねますから雛形
	持	032	09	知れませぬ．いづれにしても私の最初に	持ち出し	ました問題即ち「我々はどこに居るか」と
	持	255	05	に人の道徳内の悪事までも探索して之を	持ち出し	ました．警察に於ては法律の違反者，又は
もちひ	用	051	13	て書くといふ様に日又一日に仮名文字の	用ひ	が殖る様の実があがりませぬでは名簿ばかりで
	用	263	11	べましたる四つの方法は国によつて其の	用ひ	方を異にして居りまするけれども皆な四つの中
	用	162	10	を孝養し其の父母喜ばゞ酒を家庭の間に	用ひ	献酬歓を承けて以て天倫の楽みを全くすべし若
	用	060	12	ぢりの不理屈を唱ひ父兄の言ふことをも	用ひ	ずして酒を呑み煙草を喫し無益の美服を飾り放
	用	052	07	究理のことでも歴史でもモロコシの字を	用ひ	たので無ければ横文字の書物より外は無いから
	用	053	02	れます．もと漢学の開け始まりは漢語を	用ひ	た方が上品の様なおつな習はしがあつて漢語が
	用	031	08	星のかたまりで望遠鏡のモットよいのを	用ひ	たら粒々と見ゆるもので有るまいかと云ふ疑ひ
	用	266	07	入れまする．其の方法は最初は分房法を	用ひ	沈黙させて其の所為の悪かつたことを回想せし
	用	004	15	て日本人は昔から支那を貴んで其の字を	用ひ	て居るから支那をお師匠さんにして居るうちは
	用	008	02	い．何が証拠かといふに安んじて漢字を	用ひ	て居る人が多い．一刻も早く無くなすことに気
	用	038	14	とで野蛮の社会では野蛮に相応した術を	用ひ	て其の社会を維持し進歩を謀らねばならず，又
	用	051	14	は思へない．そんなら一旦に仮名のみを	用ひ	てモロコシ文字を廃してしまつたらドウだとい
	用	052	14	もと古事記日本書紀よりこのかた漢文を	用ひ	て公文は漢文で書くことになりましたが漢文は
	用	162	09	商賈は車牛を牽て遠きに往き其の所得を	用ひ	て其の父母を孝養し其の父母喜ばゞ酒を家庭の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もちひ）	用	055	04	れたい．兎角仮名がよいと言つて自分で	用ひ	ても人が仮名を用ひないから漢字で無ければな
	用	090	09	ロを教ゆるもので御坐ります．基督教を	用ひ	天の光りを受けて世渡りするものは必ず種々の
	用	055	05	よいと言つて自分で用ひても人が仮名を	用ひ	ないから漢字で無ければならないといふ様なこ
	用	060	02	ないザンギリアタマの無い所や蝙蝠傘を	用ひ	ない所は少ないと云ふは必竟これ等は便利であ
	用	234	16	開けて今日ではギリシャローマの言葉を	用ひ	ないでも自国の言葉で十分，学理を説くことが
	用	054	16	り経文は漢字であり，さうなると耶蘇を	用ひ	なければならない．我が国は支那の本で修身を
	用	267	07	する．故に此の部の事業は必ず分房法を	用ひ	なければなりませぬ．第四の出獄人授業部の事
	用	042	15	では政治上のことに至りては道徳の筋は	用ひ	ぬ，道徳は交際上におもなことで政府が道徳の
	用	052	04	話しとして）数字の外はモロコシの字を	用ひ	ぬことと触れ出し一字使つた者は懲役一年，二
	用	266	08	の徴をあらはしたときに至つて家族法を	用ひ	まして其の模様を験しして専ら教育を施し丁年
	用	266	11	いたしまする．此の所に於ては階級法を	用ひ	まして最初は専ら懲戒を主として分房法を用ひ
	用	266	12	悔悟の徴をあらはしました者は緘黙法を	用ひ	まして昼は多くの囚徒同様の場所に於て仕事を
	用	266	15	認めらるゝときに至りましては雑居法を	用ひ	まして其の模様を試験し，いよいよ改悛したる
	用	026	05	いふ大きな数が出ます．さつきの雛形を	用ひ	ますと海王星を太陽から三里ばかりの所へ置き
	用	264	01	部に於ては重もに家族法と称する方法を	用ひ	ます．則ち幼年者を数組に分ち，長幼の別を正
	用	266	12	して最初は専ら懲戒を主として分房法を	用ひ	ます．而して大分，悔悟の徴をあらはしました
	用	034	15	の人はさうで無い，大慾の人は余り酒を	用ひ	ませぬ．歴史などを見ましても酒を飲まない人
	用	234	15	問は出来ない，自分の国の言葉は学問に	用ひ	られるもので無いと思つて居ました．其れが段
	用	244	15	で，之を維持せむには陸軍，又は海軍を	用ひ	，或ひは警察を用ひ，また監獄を用ふることに
	用	244	15	は陸軍，又は海軍を用ひ，或ひは警察を	用ひ	，また監獄を用ふることになります．故に秩序
	用	244	17	中，内乱，外乱に関することは陸海軍を	用ひ	，日々の取締に関することには警察を用ひ，悪
	用	245	01	ひ，日々の取締に関することには警察を	用ひ	，悪人取締の為めに監獄を用ふることとなりま
	用	263	08	りまして刑期の初めは厳密なる分房法を	用ひ	，其の後ち段々と改悛の情状をあらはすに随つ
もちひる	用	089	11	ります．無下に賤い人でも若し基督教を	用ひる	ならば進歩するの志が必ず厚くなりますれば
もちふ	用	162	06	に戒めらるゝには惟々，祭祀は則ち酒を	用ふ	べし蓋し天の我が民に酒を作らしむるは郊社宗
もちふる	用	006	05	さへすれば分るだらう．また今日漢字を	用ふる	が為めに教育上実に奇々怪々なる結果が有る
	用	054	04	ものを失ふ．この用を弁するには仮名を	用ふる	ことを開くに如かずと思ひます．また後のこ
	用	244	16	を用ひ，或ひは警察を用ひ，また監獄を	用ふる	ことになります．故に秩序安寧の中，内乱，
	用	245	01	は警察を用ひ，悪人取締の為めに監獄を	用ふる	こととなりまする．尤も監獄には国事犯等の
	用	247	15	で有りますから此の外部の道具じかけを	用ふる	ことと致します．其の第二は，教誨法即ち心
	用	263	12	りまするけれども皆な四つの中の一つを	用ふる	だけに止ります．さて，また欧米諸国に於て
	用	008	13	出来ないが若し幾年から仮名か羅馬字を	用ふる	と国会設立の様にしたいといふなら明治百年
	用	162	16	過ぎた様だが乱国を治めるには重き典を	用ふる	といふことがあるから其の当時に在つては已
	用	126	16	は感心なものだかも知れぬけれども其の	用ふる	所の方法は決して，よいもので御坐りませぬ
	用	127	01	之に勝つことは出来ますまい．この者が	用ふる	所の仕方は随分ケンノンな仕方で御坐ります
	用	132	02	て学術のよく定まつた事実を斯の如くに	用ふる	ならば，この貴い学術をして宗教につかへさ
	用	131	17	に有名なる説教師は大概皆な此の仕方を	用ふる	もので御坐ります．卒業生若しよく謹んで無
	用	048	08	様のものを為すことになり一つの法律を	用ふる	様になるであらう．尤もどれほど年数がたつ
もちまえ	持	213	06	は大不得手の方で古い事を穿鑿するのが	持ち前	イヤ病ひで御坐いますから，たゞ小説なり演
	持	160	03	消つきりのものかを穿鑿するのが教法の	持ち前	でごす．さう煎じつめると学問は天地間の物
	持	215	12	の小説とても深くは読みませぬ故にたゞ	持ち前	の我が国のことばかりに付て申しませう．先
もちゆ	用	030	17	の進歩，総ての改正改革を遂げる為めに	用ゆ	べき方法は斯の如きもので御坐ります．第三．
もちゆる	用	061	14	する人の散歩するに方つて尚ほ人力車を	用る	あり，或は又運動を必要とする男女学校生徒に
	用	081	03	ばなりませぬ．人が自分の勝手に作つて	用ゆる	所の品々の進歩で御坐りませぬ．進歩といふ
	用	081	11	ければなりませぬ．人が勝手に造り且，	用ゆる	所の器物品物家屋また器械等のものでは御坐
	用	061	03	や丸髷島田を御覧のときは又未開化人の	用ゆる	ものたるを知られませう．故に概して言ふと
もちろん	勿	122	15	かと云ふことを諸君に御相談致したい．	勿論	かういふことは急にいかないものだが医者に懇
	勿	084	13	坐りました．或は貴国の上で申すならば	勿論	御維新の頃に当りませう．欧羅巴各国において
	勿	127	06	たやすく之に勝つことは出来ますまい．	勿論	これ等の専門家が其の専門と致した所のことを
	勿	167	14	い学問の力によらなければ，ならぬのは	勿論	でありませう．我が日本には昔より東漸といふ
	勿	156	06	ネ．昔でも今でも日が出ると言ひます．	勿論	天文者でも日が出ると言ひますが日の方から出
	勿	134	12	りまする．末が貴いものならば其の本は	勿論	貴いもので御坐ります．先づ基督教は善の教で
	勿	059	12	武工商農等の必要なる学芸の輸入せしは	勿論	なれども之と共にコレラ痘瘡等の悪病より煙草
	勿	227	15	居られたかと云ふと真正の主権者なるは	勿論	なれど其の形ち，大名に対しては或ひは管轄権
	勿	116	08	は無い，僅に一合か二合しか飲めない．	勿論	若い時から好きは好きだが今まで酒の為めに大
	勿	100	10	名の同胞は羅馬人の如く尊敬されざるは	勿論	，英人の如く尊敬さるゝこと無く米人の如く尊
	勿	102	11	有様を知つてる人は万人に一人も無いは	勿論	，日本はドウいふ国やら日本は支那の属国やら
	勿	125	03	の務めの邪魔になるもので御坐ります．	勿論	，今この一席の間に其の色々の邪魔と妨げをチ
	勿	129	16	実にをかしいことでは御坐りませぬか．	勿論	，学術に於ては鬼の角をぬきとるの効力が御坐
	勿	214	11	コにしてしまふ」などと云ふことで士は	勿論	，然るべき人とはツキアヒが出来ませんだつた
	勿	215	11	なければ面白くないが私は西洋の小説は	勿論	，支那の小説とても深くは読みませぬ故にたゞ
	勿	221	17	と云ふものを作りましたが奇怪なことは	勿論	，自殺や残酷なことが多かつた．今，千歳座で
	勿	224	06	少ないと云ふ位で有るから奇怪なことは	勿論	，残酷なことや自殺だの情死だの強盗だののこ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
もちゐ	用	221	15	た．また三馬，一九などは今日の言葉を	用ゐ	て滑稽を述るのに妙を得，為永春水なども日用
もっ	以	022	07	例の通り見当が分り兼ねますから雛形を	以	て解き明しませう．先づさつき申しました直径一
	以	033	09	辛苦されたことと見えて或は「後世酒を	以	て国を亡ぼす者あらむ」と言はれ又「酒は百薬の
	以	033	11	世間に数千年来行はれてありますが酒を	以	て国を亡ぼすといふ方には世間で賛成者が少くし
	以	036	08	る欲の仲間にはいつて段々諸君のお力を	以	て益々盛大にし智慧を研き身体を丈夫にし財を貯
	以	036	11	いことでせう．どうか皆様のお骨折りを	以	て大慾の社会になることを希ひます．賛成いたし
	以	041	04	立たなくなる．中華と誇る国でも文明を	以	て鳴る国でも一度は彼様な風習を通りて来たに違
	以	042	16	際上におもなことで政府が道徳のことを	以	て責めると云ふことは無い．たゞ自分の利益を謀
	以	043	01	と云ふばかりぢゃ．然るに支那は道徳を	以	て天下を治めると云ふ三代の主義で法律は賤しむ
	以	055	09	して居ります．ドウゾ皆様のお骨折りを	以	て全く仮名の世界にしてしまひ，秦の始皇の大決
	以	063	08	て一千人に付き十五個の割合です．之を	以	て見れば欧米に在て車の比例は日本より素より多
	以	065	09	を除き，益あるものは力めて之を奨励し	以	て我が国民の健康を満足せしめむとするは則ち先
	以	067	14	とが出来ませぬから諸君も今日の卒業を	以	て足れりとせず益々法律に経済に従事せられ赫々
	以	069	01	年を待たねばならぬ訳で有ります．之を	以	て孛漏生国の司法官吏たること及び代言人たるの
	以	077	09	にも係はらず諸君が各々学び得たる所を	以	て社会の為めに利を興し害を除きまますることが恰
	以	077	11	とが親和する様に積極的消極的の学科を	以	て同一に社会の為めに利を興し害を除き蒼生の幸
	以	085	06	れば此の演説の最初から既に弁じた所を	以	て充分の証拠を立てることが出来やうと存じます
	以	091	09	ませうか．また進歩しやうと思ふ人が前	以	て棄てねばならぬものは何で御坐りませうか．先
	以	094	16	此の憤怒の感情よりして証拠も無い者を	以	て有罪であるといふのは法理の許さない所で御坐
	以	095	10	べき道があるべきのに，たゞ陳述のみを	以	て其の裁判を畢りたるは俗に言ふ片落ち裁判で御
	以	095	17	に過ぎないことで御坐りませう．これを	以	て謀殺に当る故殺に当るといふも其の説は取れま
	以	096	01	との元素が無ければなりませぬ．謀殺を	以	て問ふには予謀殺意及び殺害の所為が無ければな
	以	097	07	．この証拠蒐集のことは迚も二三の人を	以	て為し得べきことで無いから私が諸君に願ふ所は
	以	104	07	の社会のみ英語を話し英文を草し英語を	以	て著述し英語を以て演説すれば我々の目的は達す
	以	104	07	話し英文を草し英語を以て著述し英語を	以	て演説すれば我々の目的は達するのであります．
	以	104	11	とにあることなれば啻に殺人罪の告訴を	以	て満足せず啻に義捐金にのみ熱心せず其の根本に
	以	105	09	国領事は之を判決して無罪としたのは実	以	て言語同断の次第である」と言ひ或ひは「兵庫県
	以	105	11	戸の英国領事庁に於て開かれたる法廷を	以	て船長等の再審を為すものである」と報道するも
	以	105	12	ませぬ．我輩は固より英国領事の裁判を	以	て至当なるものとは看做さず実に疎漏にして且偏
	以	105	14	裁判であると思ふ．併しながら該言渡を	以	て一箇の刑事裁判の如く誤認せる論者に対しては
	以	110	13	は英国領事に向つて充分なる審理を尽し	以	て公平至当なる裁判を下されむことを冀望いたし
	以	110	16	ませぬ．故に寧ろ其の管轄を横浜に移し	以	て世人の嫌疑を避くること英国政府の為めに便宜
	以	111	07	はれる．故に我々は此の事に付て輿論を	以	て充分彼等の所業の不当なることを論じなければ
	以	126	07	箇様なお方にあふときは如何なる処置を	以	て成功することが出来ませうか．学術の色々の反
	以	126	12	力を疑ふことを致さずして自分の智力を	以	て総て学術に本づきたる反対論を駁つことが出来
	以	126	14	申されます．而してたゞ自分のミコミを	以	てＤａｒｗｉｎ氏Ｓｐｅｎｃｅｒ氏などの西洋の
	以	127	08	ます．けれども卒業生が其の未熟な論を	以	て彼の専門家のよく熟したる論を駁つと云ふこと
	以	131	07	た本を研究して而して西洋の学者の論を	以	て西洋の学者の反対論に答へることは誠によい仕
	以	131	15	くシッカリした事実を取つて而して之を	以	て其の演べる所の宗教の色々の面白い譬喩とし，
	以	132	04	は常に研究する所の新旧約聖書の明文を	以	て基督教の色々の反対論に答ふることが出来ます
	以	134	13	りまする．即ち世の中に於て善の勢ひを	以	て総ての悪を止める為めに世に起された宗教で御
	以	134	14	の善を顕はして而して其の総ての行ひを	以	て基督教に付て堅い証拠を立てねばなりませぬ．
	以	162	07	群臣の小子に教へて曰く常に酒を飲んで	以	て其の官職を怠ること勿れまた民の小子を戒めて
	以	162	10	ばゞ酒を家庭の間に用ひ献酬歓を承けて	以	て天倫の楽みを全くすべし若し故なく群を成し相
	以	162	12	者あれば其れを縦すことなく尽く執へて	以	て宗周に送るべし我この群飲の者を以て死刑に処
	以	162	12	て以て宗周に送るべし我この群飲の者を	以	て死刑に処すべしといふのだ．書経には偽書が有
	以	164	08	．一日行て亜丁に抵る英将の邀飲を被り	以	て地主の情を修む．酒酣なる時に当り主，客に請
	以	164	11	実を吐き相告げ並に詢ふに前進の程途を	以	てす．なんぞそ意はん英将，便に乗じ衣袋の内よ
	以	164	13	く身，重寄にあたり敢て延擱せず即時に	以	て纜を解く可しと．英将従容として言て，曰く惜
	以	164	14	して前往駐守せしむと．客之を聞き猶ほ	以	て戯れと為す．至れば則，果して英幟の已に樹つ
	以	166	11	の穿鑿をしない．たゞ考への上の道理を	以	て事実を見下す仕方だからモノゴトに，あてはむ
	以	179	04	の弊風を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し	以	て婦人の品位を開進するにありと規則書に見えま
	以	184	05	結婚の教即ちキリスト教に於ては結婚を	以	て神の定めたまふた律法とすることで御坐ります
	以	189	05	て見ると事をきめるには二つ以上の頭を	以	てし，きめた事は一人の執行権者が行ふといふ主
	以	190	09	使ひませぬが外国では皇帝陛下の名義を	以	て判決すといふ言葉を使ふ所があります．また裁
	以	192	11	立てられますが，ツマリ二つ以上の頭を	以	て万事を議することになつて居ります．其れから
	以	193	05	大臣より成り立つて居る．政府の名義を	以	てやることは天皇陛下のなされることである．其
	以	199	09	は及びません．さて彗星の毎日の観測を	以	て其の軌道を取り出して見ますと皆な抛物線で有
	以	217	17	．其れから色々の物語が出来ましたが今	以	て名高いのは伊勢物語，其れから源氏物語で段々
	以	218	01	みになり殊に源氏物語は非凡の大筆で今	以	て和文を作るにも言語の学問をするにも必要なも
	以	221	15	に妙を得，為永春水なども日用の言葉を	以	て一家の人情本を作りましたは何れも洒落本の口
	以	233	12	は行かずに稍々程度を下くして日本語を	以	て教ふると云ふのが誠に宜しいことで有ります．
	以	233	14	る人が私に申しまするには今，西洋語を	以	て教ふる大学と云ふやうな専門学校が有るなれど

代表形	判	ページ	行			
（もっ）	以	233	15	其ればかりでは仕方が無いから日本語を	以	て教ふる専門学校を起さねばならぬが其れを起す
	以	234	10	たる学理を脳髄から練り出して日本語を	以	て教ふる学校の元祖になりました．ドウしても，
	以	235	03	ります．そこで此の専修学校は日本語を	以	て教ふる専門学校の元祖で今日の如き盛大な有様
	以	235	06	を祝するので，尤も別に珍らしい言葉を	以	て祝することは出来ませぬが諸君の刻苦勉励で今
	以	238	04	になつた者のことを想像されて其の志を	以	て勉強されることを望みます．尤も今お話しした
	以	242	04	した．因つて其の需に応じ八月二十日を	以	て副典獄，看守長，書記，看守，等凡そ四五十名
	以	245	17	い事をした者が有れば之を罰するに刑を	以	てする其の意味はカタキウチ即ち復讐と云ふ考へ
	以	247	10	せぬ．よつて監獄に於ては二つの方法を	以	て人心の改良を図りまするもので有ります．其の
	以	250	07	終りを善くする者は死亡するまで良民を	以	て終わりまする．只今，申したのは本街道で有り
	以	250	10	此の悪い道に飛び込みまする者を年齢を	以	て二つに区分いたして申し上げませう．即ち丁年
	以	255	11	は有りますまい．若し，かういふことを	以	て尊卑を定めると昔の大名の中には随分宜しくな
	以	256	12	るもので，これは日本では備荒儲蓄法を	以	て行なつて居りまする．さて貧民の救助の結果は
	以	257	08	は已むを得ず公けの救助と私の救助とを	以	て救助をしなければなりませぬ．また並みの少年
	以	258	06	は別に甲乙は有りませぬ．此の二かどを	以	て救助いたしまする者に二つの種類が有りまして
	以	259	03	救助を施しますには或ひは公けの救助を	以	てし，或ひは私の救助を以てし，或ひは私設救助
	以	259	03	公けの救助を以てし，或ひは私の救助を	以	てし，或ひは私設救助に政府，又は府県，町村よ
	以	259	04	，又は府県，町村より補助するの仕方を	以	てやるべきもので有りまする．斯くの如く貧民の
	以	260	03	方にばかり偏したときには天下の財産を	以	て之を補ふとも引き足らないやうになりませう．
	以	261	03	と思ひます．其の方法は異名又は番号を	以	て行つても宜からうと存じまする．前に段々と論
	以	262	14	ひまして，これは昼間は厳密なる規則を	以	て囚徒を緘黙せしめ他の囚徒と同一の場所にて役
	以	264	02	年者を数組に分ち，長幼の別を正しくし	以	て教育感化することになつて居ります．この家族
	以	266	04	の所に於ては放恣不良の幼年者を感化し	以	て犯罪の予防をすることで有ります．これ等に施
	以	269	11	即ち六割四分で有りまする．また年令を	以	て割合を申しますると十歳以下は百八十七人即ち
	以	274	05	費用と云はざるを得ませぬ．此の費用を	以	て兵卒を養ふ者と致しますると三万八千人を殖す
	以	274	13	於ては千八百五十五年五月五日の法律を	以	て府県監獄費をも国庫より支弁することと致し全
	以	274	16	は千八百七十年にこれまた非常の英断を	以	て地方監獄を中央政府の直轄と定め以て大いに改
	以	274	16	を以て地方監獄を中央政府の直轄と定め	以	て大いに改良を加へました．其の二国の改良の中
	以	275	09	四年九月十九日の太政官達第八十一号を	以	て監獄則を発表せられましてから非常の改良を加
もっ	持	044	04	に元の通りになるから全く反対の点まで	持	て参らねばならぬことぢゃが其れと同じことぢゃ
もつ	も	150	13	るものかと言ふに憲法では一国の権力を	もつ	て居るもの即ち政府とか天皇とかいふものの組
	も	183	07	夫一婦といふことは公然さへ一人の妻を	もつ	て居れば内証ではドウいふことをしても苦しく
	も	193	11	極新しいことであり，欧羅巴の新主義を	もつ	て来て採用するやうに見えまするが天子の勅詔
	も	234	04	は出来ない．まして専門学校で翻訳書を	もつ	て教へるやうな先生が有つたからとて其の様な
	も	259	05	民の救助は犯罪人の予防減少に大関係を	もつ	て居りまするから此の救助の方法は監獄上より
	も	040	07	正しいので若し一人の夫が一人の女房を	もつ	と却りて道に背くことになりて居る．箇様なる
もつ	持	024	04	陽の孫で有ります．地球の外にも眷属を	持つ	た惑星が有るかと云ふに随分有る．先づ第一に
	持	028	14	子で有りませう．併し太陽系では明りを	持つ	たものは太陽一つでしたが其の世界では確に明
	持	028	15	陽一つでしたが其の世界では確に明りを	持つ	たものが二つは有りますが外に惑星の様に明り
	持	005	13	競争が出来るなら．甲冑を着て鎗長刀を	持つ	て西洋人とイクサをするがよからう．漢字と西
	持	006	12	聞くとなかなか出来ない，いつでも本を	持つ	て一枚一枚に一字づゝ講釈をする，本を見なく
	持	007	03	が地方へ巡回に出ると直に毛氈と唐紙を	持つ	て来て名筆を揮はれむことを請ふを競ふ世の中
	持	023	10	ならない，其れだから其の雛形をこゝへ	持つ	て来ることが出来なかつたので有ります．実に
	持	052	05	しモロコシの字を書いた書物は広い原へ	持つ	て往つて焼いてしまふといふ大決断をいたすと
	持	054	02	初学で下り而して舟を漕ぎ，畑へ弁当を	持つ	て行く様になる．其れを用の弁ずるまで学ばさ
	持	070	05	人で御坐いまして其の中に法学士の称を	持つ	て居る人数は調べ落しましたが二十人たらずで
	持	085	15	て盛んにすること．また一つは人が既に	持つ	て居る所の善き事柄の上に色々と他の善きモノ
	持	110	09	釈を許されたといふからには現に大金を	持つ	て居る人もあるに違ひ無い．これ等のことに付
	持	120	05	ば各の住民は，ほとんど飲酒家の鑑札を	持つ	て居る様なものだ」と述べました．またＯｅｔ
	持	135	14	す所が広く且遠くなります．聖書を手に	持つ	て而して聖書に説く所の高い所より世の中の有
	持	170	05	へ行く者の方は金も千両なら千両揃へて	持つ	てゆきませうが亜米利加へ行く者の方はさうで
	持	192	16	下に文武百官を使つても執行権は天子が	持つ	て居られる．其れで今日まで執行権は天子とな
	持	208	07	べるのはヨホド易い．大抵の人が時計を	持つ	て汽車の出る時に時計を見，汽車の止る時に時
	持	210	16	彗星に突き当れば我々はズット寒い所に	持つ	て行かれて寒える」と言ふ人も有りました．ゆ
	持	212	08	ることが出来ます．また金や銀や宝石を	持つ	て来るかも知れませんが，古物学者などに取つ
	持	223	13	狂言の趣きを版にしたのを今も好事家は	持つ	て居ます．これは今云ふ筋書のやうなもので其
	持	182	10	一婦は即ち古より我が日本国の風で妾を	持つ	者は真の万人に一人か，千人に一人に過ぎない
もっか	目	180	14	と答へても宜からうと存じます．然らば	目下	我が邦の社会改良を謀り殊に婦人に正当の地位
もっと	モ	198	11	とはドンナものかと言ひますと，これは	モット	早いテダテが有ります．其れは石を空に向け
	モ	031	08	ノガハみた様な星のかたまりで望遠鏡の	モット	よいのを用ひたら粒々と見ゆるもので有るま
もつと	も	054	11	しい．其の外，天文，地理，本草，地質	もつと	欲深く鉱物の学問，機械の学問，蒸気の学問
もっとも	最	054	08	めてモロコシ西洋の歴史，理学，化学，	最も	入り用なのは算術，算術も仮名ばかりで書いた
	最	057	12	近県の様子を見まするに此の埼玉県下は	最も	衛生が盛んにして浦和川越熊谷深谷行田到る所
	最	091	07	社会とを論ぜず一体，人の進歩を妨げて	最も	大いなる邪魔を為すものは何で御坐りませうか

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もっとも）	最	091	08	げるものは何で御坐りませうか．人間の	最も 大いなる害になるものは何で御坐りませうか．
	最	180	12	キリスト教国とキリスト教を奉ぜぬ国の	最も 大なる差別は何かと問はゞ婦人の地位有様と答
	最	269	10	孝，其の他のもので有りまして其の中，	最も 多き者は窃盗，強盗で其の数五千三百七十四人
	最	059	16	り種々の物の輸入するけれども其の中で	最も 多く人の好くものは何かと云ふに先づ奇麗なも
	最	122	04	係が妙に思はれませう．また其の為めに	最も 恐るべき黴毒が殖え，また私生の子が殖えます
	最	274	17	良を加へました．其の二国の改良の中で	最も 重もなる者は一房一囚の制でありまするけれど
	最	180	15	なる関係を有する者であるかと尋ぬるは	最も 肝要な問題で御座ります．然しながら是は一大
	最	099	12	船乗につきあつて見たことは無いが其の	最も 義侠の心に富むで居るものなることは世間の既
	最	065	11	袖広帯のナマケ服など共に皆改むべきの	最も 急務なるものです．今にして之を改めなければ
	最	142	12	下りまして馬琴の八犬伝を書いた時分が	最も 小説の盛んなる時で其の後は大体，馬琴の流亜
	最	179	06	の地位を高くすることにはキリスト教は	最も 親密な関係ある者で御坐ります．依て私はこれ
	最	015	08	つかしいが天文学の測量の中ではこれが	最も 精密に出来るもので有ります．さてこの測量の
	最	276	14	．何事にても由つて起るところの原則が	最も 大事なるものでありまする．以上に縷陳いたし
	最	142	05	致せ軍艦を造るに致せ小説を著すに致せ	最も 大切なるもので中々凡庸の才智では旨く出来な
	最	267	10	力するので有りまする．此の部の事業は	最も 大切なることで有りまして若し此の部の仕事が
	最	059	03	．此の県下で六伝染病中チフスの居候が	最も 沢山あると云ひますから下水流しなどの穢い所
	最	182	13	等に区別して其の中孰れに妾を蓄る者が	最も 多数であるかと尋ねたら如何で御坐りませうか
	最	198	06	るかと云ひますと楕円を形ちづくるには	最も 容易いテダテが有ります．其れは春の頃にタケ
	最	185	05	キリスト信徒は其の代りに妻を選ぶのに	最も 注意して決して軽々しく婚姻は致しません．現
	最	139	15	トルヒューゴなども有名な人ですが其の	最も 長じたる所は小説で御坐ります．諸君も其の著
	最	104	02	性を備へ居りまするが大改革を行ふには	最も 適当の人民であります．即ち国語を変ずるとい
	最	203	16	が有ると云ふことがアトで知れました．	最も 名高いのは西暦八百三十七年に出た彗星で有り
	最	018	15	星と名づけまする．いくらも有りますが	最も 名高くて諸君の御存じのは西郷星で有ります．
	最	270	03	多少は其の教育の有無に関係することが	最も 甚しいものと見えまして，前に申した八千四百
	最	100	17	り遂に軽蔑されぬ様な計画をめぐらすが	最も 必要であらうと考へる．然らば何故日本人は斯
	最	149	15	す．殊に社会上，政治上のことに付ては	最も 必要でありませう．これが行政法とか憲法とか
	最	182	05	りません．それ故に今社会を改良するに	最も 必要なことは一夫一婦の教の普く行はるゝこと
	最	260	01	第四，救助費の額を定むること．これは	最も 必要なことで，例へば一万円と定むるか或ひは
	最	260	05	は更に寄附を受けざること．これも亦，	最も 必要なことで，例へば一万円の年額を要する為
	最	260	15	は内務大臣の監督を受けると云ふことは	最も 必要で有ると思ひまする．其れは右の行政官に
	最	263	05	為す位なもので有りまする．此の方法は	最も 不完全なるもので有りまする．第四は階級法と
	最	183	02	結果は実に思ひ遣られます．また我々の	最も 不思議に思ふのは世間で妾や権妻といふ者を何
	最	104	02	語を変ずるといふことは他国にありては	最も むつかしきことなれども日本に之を実行するは
	最	132	16	す．第七．基督教の反対論に答へるには	最も よいものが御坐ります．即ち卒業生が己が身に
	最	255	16	有りますまい．よつて獄吏は此の趣意を	最も よく心に銘して監獄の賤しからざることを知り
もっとも	尤	157	04	になれないと云ふ位な勢ひで，ごした（	尤も 今ではカタが変りましたが）若し地が回るとな
	尤	238	04	の志を以て勉強されることを望みます．	尤も 今お話ししたことでは事実などはお話ししませ
	尤	245	02	為めに監獄を用ふることとなりまする．	尤も 監獄には国事犯等の者を入れることも有ります
	尤	231	14	村長と云ふ方が，よいやうに考へます）	尤も 行政上では施政者が議政の仲間入りをしてやる
	尤	185	04	ても決して離別することを許しません．	尤も キリスト信徒は其の代りに妻を選ぶのに最も注
	尤	234	12	るやうにならぬのは当り前で有ります．	尤も 極の高尚の所は原書で無ければならぬなれども
	尤	025	06	る．これは誰でもかう疑ふことです．（	尤も この誰でもとは，どの学者でもと云ふことで有
	尤	216	12	子供だましの話しに能く似て居ります．	尤も 此のやうなことは支那の昔の書物を見ると随分
	尤	259	15	百五十名とか限らなければなりませぬ．	尤も 此の限り方によつては時によつて変りますから
	尤	271	04	は二万四千六百九十九人でありまする．	尤も 此の在監人の中，六千七百五十三人は未決者と
	尤	278	02	事柄は了解せられたることと存じます．	尤も 此の講談に於ては前にも申しました通り陸軍海
	尤	076	02	ては同一で無いといふもので御坐んす．	尤も これに一つお断りをして置かなければならぬと
	尤	122	01	すと酒から罪を犯した者が随分に多い．	尤も これは東京府下だけのことでは有りますが酒の
	尤	236	16	また苦しめられた者も沢山有りました．	尤も 左様なる有様も御一新前になつてはヨホド減つ
	尤	202	08	十九年の四月のナカバには出るだらう，	尤も 三十日前か三十日後位にはなるかも知れないと
	尤	196	15	のが当り前だと思つて居るやうです，（	尤も 実は朝，太陽が出るのでは無くつて太陽の出る
	尤	172	08	の同意者となつたことなどであります．	尤も 条約改正に第一の同意者となつたと，いふこと
	尤	253	07	に教育，教誨，懲戒の三事を施します．	尤も 其の不良の度合ひに応じて右各科目の多少をき
	尤	048	14	も大いに行はれることとなるであらう．	尤も 其れは実に夢の様な話しなれども間違ひ無いこ
	尤	236	06	イサヲシは至つて小さいことで有つた．	尤も 其れより追々に開けて漸々と学び易くはなつた
	尤	272	05	られたる者を集治する所で有りまする．	尤も 集治監には二種類，即ち本地の集治監と島地の
	尤	011	05	るゝで御坐いませう．成るほど一応は御	尤 で有ります．併し神保町の車屋でも呼んで来て「
	尤	047	05	ぢゃとて歎く人も有るが成るほど一応は	尤も で，さうなりたいことは，なりたいなれど其れ
	尤	051	06	君のお話しもあり殊に外山君の御演説は	尤も で何も彼もふるつて支那文字の不便なこと仮名
	尤	200	11	つしゃるに違ひ無い．如何にも一応は御	尤も で有りますが，しかし彗星はイヤに形ちの変る
	尤	270	12	が多いと云ふことは此の事実から見ても	尤も で，また道理からしても，さうあるべきものに
	尤	235	13	ザは医術，其の後，砲術に移りました．	尤も 天文も渡りましたが其れは僅かで先づ一番は医
	尤	052	03	があると定め其の人が仮名の会の仕事を	尤も と思ひこんで（但しこれは我が国のことでは無

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もっとも）	尤	094	02	にて管轄すべきものでありまするから.	尤も	土地と言つても地理学上で言ふ土地では無く領
	尤	048	09	一つの法律を用ふる様になるであらう.	尤も	どれほど年数がたつたら，さういふことになる
	尤	263	04	別に区別を致しませぬもので有ります.	尤も	中には少しは区別を致すのも有りますが其れと
	尤	251	02	ます．然るところ「お前の説は至つて御	尤も	なれど終身刑の者があるが，これは死ぬまで稽
	尤	141	07	之を進歩せしめざりしとに因りませう.	尤も	馬琴，三馬，京伝などは少々学問も有りました
	尤	196	02	彗星だ」と言はれたかも知れません，（	尤も	婦人方と云ふのは一般の婦人のことで，束髪会
	尤	235	05	君の今日卒業されたことを祝するので,	尤も	別に珍らしい言葉を以て祝することは出来ませ
	尤	016	17	無い以上は人間は居る気づかいは無い.	尤も	全く無い訳ではなく少し位は有るかも知れませ
	尤	240	14	の如何を申し上げる訳には参りませぬ.	尤も	右の如きことでも中には他人に漏らしても不都
	尤	145	12	では金は集まつたが演劇の作者が無い.	尤も	依田先生の吉野拾遺と云ふ作も有れど今の所で
	尤	209	06	かし中に明りを通すと云ふ方が多くして	尤も	らしく，通さないと云ふ方が怪しいやうで有り
	尤	211	12	頭を突こんだことが現に有つたのです.	尤も	僅の間では有りますが現にアリアリと彗星の尾
	尤	241	04	，言ふを得られぬものと存ぜられます.	尤も	私の巡閲したる途中で福島県の道路が善かつた
	尤	121	14	を警視庁の掛りの人に尋ねたところが（	尤も	，これは私の事で尋ねたのでは無いが）警視庁
	尤	195	14	はすまいか」と言つたかも知れません.	尤も	，この三年前の彗星にしろ「戦争や何かには関
もっぱら	専	266	14	一囚づゝ分けて入れます．此の場合には	専ら	感化をつとめまする．而して感化も其の効があ
	専	278	08	来ませぬ．前にも申しました通り本論は	専ら	監獄全体に係る事柄を述べたので有りまするか
	専	266	05	誨と懲戒との三つで有りまするけれども	専ら	教育を主と致します．乙の場所は懲治場で有り
	専	266	09	家族法を用ひまして其の模様を験しして	専ら	教育を施し丁年に至れば通常の人民に入れるこ
	専	250	01	至るまで）は之を未丁年者と唱へまして	専ら	之に教育を施すべき時で御坐います．未丁年者
	専	269	16	ものと見えます，故に人の父母たる者は	専ら	十二歳より十八歳位までを非常に気を付けて監
	専	266	11	の所に於ては階級法を用ひまして最初は	専ら	懲戒を主として分房法を用ひます．而して大分
	専	084	03	ば或る国の人が機械のこと学術のことを	専ら	勉める間は其の外に種々の進歩が暫くの間止ま
	専	214	07	作者同様に下等の人情を鑿つことばかり	専	としたものだから自ら幇間みたやうになり人に尊
	専	218	12	懲悪などと云ふ方では無くて人情の方を	専ら	として書いたので有るからドレにも男女の間が
	専	224	04	狂言作者は学問はさておいて気転の方を	専ら	とするやうになり，少し学問気の有る者の作つ
	専	087	15	この故に既に申し上げた通りこの聖書を	専ら	に己の信仰と品行とのノリとする人はこれ等の
	専	135	02	生で御坐るかも知れませぬ．若し私ども	専ら	に基督教をのみ研究し且弁論するならば我れ等
	専	135	12	るもので御坐ります．イヽエ，基督教を	専ら	に研究しまた其の為めに励む者の趣意は決して
	専	140	04	日本では左様な訳で無し．日本で馬琴が	専ら	筆を執つて居ります時分に西洋ではウ／ヲター
	専	125	02	になるものも亦少なからず．そこで私今	専ら	弁じたいと思ひまする所は則ち若い伝道師の妨
	専	221	05	り，ますます俗耳を喜ばせるを手柄とし	専ら	遊里の事態などを書いた八文字屋本と云ふもの
もてあそび	モ	220	10	紙の世となり画巻物が流行つて女子供の	モテアソビ	モノとなりました．其れは画の方が重も
	モ	222	07	が事柄が卑しかつたからツマリ婦女子の	モテアソビ	モノに過ぎなくて士君子は見るのを耻る
もてあそび	翫	217	09	どと云ふ支那の小説文も舶来して人々の	翫び	となつて居ましたからソコラを考へ合せて然る
もてあそび	弄	063	01	ると云ひながら安閑として囲碁や将棋を	弄び	何の益もなきのみならず衛生に害ある囲碁等に
もと	も	053	02	真片仮名文になつたものと思はれます.	もと	漢学の開け始まりは漢語を用ひた方が上品の様
	も	052	13	も起つて来る．其の訳は全体この御国は	もと	古事記日本書紀よりこのかた漢文を用ひて公文
もと	モ	075	10	康体を失つて居る故に医者に頼んで全く	モト	の身体にするのである．権利を失はむとする故
	モ	075	11	法律家に頼んで権利を伸張するのはたゞ	モト	の権利を失はぬだけである．此の如きは国家の
	モ	089	07	有様へ進むの志が無ければなりませぬ.	モト	の悪しき有様を出でまして善い有様へ移る願ひ
	モ	248	04	に刑期が終つて社会に再び出ますると，	モト	の善良なる人間になるので有りまする．然るを
	モ	251	01	申した罪人が学期を終りますと卒業して	モト	の良民に立ちかへります．然るところ「お前の
	モ	040	12	亡びるに違ひ無い．今の開けた社会でも	モト	は箇様な社会から変遷して来たのに違ひ無い．
	モ	042	06	ぢゃ．さて法と道とは先刻も申した如く	モト	は分れなんだが開けるに従ふて分れて来たこと
	モ	157	02	教法の親方だつたが今は其れも無いが，	モト	羅馬法皇は天主の代理だといふから実に強気な
もと	旧	196	05	もないことだ」と言ふのが流行りまして	旧	は理屈を知らなくつて「こはい」と言つたものが
もと	許	184	15	ばなりません．曾て或る人がキリストの	許	へ来て「人は何の故に係らず妻を出しても支障御
もと	元	002	03	別に見込は無いと申したら，一体お前は	元	の「かなのとも」で有るか又は何で有るかとのお
	元	018	10	リを地球が回つて居る，其の一遍回つて	元	の所へ来ます間が即ち一年と言ふもので有ります
	元	044	04	うと云ふには真直にしたばかりては直に	元	の通りになるから全く反対の点まで持て参らねば
	元	247	01	が子を生むと「これはモウ何人目だから	元	へお戻し申さう」と云つて直ちに其の膝の下に，
もとい	基	129	10	だつて某の学者が道徳法といふものには	基	が無し道徳は全く各国の慣習と風俗に係るものな
	基	217	07	ふ経にさう云ふことが書いて有つたのを	基	として作つたものと云ひますが，さすれば当時，
	基	238	02	になる．左様になつては小成に安んずる	基	にならうと思はれます．諸君は何卒，昔の人の二
	基	130	03	ます．イヽエ基督教と基督教の道徳法の	基	は決して弱きものでは御坐りませぬ．基督教は則
	基	130	06	で有ります．私ども常に陳る所の宗教の	基	また学者が常に調べ且説く所の万物は同じく神の
	基	057	08	と云ふ人が申した言葉に「健康は万福の	基	」之を英語で云へばＨｅａｌｔｈｉｓｔｈｅｆｏ
もどし	戻	012	08	の趣意もよく分りませう．話しをあとに	戻し	まして日本は亜細亜の中，亜細亜は地球の中と
	戻	247	01	生むと「これはモウ何人目だから元へお	戻し	申さう」と云つて直ちに其の膝の下に，生れた
もとずい	基	130	04	則ち造物主の御心と人間の天然の性質に	基い	たもので有ります．故に実に固うして変ること
	基	106	09	国領事が言ひ渡したる裁判は此の条例に	基い	て為したるもので其の有罪なるや無罪なるやを
	基	150	15	ります．行政法といふものはたゞ憲法に	基い	て憲法の趣意を拡張する為めに法律，規則を設

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
もとずか	基	161	15	つたことが有つた．実に悪いことは酒に	基か	ないものは無いくらゐだ．夏の桀王も酒を飲ん
もどつ	戻	202	01	でＨａｌｌｅｙの彗星も七十五六年目に	戻つ	ては来ますが，どの位後れるかが分りませんで
	戻	203	04	五年の十一月の十三日に太陽に近い所に	戻つ	て来るだらうと言ひました．今度はカタヅをの
	戻	203	14	十四時間，過ぎると同じ太陽が同じ所に	戻つ	て来るのと同じことで有るから，何もこはい因
	戻	204	16	ハレーの彗星がイツモの日限に遠方から	戻つ	て来たまでのことで有つたのです．地球と同じ
	戻	205	12	ふが有りますが三年と四分の一ごとには	戻つ	て来るもので有ります．諸君は其れならば見え
	戻	206	03	楕円でよく合ひました．楕円ならば是非	戻つ	て来る．其れならば前にも有るだらうと段々穿
	戻	206	10	と云ふて，この人がイツも六七年目には	戻つ	て来ると言ひましたが，しかし其れが突然二つ
	戻	206	14	くなりました．其の後に天文学者がモウ	戻つ	て来さうなものだと待つて居りますと今度は一
	戻	212	12	ら二十六年後にはＨａｌｌｅｙの彗星の	戻つ	て来る時で立派な彗星が肉眼で見ゆるであらう
もとづい	基	089	17	ち万物を造りたまふ造物主のミコヽロに	基づい	た宗教なれば，これより上と申すものが御坐
	本	125	09	謂る書生が起す所の色々の論は多く何に	本づい	たもので有りませうか．傍聴人の耳を塞ぎ，
	本	125	13	関係また其の合ふこと合はぬことなどに	本づい	たもので御坐ります．書生がよく言ふＳｐｅ
	本	131	02	い．ドチラも神の変ることの無い御心に	本づい	たものなるが故で御坐ります．これまで説き
	本	131	04	誤つた仕方で御坐ります．されば学術に	本づい	たる反対論に答ふるに，よく適当したる仕方
	本	132	12	世の色々の迷ひの中にて造物主の御心に	本づい	たる道理を固く立てるならば，すべての迷ひ
	本	194	01	家を建るとかいふのは其の時々の経験に	本づい	て，やるのですから御趣意は一向変つて居ら
もとづき	基	242	10	ゾンと申しまして其の字義はラテン語に	基づき	まするとツカマヘルと云ふ意味で罪人又は刑
もとづき	本	126	12	致さずして自分の智力を以て総て学術に	本づき	たる反対論を駁つことが出来ると思ふもので
もとづく	基	248	07	て教誨其の宜しきを得ざると云ふことに	基づく	ので有りませう．前に申しました所が則ち監
もとめ	求	128	16	頻りに色々の新らしい説，新らしい論を	求め	て風見の如くに今，不意に吹き出した所の風に
	求	219	04	のは無くて婦人をみそめると先づ便りを	求め	て公然と文をやり其の返書の体や歌のヨシアシ
	求	169	17	ひ立つて艱難しても一身を立てたい富を	求め	やうといふ考への者のやうに見えます．其の亜
	求	171	02	すから欧羅巴に行つて衣食をなして富を	求め	やうといふことはドウもむづかしいやうに思は
もとめ	需	242	04	と云ふお頼みが有りました．因つて其の	需	に応じ八月二十日を以て副典獄，看守長，書記，
もとめる	求	086	12	分るであらうかドコを探したならば之を	求める	ことが出来ませうか．アヽ基督教の大切なこ
	求	167	03	タリ合ふやうにしてゆくのだから事実を	求める	ことが，むづかしくなり金も大層にかかるや
	求	074	06	興すことに付き譬へば学者ならば書物を	求める	とか子供ならば玩弄物を買ふとか又は家政の
もとより	も	001	11	会員になつては居りませぬ．其の考へは	もとより	参議方どころでは無く天子様にまでも申し
もとより	固	047	04	を顧みる訳には参らぬことぢゃ．其れは	固より	当り前のこととせねばならぬ．其れは黄金世
	固	105	12	等は総て誤謬たるを免れませぬ．我輩は	固より	英国領事の裁判を以て至当なるものとは看做
	固	186	09	在つて一体なればなり」と御坐ります．	固より	キリスト教に於ても男と女は天然，其の性を
	固	141	02	語の紫式部や枕の草子の清少納言などは	固より	雲の上の人にて別なことなれども其の他の小
	固	242	01	たとて参考になるものでは有りませぬ．	固より	諸君の中には監獄全体のことを御熟知なされ
	固	113	10	しなければ，ならないので酒を節するは	固より	せねばならぬことぢゃといふことは誰にもよ
	固	042	11	法と云ふものは己を利することを許すは	固より	なれども唯其の為めに他を害するの事を行ふ
	固	102	06	がこれ亦軽蔑の一原因であります．私は	固より	日本人であるから斯くひどく攻撃する様なも
	固	181	02	の御参考に供へやうと存じます．我々は	固より	婦人の地位を進むるにはキリスト教の力に依
	固	102	14	ルマントン号の船長が不取扱なしたのは	固より	無理のないことであります．斯くの如く一方
	固	073	11	者は社会上に必要なる点に至りましては	固より	優劣も無く同一のもので御坐んす．而して其
	固	042	17	とは無い．たゞ自分の利益を謀ることは	固より	許すが其れが為めに人の害をしてはならぬと
もとより	素	063	08	て見れば欧米に在て車の比例は日本より	素より	多いなれども欧米に在ては非常に時間を貴び
	素	139	12	其の名を知らぬ人も有るとか申します．	素より	大家のことなれば高尚の学者社会にては貴ま
	素	125	16	ｙ氏が何々と申されました故に基督教は	素より	全く間違つたもので御坐る．また一人はＴｙ
もの	も	130	14	聞きなされ．「天地の間に二つの感心な	もの	あり．我れ此の二つのものを深く思へば思ふほ
	も	062	04	あるいて居るケチなヤツだなどと評する	もの	往々あります．故にこれ等の人はイヤでもオー
	も	135	11	．ナゼといふのに人間のこれ等の大事な	もの	多くは皆な基督教に係はるもので御坐ります．
	も	013	10	々の住つて居る所で無いものは何と言ふ	もの	かと云ふに天と言ひます．さて天と言ふものは
	も	018	12	づれで毎年太陽のグルリを旅行する訳の	もの	か，これは調べなければならない．然るに近頃
	も	038	04	ふことを説くに付ては道徳とは如何なる	もの	かと云ふことを説かねばならぬことぢゃが道徳
	も	074	08	等は皆な金を出しまするとて度快楽なる	もの	か，便利なるものがはいつて来るので金を使つ
	も	076	04	如く申して参りますと経済学はドウいふ	もの	かといふに利を興す為めで御坐んせうが貧弱な
	も	087	07	の外社会の進歩を妨げるものは如何なる	もの	かと基督教に問ふならば，これ等のもの皆な天
	も	087	10	原素，人を貴くするモノゴトは如何なる	もの	かと基督教に問はばこれ等のもの皆な全知全能
	も	150	12	．さて行政法と憲法との関係は如何なる	もの	かと言ふに憲法では一国の権力をもつて居るも
	も	160	03	ものであらうか，死んだなら消つきりの	もの	かを穿鑿するのが教法の持ち前でござす．さう煎
	も	160	05	で，教法は心の本体なるものは如何なる	もの	か上るものか下るものか消るものかドウなるも
	も	160	05	心の本体なるものは如何なるものか上る	もの	か下るものか消るものかドウなるものかといふ
	も	160	05	るものは如何なるものか上るものか下る	もの	か消るものかドウなるものかといふのが教法の
	も	160	05	何なるものか上るものか下るものか消る	もの	かドウなるものかといふのが教法の極点でござ
	も	160	06	るものか下るものか消るものかドウなる	もの	かといふのが教法の極点でござ．一言につめる
	も	166	08	とは分りませぬ．人間はドコまで開ける	もの	か分りますまい．其れだから事実によりて色々
	も	166	17	ことは見て分りませうがドウして出来た	もの	か，たゞ一見しては分りますまい．併し之をこ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（もの）	も	192	17	が天子といふものは一体，何人あるべき	もの	か，二人あるか三人あるかといふに天子は一人
	も	196	06	もない」と言ふ．何によらず理屈が有る	もの	か，無いものか，たゞして見なければなりませ
	も	196	07	ふ．何によらず理屈が有るものか，無い	もの	か，たゞして見なければなりません．一体，こ
	も	198	10	だけにして置き，さて抛物線とはドンナ	もの	かと言ひますと，これはモット早いテダテが有
	も	199	01	て，楕円と抛物線とはドンナ関係の有る	もの	かと言ひますと，楕円が段々に長くなりますと
	も	208	05	水が有り草が有り人が有ると云ふやうな	もの	か，ソンナものでは無いか，ドンナものかと調
	も	208	05	ものか，ソンナものでは無いか，ドンナ	もの	かと調べるのは，むつかしい．ソンナことを調
	も	208	09	分ります．しかし一体，汽車とはドンナ	もの	か，人力車のやうなものか，それとは違ふかと
	も	208	09	汽車とはドンナものか，人力車のやうな	もの	か，それとは違ふかと云ふことはたゞ旅をした
	も	208	10	ません．其れと同じことで彗星はドンナ	もの	か瓦斯体か固形体かと云ふ調べはむつかしいも
	も	220	15	山，舌切雀などの話しも此の頃に出来た	もの	かと思はれます．其れから徳川時代になつて寛
	も	223	09	の後，女歌舞伎，若衆歌舞伎などと云ふ	もの	か有りましたが共に停止せられて承応年中に物
	も	247	04	をおれが殺すのに何の構つたことが有る	もの	か，其れをムヤミにおれをいぢめるのは訳の分
	も	006	14	学でも其の講釈の過半は漢学先生の様な	もの	が有る．さてさて困つたことでは御坐りませぬ
	も	007	02	那流の道徳だの禮式だの品行だのといふ	もの	が今日盛になつて来るばかり．其れだから役人
	も	011	11	何の一部分だ」と問ひ詰められると分る	もの	が半分，知らないものが半分かも知れませぬ．
	も	011	11	詰められると分るものが半分，知らない	もの	が半分かも知れませぬ．さりながら人間の物知
	も	013	15	も我々が非常に近眼で五里か十里先きの	もの	が見えなかつたら地球の外にドンナものが有る
	も	013	15	ものが見えなかつたら地球の外にドンナ	もの	が有るか一向分らないで有りませうが幸に我々
	も	014	01	まして我々の世界の外にも別に之に似た	もの	が有るといふことが知れる様になりましたから
	も	017	01	きまして此の外に何ぞ地球の近所に居る	もの	が有るか知らんと言ひますと我々の目につくも
	も	019	15	ります．其の後ち天王星，海王星と言ふ	もの	が発見になりましたが其れの中に一つはヤット
	も	020	13	気も有る．又地球に似て南極北極と云ふ	もの	が有り此の南極北極には時候の如何に拘はらず
	も	021	05	が有つたり水が有つたり其の外の色々の	もの	が有つたりするからです．然るにそんなものは
	も	021	08	に火星の表面の上にも人間か人間の様な	もの	が住つて居るに違ひ無い．天文学の開けない時
	も	021	12	の世界にはどれだけ人間世界より進んだ	もの	が有るかも知れない．段々と想像を回らして見
	も	024	05	ほど眷属が有る，二つほど月をみた様な	もの	が有る，其れは衛星と言ひます．これは近頃亜
	も	024	07	いたしました．次ぎに木星には月の様な	もの	が四つついて居る．望遠鏡で木星を見ますとド
	も	024	08	ちな望遠鏡でも星の真中の所に筋の様な	もの	が見えます，丸に一文字の紋所とでもいふべき
	も	025	04	の中には日と月と惑星と其外に星と言ふ	もの	が有る．先づ星と言ふものは大事のもので天文
	も	027	17	．いくらかの大きさに見ゆる星は小さい	もの	が近所に居るのか，大きなものが遠くに居るの
	も	027	17	は小さいものが近所に居るのか，大きな	もの	が遠くに居るのか知れるものでは無い．さりな
	も	028	15	でしたが其の世界では確に明りを持つた	もの	が二つは有りますが外に惑星の様に明りを持た
	も	029	08	分りかねて参ります．併しモウ少し分る	もの	が有る．其れは何で有りますかと云ふと一体，
	も	029	12	の頃に天を見てお出でなさると真つ白な	もの	が有りませう，雲かと思へば雲で無い晴天の時
	も	031	09	疑ひが起りますが此の頃，分光器と言ふ	もの	が発明になりまして総ての物体が瓦斯か固体か
	も	031	13	はと言ふと或はアマノガハの近所に在る	もの	が有り或はアマノガハと方角の違つた様に見ゆ
	も	031	17	はアマノガハの外にアマノガハみた様な	もの	が沢山散らけて居て其れが彼の所謂る星雲でア
	も	037	15	機物は総てＣｅｌｌ（即ち細胞）と云ふ	もの	が集合して出来て居る．Ｃｅｌｌと云ふものは
	も	043	09	でも総て人間の力で制することの出来ぬ	もの	が神様となりて居るのぢゃ．然るに進化して開
	も	043	10	進化して開けた教法では必ず道徳と云ふ	もの	が附き添ふて居る．そこで十分開けた．耶蘇教
	も	048	03	し国と国との間になると万国公法と言ふ	もの	が有るなれど己の利これ見ると云ふ有様でやり
	も	059	11	先づ我が邦が開化に赴きし以来如何なる	もの	が舶来したかと云ふに文武工商農等の必要なる
	も	060	03	．又田舎では以前は絹衣などは絶て着る	もの	が無かつたが此の節は開化して猫も杓子も（と
	も	074	01	すが必ずしも，さうで無い．需要といふ	もの	が価値を生じ其れ故に労力が生ずるといふこと
	も	074	08	ますると丁度快楽なるものか，便利なる	もの	がはいつて来るので金を使つただけの効能が別
	も	080	07	に人間社会の中に含まれたる一個人たる	もの	が皆んな銘々に能く進歩するならば其の全体の
	も	080	08	歩してゆく筈で御坐ります．一個人たる	もの	が皆んな油断をして滞るならば即ち箇様な人間
	も	082	05	の種類が完全して居りませぬならば他の	もの	が進歩しても完全な進歩が迚も出来ませぬ．此
	も	088	04	のの外に社会の進歩の為め種々の必要な	もの	が御坐ります．これ等も亦基督教の緊要なるこ
	も	089	17	基づいた宗教なれば，これより上と申す	もの	が御坐りませぬ．これより高尚なものが御坐り
	も	090	01	すものが御坐りませぬ．これより高尚な	もの	が御坐りませぬ．これより貴いものが御坐りま
	も	090	01	尚なものが御坐りませぬ．これより貴い	もの	が御坐りませぬ．基督教を能く心得たる人には
	も	090	17	を成就する為めには骨折りと熱心などの	もの	が無ければなりませぬ．されども熱心を起さす
	も	091	01	か．厚き志を起すには基督教に競ぶべき	もの	が御坐りませぬ．基督教は人間の権力腕力など
	も	093	08	に於て沈没し我が日本人二十五名といふ	もの	が助からずして船長並に他の乗組人等が其の生
	も	093	14	ました．今日我が国には治外法権といふ	もの	が行はれて居ります．併し純理上から言へば今
	も	102	09	度文物の外国に優らずとも劣ることなき	もの	がイクラもある．日本は野蛮の国では無い．二
	も	114	06	と，いふことが有るから飲食にも結構な	もの	が出来る．結構なものが出来ると其れだけに飲
	も	114	06	ら飲食にも結構なものが出来る．結構な	もの	が出来ると其れだけに飲食の欲も他の動物より
	も	117	02	類的の上等の欲で，そこで節酒会といふ	もの	が出来て一つの高い欲が殖えて来た訳だから自
	も	120	01	疱瘡，コレラ，チフスなどと云ふ色々な	もの	が有りますが其れ等は表に見ゆるから予防をす
	も	125	01	られる所もあらう．卒業生の助けになる	もの	が多けれども其の妨げと邪魔になるものも亦少

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もの）	も	126	06	基督教に就て己れの色々の不承知を言ふ	もの	が随分世間に多う御坐りますれば卒業生はドウ
	も	129	01	も喜んで色々の無証拠な設理を受け容る	もの	が御坐ります．さのみならず学術家の中にも箇
	も	129	02	す．さのみならず学術家の中にも箇様な	もの	が無いと言はれませぬ．けれども君子なる政治
	も	130	01	教の結局の勝敗に就て色々の疑ひを起す	もの	が有るのは不思議なことでは御坐りませぬけれ
	も	132	16	．基督教の反対論に答へるには最もよい	もの	が御坐ります．即ち卒業生が己が身に基督教を
	も	134	10	りませぬか．原因と結果，本と末といふ	もの	が有りますが結果が宜しければ其の原因は必ず
	も	135	10	，人の限り無き苦楽，人の命と死などの	もの	が狭いものならば基督教の趣意は亦狭う御坐り
	も	135	16	．神田橋外の学習院の奥の庭には面白い	もの	が御坐ります．かの庭の中にこの麗しい大日本
	も	140	16	時分には日本ではまだ小説の地位と言ふ	もの	が進まず彼れは戯作者だ人情本書きだなどと世
	も	141	08	甚しきに至りては四書，五経も読めない	もの	が有る．学問が無くつて品行が悪くて之を改良
	も	141	13	ではいけぬ．元来，小説には仕組と言ふ	もの	が大切ゆゑ非常の智能力が入りまする．たとへ
	も	142	01	せん．凡て物事と言ふものは仕組と言ふ	もの	が肝腎なもので斯様な家を建つるには此処に斯
	も	144	05	つたものは無いでは無いが随分不都合な	もの	が流行して居る．今日の小説家は皆な学問あり
	も	144	09	の所では十銭か十五銭で買へるツマラヌ	もの	が沢山あります．兎に角，非凡の小説を得んに
	も	146	06	しまして其の小説の極精良なる高尚なる	もの	が果して出来たなら間接に風俗を改良すること
	も	150	16	まつて居るものの細密なる部分を定める	もの	が行政法であります．行政法と言へば一国施政
	も	151	12	は財産を所有し負債を起すことの出来る	もの	が無形人であります．即ち日本では府県，町村
	も	152	16	せぬ．千七百九十年の大革命の時からの	もの	がイマダに行はれて居ます．憲法では例へば皇
	も	157	15	では足利時代の人だが其の前は天と言ふ	もの	が動いて居つたのがガリレオから後は天を動か
	も	161	05	為めに身を亡ぼし家を亡ぼし国を亡ぼす	もの	が有る．殷の紂王などは酒の池，肉の林を造つ
	も	162	02	を作つて康叔を戒めた．この酒誥といふ	もの	が酒のことに付て文章を為した元祖だ．其の酒
	も	163	01	為めに大事業が中道で成らずにしまつた	もの	が有る．織田信長は徳は無い様だが才気は充分
	も	166	05	いふ為めに骨折り最中で其の事実といふ	もの	が半は分つても，まだ半は分りませぬ．たとへ
	も	168	02	のです．世が開けるに従つてまた新しい	もの	が，はいつて来ましたから何事も競ひ出し医者
	も	168	03	本草でも鉄砲でも競ひ出して段々と古い	もの	が新しく改良になつて来るのは人間の成り立ち
	も	170	13	まい．朝鮮や満州や支那には移住を為す	もの	が多くありますまい．日本人は新しいことを好
	も	173	14	界の道理に従ふと人の移住の権利といふ	もの	があるとによつて其れならといつて止めること
	も	180	09	スト教の力で御坐ります．若し之を疑ふ	もの	があればキリスト降世前の世界に於てギリシヤ
	も	183	04	妾となることを却つて栄誉のやうに思ふ	もの	が御坐りますが，これは実に心外千万なことで
	も	190	02	があるのです．即ち第一には政府といふ	もの	が一国の政治をきめて執行するといふものであ
	も	190	10	中にも執行権者が自分でする裁判といふ	もの	がある．例へば人を死刑に処するといふときに
	も	191	07	力とかう申したので権力即ち大権といふ	もの	が三つあるとも，また二つあるとも云ふことを
	も	192	05	お前の言ふ輿論と違ふ，当時大名といふ	もの	があつて其の大名の論決するか議決するもので
	も	196	06	理屈を知らなくつて「こはい」と言つた	もの	が，今では理屈を知らなくつて「何でもない」
	も	198	16	ければならない．モウ一つ双曲線と云ふ	もの	が有りますが其のことは長くなりますから申し
	も	200	08	にとめて有つて，言はば人相書のやうな	もの	が有らうから先のと今度のと其の形ちを比べれ
	も	204	01	帝の時には天文学の代りに星占学と云ふ	もの	が有りました．星占学とは星で占をする学と云
	も	208	13	ばいけません．彗星は大抵頭と尾と云ふ	もの	が有る．其の尾と云ふは即ち箒の形ちになつて
	も	208	14	なつて居る所で頭には心或ひは核と云ふ	もの	が有ります．この三つが同じやうなものと云ふ
	も	209	16	し軽々しく言ふときは天文学者でも無い	もの	がヤジムマに彗星の説を述べるやうになります
	も	216	17	山城に都を遷されてから仮名文章と云ふ	もの	が起り，物語と云ふツクリモノが出来て来まし
	も	220	07	劇に至るまで其の書の中の事を仕組んだ	もの	が多いから安宅の関で弁慶が勧進帳を読み，箱
	も	221	05	里の事態などを書いた八文字屋本と云ふ	もの	が流行し其れから明和，天明の時分には一変し
	も	222	14	ます．中古以来，僧家に延年の舞と云ふ	もの	が有り，婦女の間に白拍子の舞が有りましたが
	も	222	15	が有りましたが，また田楽と猿楽と云ふ	もの	が起りました．これは舞ばかりで無く高い所で
	も	223	15	もので御坐います．そこで操人形と云ふ	もの	が慶長の時分から有つたもので追々遣ふ者の上
	も	223	16	追々遣ふ者の上手も出来，浄瑠璃と云ふ	もの	が段々流行して其れに合して人形を遣ふことに
	も	227	06	か知りませぬが先づ只今の知事のやうな	もの	が有りました．其れから封建の世になりまして
	も	227	09	て居りました．大名の上には将軍と云ふ	もの	が有りましてイクラか大名を総裁して居りまし
	も	228	07	には名主と云つて名誉戸長と云ふやうな	もの	が有り，また町には町年寄と云ふものが有りま
	も	228	07	なものが有り，また町には町年寄と云ふ	もの	が有りました．かういふやうな有様で有りまし
	も	228	17	ますと其の中で家邸又は公園と云ふ如き	もの	が過半を占めるときは之れを町と名づけ，また
	も	229	04	合せて七万一千五百九十七の町村と云ふ	もの	が有ります．其れから区と云ふものが有ります
	も	229	05	云ふものが有ります．其れから区と云ふ	もの	が有ります．区は市街の大きな所を郡より引き
	も	229	08	ふやうな意味で有ります．して区と云ふ	もの	が全国に三十七あるさうです．この区と云ふも
	も	230	01	の外間切と云ふもの即ち内地の郡の如き	もの	が三十六あります．また村と，村のやうな島が
	も	230	10	で有ります．しかし共有財産と云ふ名の	もの	が有るさうです．其れを近ごろ調べて見ますと
	も	230	13	うです．若し郡の所有財産と云ふやうな	もの	が有れば郡を無形人とすべきや否やは考へもの
	も	231	07	て政を為さると其の下に大臣会議と云ふ	もの	が有り其の側らに法制局とか又は参事院とか云
	も	231	11	方官会議とか，また警察官会議とか云ふ	もの	が有りますやうに．議政は総て二つ以上の頭を
	も	256	10	した二つの種類の外に天災の救助と云ふ	もの	が有ります．これは洪水，暴風雨等の為めに田
	も	273	10	城，三池の四箇所に仮留監と申しまする	もの	が一箇所づゝ都合四箇所ありまする．此の仮留
	も	153	03	税の義務が有ると定めるが併しドウいふ	もの	から税を取りドウいふものから税を取らないと

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	153	03	併しドウいふものから税を取りドウいふ	ものから税を取らないといふことは行政法できめる
	も	157	03	皇は天主の代理だといふから実に強気な	ものさネ．西洋各国の天子様が羅馬法皇の御免許を
	も	223	07	で其の上人は朱雀，村上の朝の人で古い	ものサ．これまでが演劇の成り立ちとも云ふべきも
	も	269	04	男子の部は公立のもの十一箇所，私立の	もの三十四箇所，合せて四十五箇所ありまして，そ
	も	082	04	通りで御坐ります．これ等皆な至極善き	もの至極有益なるもので御坐りますけれども進歩の
	も	269	04	．矯正院即ち感化院は男子の部は公立の	もの十一箇所，私立のもの三十四箇所，合せて四十
	も	099	15	ある即ち当時の主人の地位に立ちて居る	もの重大なる責任のあるものにして平常はこの義俠
	も	061	17	じたる所以を考るに其の原因となるべき	もの種々ありますが第一市中を往来するに人力車に
	も	064	02	り其の他種々の病を発してワカジニする	もの頗る多くありますが曾て英国ロンドンのドクト
	も	150	13	言ふに憲法では一国の権力をもつて居る	もの即ち政府とか天皇とかいふものの組織，また其
	も	230	01	うなもので有ります．其の外間切と云ふ	もの即ち内地の郡の如きものが三十六あります．ま
	も	258	12	は前に申しました所の矯正院に於て掌る	もの即ち救助すべきもので有りまする．前の二つの
	も	004	10	．小さな蟻を大きな足で踏みつける様な	ものだが其の蟻も目のさめたのでは無い眠つて居る
	も	023	12	界で）其れに比べると地球は誠に小さい	ものだ．周囲が僅か一万里ばかりと申しましたのは
	も	029	17	ことでは無い．其れも昔は銀河はどんな	ものだかよく知れなかつたですが望遠鏡で見ますと
	も	053	14	「な」の字を知れば「はな」とはこんな	ものだと教へ「み」と「る」で「みる」，其の間に
	も	058	16	生方が書生にチフスと云ふ病はかういふ	ものだと云ふことを実地に就て説明する種が無くな
	も	077	07	て用を為すものであれば同一の業を為す	ものだとまで申しても宜しう御坐んす．故に我輩が
	も	105	08	族の怨みを晴らすべき判決が有りさうな	ものだのに不当にも神戸在留の英国領事は之を判決
	も	113	13	広く動物にも通ずるもので至つて必要な	ものだと，いふことは分りきつたことだが其の必要
	も	114	01	しの有つた通り身体や品行にも関係する	ものだからドウしても節しなければならない．一体
	も	114	03	といふものは他の動物よりは違つて居る	ものだから其の人類が他の動物の通りでは言訳が無
	も	115	15	品行を惜むといふ欲は人類ばかりに有る	ものだから，これが人類の第二の高い欲で有る．人
	も	116	04	るには，この節酒会などは至つて宜しい	ものだと思はれます．其の訳は節酒会といふ申し合
	も	117	11	ことが有ると自から奮発する心にもなる	ものだから成るたけ此の会を盛んにしたいもので有
	も	120	05	ほとんど飲酒家の鑑札を持つて居る様な	ものだ」と述べました．またOettingenと
	も	120	06	き人間を腐敗させる刺戟剤の働きを為す	ものだ」と言ひました．此の移住と云ふことは西洋
	も	120	17	論じた者は無くたゞ「随分飲んでもいゝ	ものだ」とか「百薬の長だ」とか言ふ位なことで有
	も	121	02	づかしくて盲人に七色の色を見せる様な	ものだからよく事実を挙げて見せた方が宜からうと
	も	122	16	たい．勿論かういふことは急にいかない	ものだが医者に懇意の人なら酒の上からドンな病気
	も	126	16	で御坐ります．箇様な者の勇気は感心な	ものだかも知れぬけれども其の用ふる所の方法は決
	も	130	07	物は同じく神の御心と御手より出て来る	ものだから学術が基督教の敵になり或は基督教が学
	も	143	12	用の如きものもたゞ男女の痴情を書いた	ものだと申しますが私は斯様なものを貴ぶのでは有
	も	163	17	島正則などといふ人は勇気はすさまじい	ものだが酒を嗜んで昼夜酣飲して，おまけに善く飲
	も	205	13	有ります．諸君は其れならば見えさうな	ものだと，おつしゃるでせうが見えることは見えま
	も	206	14	其の後に天文学者がモウ戻つて来さうな	ものだと待つて居りますと今度は一つで子はつれて
	も	207	14	は星，雨は雨で別々なもので有りさうな	ものだのに．星と雨とはドンナ関係が有ることか知
	も	211	02	星になつて他の世界を見物にあるき出す	ものだから其れほどに恐ろしく無い」と言ふ者も有
	も	213	13	ませぬが演劇の方は下等社会までも見る	ものだから第一に世間の流行を追つて時の好みに応
	も	214	07	に下等の人情を鑿つことばかり専とした	ものだから自ら幇間みたやうになり人に尊ばれるな
	も	215	05	で，若し西洋では小説や演劇はツマラヌ	ものだと云つて賤しむもので有つたならぢき，さび
	も	222	02	ふ狂言なども種彦が作つた読本から出た	ものだが殊に残酷なものでは有りませぬか．馬琴の
	も	197	08	トしたことで，申さば人別をみたやうな	ものだけで，委しいことは言ひませんで有りました
	も	219	14	しかし箇様な風俗は当時，漢文で書いた	ものだけでは迚も今日まで知れませぬ．全く仮名文
	も	034	12	無欲の人であつて多慾の人は酒を飲まぬ	ものだらうと思ひます．諸君はドウ思し召すか知れ
	も	061	03	島田を御覧のときは又未開化人の用ゆる	ものたるを知られませう．故に概して言ふときは半
	も	037	13	盛衰することも総て有機物の規則に随ふ	ものぢゃと云ふことが分りた．動植物の生理心理は
	も	038	08	社会に漸々に生し来り漸々に進化したる	ものぢゃと云ふ．其の証拠には道徳の開けた人民と
	も	041	13	て変化は無い，智慧は次第に開けて参る	ものぢゃが道徳は其れに反して居る」と申したなれ
	も	042	13	ふものは他人同士の寄り合ひと云ふ様な	ものぢゃ．併しこれは極度を申したことで本当は今
	も	044	09	出来るが道は開けた国では政府が構はぬ	ものぢゃから罰することは出来ぬことぢゃ．併し道
	も	044	10	り其の説く所の真の主義通りには参らぬ	ものぢゃ．支那は道徳の国なれども決して己の利を
	も	047	09	に寄りて大きな社会を拵へる様にしたい	ものぢゃ．其れの出来ぬのを歎息するのが歎息の順
	も	048	17	徳は社会の維持と保存との為めに出来た	ものぢゃ．其れ故，社会を為さぬ者同士の間に其れ
	も	003	06	間あるが，まるきり二十四時間働らける	ものでは無い．寝る時間も有り遊ぶ時間も無ければ
	も	004	05	交易上の競争は一日一刻も止む時の無き	もので病の為めに人口が減らさるゝ間にも各国と共
	も	005	01	二時間も三時間も手習ひなどをして居る	ものでは無い．ドシドシと土足で踏み込んで来る奴
	も	005	08	いことをやつたのはアメリカへ留学した	ものでトルピドへ破裂丸を投げつけたは誰なるぞ．
	も	005	17	い．兎角人は一方のことより外は分らぬ	もので政治家は政治のことより外には取り合はず，
	も	011	12	がら人間の物知りたがりには限りの無い	もので其れから其れへと知りたいのは欲心で唯今久
	も	012	17	随分大きい．さりながら考へた程大きい	ものでは無い，至つて小さいものと私は申します．
	も	013	09	で有ります．この住つて居る場所は円い	ものでタカの知れたハゞの見えたもので我々の住つ
	も	013	10	は円いものでタカの知れたハゞの見えた	もので我々の住つて居る所で無いものは何と言ふも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	013	11	ひます．さて天と言ふものは広大無辺な	もの で地球をグルリと取りまはして居て其の中に地
	も	013	12	て居て其の中に地球はボンヤリして居る	もの で実に心細いもので有りまする．で有りまする
	も	013	12	球はボンヤリして居るもので実に心細い	もの で有りまする．で有りまするからして学者が天
	も	014	04	望遠鏡の開けます余ほど前からして円い	もの で時としては虧けたり時としては満ちたりする
	も	014	05	しては虧けたり時としては満ちたりする	もの で有ると云ふことは知れて居ましたが昔の人の
	も	014	07	．其れから望遠鏡で月を見ると中々妙な	もの で肉眼で見ては唯ボンヤリして何だか分らず俗
	も	014	10	だの谷だのが有るからは月が地球と似た	もの では有るまいか，第一番に地球の様に円い，其
	も	015	08	の測量の中ではこれが最も精密に出来る	もの で有ります．さてこの測量の結果はと云ふと地
	も	017	02	来の月は形から大きさもよく地球に似た	もの で有りますが其の表面に我々の党類は住つて居
	も	017	03	は住つて居ない，申さば明き家みた様な	もの で有ります．先づ此の位で月のお話しはおきま
	も	017	11	球の雛形としまして太陽の雛形はドンナ	もの であらうといふと一丈一尺ばかりの玉を三丁半
	も	018	01	陽と云ふものは非常に明るい非常に熱い	もの で，よく調べて見ますと凡そ地球の上にあらゆ
	も	018	11	つて元の所へ来ます間が即ち一年と言ふ	もの で有ります．そこで太陽が地球を引きつれて居
	も	019	01	どこそこに災か起るなどと言つて恐れた	もの で有ります．其れから宵の明星或は明の明星と
	も	019	09	星とも唱へます．支那では昔し貴まれた	もの で，正月元日の或る時刻に此の星の居る方をあ
	も	019	14	に剣術の竹刀の鍔でもつけた様に見える	もの で有ります．これだけが昔し五星と言つたもの
	も	019	14	有ります．これだけが昔し五星と言つた	もの で有ります．其の後ち天王星，海王星と言ふも
	も	020	05	此の星が居る時には太陽のソバに見ゆる	もの で有りますから距離が遠い時である上にまぼし
	も	022	16	同し親類と看做せば看做すことの出来る	もの で有ります．火星から木星に移る間に距離が離
	も	025	02	我々の地球などに比べると夥しい大きい	もの で有りますが矢張り近所に同士が有るであらう
	も	025	04	ものが有る．先づ星と言ふものは大事の	もの で天文学のことを星学と言ふ位で有りますから
	も	025	06	なりませぬ．さて星が我々の太陽の様な	もの では無からうかと云ふ疑ひが起る．これは誰で
	も	026	09	通りによく見ゆるからしては余程明るい	もの で，あんなに小さく見えても実は非常に大きく
	も	027	05	時間を費すに違ひ無いが併し余ほど早い	もの で太陽から我々まで来ますに十分はかゝらない
	も	027	17	か，大きなものが遠くに居るのか知れる	もの では無い．さりながら，ならして言つたら数多
	も	029	05	で我々の太陽の同士が即ち此の星と云ふ	もの で有るといふことが分ります．其の同士は非常
	も	030	07	ものは円い者をおしつぶした様な形した	もの で有るさうです．其れだけは幾ど確に見ゆる様
	も	031	03	ませぬ．其れからして又其れと類似した	もの で矢張り肉眼で見ては見えず望遠鏡で見ると云
	も	031	05	ひまして近世になつて大層名高くなつた	もの で有ります．此の星雲の中にはチョットした望
	も	031	09	のモットよいのを用ひたら粒々と見ゆる	もの で有るまいかと云ふ疑ひが起りますが此の頃，
	も	031	17	星でも星雲でも皆この中にはいつて居る	もの であるかも知れず，或はアマノガハの外にアマ
	も	032	02	我々の太陽系から脇の太陽系に移る様な	もの であるかも知れませぬ．此の二番目の説にすれ
	も	032	06	りのものは総て皆アマノガハの中にある	もの では無からうかとも思はれます．若しも其の通
	も	034	03	のはナルコチカと言つて麻酔の効の有る	もの で之が為めに害を受けぬ者は有りませぬ．然る
	も	034	06	に開けて来て月といふものは，かういふ	もの で決して兎が餅を搗いて居るでは無く，又雷は
	も	034	07	るでは無く，又雷は大鼓をしょつて居る	もの では無いといふことが分つて来ます．また今日
	も	034	08	このシビリザションの道理によつて分る	もの で有ります．然る他にかのナルコチカを飲んで
	も	035	09	も徳利の中へ質物にするとは何と無欲な	もの では御坐りますまいか．さて其のことに付て近
	も	038	07	たることで道徳は決して天然自然に有る	もの では無くして人間社会に漸々に生し来り漸々に
	も	041	11	化せぬうちには，たゞ一つの風習と云ふ	もの で有りたに違ひ無い．英国の開化史を書いたB
	も	044	07	とぢゃ．然るに法は大いにヒカヘメなる	もの で唯人を害しさへせねば其れで許すのぢゃ．且
	も	044	15	顧みる勿れと云ふ主義も本当に行はれる	もの で無い．其れのみならず法律の主義も矢張り主
	も	055	01	て書物はヤミクモに作るさへ骨が折れる	もの で御坐ります．今私の申した目録だけの書物を
	も	057	07	総て我々の健康と云ふものは実に必要な	もの で曾てウ／キルダーと云ふ人が申した言葉に「
	も	057	10	も身体が健康でなければ幸福は得られぬ	もの で其の健康を得やうとするには衛生が必要です
	も	059	14	な物を愛し，うまき物を好き楽を欲する	もの でありますから（無くては大変だ）今欧米より
	も	068	15	と申したのはＡｓｓｅｓｓｏｒと称する	もの で御座います）而して裁判官検察官の本官とな
	も	073	11	に至りましては固より優劣も無く同一の	もの で御坐んす．而して其の必要の度は同一では御
	も	074	02	れ故に労力が生ずるといふことを言ふた	もの で御坐んす．さて其の二個の全く反対するとい
	も	074	03	といふ其の一のものは全く利を興す所の	もの で其の一のものは之に反して害を除くといふも
	も	074	03	の一のものは之に反して害を除くといふ	もの で御坐んする．なるほど利を興すの必要と害を
	も	074	05	すと害を除くと其の事柄に至つては同じ	もの ではない．利を興すことに付き譬へば学者なら
	も	074	09	で金を使つただけの効能が別に顕はれる	もの で御坐んす．さういふ風の金の使ひ方を原語で
	も	074	11	ても左に向いても艱難辛苦の類のみ多き	もの で天気でさへ暑いとか寒いとかいふ様なことで
	も	075	06	ざることで則ち其れ等のことが消極的の	もの であつて害を除く方に付て居る様のもので御坐
	も	075	06	ものであつて害を除く方に付て居る様の	もの で御坐んす．而じて其所に至つてＭａｃｌｅｏ
	も	075	12	だけである．此の如きは国家の富を増す	もの では無くて富を減ずるもので有るから国家の為
	も	075	12	家の富を増すものでは無くて富を減ずる	もの で有るから国家の為めに希ふ所はＰｏｓｉｔｉ
	も	075	15	を興す方のガハに使用するのは積極的の	もの で害を除く方は消極的のものであるとして見る
	も	075	15	は積極的のもので害を除く方は消極的の	もの であるとして見るときは法律学と経済学と其の
	も	075	17	すると法律は消極的の価値を得るといふ	もの で御坐んせうし経済の方は積極的の方と言つて
	も	076	02	る所以の点に至つては同一で無いといふ	もの で御坐んす．尤もこれに一つお断りをして置か
	も	076	07	しますときは経済学も消極的の用を為す	もの で御坐んして殊に之を講究するといふことにな

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もの）	も	076	09	科即ち法律学の如きは直接に物を生ずる	もの	で無いと言ひませうが一個人の上に付て言つて
	も	076	15	とは口で言ひ文字で書く様に判然と参る	もの	で無い．利で無ければ害，害で無ければ利で着
	も	076	16	無ければ利で着物の裏表の様に離れない	もの	で有るから場合によつてハッキリとして限界の
	も	077	03	で御坐んす．さう致すと法律は害を除く	もの	であるとか経済は利を興すものであるとかいふ
	も	077	03	害を除くものであるとか経済は利を興す	もの	であるとかいふ様にも参りませぬ．浅近の例を
	も	077	06	こで法律と経済とは社会上同一に必要な	もの	で又今の様に相須つて用を為すものであれば同
	も	077	06	要なもので又今の様に相須つて用を為す	もの	であれば同一の業を為すものだとまで申しても
	も	077	10	まることが恰も電気の積極消極の様な	もの	で積極と積極とは相親和せず消極と消極とは合
	も	079	10	ふことは実にひろく世の中に行き渡つた	もの	で，たゞ一個人にも御坐りまするし又多くの人
	も	079	13	で御坐りませうか．其のワケはドウいふ	もの	で御坐りませうか．先づ進歩と云ふ漢字の和訓
	も	080	05	．凡そ社会の進歩は一個人の進歩に由る	もの	で御坐ります．なぜなれば社会と云ふものは一
	も	080	06	ば社会と云ふものは一個人から成り立つ	もの	で御坐ります故に人間社会の中に含まれたる一
	も	080	17	に付ても，また社会に付ても適用すべき	もの	で御坐ります．畢竟，人の総ての進歩，総ての
	も	081	01	を遂げる為めに用ゆべき方法は斯の如き	もの	で御坐ります．第三．総て人間の進歩と云ふも
	も	081	04	のは内部から起つて来て外部に発現する	もの	で無ければなりませぬ．外部から起つて来て内
	も	081	05	ぬ．外部から起つて来て内部に移る様な	もの	では御坐りませぬ．全く物体上のことで無く霊
	も	081	07	ば外部の有様は自らにして完全して行く	もの	で御坐ります．たとへば屋敷の立派なこと機械
	も	081	09	の鞏固なることなどのものは進歩と云ふ	もの	で御坐りませぬ．人の内部の進歩に由つて自然
	も	081	12	，用ゆる所の器物品物家屋また器械等の	もの	では御坐りませぬ．人の内部から起らずしてた
	も	081	13	様な外部の進歩は根なくしてアサハカな	もの	で真物で無く僞物で御坐ります．また鞏固なら
	も	081	14	無く僞物で御坐ります．また鞏固ならぬ	もの	で御坐ります．第四．人間の器量は様々にして
	も	081	16	所種々なれば人の進歩も亦たゞ一と筋の	もの	で無く其の種類多く御坐ります．たとへば能く
	も	082	02	進歩も亦斯の如し学術が自分に進歩する	もの	で御坐りませぬ．学術に付て人々自分の進歩で
	も	082	04	．これ等皆な至極善きもの至極有益なる	もの	で御坐りますけれども進歩の様々の種類の中で
	も	082	16	覧なされ．アデンスの町は立派に開けた	もの	で御坐りましたが其の人民が真の神を知らず偶
	も	082	17	を拝し本当な道徳を知らず一体道に疎い	もの	であつたに由つてツマリ恥かしく衰微いたしま
	も	084	01	では御坐りませぬ．きまつた速力で行く	もの	で御坐りませぬ．或る時は進歩の盛んな時も御
	も	084	09	．さりながら人間社会の進歩はさういふ	もの	では御坐りませぬ．たとへば或る時欧羅巴で不
	も	084	16	も其の総体の進歩は速力の能く定まつた	もの	で御坐りませぬ．世の種々の国の様々の進歩を
	も	085	02	事なものの概略を申すならば以上の如き	もの	で御坐ります．併しながら今こゝに弁ずる演題
	も	086	04	原素，人を貴くする所のものは如何なる	もの	で有りますか，社会の進歩と所謂文明開化を妨
	も	086	05	もの，また之を進ませるものは如何なる	もの	で御坐りますか，また彼の道徳と道徳の法と其
	も	086	11	所の法則また此の世の富などに係はらぬ	もの	で御坐ります．さらば，これ等のものは如何に
	も	087	02	の心を照す為めに万民の中に設けられた	もの	で御坐ります．この故に聖書と云ふものを己れ
	も	088	17	せぬ．山奥に逃げてしまひ鹿や猪の様な	もの	で御坐ります．故に人は進歩しやうとするなら
	も	089	09	志を引き起さするには基督教が極優れた	もの	で御坐ります．それのみならず真理の高尚なる
	も	089	11	で御坐りますから，進歩するの志を起す	もの	で御坐ります．無下に賤い人でも若し基督教を
	も	090	04	導きになる教，色々の教訓が余程大事な	もの	で御坐ります．若し人が知識浅く天地の道理に
	も	090	09	なれば所謂聖書は神のミコゝロを教ゆる	もの	で御坐ります．基督教を用ひ天の光りを受けて
	も	092	02	全なる進歩を成就せむとするに必要なる	もの	で御坐ります．基督教は即ち進歩の宗教で常に
	も	094	02	は其の犯罪の地の裁判所にて管轄すべき	もの	でありまするから．尤も土地と言つても地理学
	も	094	03	土地では無く領海も土地にはいつて居る	もの	で此の度の船の沈没したのはドコかと言ふに紀
	も	095	05	道徳と法律とは自から混同すべからざる	もの	で道徳上で責罰することも法律上では責罰せぬ
	も	095	10	無罪を言ひ渡したるは審理の道を尽さぬ	もの	である．尚ほ尽すべき道があるべきのに，たゞ
	も	096	07	分の時間があつたから救ひ得られさうな	もの	であるに之を救ふことの出来なかつたのは恐ら
	も	096	08	ことの出来なかつたのは恐らくは怠つた	もの	であらうと言ふも，これは情況上のことで御坐
	も	096	13	に当るといふは少しく大早計と言ふべき	もの	では御坐りませぬか．然れば今日吾人が我が同
	も	099	14	幾多船客の生命を保護すべき責任のある	もの	である即ち当時の主人の地位に立ちて居るもの
	も	100	13	五名の人が斯くの如き非命の死を遂げた	もの	であらうと考へる．若し果して，さうだとすれ
	も	101	13	をはかるときには必ず二三の反対のある	もの	であるが我が日本は然らず．苟くも改良といひ
	も	103	06	な豪傑なのは概して信仰心の然らしめた	もの	である．清正が非常の武勇を現はしたのは矢張
	も	105	11	かれたる法廷を以て船長等の再審を為す	もの	である」と報道するものもあります．然れども
	も	106	10	したる裁判は此の条例に基いて為したる	もの	で其の有罪なるや無罪なるやを判決するに非ず
	も	107	14	は宥恕殺といつて罪ではあるが罰しない	もの	で例へば幼年の者が弁別なしに人を殺すなどの
	も	108	04	すに至つたものも亦マーダーと為す如き	もの	であります．そこで自分は今ノルマントン号の
	も	109	08	居ります．而してこれは何の為めにおく	もの	であるかといふに若し船が衝突することが有る
	も	110	15	事は既に一旦船長を怠慢なしと認めたる	もの	であれば幾分か公平の裁判を為さざるかの疑ひ
	も	113	12	は人類ばかりで無く広く動物にも通ずる	もの	で至つて必要なものだと，いふことは分りきつ
	も	113	13	ふことは分りきつたことだが其の必要な	もの	で有るだけに，また欲が熾んに有るから之を節
	も	115	01	て居るものは人類ばかりと言つて，よい	もの	で，さて其の命の惜いといふ欲は飲食の欲より
	も	115	07	飲み過ぎたりする者のあるは誠に困つた	もの	で人類といふものは其れを節するやうにしなけ
	も	116	01	的の欲即ち飲食の欲に勝つやうにしたい	もの	で有ります．併し理屈づめでは何とでも言へる
	も	117	09	が成るたけ守らうといふやうに致したい	もの	で有ります．すべて会を設けてすると一人です

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もの）	も	117	11	のだから成るたけ此の会を盛んにしたい	もの	で有ります．人によりては酒の分量といふもの
	も	119	17	と人心に伝染する内密の流行病を生ずる	もの	で有つて御承知の通り流行病には疱瘡，コレラ
	も	120	02	も，かなへますが酒疫の方は内心に起る	もの	で有つて外に見はれぬから酒疫は人心に伝染す
	も	120	07	は西洋の人が世界に移住すると同じ様な	もの	で日本へも明治二三年頃から麦酒などが移住し
	も	122	12	らも起りませうが多くは酒の上から来る	もの	で有りませう．就ては此の節酒会の会員も四百
	も	124	04	はおもに今日の神学卒業生の為めに致す	もの	で御坐りますが，いづれの学校の生徒たる者も
	も	124	13	伝道の為めに働く者は皆，神と共に働く	もの	で御坐ります．なんと全智全能の造物主たる神
	も	124	16	は皆残らず順風に助けられて楽の出来る	もの	では御坐りませぬ．逆風に妨げられる所もあら
	も	125	03	伝道師の妨げまた其の務めの邪魔になる	もの	で御坐ります．勿論，今この一席の間に其の色
	も	125	08	反対論といふものはドコから起つて来る	もの	で有りませうか．所謂る書生が起す所の色々の
	も	125	09	が起す所の色々の論は多く何に本づいた	もの	で有りませうか．傍聴人の耳を塞ぎ，よく其の
	も	125	14	其の合ふこと合はぬことなどに本づいた	もの	で御坐ります．書生がよく言ふＳｐｅｎｃｅｒ
	も	125	16	ました故に基督教は素より全く間違つた	もの	で御坐る．また一人はＴｙｎｄａｌｌ氏が何々
	も	126	05	集などを批評し且非難せむとするが如き	もの	で有りまする．けれども基督教に就て己れの色
	も	126	13	きたる反対論を駁つことが出来ると思ふ	もの	で御坐ります．箇様な豪傑はよく「我が思ふに
	も	126	16	ども其の用ふる所の方法は決して，よい	もの	で御坐りませぬ．西洋の高名なる学者といふも
	も	127	08	みの人の如くに色々の間違ひに陥り易い	もの	で御坐ります．けれども卒業生が其の未熟な論
	も	127	11	らざれば西洋の専門家の論は非難し易い	もの	では御坐りませぬ．故に私もこの若い勇者の仕
	も	128	01	に逆らつて居らぬと頻りに務めて論ずる	もの	で有りまする．これ亦随分ケンノンな仕方で御
	も	128	11	論は遂に本当のものになるか或は誤つた	もの	であるか未だ一向分りませぬ．若し遂に各国の
	も	128	12	るときは此の論が我が宗教に関係したる	もの	で有るか無いかと問ふことも宜う御坐りませう
	も	128	17	のは決して基督教の教師の仲間に限つた	もの	では御坐りませぬ．国政家の中にも喜んで色々
	も	129	04	リしたもの用心するもの，またタシカな	もの	で御坐ります．第三．また只今説いた所に丁度
	も	129	06	は世俗の学問を皆な基督教の大敵とする	もの	で御坐ります．これ等の人の思ふには近来盛ん
	も	129	15	ものにして人の額に鬼の角を生えさせる	もの	で御坐ります．実にをかしいことでは御坐りま
	も	130	02	中には箇様な臆病なものは実に適当せぬ	もの	で有ります．イヽエ基督教と基督教の道徳法の
	も	130	03	督教と基督教の道徳法の基は決して弱き	もの	では御坐りませぬ．基督教は則ち造物主の御心
	も	130	04	物主の御心と人間の天然の性質に基いた	もの	で有ります．故に実に固うして変ることの無い
	も	130	05	ます．故に実に固うして変ることの無い	もの	で有ります．私ども常に陳る所の宗教の基また
	も	130	09	坐ります．学術と宗教との出所は一つの	もの	で有る故に必ずドコまでも互に符合すべき筈の
	も	130	09	故に必ずドコまでも互に符合すべき筈の	もの	で御坐ります．優勝劣敗の面白い法則により，
	も	131	02	の色々の浅ましい論によつて容易に変る	もの	では無い．ドチラも神の変ることの無い御心に
	も	131	05	ふるに，よく適当したる仕方は如何なる	もの	で御坐りませうか．第四．其の一つの至極よい
	も	131	17	なる説教師は大概皆な此の仕方を用ふる	もの	で御坐ります．卒業生若しよく謹んで無証拠な
	も	132	07	切るが如くに一向アトにシルシの残らぬ	もの	で御坐りました．これ等の色々の敵は既に久し
	も	132	08	の敵は既に久しき以前に世を去りました	もの	で御坐りますれども聖書はキズも無くカケメも
	も	132	09	も無くカケメも無く盛んに世に生存する	もの	で，有ります．この仕方は実に結構な仕方で有
	も	132	11	つよりも真の道理を設ける方が余程よい	もの	で御坐ります．若しあなた方，世の色々の迷ひ
	も	132	13	といふものは自からにして倒れてしまふ	もの	で有ります．滅ぼすこと，また破ることと駁つ
	も	133	01	り受ける所の証拠は明かにして実に固い	もの	で有ります．また卒業生の行ひの証拠はたヾの
	も	133	01	生の行ひの証拠はたヾの議論に負け易い	もの	で御坐りませぬ．この仕方のよいことは昔から
	も	134	10	人々皆承知する所の道理に善く適ひたる	もの	では御坐りませぬか．原因と結果，本と末とい
	も	134	11	が結果が宜しければ其の原因は必ず善い	もの	で有りまする．末が貴いものならば其の本は勿
	も	134	12	．末が貴いものならば其の本は勿論貴い	もの	で御坐ります．先づ基督教は善の教で御坐りま
	も	135	05	と言はれるならば基督教の趣意も亦狭い	もの	で御坐りませう．ナゼなれば基督教は則ち世界
	も	135	06	狭いものならば基督教の趣意は実に狭い	もの	で御坐ります．基督教は則ち万国万民の為めで
	も	135	12	の大事なもの多くは皆な基督教に係はる	もの	で御坐ります．イヽエ，基督教を専らに研究し
	も	135	13	た其の為めに励む者の趣意は決して狭い	もの	では御坐りませぬ．却つて其の見渡す所が広く
	も	136	03	，かの庭の景を見下すならば誠に面白い	もの	で有ります．此の帝国の本州と諸々の島は皆な
	も	136	05	が眼に立つ如くに見えます．誠に面白い	もの	で御坐ります．下から見れば面白いことも無く
	も	139	02	なれば其の感も強く且深くて誠に宜しき	もの	で御坐ります．併しながら此の小説を利用する
	も	140	07	筆先きで儲けた名利と言ふものは大層な	もの	で恰も諸侯の如き領地を購ひ城郭の如き家に住
	も	140	08	で居たと申すが其の著作はまた実に旨い	もの	で筆先きのオモシロミと言ふは別なもので御坐
	も	140	09	もので筆先きのオモシロミと言ふは別な	もの	で御坐ります．時代が同じなれば馬琴と比較し
	も	141	03	其の他の小説家は概して卑しめられたる	もの	で有ります．さて日本で学者が此の小説家を卑
	も	141	15	作つて旨く聞かせるのは甚だむつかしい	もの	で御坐ります．彼奴は学者にはなれまいと思ふ
	も	142	01	事と言ふものは仕組と言ふものが肝腎な	もの	で斯様な家を建つるには此処に斯様な柱を建て
	も	142	06	るに致せ小説を著すに致せ最も大切なる	もの	で中々凡庸の才智では旨く出来ないもので御坐
	も	142	06	もので中々凡庸の才智では旨く出来ない	もの	で御坐ります．小説家もたとひ其の文章が流暢
	も	142	14	ふ桁をこしらへ悉く其の中へはめこんだ	もの	で人情本などでも其の仕組は大体きまつて居り
	も	143	03	羅万象日月星辰山水の現象を写すが如き	もの	で有る．其の流派にも南北宗或ひは狩野派其の
	も	143	06	ります．凡そ人情と申すものは極り無き	もの	で種々雑多の情を起すに違ひ無い．其の情を有
	も	143	08	ならぬものとすれば真正の小説は出来ぬ	もの	でドウ言ふ塩梅にしたら人を感動せしめるぞと

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	143	09	ふところに気を付けねばならぬ極高尚な	もの で有ります．或ひは論者が有つて貴様は小説を
	も	143	10	説を貴ぶが小説と云ふものは卑しむべき	もの で有る，小説は人情本で有る，其の中でもよい
	も	147	11	かといふに日本帝国の境界はこれだけの	もの であるといふことを調べるのであるが其の事実
	も	148	04	といふものは表面の土地所有者に属する	もの であるとか全国即ち政府に属するものであると
	も	148	05	るものであるとか全国即ち政府に属する	もの であるとかきめるので土地ばかりでも右の通り
	も	148	06	となどはスタチスチックの方では大事な	もの であります．併し人員を調査するのはドレほど
	も	148	16	が人間のことは何も彼も学問に関係する	もの では無いからソコに気を付けなければ要用な調
	も	150	01	で御坐います．今日は行政法はドウいふ	もの であるといふことを一言申し上げるやうにしま
	も	150	03	訟法の如き人民と人民間の事を規定した	もの で公法といふものは国と国との関係を規定し其
	も	150	05	外国人でも何でも）との関係を規定した	もの であります．色々ありますがツマリ今申した二
	も	150	06	りますがツマリ今申した二つに帰着する	もの で国と国との関係を規定したるものを外公法ま
	も	150	11	内公法の一つで政治学の一部分に属する	もの であります．さて行政法と憲法との関係は如何
	も	150	15	意を拡張する為めに法律，規則を設ける	もの で憲法で定まつて居るものの細密なる部分を定
	も	151	15	律，規則及び之を運転させる機関をいふ	もの で定義は小さくも範囲は広いから此の学は一科
	も	152	07	，宗教上，民事上，等の権理を保護する	もの であり行政法では憲法できめた原則を実際に行
	も	152	08	政法では憲法できめた原則を実際に行ふ	もの であります．また之を適用するに付て規則とい
	も	153	08	其の取締を設けます．また人民は同等の	もの であるといふことを憲法で，きめるけれどもヤ
	も	153	15	に憲法は行政法に大いなる勢力を及ぼす	もの であります．故に憲法を知ることが必要であり
	も	158	15	ますがナント大変なことになれば，なる	もの でごすネ．昔は仏教のお寺の前には雷門と云つ
	も	159	04	を貴ぶと同じに大切のものにして，ある	もの でごす．所が東洋の方へ来ると，さうはいけな
	も	159	14	学で実験して見ると地球は一度に造つた	もの では無く十万年位かゝつた証跡があると言ひま
	も	160	02	ければならん．其のタマシヒは天に上る	もの であらうか，死んだなら消つきりのものかを穿
	も	160	07	の真実を得るといふことに帰してしまふ	もの で，ごす．飲酒の害明治十九年三月二十一日大
	も	161	05	村正直君演説酒といふものは大変な悪い	もの で其の為めに身を亡ぼし家を亡ぼし国を亡ぼす
	も	161	10	炮におそろしい音をさせるミチビの様な	もの で其れからして怒りを起すとか放逸に流れると
	も	161	12	に始つても終りには兎角喧嘩などをする	もの で荘子にも「陽に始りて陰に終る」とかいふて
	も	162	14	この酒誥だの洛誥だの無逸だのは正銘な	もの で決して間違ひの無いものと私は思ふ．この酒
	も	165	12	い．また，この題は一人一己の事を説く	もの では無くて一国人民の総体の上に関係すること
	も	168	05	慧も段々と開けたりするのと同じやうな	もの で，これは当り前なことで若し古いものばかり
	も	170	02	も国人の移住は大変な運動を起して来る	もの で，この位なことは当り前でありませう．これ
	も	170	16	．一人や二人が知つたからといつて行く	もの ではありませぬ．其れでは欧羅巴はドウだらう
	も	174	16	無く我が日本国民の年齢の一代ぐらゐな	もの で百年といふと遠いやうに思ふが維新以来モハ
	も	174	17	の五分の一を過ぎましたからサホド遠い	もの ではありませぬ．かねて申します通り「人は義
	も	176	06	といふは其の術に入り用なものを調べる	もの であります．この調べの方法は事実の上から道
	も	183	14	ません．双方共に貞操を守るの義務ある	もの で御坐ります．然し，これまでの考へでは妻た
	も	184	04	は即ち此の無理圧制を取り除かんとする	もの で御坐ります．第二には聖結婚の教即ちキリス
	も	185	17	反して神の前に於て男女とも全く同等の	もの であると教へます．しかしこれは日本ばかりで
	も	188	12	権力といふものは立法権と執行権といふ	もの である．この立法権と執行権とは全く相異つて
	も	188	13	の立法権と執行権とは全く相異つて居る	もの でドウしても之を分別しなければなりませぬ．
	も	189	02	等は議政といふ立法権の種類に属すべき	もの でありませう．其れから執行権の事は絶えず分
	も	189	06	ふものは執行権と相対して独立して居る	もの であります．即ち立法権は法律をきめるもので
	も	189	07	であります．即ち立法権は法律をきめる	もの であり，執行権の方は立法権できめましたこと
	も	190	02	のが一国の政治をきめて執行するといふ	もの である．第二は行政府である．これも法律規則
	も	190	13	あります．裁判権といふものは斯の如き	もの で，この裁判権の中に二つの種類がある．一は
	も	191	09	を行ふのも亦，法律を執行するに止まる	もの であるから行政権，司法権は相合して執行権力
	も	191	09	政権，司法権は相合して執行権力になる	もの である．故に立法権力と執行権力より外に権力
	も	192	06	があつて其の大名の論決するか議決する	もの で大名輿論といふのが正しいといふことであり
	も	197	10	陽のグルリを回つて居る，太陽は夥しい	もの で地球や其の外の惑星をひつばりますのは，丁
	も	197	17	星と云ふものは若しや惑星と同じ種類の	もの では有るまいかと云ふ考へを起しました．Ｎｅ
	も	198	05	をしておきませう．先づ楕円とはドンナ	もの で有るかと云ひますと楕円を形ちづくるには最
	も	198	08	楕円は先づ円のやうなものですが細長い	もの で，惑星即ち木星土星などのあるいて居る道で
	も	198	14	ちで有ります．そこで彗星が惑星と同じ	もの で有りますなら是非，其のあるく道が此の二つ
	も	200	11	ますが，しかし彗星はイヤに形ちの変る	もの で，今度出る時には先に出た時の形ちと強ち同
	も	200	12	時の形ちと強ち同じ形ちにはなりません	もの で有ります．丁度俳優が舞台に出ます時に男に
	も	200	14	出来ないほどで有りますが，丁度そんな	もの で，彗星の正体を見顕はさうと思へば必ず其の
	も	200	16	へて来なければいけません．随分厄介な	もの で有ります．さてＨａｌｌｅｙの曰く「前々の
	も	201	05	しいことが有るので，ヨホド骨の折れる	もの で有ります．一体，彗星は長の旅をする間には
	も	203	08	の彗星と云ふものは先づ惑星と同種類の	もの で有る，全く惑星と同じ様なもので有ると云ふ
	も	203	09	種類のもので有る，全く惑星と同じ様な	もの で有ると云ふことが分りました．抛物線を書い
	も	204	03	実は学でもなく，また術でもないやうな	もの で有りますが，日本で云へば安倍の晴明とでも
	も	205	01	ことで有つたのです．地球と同じやうな	もの で有るのに，あのやうにこはがつた訳と云ふも
	も	205	12	すが三年と四分の一ごとには戻つて来る	もの で有ります．諸君は其れならば見えさうなもの
	も	207	14	ふつたと云へば星は星，雨は雨で別々な	もの で有りさうなものだのに．星と雨とはドンナ関

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（もの）	も	208	05	り人が有ると云ふやうなものか，ソンナ	ものでは無いか，ドンナものかと調べるのは，むつ
	も	208	11	斯体か固形体かと云ふ調べはむつかしい	もので有ります．また彗星は惑星と違つてボーット
	も	208	15	云ふ証拠は無い，反対にそれぞれ違つた	もので有ります．これをそれぞれに調べますのは，
	も	208	16	に止めますと，先づこの彗星の頭は軽い	もので有る，稀薄なもので有ると分つて居る，至つ
	も	208	17	この彗星の頭は軽いもので有る，稀薄な	もので有ると分つて居る，至つて軽いもので有るに
	も	208	17	なもので有ると分つて居る，至つて軽い	ものに違ひ有りません．なぜなれば地球は他
	も	209	02	に狂ひは有りません．また非常に稀薄な	ものであらうと云ふ証拠は尾を透して，どのやうな
	も	209	05	云ひますに頭は説が不揃ひで明りを通す	ものに有る，明りを通すもので無いと色々説が有り
	も	209	05	ひで明りを通すもので有る，明りを通す	ものに無いと色々説が有りましてハッキリと申せま
	も	209	07	やうで有ります．大方は頭も心も稀薄な	ものに何れ瓦斯体で有りさうに見えます．中には心
	も	209	08	見えます．中には心の所だけは堅まつた	ものに，あとの尾や他の部分は瓦斯体で有ると云ふ
	も	209	10	で有ります．尾と云ふものは大変に長い	ものに，ムヤミに長いもので三年前に見えましたの
	も	209	10	ものは大変に長いもので，ムヤミに長い	ものに三年前に見えましたのも御存じの通り随分長
	も	212	03	ば，彗星が家ならば流星は古材木の様な	ものに有りますから，本当の彗星の中へ這入れるの
	も	213	09	シッカリとした演説の間の狂言のやうな	ものに御坐います．さて小説は文章で書くもの，演
	も	213	14	追つて時の好みに応じなければならない	ものに御坐います．ソコデ少し小説と演劇と違ひが
	も	214	01	のは維新前よりしてホンノ女子供の見る	ものに士分の者などは表向き見ることを憚つたもの
	も	214	02	士分の者などは表向き見ることを憚つた	ものに有りました．また従前小説家と云ふものは其
	も	214	03	傍ら狂歌師や川柳前句の点者などをした	ものに馬琴などは初めの中は和漢の故事が入り用の
	も	215	05	や演劇はツマラヌものだと云つて賤しむ	ものに有つたならぢき，さびれてしまひませう．世
	も	215	06	の風潮の満ち干と云ふものは実に面白い	ものに御坐います．さて閑話休題と云ふ字を馬琴な
	も	215	14	う．先づ我が国の小説は昔話しから出た	ものに小説の原とも云ふ昔話しの一番古いところは
	も	216	13	コでも，さう云ふことからして始まつた	ものに有りませう．其れから我が国に古く霊異記だ
	も	216	15	ますが，これは僧徒が道を弘める為めの	ものに小説とは少し性質が違ふことと思ひます．其
	も	217	02	ぬが文体の古雅な所を見れば延喜以前の	ものに有りませう．竹取物語の大意は竹取の翁と云
	も	217	15	門品だのと云ふ品目を立てたのに拠つた	ものに有りませう．其れは源氏物語の標目は仏道に
	も	218	02	を作るにも言語の学問をするにも必要な	ものに有ることは云ふまでも有りませぬ．次に狭衣
	も	218	08	が，ツマリ物語を作つた趣意は先づ慰み	ものに日長のときや雨夜などの徒然を慰むる為めで
	も	218	11	は男は漢文で書き，仮名文は女が書いた	ものに御坐います．ソコデ物語は婦人の作が多い．
	も	218	16	の間に時々の景色と歌とを交ぜたやうな	ものに馬琴や京伝の小説のやうに斬つたりはつたり
	も	220	01	章も面白くて目の前に見るやうに書いた	ものに有るが文章の飾りが有るだけに小説が交つて
	も	220	11	の方が重もで其の上へ説き明しを附けた	ものに福富の草紙と云つて善と悪のヂーサン，バー
	も	221	02	かし其の時代の人情風俗を知るにはよい	ものに後に馬琴などが趣向を古めかしくして高尚に
	も	221	13	した．其の趣向は重もに浄瑠璃本に出た	ものに有るから其の作である稲妻双紙だの酔菩提の
	も	222	02	作つた読本から出たものだが殊に残酷な	ものには有りませぬか．馬琴の作も，始めは同じや
	も	222	06	どは今云ふ人情の真理と云ふものに近い	ものに其の後の草紙に至つては勝れた上手が有りま
	も	222	16	又はヲカシイことを言つて身ぶりをする	ものに有りましたが北条時代には田楽が盛に行はれ
	も	223	01	ました．これが演劇の濫觴とも云ふべき	ものに有りませう．足利の始めに観世氏の祖，観阿
	も	223	06	．念仏踊と云ふは空也上人から始まつた	ものに其の上人は朱雀，村上の朝の人で古いものサ
	も	223	07	これまでが演劇の成り立ちとも云ふべき	ものに有ります．其の後，女歌舞伎，若衆歌舞伎な
	も	223	13	つて居ます．これは今云ふ筋書のやうな	ものに其の時分の演劇の有様を見るに足るもので御
	も	223	14	ので其の時分の演劇の有様を見るに足る	ものに御坐います．そこで操人形と云ふものが慶長
	も	223	15	人形と云ふものが慶長の時分から有つた	ものに追々遣ふ者の上手も出来，浄瑠璃と云ふもの
	も	224	07	だののことを仕組み根が下等の人の見る	ものに有るから猥雑なことで無ければ面白がらぬか
	も	224	08	に申した小説と同じく士君子の見物する	ものに無いやうになりました．其れゆゑ維新以来は
	も	224	14	れまで小説と演劇とは実に兄弟のやうな	ものに有りましたから此の後とてもヤハリ大いなる
	も	227	12	と云ふと，テもなく一地方の君主の如き	ものに，フランス語で云へばプレンス即ち藩主で有
	も	228	15	ります．これは府県知事の下役のやうな	ものに有ります．其の郡の下に町村が有ります．こ
	も	229	10	度，郡と町村とをマゼコゼにしたやうな	ものに有るから区長は郡長の仕事と戸長の仕事をし
	も	229	11	，性質から云へば区は郡の下につくべき	ものに有ります．其れならば区は郡の中にあるかと
	も	229	12	るかと云ふと中では無いが下にあるべき	ものに有るに違ひ有りませぬ．戸長の大いなる町，
	も	229	15	ひ知事の下役ですから人民の公撰すべき	ものでは無いと思ひます．其れから沖縄県内は前と
	も	230	01	ろが有ります．これは内地の区のやうな	ものに有ります．其の外間切と云ふもの即ち内地の
	も	231	05	んすから行政官は総て執行権に隷属する	ものに有ります．其れから，また施政は，一人，議
	も	234	15	い，自分の国の言葉は学問に用ひられる	ものに無いと思つて居ました．其れが段々開けて今
	も	240	05	は則ち内務大臣に代つて之を視察したる	ものに有りますから私の見たるところは私の目を通
	も	240	06	目を通つて内務大臣の目の中に這入つた	ものに有りまするゆゑ，該景況は私の所有権で無く
	も	240	11	して帰れば其れは○○君に代つて見たる	ものであるから，其の性質如何を知ると云ふことは
	も	242	01	ふやうなことばかり見たとて参考になる	ものでは有りませぬ．固より諸君の中には監獄全体
	も	242	14	る．故に監獄のことはナカナカ軽々しき	ものでは有りませぬ．監獄学を知らずして監獄のこ
	も	242	17	りませうや．先づ監獄は行政権に属する	ものに有りまするから第一に監獄の行政上の位置を
	も	243	04	なりませぬ．凡そ一国には二大政権ある	ものに国民全体の望みを表はすものを立法権と云ひ
	も	243	10	握られて天下の事を御親裁あらせらるゝ	ものに御坐います．さて，執行権の中には政府があ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（もの）	も	244	07	律の委任を受けて某々の事を定むる等の	もの	で，これは執行権に於て制定するもので有りま
	も	244	08	のもので，これは執行権に於て制定する	もの	で有りまする．法律に至つては必ず立法権の制
	も	244	08	法律に至つては必ず立法権の制定に係る	もの	で御坐います．其れから第三は政治の執行で，
	も	244	15	の中にても殊に秩序安寧のことが著しき	もの	で，之を維持せむには陸軍，又は海軍を用ひ，
	も	245	03	が，これは通常の悪人とは全く変つたる	もの	で有りまして数から申しますと，有れども無き
	も	245	03	数から申しますと，有れども無きが如き	もの	で有りまするから私の述ぶる所の此の監獄論に
	も	245	10	御坐いませぬ．たゞ其の性質が第二段の	もの	で有ると申すだけで有りまする．これにて監獄
	も	246	03	言はれたる如く，人には多く過ちの有る	もの	であるから悪い事をしたとて其の人が頭から足
	も	246	09	ふ趣意で，即ち人心の改良を図ると云ふ	もの	で有りまする．故に刑と云ふ字は人心を改良す
	も	246	10	執行を掌る即ち人心の改良を掌ると云ふ	もの	で有りまする．只今申したる点は非常に大切な
	も	246	17	るやうになつて其の心は益々ねぢくれる	もの	で御坐います．例へば昔は北の方の或る地方に
	も	247	10	つの方法を以て人心の改良を図りまする	もの	で有ります．其の第一は懲戒法と申しまして罪
	も	247	12	は懲戒法と申しまして罪人を懲らしめる	もの	で，これは所謂，道具じかけで有りまして悪い
	も	248	11	嫌疑者を捜索して之を裁判所に引き渡す	もの	でありまして，裁判所に於ては右の犯罪人及び
	も	248	16	ぬから決して罪人と同様に取り扱ふべき	もの	では有りませぬ．何故に罪人にあらざるものを
	も	249	09	て三つ共によく整頓しなければならない	もの	で有りまする．これよりは監獄と教育との関係
	も	252	08	をつかまへて来て懲治しなければならぬ	もの	で有ります．故に不論罪懲治者にあれ，出願懲
	も	254	14	するから監獄と云ふものは容易ならざる	もの	で御坐います．よつて監獄は決して賤しむべき
	も	255	08	とを言つたとか云ふやうなことまで探す	もの	では有りませぬ．されば昔のオカッピキは悪か
	も	255	10	官は賤しむべきかと云ふと決して左様な	もの	ではない有様でありませう．然るを監獄ばかり
	も	255	11	ばかり先祖が悪かつたと云つて賤しめる	もの	では有りますまい．若し，かういふことを以て
	も	255	14	等の為めに今日の華族は皆な賤しむべき	もの	で有るから華族の門前を通つて来たら家へ這入
	も	256	03	犯罪人と貧民との関係はヨホド綿密なる	もの	で有りまするから貧民救助のことを簡略に述べ
	も	256	04	民の救助と申しまするものは慈恵に係る	もの	で有ります．而して此の慈恵に二つの種類が有
	も	256	11	に田を流し畑を荒されたる等の時に起る	もの	で，これは日本では備荒儲蓄法を以て行なつて
	も	257	06	疾，不具者は祖先父母等に於て之を養ふ	もの	で有りますが其の性質は単に救助と云ふに止ま
	も	257	07	すが其の性質は単に救助と云ふに止まる	もの	で有ります．これ等は親族なきに於ては已むを
	も	257	09	育するのは将来に善良有益の人民を造る	もの	で有りまするから其の費用は誰が出しても救助
	も	257	10	から其の費用は誰が出しても救助と云ふ	もの	では無く，言はば資本の前貸しで有ります．之
	も	257	13	貸しと犯罪人の予防との両性質を有する	もの	でありまする．斯くの如く貧民救助の中にも単
	も	258	13	の矯正院に於て掌るもの即ち救助すべき	もの	で有りまする．前の二つの外に放免者即ち出獄
	も	258	17	出来たときには，そこで救つてやるべき	もの	で有りまする．斯くの如く貧民の救助は慈恵と
	も	259	04	町村より補助するの仕方を以てやるべき	もの	で有りまする．斯くの如く貧民の救助は犯罪人
	も	259	17	よつて定限すると云ふことに，きめたい	もの	で有ります．第四，救助費の額を定むること．
	も	260	07	が備はつた上は其の上の資本は無益なる	もの	で有りまするから，これは他の有益なる方に分
	も	260	08	ら，これは他の有益なる方に分配すべき	もの	で有ります．故に相当の資本が備はりたる上は
	も	260	12	が，これは救助がソレゾレ平均を得たる	もの	で有らうか或ひはムヤミに一方にばかり偏する
	も	260	13	とが有りはすまいかは宜しく注意すべき	もの	で有りまする．第六，監督者を設くること．こ
	も	262	07	日の監獄は決して復讐の道具などと云ふ	もの	では有りませぬ．全く罪人を懲治，感化すると
	も	263	02	まするから此の方法はアマリ面白くない	もの	で有りまする．第三は雑居法と云ひまして，こ
	も	263	03	多くの囚徒を集め別に区別を致しませぬ	もの	で有ります．尤も中には少しは区別を致すのも
	も	263	05	区別によつて其の雑居の分ちを為す位な	もの	で有りまする．此の方法は最も不完全なるもの
	も	263	06	有りまする．此の方法は最も不完全なる	もの	で有りまする．第四は階級法と申しまして，こ
	も	263	07	房法と雑居法とを折衷してこしらへたる	もの	で有りまして刑期の初めは厳密なる分房法を用
	も	263	09	して其の心を改良したるや否やを試みる	もの	で有りまする．此の方法が一番宜しいかと考へ
	も	267	03	のと証拠の湮滅する虞れがあるので起る	もの	で有りまする．故に分房法に致しませぬと，他
	も	268	09	察署，又は憲兵署などの在る所に設ける	もの	で有りまする．此の所に於ては拘引したる者を
	も	269	10	盗，強盗，無籍乞食，親不孝，其の他の	もの	で有りまして其の中，最も多き者は窃盗，強盗
	も	271	13	場．これは裁判所，及び警察署に属する	もの	で，未決者を一時留め置く所でありまする．但
	も	272	13	して監獄は総て内務大臣の管轄に属する	もの	で其の中，集治監だけは内務大臣之を直轄し，
	も	273	03	纂の「日本帝国第五統計年鑑」に拠つた	もの	でありまする）府県監獄は百九十二箇所ありま
	も	273	09	て懲治監と申しまするのは矯正院に当る	もの	でありまするけれども未だ立派なものと申す訳
	も	276	14	由つて起るところの原則が最も大事なる	もの	でありまする．以上に縷陳いたしましたること
	も	012	04	問の有様では分らない所まではいきたい	もの	です．このことについて私が知つて居るだけを
	も	012	16	球は我々の身体に比べると非常に大きな	もの	です．我々の住つて居る都府，我々の住つて居
	も	013	06	位の距離は僅かの間に通ることの出来る	もの	です．昔はさうでは有りませぬが今日ではまご
	も	014	06	昔の人の知つて居つたのは先づ其の位な	もの	です．其れから望遠鏡で月を見ると中々妙なも
	も	019	10	る方をあき方とか何とか唱へて賞翫した	もの	です．これが木星で其の次ぎは塡星一名土星と
	も	026	04	距離が三千七百八十五万里で随分大きな	もの	ですが，こんな大きな物さしを工夫して見まし
	も	059	10	はドウかと云つて見ると色々な害が有る	もの	です．さて其の半開化の害といふは先づ我が邦
	も	061	06	如きも其れと同じことでチョット便利な	もの	ですからヤタラに乗る故に年々歳々増加して現
	も	061	08	の無き所は無い位で其の数は実に夥しき	もの	です．則ち明治十一年には人力車の数十四万二
	も	063	14	の健康上に至つては更に一層の危害ある	もの	です．諸君御覧なされ，人力車夫の業たるや農

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	065	12	ケ服など共に皆改むべきの最も急務なる	ものです．今にして之を改めなければ後年必ず測る
	も	140	01	してしまつたことには与つて力の有つた	ものですから其の筆先きの勝れたものと見えます．
	も	151	03	でありますが其の実際に至ると甚だ広い	ものです．第一行政法の中に，はいるものは日本の
	も	151	17	す．ツマリ行政法は憲法と密接して居る	ものです．故に行政法の原則を調べるには第一には
	も	168	02	．其の外，色々ありませうが先づそんな	ものです．世が開けるに従つてまた新しいものが，
	も	174	06	レ骨のやうで見ても面白くない，イヤな	ものですが之に銭といふ皮肉を附けて見ると其のシ
	も	189	11	ドチラも一国の政治に関係のありまする	ものですから立法権にも執行権が関係することがあ
	も	198	08	形ちになります．楕円は先づ円のやうな	ものですが細長いもので，惑星即ち木星土星などの
	も	210	14	ぜなれば両方ともムヤミにあるいて居る	ものですから．学者は各々持論によつて色々なこと
	も	228	01	其の列国の世話をして居たと云ふやうな	ものです．何にしろ日本と云ふ国の内には沢山に小
	も	230	14	有れば郡を無形人とすべきや否やは考へ	ものです．府県，郡区，町村の三つは右の如く無形
	も	230	16	，行政裁判を各々やらなければならない	ものです．右は行政区画のお話しで有りますが其れ
	も	268	04	軍事の監獄は陸軍及び海軍にありまする	ものですから自ら別の物になつて居りまする．因つ
	も	108	01	域頗る広く同じメンスローターを犯した	ものでも或ひは一日の拘留で済むのもあれば或ひは
	も	129	09	なものは少なう御坐りますけれども無い	ものでも御坐りませぬ．箇様な人が言ふ「嗚呼哀し
	も	129	17	ぬけれども鬼の角を人の額に生えさせる	ものでも決して御坐りませぬ．世の人の中に基督教
	も	158	05	きまつて居ますが，アスが日に狂ふまい	ものでも無いが狂ふと極点が違つて来る．其のかは
	も	210	07	は世界のシマヒだから今の中にオイシイ	ものでも，たべて置かう」などと云ふ者が有りまし
	も	232	06	府の用では無い全く府県固有の用で有る	ものでも右事項の外は知事が勝手に決定して行ふこ
	も	011	16	こゝでむづかしくなる．物質とはドンナ	ものと言ふことは本当に知つて居る人は恐らく有り
	も	013	01	た程大きいものでは無い，至つて小さい	ものと私は申します．直径は一番大きい処で僅か日
	も	013	08	出来ます．して見れば地球は実に小さい	ものと言はなければならないで御坐います．これが
	も	036	06	いなる酒好き」と言つたら調子に外れた	ものと思ひませう．諸君は「大いなる社会は大いな
	も	036	09	身体を丈夫にし財を貯へる様に致したい	ものと思ひます．財を貯へると言つても決して吝嗇
	も	041	01	其れが風習になり道徳の様になりて来た	ものと見える．前に申したのは風習を比較する近頃
	も	044	14	が其れが実は支那の道徳にかなふて居る	ものと思はれる．其れぢゃから他人を利して己の利
	も	053	02	け其れが段々一種の真片仮名文になつた	ものと思はれます．もと漢学の開け始まりは漢語を
	も	057	14	を見るのは必竟当路者の尽力多きに居る	ものと思ひます．是れ私が当路者に謝し又諸君が斯
	も	061	16	暗々裏に健康を害すること頗る大いなる	ものと思ひます．所で斯く人力車濫用の弊を生じた
	も	062	08	です．第二は身体運動は衛生上に必要な	ものと云ふことを知らざる野蛮人の多きと我が邦人
	も	065	03	減は日本男女の文明如何を卜するに足る	ものと思ひます．諸君如何です．さて斯の如き類を
	も	100	11	有りたるが為め斯くの如き事件が起つた	ものといはねばならぬ蓋しこれが為めに我々同胞二
	も	105	13	は固より英国領事の裁判を以て至当なる	ものとは看做さず実に疎漏にして且偏頗なる裁判で
	も	106	11	上の裁判に非ずして寧ろ行政上の処分の	ものと考へます．さればノルマントン号の沈没した
	も	129	08	う．故にこの輩は学問をけしからぬ悪き	ものとして常に誹ります．箇様な臆病なものは少な
	も	134	04	を為すべし，これ爾等を誹りて悪を行ふ	ものと言へる世の人をして爾等の善き行ひを見て神
	も	135	04	ます．之に答へますには若し世界が狭い	ものと言はれるならば基督教の趣意も亦狭いもので
	も	139	05	す．其れ故今日の小説中に之は害の有る	ものと認めたるときは之を改良しなければならぬも
	も	139	05	めたるときは之を改良しなければならぬ	ものと思ひます．して此の小説と言ふものは普通の
	も	140	02	有つたものですから其の筆先きの勝れた	ものと見えます．またイギリスの故宰相ジスレリー
	も	143	07	から是非勧善懲悪を持ちこまねばならぬ	ものとすれば真正の小説は出来ぬものでドウ言ふ塩
	も	144	03	からとて画と言ふものは全く卑しむべき	ものとは言はれますまい．これと同じことで所謂る
	も	144	04	人情本の猥褻なる如きものは抑も末なる	ものとして美術上より遠ざけるが宜しい．日本今日
	も	152	13	行政法は被治者と治者との関係をきめる	ものと言つてもチョイと分りますが併し憲法と密接
	も	153	10	其れから人民の所有権は侵すべからざる	ものといふことを憲法できめるが鉄道を設ける為め
	も	161	09	畢竟，酒を飲むといふことから導かれた	ものと見ゆる．酒といふものは丁度，鉄炮におそろ
	も	162	01	と思はれる．武王はふかく其れに感じた	ものと見えて殷を亡ぼして後，弟の康叔を衛に封じ
	も	162	14	だのは正銘なもので決して間違ひの無い	ものと私は思ふ．この酒誥の中に酒を飲んだ者を死
	も	162	16	るから其の当時に在つては已むを得ない	ものと見える．今申した酒誥の原文は大凡六百字あ
	も	169	02	で東漸とは形ちばかりで何の道理も無い	ものと見えます．丁度この時分に我が国の人心が印
	も	174	02	で毎年の生れた数から死んだ数を除いた	ものと就籍等の増人数を四箇年に平均すると三十六
	も	174	13	すが経済学者は之を何と見たか聞きたい	ものと存じます．さて今，申したやうな訳ゆゑ百年
	も	183	12	キリスト教に於ては夫たるものも妻たる	ものと同様に貞操を守るの義務あることを教へます
	も	186	07	のならば女も同様に神の恩恵を蒙るべき	ものと致します．故に新約書にもキリストを信ずる
	も	187	04	なり今より後，万世まで人々我を福なる	ものと称ふべし」と謳ひましたが思ふに此はマリヤ
	も	196	09	西洋では東洋よりも甚しく，こはがつた	ものと見え「箇様箇様の彗星が出たときは人が夥し
	も	199	04	線は楕円のカタッパウが開いてしまつた	ものと見れば宜しう御坐ります．さて，このやうな
	も	204	10	彗星はエウロッパでは非常に大きかつた	ものと見えます．万国史をお読みになつたお方は御
	も	204	14	と言ふべきですが其の頃は非常に驚いた	ものと見えまして，ローマ法皇は「毎日正午には鍾
	も	205	09	度ごとに災が有ると云つて，こはがつた	ものと見えます．さて，前に申した通りに立ち戻つ
	も	207	17	まつたのでは無く，化けて流星になつた	ものと見えます．このごろでは段々と流星と彗星と
	も	208	03	有るか，地球や火星や土星と同じやうな	ものと言ひましたが，また太陽から遠ざかつていつ
	も	208	08	止る時に時計を見て，ミチノリの書いた	ものと見合せれば，何時間にどの位，走ると云ふこ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	208	14	ものが有ります．この三つが同じやうな	ものと云ふ証拠は無い，反対にそれぞれ違つたもの
	も	213	10	章で書くもの，演劇は立ち働いて見せる	ものと云ふ差別が有りますがドチラが多く人の心を
	も	217	07	ことが書いて有つたのを基として作つた	ものと云ひますが，さすれば当時，流行の仏説によ
	も	217	10	者が始めて此の空中楼閣の話しを作つた	ものと見えます．しかしながら天に昇つてしまつた
	も	218	10	ら其れを知らせやうと云ふ心組で作つた	ものと見えます．其の時分には男は漢文で書き，仮
	も	219	13	て見ると昔の風俗は自由結婚に近かつた	ものと見えます．此の時分は上等社会さへ，さうで
	も	221	01	で下等社会のものに向くのを目途とした	ものと見えます．しかし其の時代の人情風俗を知る
	も	221	11	になつて我が国の小説は全く地に墜ちた	ものと見えます．其の時分，京伝は元来，洒落本，
	も	221	16	したは何れも洒落本の口調から変化した	ものと思はれます．さて京伝以来，三馬も種彦も画
	も	241	04	有権の点に於ては無論，言ふを得られぬ	ものと存ぜられます．尤も私の巡閲したる途中で福
	も	241	10	るべく世間に知らしむるに於て利益ある	ものと存ぜられます．故に実際に至りまするとコレ
	も	257	17	救助の目的は次に述ぶる如くに定むべき	ものと考へられます．第一，貧民の救助．これに二
	も	269	16	の間が一番，間違の出来やすい時で有る	ものと見えます，故に人の父母たる者は専ら十二歳
	も	270	03	教育の有無に関係することが最も甚しい	ものと見えまして，前に申した八千四百十四人の者
	も	273	09	るものでありまするけれども未だ立派な	ものと申す訳には参りますまいかのやうに思はれま
	も	150	14	のの組織，また其の職務の遺伝法といふ	ものなどを書いたのが憲法で，憲法と言へば一国組
	も	059	16	は何かと云ふに先づ奇麗なものや便利な	ものの等であります．何となれば知識が無くても学問
	も	002	11	めようがドウせうが漢字を廃さうといふ	ものなら左祖するといふ主義で仮名のみならず羅馬
	も	002	12	ず羅馬字でも宜しい漢字を廃さうといふ	ものなら何でも左祖する．そこでナゼそんなに漢字
	も	011	09	れない．小学校へでも参つたことの有る	ものなら「日本は亜細亜の中だ」「亜細亜は」と言
	も	134	11	は必ず善いもので有りまする．末が貴い	ものならば其の本は勿論貴いもので御坐ります．先
	も	135	06	為めで御坐ります．若し万国万民が狭い	ものならば基督教の趣意は実に狭いもので御坐りま
	も	135	10	無き苦楽，人の命と死などのものが狭い	ものならば基督教の趣意は亦狭う御坐ります．ナゼ
	も	171	17	こと（あれが若し勧めて，くれなからう	ものなら日本人もヨッポド阿片を飲むことになつて
	も	186	07	であるし，若し男が神の恩恵を蒙るべき	ものならば女も同様に神の恩恵を蒙るべきものと致
	も	087	09	造物主のミコヽロに逆らひ之に合はざる	ものなりと云ふ返答が出来まする．また人の善き性
	も	087	11	能力を与へたる神のミコヽロに合ひたる	ものなりと云ふ返答が出来まする．また所謂，道徳
	も	100	01	には如何にしても彼等は我々を軽蔑した	ものなりと考へるより外はない．彼等は実に我々日
	も	129	11	無し道徳は全く各国の慣習と風俗に係る	ものなりと言はれた，これから我が道徳法がドウな
	も	130	08	を滅ぼし或はまた学術が基督教を滅ぼす	ものなりなどのことは誠に拙き論で御坐ります．学
	も	099	12	は無いが其の最も義侠の心に富むで居る	ものなることは世間の既に認めたる事柄である．而
	も	099	13	難の場合に当りて殊に義侠の心を生ずる	ものなること論ずるを俟たず．且船長は幾多船客の
	も	099	16	殊に危難の場合に臨み義侠心の発達する	ものなることを考へ而して二十五名の我が同胞を棄
	も	109	09	るかも知れぬゆゑ其の時の為めに備へる	ものなることは誰れも想像することでありませう．
	も	131	02	ラも神の変ることの無い御心に本づいた	ものなるが故で御坐ります．これまで説きました所
	も	086	09	ます．また世の普通の学問は誠に大切な	ものなれども，これ等の高尚なものを充分に説きま
	も	114	02	いふものは食欲を節することは出来ない	ものなれど人類といふものは他の動物よりは違つて
	も	139	02	いと思つて読んで居る中に自然と感ずる	ものなれば其の感も強く且深くて誠に宜しきもので
	も	142	02	軍艦を造るにも仕組と言ふものは大切な	ものなれども，たゞ柱を削り塀を塗るは普通の職人
	も	015	12	ふことがよく分る，けれどもちつと長い	ものになりますと，寸で測つては間に合はない．例
	も	017	09	位に見えます．して見ると非常に大きい	ものに違ひない．現に勘定して見ますと直径は三十
	も	045	10	見れば只今でも権を得たものは権を得ぬ	ものに向ふて害を為して居るに違ひ無い．女に参政
	も	064	05	でありませう．況んや之を引き疾駆する	ものに於ては一層の劇症を発す可きは当然のことで
	も	064	09	かと云ふに先づ二十歳以上四十歳以下の	ものにして随分他に立派な業を営み得べき屈撓な壮
	も	064	12	した通り人力車濫用の弊を生ぜしに因る	ものにしてツマリ人民が人力車のたゞチョット便利
	も	064	14	要なる衛生上の害を知らぬ所から出来た	ものにして則ち半開化の害でありませう．所で，こ
	も	079	09	で御坐ります．たとへば牛馬などの様な	ものには進歩と云ふことが聊かも御坐りませぬ．其
	も	080	11	きが御坐ります．総ての改正改革と云ふ	ものに付ても此の三つの手続きが御坐ります．一つ
	も	087	01	御坐ります．基督教は丁度これ等の貴き	ものに付て人の心を照す為めに万民の中に設けられ
	も	087	03	品行とのノリとする者はこれ等の大事な	ものに付て誤ること，つまづくことは容易に致しま
	も	087	15	行とのノリとする人はこれ等の大切なる	ものに付て或は間違ふこと或はつまづくことは容易
	も	088	10	ジーランド島のマオリと云ふ人種の様な	ものに付て至極其の困つた所は丁度こゝで御坐りま
	も	094	01	に住するものは内外人を問はず支配する	ものにて殊に裁判は其の犯罪の地の裁判所にて管轄
	も	099	15	位に立ちて居るもの重大なる責任のある	ものにして平常はこの義侠の勇気に富み殊に危難の
	も	115	03	んなれども其の品等を言へば至つて低い	ものに違ひは無い．其れだから人類的の欲を動物的
	も	124	11	業生が其の働きと其の務めとの益になる	ものに会ふことは多う御坐りませう．これは実に不
	も	128	10	う御坐りまする．箇様な論は遂に本当の	ものになるか或は誤つたものであるか未だ一向分り
	も	129	10	いかな先だつて某の学者が道徳法といふ	ものには基が無し道徳は全く各国の慣習と風俗に係
	も	129	15	な臆病な人の思ふには学術はけしからぬ	ものにして人の額に鬼の角を生えさせるもので御坐
	も	133	16	者が基督教を聞いて不意に信仰を起した	ものになりました．が其れから，かの者が全く外の
	も	135	03	れ等の区域，我れ等の趣意が至つて狭い	ものにはなりはせぬかといふ不同意で御坐ります．
	も	138	11	した．なるほど経書や哲学やむつかしい	ものには効能が有るには違ひないが，しかつめらし
	も	149	11	ればいけませぬ．全く相須つて用を為す	ものに違ひありませぬ．併しスタチスチック学者の

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（もの）	も	157	05	教で申したら法華経とか三部経とかいふ	ものに差支が起るからコペルニカスの弟子のガリレ
	も	159	02	神に，のみこんだのが学問の実際といふ	ものに違ひない．教法の極点といふと教法は御承知
	も	159	04	じ儒者が四書五経を貴ぶと同じに大切の	ものにして，あるものでござす．所が東洋の方へ来る
	も	173	03	だとか「不実者」だとか言ひ其の甚しい	ものになると「畜生」などと嘲けり罵つて交りを絶
	も	190	14	は司法裁判である．この行政裁判といふ	ものにしろ，また司法裁判といふものにしろドチラ
	も	190	14	といふものにしろ，また司法裁判といふ	ものにしろドチラも同一の裁判であるのです．たゞ
	も	201	15	王星や海王星や地球までが人なみに重い	ものになつて威張ります，ソコデ其のソバにゆくと
	も	218	04	続世継，水鏡などのやうな実事を書いた	ものにも巻々の標目を立てゝ小説めかしたのは同体
	も	219	01	の有るのは今の学者の云ふ真の理と云ふ	ものに近い訳でも有りませうか．さて，其れに付て
	も	220	17	葉つきから趣向の立て方まで下等社会の	ものに向くのを目途としたものと見えます．しかし
	も	222	06	中で源氏などは今云ふ人情の真理と云ふ	ものに近いもので其の後の草紙に至つては勝れた上
	も	227	08	この大名と云ふものは世襲知事のやうな	ものになつて居りました．大名の上には将軍と云ふ
	も	238	04	難事に耐へて其の時分の学者と云はれる	ものになつた者のことを想像されて其の志を以て勉
	も	254	16	います．よつて監獄は決して賤しむべき	ものにあらずと申すことに注意致さねばなりませぬ
	も	268	06	獄の目的及び方法などに至つては軍事の	ものにせよ，普通のものにせよ，一切変つたことは
	も	268	06	どに至つては軍事のものにせよ，普通の	ものにせよ，一切変つたことは無かるべき筈で有り
	も	270	13	で，また道理からしても，さうあるべき	ものに相違ありますまい．然れば犯罪人を減少する
	も	275	12	これ，また非常に監獄の整頓を助けたる	ものに相違御坐いませぬ．また近頃は感化事業即ち
	も	277	07	感化院）放免囚監獄は決して賤しむべき	ものにあらず犯罪人と貧民との関係貧民救助の目的
	も	269	06	七十七人ありました．女子の部は公立の	もの二箇所，私立のもの二十二箇所，合せて二十四
	も	269	06	．女子の部は公立のもの二箇所，私立の	もの二十二箇所，合せて二十四箇所ありまして，其
	も	017	06	陽は距離を精密に測量することの出来る	ものの中にはいつて居ます．併し月の距離の様にや
	も	020	08	ることが出来る．天文学者が知つて居る	ものの中で月が一番よく知れ其の次ぎは火星で有り
	も	034	04	訳字を付けましたシビリザションといふ	ものの意味を尋ねますれば月の中には兎が餅を搗い
	も	063	17	るに飲み昼夜寤寐を分たず実に人間たる	ものの得て為すべき業に非ず犬馬の業と云はなけれ
	も	073	15	ｏｌｉｔｉｃａｌＥｃｏｎｏｍｙといふ	ものの中に凡そ物の価を生ずるといふものは二個の
	も	081	08	新発明の賑かなること人の快楽を助ける	ものの能く完全したこと商法と製造の隆盛なること
	も	085	02	有様とまた其の進歩に付て種々の大事な	ものの概略を申すならば以上の如きもので御坐りま
	も	088	04	うと心得ます．けれども既に演べました	ものの外に社会の進歩の為め種々の必要なものが御
	も	092	07	は其の社会の中に籠つて居る一個人たる	ものの進歩に因ると申したが，これに付て面白いタ
	も	115	14	の為めに品行を破るやうでは人類といふ	ものの甲斐はあるまい．さて品行を惜むといふ欲は
	も	138	12	ないが，しかつめらしいものより面白い	ものの方が間接に効能が著しい．馬琴若しくは其の
	も	150	13	つて居るもの即ち政府とか天皇とかいふ	ものの組織，また其の職務の遺伝法といふものなど
	も	150	16	規則を設けるもので憲法で定まつて居る	ものの細密なる部分を定めるものが行政法でありま
	も	151	02	く行政法の範囲を定めると至つて小さい	ものやうでありますが其の実際に至ると甚だ広い
	も	166	07	．時といふことも半分は分つて居る様な	ものこれから後，幾年あるといふことは分りませ
	も	171	03	聞紙などに書いてある日本村落とかいふ	ものの見世物になる位では，おしまひだらうと思ひ
	も	214	06	るから上等の学者の目からは何でもない	ものやうに見下されました．馬琴や種彦でさへ，
	も	216	14	録だのと云ふ仏法の霊験を書物に著した	ものの中には小説めいたことも有りますが，これは
	も	261	10	人となるの恐れ有る貧民は養育院の如き	ものの管轄と致し，将来の犯罪人となる恐れなき天
	も	261	11	者の如きは訓盲唖院，又は養育院の如き	ものの管轄と致し，生れて未だ身体の動作も充分な
	も	261	13	孤児の如きは棄児院，又は孤児院の如き	ものの管轄と致すと云ふのが私の論の目的とする所
	も	007	17	どはやぶるがよい．墨を付けてよごした	ものは，なほやぶるがよい．さればどうも今日の有
	も	011	13	の講談にも有りました通り「砂糖と云ふ	ものは何の中だ」と言つたら「含水炭素の中」「含
	も	013	10	見えたもので我々の住つて居る所で無い	ものは何と言ふものかと云ふに天と言ひます．さて
	も	013	11	かと云ふに天と言ひます．さて天と言ふ	ものは広大無辺なもので地球をグルリと取りまはし
	も	014	03	う．天の中にありて一番我々の眼に着く	ものは大陽，月，星，アマノガハなどで有ります．
	も	014	04	番近いのは月で有ります．この月と云ふ	ものは望遠鏡の開けます余ほど前からして円いもの
	も	016	13	．其れでは月の世界には．人間みた様な	ものは有るであらうかドウであらう．其れは出さな
	も	017	01	かも知れませぬ．けれども我々みた様な	ものは居ない．して見ると我々の家来の月は形から
	も	017	05	るか知らんと言ひますと我々の目につく	ものは太陽で有ります．太陽は距離を精密に測量す
	も	018	01	家来と言はざるを得んです．太陽と云ふ	ものは非常に明るい非常に熱いもので，よく調べて
	も	021	05	が有つたりするからです．然るにそんな	ものはソックリ火星の表面に有るからしては必ず動
	も	021	10	物は地球の表面にしか居ない，智慧と言	ものは人間よりほかは持たない，人間の上は直に神
	も	024	03	例へば太陽は一軒の主であつて，あとの	ものは其の子供だとすれば月は地球の眷属で太陽の
	も	025	04	外に星と言ふものが有る．先づ星と言ふ	ものは大事のもので天文学のことを星学と言ふ位で
	も	027	13	て居るから．これからして外の星と云ふ	ものはこれより遠い．遠いと云ふことは知れて居る
	も	028	14	りませう．併し太陽系では明りを持つた	ものは太陽一つでしたが其の世界では確に明りを持
	も	029	06	常に沢山あるのですから太陽系みた様な	ものは天の中に沢山あります．段々先きへ行くに従
	も	029	09	何で有りますかと云ふと一体，星と云ふ	ものはどの辺には沢山あつてどの辺には少ないとい
	も	030	05	す．其れからして此のアマノガハと云ふ	ものは地球から見ますと帯の様にして天をグルツと
	も	030	07	居るに違ひない．大方アマノガハと云ふ	ものは円い者をおしつぶした様な形したもので有る
	も	030	09	ゝによい物が有りますアマノガハといふ	ものは此の盆の形をして居るとしまして，そこの中

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（もの）	も	031	15	りつけられます．或はアマノガハと云ふ	もの	は我々の見る所の限りで総てあるとあらゆるも
	も	031	16	々の見る所の限りで総てあるとあらゆる	もの	は星でも星雲でも皆この中にはいつて居るもの
	も	032	06	を得るだけ随つて知ることを得る限りの	もの	は総て皆アマノガハの中にあるものでは無から
	も	034	02	で有ります．一体御承知の通り酒と申す	もの	はナルコチカと言つて麻酔の効の有るもので之
	も	034	06	言ひましたが段々に開けて来て月といふ	もの	は，かういふもので決して兎が餅を搗いて居る
	も	034	08	夫にしようといふ様な総てのことといふ	もの	は皆このシビリザションの道理によつて分るも
	も	035	06	は更に知りませんだつたなどといふ様な	もの	は所謂る智慧が徳利の中にはいるのと，よく事
	も	037	15	が集合して出来て居る．Ｃｅｌｌと云ふ	もの	は矢張り一個独立の活物で有ることぢゃが，そ
	も	038	05	を説かねばならぬことぢゃが道徳と云ふ	もの	は支那西洋とも古代の説には天然自然に有る所
	も	038	17	相応した維持と進歩とを営むの術を得た	もの	は漸々に栄え其れが出来ぬ社会は亡びたであら
	も	040	04	るであらう．又大古は夫婦の配偶と云ふ	もの	は全く無くて，たゞ禽獣同様に（こゝらに犬や
	も	041	10	せられて善いこととなり，為めにならぬ	もの	は悪いこととなりた．其れも進化した国では分
	も	042	08	ると云ふことで分れたのぢゃ．道と云ふ	もの	は何でも人の為めにしなくてはならぬと云ふこ
	も	042	10	をせねばならぬと云ふこと，又法と云ふ	もの	は己を利することを許すは固よりなれども唯其
	も	042	12	とが本趣意になりて居る．丁度道と云ふ	もの	は親類同士の寄り合ひで，法と云ふものは他人
	も	042	12	ものは親類同士の寄り合ひで，法と云ふ	もの	は他人同士の寄り合ひと云ふ様なものぢゃ．併
	も	045	10	ひが有る．して見れば只今でも権を得た	もの	は権を得ぬものに向ふて害を為して居るに違ひ
	も	048	11	さうしたら先刻申した法律の主義と云ふ	もの	は無論行はれる様になるであらう．さうすれば
	も	057	07	とが御坐います．総て我々の健康と云ふ	もの	は実に必要なもので曾てウ／キルダーと云ふ人
	も	057	17	れは外でもありませぬが凡て話しと云ふ	もの	は何でもオモシロミが無いと脳髄に這入りませ
	も	059	14	したでありませう．所で人間の性と云ふ	もの	は兎角便利な物を悦び奇麗な物を愛し，うまき
	も	059	16	するけれども其の中で最も多く人の好く	もの	は何かと云ふに先づ奇麗なものや便利なもの等
	も	061	03	．故に概して言ふときは半開化人の好む	もの	は恰も三歳の童子が物品を撰ぶと同じことで，
	も	062	06	下之に習ふは古今の通例なれば中以下の	もの	は無理にも乗車して上等社会をまねる様になつ
	も	064	12	ず日に月に多きを加ふるに至りし所以の	もの	は必竟前に申した通り人力車濫用の弊を生ぜし
	も	065	02	来たならば斯の如き犬馬同様の業を営む	もの	は自から減少して来ませう．故に私は人力車や
	も	065	08	は能く事物の是非を淘汰し健康に害ある	もの	は速に之を除き，益あるものは力めて之を奨励
	も	065	09	康に害あるものは速に之を除き，益ある	もの	は力めて之を奨励し以て我が国民の健康を満足
	も	068	11	例字漏生に於て学生となることの出来る	もの	は年令満十八歳にして中学の予備科を卒業し其
	も	073	15	ふものの中に凡そ物の価を生ずるといふ	もの	は二個の全く反対したるものより生ずるとの説
	も	074	02	其の二個の全く反対するといふ其の一の	もの	は全く利を興す所のもので其の一のものは之に
	も	074	03	ものは全く利を興す所のもので其の一の	もの	は之に反して害を除くといふもので御坐んする
	も	076	05	なる国の富強になる様に，富強になつた	もの	は貧弱にならぬ様にといふ様にすることを講究
	も	079	06	ならぬと云ふ主意で御坐ります．人たる	もの	は種々の貴い性質の中に必ず只今弁ずる所の進
	も	079	08	尽すことが出来ぬ程なれども進歩と云ふ	もの	は只人間のみに限つたことで御坐ります．たと
	も	079	13	御坐ります．けれども人間の進歩と云ふ	もの	は何で御坐りませうか．其のワケはドウいふも
	も	079	15	御坐ります．けれども社会の進歩と云ふ	もの	はたゞ進み行くことばかりで御坐りませぬ．劣
	も	080	06	ので御坐ります．なぜなれば社会と云ふ	もの	は一個人から成り立つもので御坐ります故に人
	も	081	02	坐ります．第三．総て人間の進歩と云ふ	もの	は其の本心本性本質の進歩で無ければなりませ
	も	081	03	品々の進歩で御坐りませぬ．進歩といふ	もの	は内部から起つて来て外部に発現するもので無
	も	081	09	確立したこと政体の鞏固なることなどの	もの	は進歩と云ふもので御坐りませぬ．人の内部の
	も	081	11	果で御坐ります．イヽエ人の進歩と云ふ	もの	は必ず人みづからの進歩で無ければなりませぬ
	も	082	01	りませう．併しながら商法の進歩と云ふ	もの	は実に商法の進歩に付て人の進歩で御坐ります
	も	082	06	迚も出来ませぬ．此の一つの至極大切な	もの	は即ち道徳の進歩で御坐ります．道徳の進歩と
	も	082	07	の進歩で御坐ります．道徳の進歩と云ふ	もの	は即ち貴い道徳的に付て人の進歩で御坐ります
	も	083	12	りまする．この道徳の進歩の必要と云ふ	もの	は一個人の為め全国民の為め，また世界中の人
	も	083	17	類がありますに由つて社会の進歩と云ふ	もの	は常に一様に進んで行くことでは御坐りませぬ
	も	085	09	とで御坐ります．即ち社会の進歩と云ふ	もの	は劣りたる所より優れた所へ進み賤い所より貴
	も	086	03	損害になる原素また人の位を下げる所の	もの	は何で御坐りませうか，また，これ等の善き性
	も	086	04	，人の益になる原素，人を貴くする所の	もの	は如何なるもので有りますか，社会の進歩と所
	も	086	05	明開化を妨げるもの，また之を進ませる	もの	は如何なるもので御坐りますか，また彼の道徳
	も	086	10	のを充分に説きませぬ．これ等の大切な	もの	は此の世の権威と勢力また人の立てた所の法則
	も	086	11	ぬもので御坐ります．さらば，これ等の	もの	は如何にして知ることが出来ませうかイヅクに
	も	087	07	モノゴトまた其の外社会の進歩を妨げる	もの	は如何なるものかと基督教に問ふならば，これ
	も	089	02	教に若くは御坐りませぬ．基督教に双ぶ	もの	は御坐りませぬ．基督教は決して人に諂ふこと
	も	089	16	なります．併しながら高尚な目的を示す	もの	は何であるかと云へば基督教で御坐ります．こ
	も	090	09	督教を用ひ天の光りを受けて世渡りする	もの	は必ず種々の進歩をする訳で御坐ります．第五
	も	090	16	して己れの足を之に合はして世渡りする	もの	は進歩せぬと云ふことが決して御坐りませぬ．
	も	091	07	の進歩を妨げて最も大いなる邪魔を為す	もの	は何で御坐りませうか．人間を衰へさせて殆ん
	も	091	08	間を衰へさせて殆んど畜生にまで下げる	もの	は何で御坐りませうか．人間の最も大いなる害
	も	091	09	ませうか．人間の最も大いなる害になる	もの	は何で御坐りませうか．また進歩しやうと思ふ
	も	091	09	しやうと思ふ人が前以て棄てねばならぬ	もの	は何で御坐りませうか．先づ其の言葉が種々御
	も	091	11	悪で御坐ります．世の進歩の妨げを為す	もの	はこの罪悪で御坐ります．万国万民の救ひ主耶